

平成 29 年度  
市民意識調査報告書  
～五所川原市に関するアンケート～

調査時期 平成29年 11月

報告書作成 平成30年 1月

五所川原市



# 目 次

第1章 調査の概要.....	1
1 調査の目的と実施概要.....	3
(1) 調査の目的.....	3
(2) 調査の実施概要.....	3
(3) 調査の回収結果.....	3
2 報告書に関する留意事項.....	4
第2章 回答者の基本属性.....	5
1 性別.....	7
2 年齢.....	8
3 居住地域.....	9
4 居住歴.....	10
(1) 居住状況.....	10
(2) 居住歴.....	12
5 家族構成.....	13
6 職業.....	14
7 通勤・通学先.....	16
8 五所川原市への愛着.....	18
第3章 回答者の生活スタイル.....	21
1 近所のつながり.....	23
2 健康増進.....	24
3 防災対策.....	25
4 相談相手.....	26
5 地域活動.....	27
6 ボランティア活動.....	29
7 公共交通の利用状況.....	30
8 省エネやリサイクル.....	31
9 趣味等.....	32
10 運動習慣.....	33
11 市内での買い物.....	34
12 市広報の閲覧状況.....	35
13 市ホームページの閲覧状況.....	37
14 市SNSの閲覧状況.....	39
15 市政への関心.....	41
第4章 施策評価.....	43
1 分析における留意事項.....	45
(1) 施策名の表記.....	45
(2) 満足度・重要度等の指数化について.....	46
2 施策に対する満足度.....	47
(1) 満足度の割合.....	47
(2) 満足度指数.....	48
1) 市全体.....	48
2) 属性別にみた満足度の状況.....	50

3) 政策分野別にみた満足度の状況.....	53
3 施策に対する重要度.....	56
(1) 重要度の割合.....	56
(2) 重要度指数.....	57
1) 市全体.....	57
2) 属性別にみた重要度の状況.....	59
3) 政策分野別にみた重要度の状況.....	62
4 満足度・重要度の分析.....	65
(1) 満足度と重要度の関係.....	65
1) 市全体.....	66
2) 定住意向別.....	69
3) 本市への愛着の有無別.....	75
(2) ニーズ指数.....	81
1) 市全体.....	81
2) 属性別にみたニーズ指数の状況.....	83
(3) 政策分野別の詳細.....	86
1) 地域の強みを生かす産業・賑わいづくり.....	86
2) 地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり.....	92
3) 個性を伸ばし育む人財・文化づくり.....	98
4) 命と生活を守る安全・安心づくり.....	104
5) 快適で質の高い環境・住まいづくり.....	110
6) 共にすすめる持続可能なまちづくり.....	116
第5章 行政情報について.....	123
1 行政情報の確認・入手手段.....	125
2 充実してほしい行政情報.....	128
第6章 定住意向について.....	131
1 定住意向.....	133
第7章 自由意見.....	135
1 自由意見一覧.....	137
分野1) 都市基盤.....	138
分野2) 産業.....	147
分野3) 保健・医療・福祉.....	152
分野4) 居住環境.....	161
分野5) 教育・文化.....	168
分野6) 行政経営など.....	172
分野7) その他.....	186
参考資料.....	187
1 調査票.....	189

# 第 1 章

## 調査の概要



# 1 調査の目的と実施概要

## (1) 調査の目的

五所川原市総合計画（基本構想・前期基本計画）に基づく各種施策に対する市民の認識（満足度や重要度）を調査することによって、当市が抱える課題や将来的に市が進むべき方向性などについて、住民意識の全体的な傾向を把握し、行財政改革の推進や五所川原市総合計画の見直し・策定のための基礎資料とすることを目的とします。

## (2) 調査の実施概要

調査地域	五所川原市全域（五所川原地域・金木地域・市浦地域）				
調査対象	市内に在住する満20歳以上の男女3,000人				
抽出方法	住民基本台帳（平成29年10月12日現在）から無作為抽出。 なお、3地域（五所川原地域・金木地域・市浦地域）の調査対象人口割合をもって、調査対象者数を比例配分し、各地域ともに調査対象者数を年齢階層ごとに均等配分しています。 【五所川原市の各地域における調査対象人口とその割合】				
		五所川原地域	金木地域	市浦地域	合計
	調査対象人口 （調査対象者数）	44,756人 (2,408人)	8,802人 (472人)	2,171人 (120人)	55,729人 (3,000人)
	人口構成比	80.3%	15.8%	3.9%	100.0%
	抽出割合	5.4%	5.4%	5.5%	5.4%
	回収数	875人	174人	43人	1,109人 (無回答17人)
	人口構成比	78.9%	15.7%	3.9%	100.0%
調査方法	アンケート調査票の郵送配布、郵送回収（無記名・自記式）				
調査時期	平成29年11月1日（水）～11月17日（金）				

## (3) 調査の回収結果

発送した3,000票のうち、7票は宛所不明等により、未到達となっています。

未到達を除く、2,993票に対して、回収数は1,112票となっていますが、回収票のうち、3票は回収期限後の回収となったため、集計対象から除外し、回収無効票として処理しています。このため、本調査の有効回収率は、37.1%となっています。

発送数	有効発送数	回収数	有効回収数	回収率	有効回収率
3,000票	2,993票	1,112票	1,109票	37.2%	37.1%

## 2 報告書に関する留意事項

- ①図表の中のnは回答者の総数を意味しています。
- ②比率は、nを100%とした百分率で算出し、小数点以下第2位を四捨五入しています。そのため、表示されている百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ③複数回答が可能な設問では、その比率の合計が100%を上回ることがあります。
- ④グラフ内で、1%未満の数字については、グラフの見やすさを考慮して表示を割愛している場合があります。

## 第 2 章

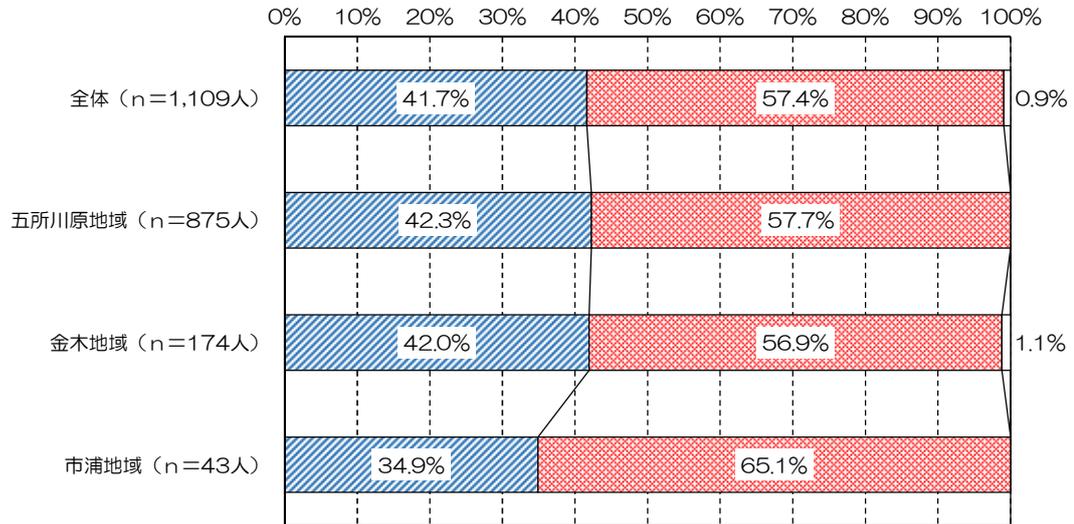
### 回答者の基本属性



# 1 性別

回答者の性別をみると、全体では「男性」が41.7%であるのに対して、「女性」は57.4%と女性の割合が高くなっています。

居住地域別にみると、市浦地域では「女性」の割合が6割を超え、年齢別にみると、20歳代、40歳代では「女性」の割合が6割を超えています。



■ 男性      ■ 女性      □ 無回答

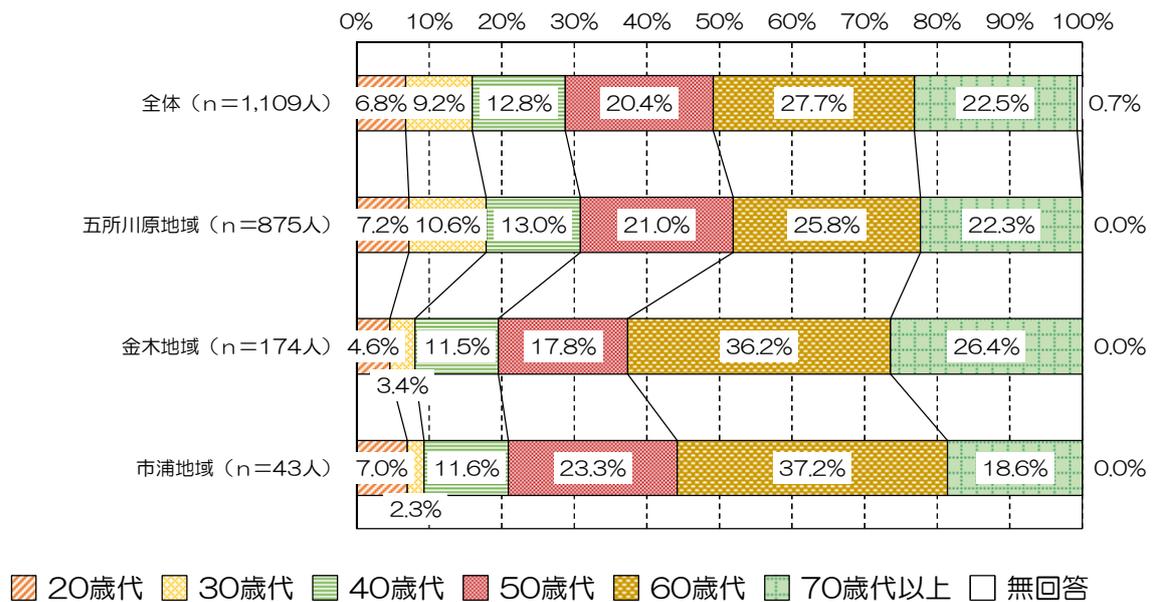
		n	男性	女性	無回答
全体		100.0%	41.7%	57.4%	0.9%
		1,109人	462人	637人	10人
年齢	20歳代	100.0%	37.3%	62.7%	0.0%
		75人	28人	47人	0人
	30歳代	100.0%	40.2%	59.8%	0.0%
		102人	41人	61人	0人
	40歳代	100.0%	35.9%	64.1%	0.0%
		142人	51人	91人	0人
	50歳代	100.0%	44.2%	55.8%	0.0%
	226人	100人	126人	0人	
60歳代	100.0%	43.0%	56.7%	0.3%	
	307人	132人	174人	1人	
70歳代以上	100.0%	44.2%	55.4%	0.4%	
	249人	110人	138人	1人	

## 2 年齢

回答者の年齢をみると、全体では「60歳代」が27.7%、「70歳以上」が22.5%と、60歳以上が半数を占めています。20～40歳代をあわせると28.8%となっています。

居住地域別にみても、60歳以上の占める割合が高く、金木地域では62.6%と6割以上を占めています。一方で、五所川原地域では20～40歳代が30.8%と3割を占めています。

性別にみると、男性の方が女性よりも50歳以上の占める割合がやや高く、20～40歳代については若干女性の方が割合が高くなっています。

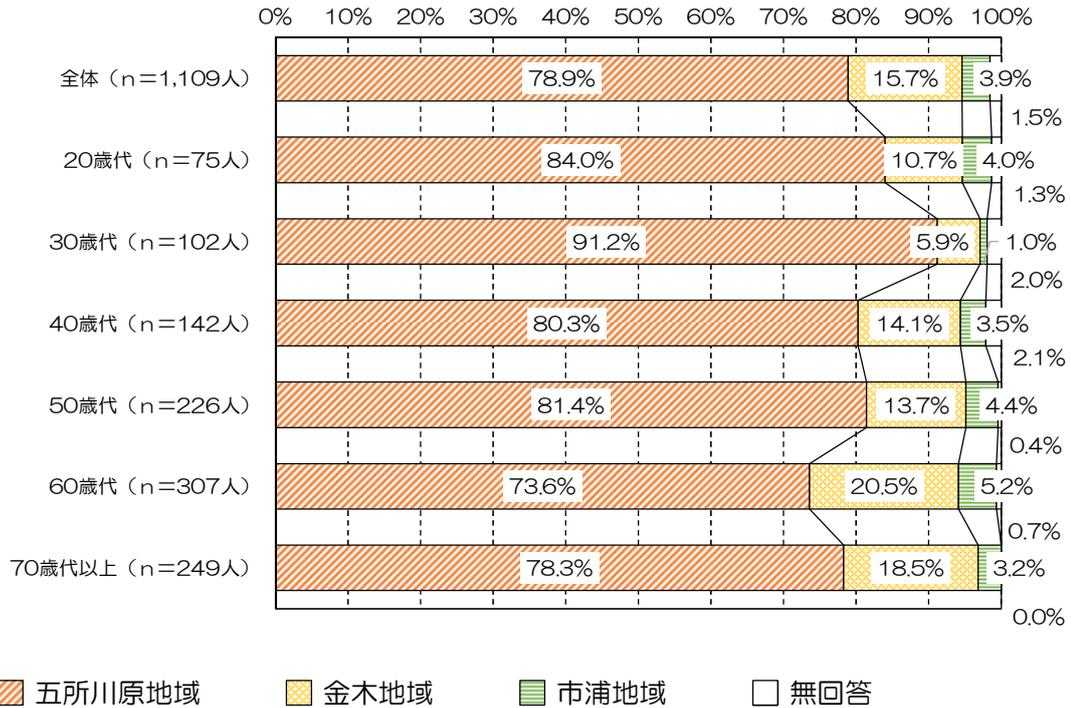


		n	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以上	無回答
全体		100.0%	6.8%	9.2%	12.8%	20.4%	27.7%	22.5%	0.7%
		1,109人	75人	102人	142人	226人	307人	249人	8人
性別	男性	100.0%	6.1%	8.9%	11.0%	21.6%	28.6%	23.8%	0.0%
		462人	28人	41人	51人	100人	132人	110人	0人
	女性	100.0%	7.4%	9.6%	14.3%	19.8%	27.3%	21.7%	0.0%
		637人	47人	61人	91人	126人	174人	138人	0人

### 3 居住地

回答者の居住地をみると、全体では78.9%が「五所川原地域」となっています。金木地域は15.7%、市浦地域は全体の3.9%となっています。

回答者の年齢別にみても、すべての年代で7割以上が「五所川原地域」となっています。30歳代では91.2%が「五所川原地域」となっています。「60歳代」では、「金木地域」が2割以上を占めています。



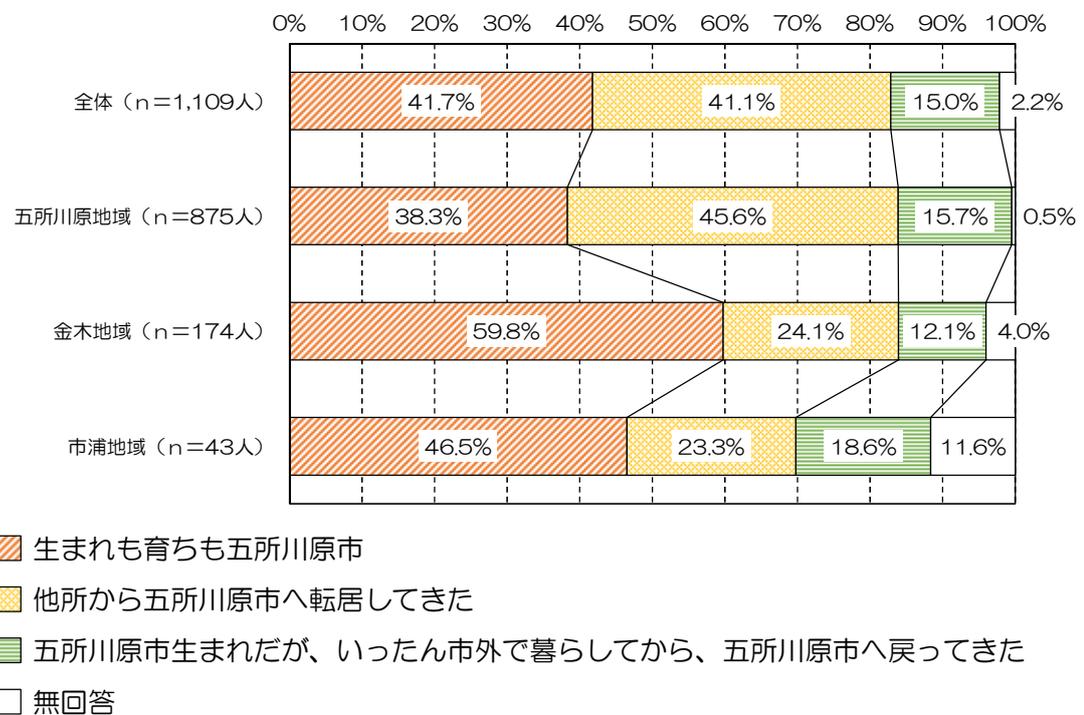
		n	五所川原地域	金木地域	市浦地域	無回答
全体		100.0%	78.9%	15.7%	3.9%	1.5%
		1,109人	875人	174人	43人	17人
性別	男性	100.0%	80.1%	15.8%	3.2%	0.9%
		462人	370人	73人	15人	4人
	女性	100.0%	79.3%	15.5%	4.4%	0.8%
		637人	505人	99人	28人	5人

## 4 居住歴

### (1) 居住状況

五所川原市への居住状況をみると、全体では「生まれも育ちも五所川原市」が41.7%、「他所から五所川原市へ転居してきた」が41.1%となっています。

居住地域別にみると、「生まれも育ちも五所川原市」という回答者は金木地域では59.8%と、他の地域よりも割合が高くなっています。五所川原地域では「他所から五所川原市へ転居してきた」が45.6%で、「生まれも育ちも五所川原市」の38.3%よりも割合が高くなっています。



年齢別にみると、「生まれも育ちも五所川原市」という回答者は30歳代で38.2%と全体よりも割合がやや低く、20歳代では52.0%と半数を占めています。

性別にみると、女性よりも男性の方が「生まれも育ちも五所川原市」という回答の割合が高く、女性では「他所から五所川原市へ転居してきた」が49.1%と半数近くを占めています。

		n	生まれも育ちも五所川原市	他所から五所川原市へ転居してきた	五所川原市生まれだが、いったん市外で暮らしてから、五所川原市へ戻ってきた	無回答
全体		100.0% 1,109人	41.7% 463人	41.1% 456人	15.0% 166人	2.2% 24人
年齢	20歳代	100.0% 75人	52.0% 39人	28.0% 21人	20.0% 15人	0.0% 0人
	30歳代	100.0% 102人	38.2% 39人	41.2% 42人	20.6% 21人	0.0% 0人
	40歳代	100.0% 142人	41.5% 59人	35.9% 51人	21.1% 30人	1.4% 2人
	50歳代	100.0% 226人	38.9% 88人	46.9% 106人	12.8% 29人	1.3% 3人
	60歳代	100.0% 307人	42.0% 129人	39.7% 122人	16.6% 51人	1.6% 5人
	70歳代以上	100.0% 249人	43.8% 109人	45.8% 114人	8.0% 20人	2.4% 6人
性別	男性	100.0% 462人	49.4% 228人	31.0% 143人	18.8% 87人	0.9% 4人
	女性	100.0% 637人	36.9% 235人	49.1% 313人	12.4% 79人	1.6% 10人

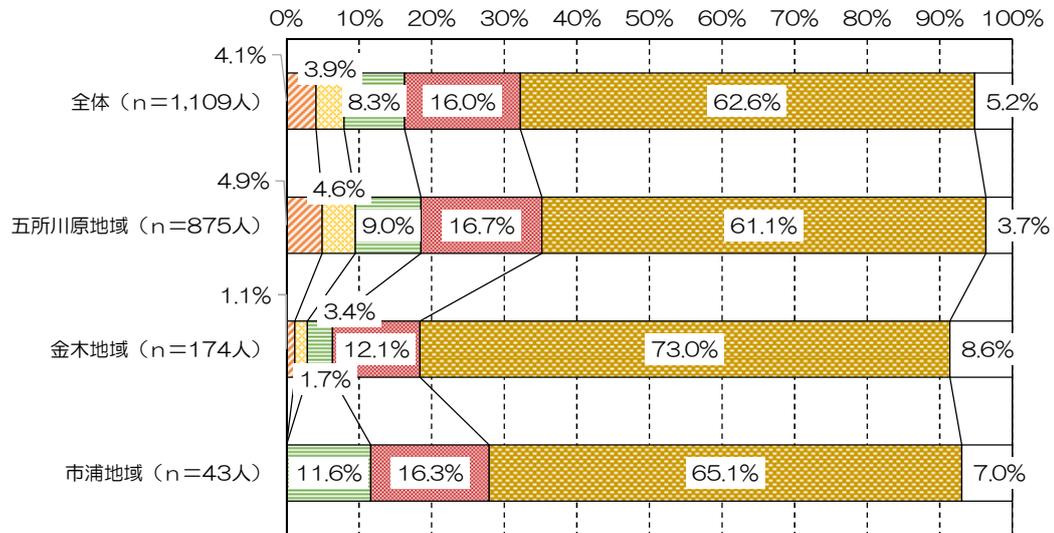
## (2) 居住歴

回答者の五所川原市での居住歴をみると、全体では「30年以上」が62.6%と6割以上を占めています。

居住地域別にも、「30年以上」という回答者が6割以上を占めています。特に金木地域では73.0%と7割以上を占めています。

年齢別にも、50歳代以上では「30年以上」という回答者が6割以上を占め、60歳代以上では8割前後を占めています。

性別にも、男女とも「30年以上」という回答者が6割以上を占めています。男性に比べると女性の方が10年未満という割合がやや高くなっています。



5年未満
  5年以上10年未満
  10年以上20年未満  
 20年以上30年未満
  30年以上
  無回答

		n	5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	無回答
全体		100.0%	4.1%	3.9%	8.3%	16.0%	62.6%	5.2%
		1,109人	45人	43人	92人	177人	694人	58人
年齢	20歳代	100.0%	13.3%	8.0%	14.7%	62.7%	0.0%	1.3%
		75人	10人	6人	11人	47人	0人	1人
	30歳代	100.0%	17.6%	10.8%	11.8%	23.5%	33.3%	2.9%
		102人	18人	11人	12人	24人	34人	3人
	40歳代	100.0%	4.9%	4.2%	17.6%	18.3%	52.8%	2.1%
		142人	7人	6人	25人	26人	75人	3人
	50歳代	100.0%	1.8%	3.5%	7.5%	23.0%	60.6%	3.5%
	226人	4人	8人	17人	52人	137人	8人	
60歳代	100.0%	1.3%	3.3%	5.9%	4.2%	81.1%	4.2%	
	307人	4人	10人	18人	13人	249人	13人	
70歳代以上	100.0%	0.8%	0.8%	3.6%	6.0%	79.9%	8.8%	
	249人	2人	2人	9人	15人	199人	22人	
性別	男性	100.0%	3.9%	2.6%	8.7%	15.8%	63.0%	6.1%
		462人	18人	12人	40人	73人	291人	28人
	女性	100.0%	4.2%	4.9%	8.2%	16.3%	63.1%	3.3%
	637人	27人	31人	52人	104人	402人	21人	

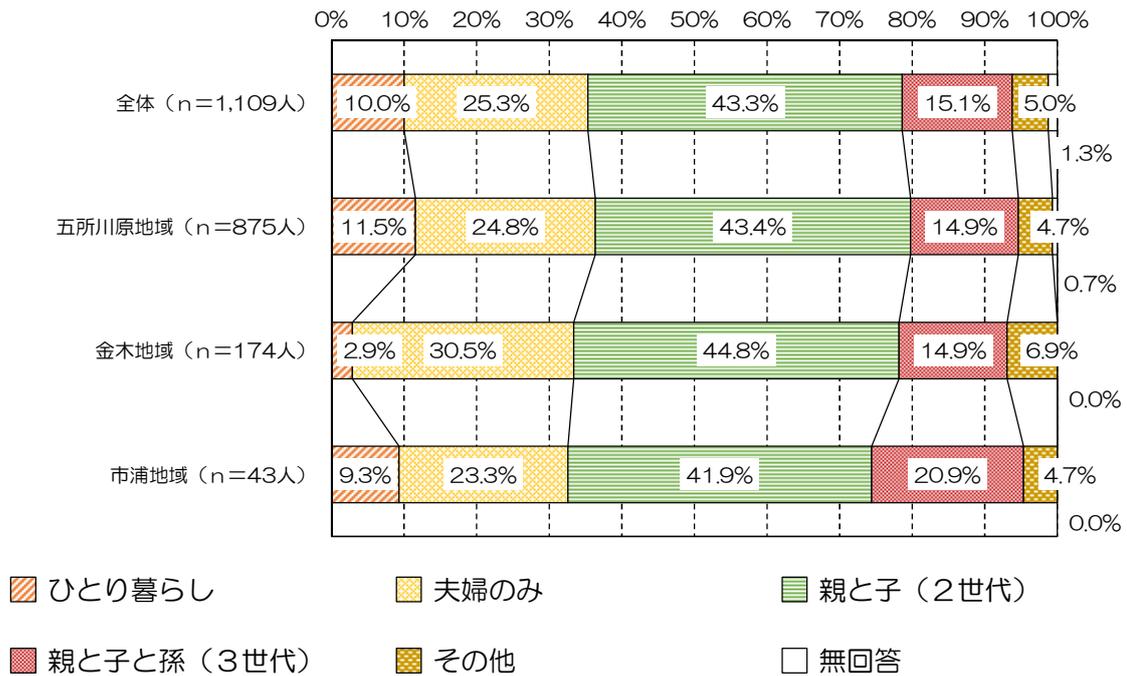
## 5 家族構成

家族構成をみると、43.3%が「親子（2世代）」、25.3%が「夫婦のみ」となっています。

居住地域別にみても「親子（2世代）」が4割以上を占めています。その他に金木地域では「夫婦のみ」が30.5%、市浦地域では「親子と孫（3世代）」が20.9%を占めています。

年齢別にみると、50歳代では「親子（2世代）」が56.6%を占め、60歳代以上では「夫婦のみ」の割合が高くなっています。

男性に比べると女性の方が「ひとり暮らし」の割合が高くなっています。

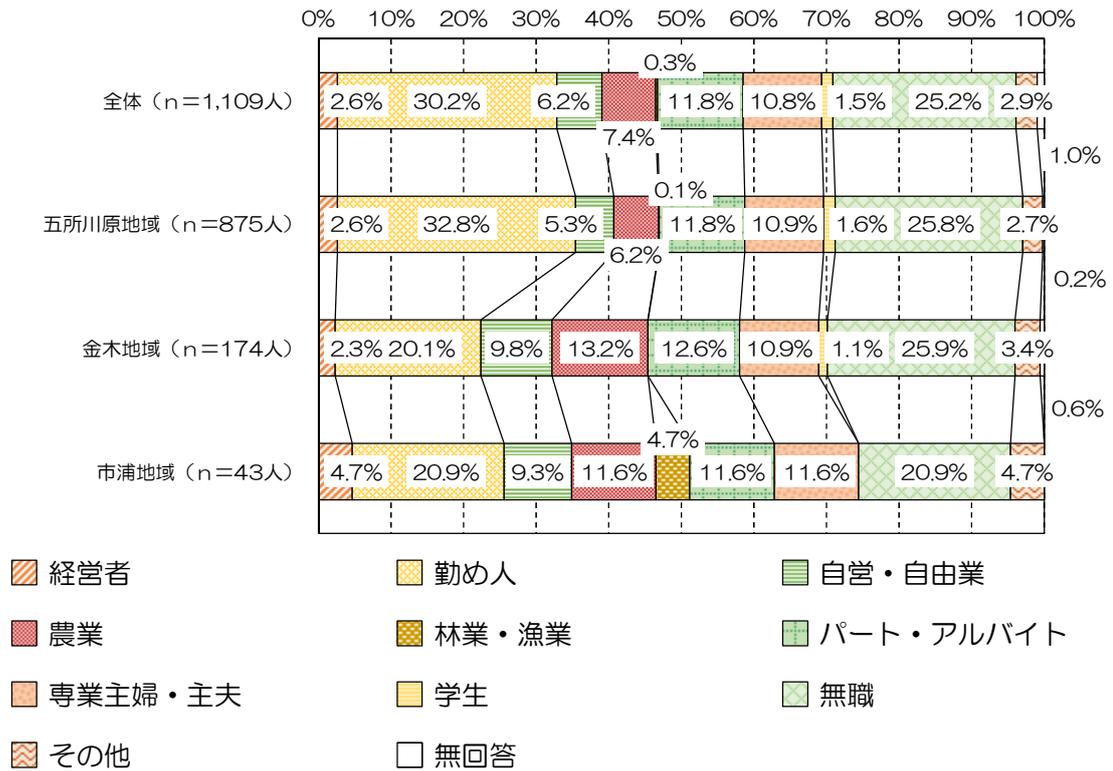


		n	ひとり暮らし	夫婦のみ	親子（2世代）	親子と孫（3世代）	その他	無回答
全体		1,109人	10.0%	25.3%	43.3%	15.1%	5.0%	1.3%
年齢	20歳代	75人	6.7%	6.7%	57.3%	25.3%	4.0%	0.0%
	30歳代	102人	2.0%	15.7%	56.9%	20.6%	4.9%	0.0%
	40歳代	142人	6.3%	9.9%	62.7%	14.8%	6.3%	0.0%
	50歳代	226人	8.4%	14.2%	56.6%	12.8%	7.5%	0.4%
	60歳代	307人	10.4%	35.5%	33.9%	13.7%	5.5%	1.0%
	70歳代以上	249人	17.7%	42.2%	23.3%	14.5%	1.6%	0.8%
	性別	男性	462人	6.1%	27.5%	44.6%	16.0%	5.6%
女性		637人	13.0%	23.9%	43.0%	14.8%	4.6%	0.8%

## 6 職業

回答者の職業は、全体では「勤め人」が30.2%、「無職」が25.2%となっています。

居住地域別にみると、五所川原地域では「勤め人」が32.8%と他の地域よりも割合が高くなっています。



年齢別にみると、50歳代以下では「勤め人」の割合が高く、60歳代以上では「無職」の割合が高くなっています。

性別にみると、「勤め人」は女性よりも男性で割合が高く、反対に女性では「パート・アルバイト」の割合が高くなっています。

通勤・通学先別では、市外では71.7%が「勤め人」となっており、市内では「勤め人」は46.7%、「パート・アルバイト」が25.9%となっています。

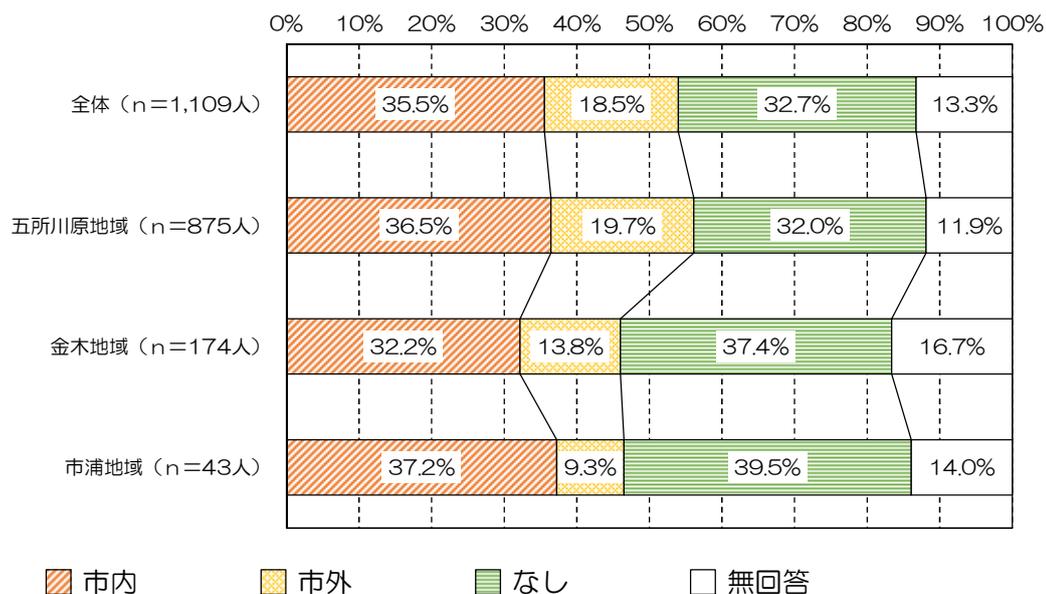
		n	経営者	勤め人	自営・自由業	農業	林業・漁業	パート・アルバイト	専業主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
全体		100.0%	2.6%	30.2%	6.2%	7.4%	0.3%	11.8%	10.8%	1.5%	25.2%	2.9%	1.0%
		1,109人	29人	335人	69人	82人	3人	131人	120人	17人	280人	32人	11人
年齢	20歳代	100.0%	0.0%	36.0%	5.3%	1.3%	0.0%	20.0%	2.7%	22.7%	6.7%	5.3%	0.0%
		75人	0人	27人	4人	1人	0人	15人	2人	17人	5人	4人	0人
	30歳代	100.0%	1.0%	64.7%	7.8%	2.0%	0.0%	12.7%	7.8%	0.0%	2.9%	1.0%	0.0%
		102人	1人	66人	8人	2人	0人	13人	8人	0人	3人	1人	0人
	40歳代	100.0%	4.2%	57.7%	4.9%	2.8%	0.7%	17.6%	4.9%	0.0%	4.9%	2.1%	0.0%
		142人	6人	82人	7人	4人	1人	25人	7人	0人	7人	3人	0人
50歳代	100.0%	3.1%	43.8%	6.2%	5.3%	0.9%	15.0%	14.2%	0.0%	8.8%	2.7%	0.0%	
	226人	7人	99人	14人	12人	2人	34人	32人	0人	20人	6人	0人	
60歳代	100.0%	2.3%	17.3%	7.8%	12.7%	0.0%	12.1%	14.7%	0.0%	31.3%	1.3%	0.7%	
	307人	7人	53人	24人	39人	0人	37人	45人	0人	96人	4人	2人	
70歳代以上	100.0%	3.2%	3.2%	4.8%	9.6%	0.0%	2.8%	10.4%	0.0%	59.8%	5.6%	0.4%	
	249人	8人	8人	12人	24人	0人	7人	26人	0人	149人	14人	1人	
性別	男性	100.0%	4.5%	37.2%	8.2%	9.1%	0.6%	4.8%	0.6%	1.3%	28.6%	4.3%	0.6%
		462人	21人	172人	38人	42人	3人	22人	3人	6人	132人	20人	3人
	女性	100.0%	1.3%	25.6%	4.9%	6.1%	0.0%	17.1%	18.2%	1.7%	23.2%	1.9%	0.0%
		637人	8人	163人	31人	39人	0人	109人	116人	11人	148人	12人	0人
通勤・通学先	市内	100.0%	5.1%	46.7%	9.4%	5.1%	0.8%	25.9%	1.8%	0.0%	2.3%	2.8%	0.3%
		394人	20人	184人	37人	20人	3人	102人	7人	0人	9人	11人	1人
	市外	100.0%	0.5%	71.7%	4.4%	0.5%	0.0%	11.2%	0.0%	8.3%	0.5%	2.4%	0.5%
	205人	1人	147人	9人	1人	0人	23人	0人	17人	1人	5人	1人	
なし	100.0%	1.7%	0.3%	5.0%	9.1%	0.0%	0.8%	22.9%	0.0%	56.7%	3.6%	0.0%	
	363人	6人	1人	18人	33人	0人	3人	83人	0人	206人	13人	0人	

## 7 通勤・通学先

通勤・通学先は「市内」が35.5%、「市外」が18.5%となっています。

年齢別にみると、20歳代では53.3%が「市外」となっています。30～40歳代では6割前後が「市内」となっています。60歳代以上では通勤・通学「なし」の割合が高くなっています。

性別にみると、女性よりも男性の方が「市外」の割合が高くなっています。



		n	市内	市外	なし	無回答
全体		100.0%	35.5%	18.5%	32.7%	13.3%
		1,109人	394人	205人	363人	147人
年齢	20歳代	100.0%	36.0%	53.3%	10.7%	0.0%
		75人	27人	40人	8人	0人
	30歳代	100.0%	60.8%	25.5%	10.8%	2.9%
		102人	62人	26人	11人	3人
	40歳代	100.0%	59.2%	31.7%	8.5%	0.7%
		142人	84人	45人	12人	1人
	50歳代	100.0%	43.8%	27.0%	22.6%	6.6%
	226人	99人	61人	51人	15人	
60歳代	100.0%	28.0%	10.1%	44.0%	17.9%	
	307人	86人	31人	135人	55人	
70歳代以上	100.0%	14.5%	0.8%	58.6%	26.1%	
	249人	36人	2人	146人	65人	
性別	男性	100.0%	34.2%	24.5%	30.3%	11.0%
		462人	158人	113人	140人	51人
	女性	100.0%	37.0%	14.4%	34.7%	13.8%
	637人	236人	92人	221人	88人	

職業別にみると、「経営者」、「勤め人」、「自営・自由業」、「林業・漁業」、「パート・アルバイト」では「市内」の割合が高くなっています。

「学生」はすべて「市外」となっています。

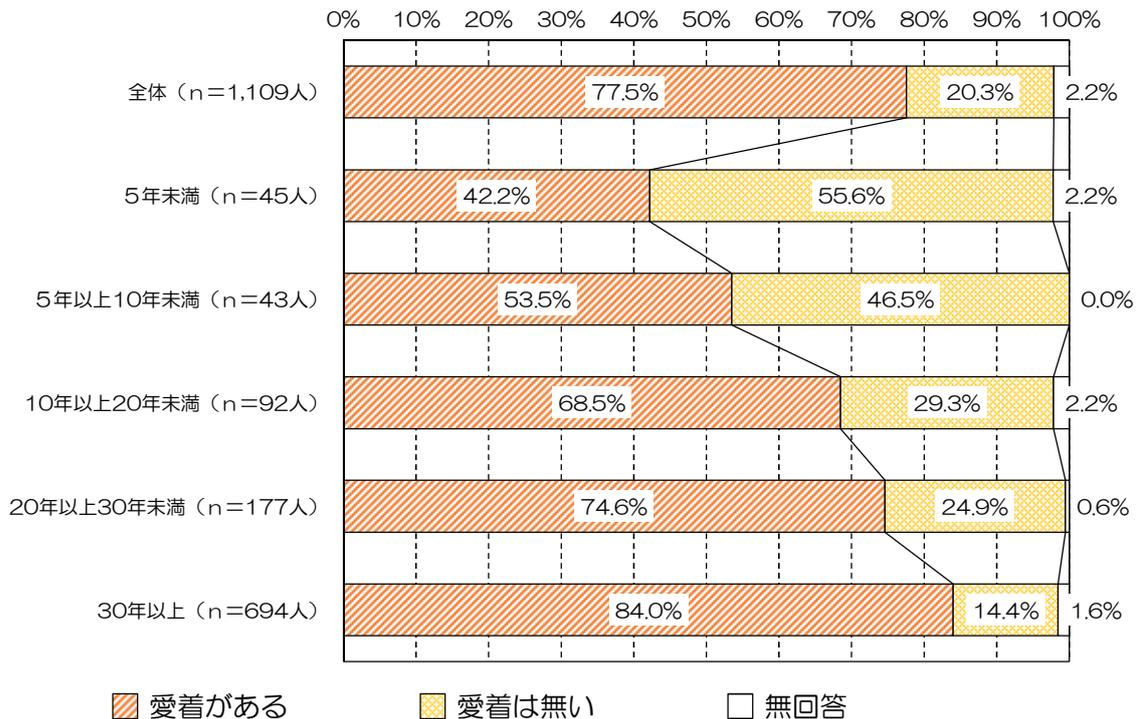
		n	市内	市外	なし	無回答
全体		100.0%	35.5%	18.5%	32.7%	13.3%
		1,109人	394人	205人	363人	147人
職業	経営者	100.0%	69.0%	3.4%	20.7%	6.9%
		29人	20人	1人	6人	2人
	勤め人	100.0%	54.9%	43.9%	0.3%	0.9%
		335人	184人	147人	1人	3人
	自営・自由業	100.0%	53.6%	13.0%	26.1%	7.2%
		69人	37人	9人	18人	5人
	農業	100.0%	24.4%	1.2%	40.2%	34.1%
		82人	20人	1人	33人	28人
	林業・漁業	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
		3人	3人	0人	0人	0人
	パート・アルバイト	100.0%	77.9%	17.6%	2.3%	2.3%
	131人	102人	23人	3人	3人	
専業主婦・主夫	100.0%	5.8%	0.0%	69.2%	25.0%	
	120人	7人	0人	83人	30人	
学生	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
	17人	0人	17人	0人	0人	
無職	100.0%	3.2%	0.4%	73.6%	22.9%	
	280人	9人	1人	206人	64人	
その他	100.0%	34.4%	15.6%	40.6%	9.4%	
	32人	11人	5人	13人	3人	

## 8 五所川原市への愛着

五所川原市への愛着をみると、77.5%は「愛着がある」としています。

居住歴別にみると、居住歴が長いほど、「愛着がある」との回答の割合が高く、5年未満では42.2%ですが、30年以上では84.0%と8割を超えています。

居住状況別にみると、「生まれも育ちも五所川原市」では「愛着がある」との回答が84.4%と「他所から五所川原市へ転居してきた」、「五所川原市生まれだが、いったん市外で暮らしてから、五所川原市へ戻ってきた」よりも回答の割合が高くなっています。



		n	愛着がある	愛着は無い	無回答
全体		100.0%	77.5%	20.3%	2.2%
		1,109人	860人	225人	24人
居住状況	生まれも育ちも五所川原市	100.0%	84.4%	14.3%	1.3%
		463人	391人	66人	6人
	他所から五所川原市へ転居してきた	100.0%	73.9%	24.6%	1.5%
	456人	337人	112人	7人	
	五所川原市生まれだが、いったん市外で暮らしてから、五所川原市へ戻ってきた	100.0%	73.5%	24.7%	1.8%
	166人	122人	41人	3人	

居住地域別にみると、市浦地域では「愛着がある」との回答が67.4%と、他の地域よりも割合が低くなっています。

年齢別にみると、60歳代以上では「愛着がある」との回答が8割を超えていますが、30歳代では57.8%にとどまっています。

性別にみると、女性の方が男性よりも、若干「愛着は無い」との回答の割合が高くなっています。

		n	愛着がある	愛着は無い	無回答
全体		100.0%	77.5%	20.3%	2.2%
		1,109人	860人	225人	24人
居住地域	五所川原地域	100.0%	78.7%	20.0%	1.3%
		875人	689人	175人	11人
	金木地域	100.0%	77.6%	20.1%	2.3%
		174人	135人	35人	4人
	市浦地域	100.0%	67.4%	30.2%	2.3%
		43人	29人	13人	1人
年齢	20歳代	100.0%	72.0%	28.0%	0.0%
		75人	54人	21人	0人
	30歳代	100.0%	57.8%	42.2%	0.0%
		102人	59人	43人	0人
	40歳代	100.0%	69.0%	29.6%	1.4%
		142人	98人	42人	2人
	50歳代	100.0%	74.8%	22.6%	2.7%
		226人	169人	51人	6人
	60歳代	100.0%	86.0%	13.0%	1.0%
		307人	264人	40人	3人
	70歳代以上	100.0%	86.7%	11.2%	2.0%
		249人	216人	28人	5人
性別	男性	100.0%	79.9%	18.4%	1.7%
		462人	369人	85人	8人
	女性	100.0%	76.8%	22.0%	1.3%
		637人	489人	140人	8人



## 第 3 章

# 回答者の生活スタイル

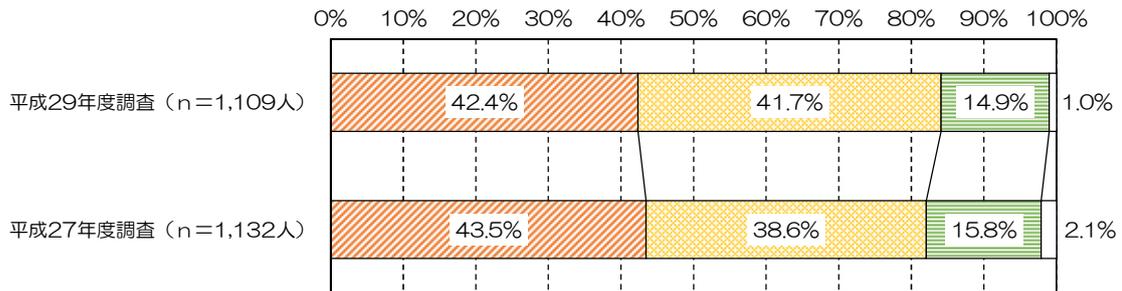


# 1 近所のつながり

ご近所とのつながりについては、全体で42.4%が大切に「している」としています。

平成27年度調査と比べると、「している」という回答の割合は減少していますが、「少し大切にしている」という回答の割合は高まっており、「している」と「少し大切にしている」を合わせた近所づきあいを大切にしているという回答の割合は高まっています。

「重視していない」という回答は、全体では14.9%でしたが、回答者の属性別にみると、五所川原地域では16.8%、20歳代では44.0%と、居住地域や年代によって近所づきあいの考え方に差異が生じています。



している
  少し大切にしている
  重視していない
  無回答

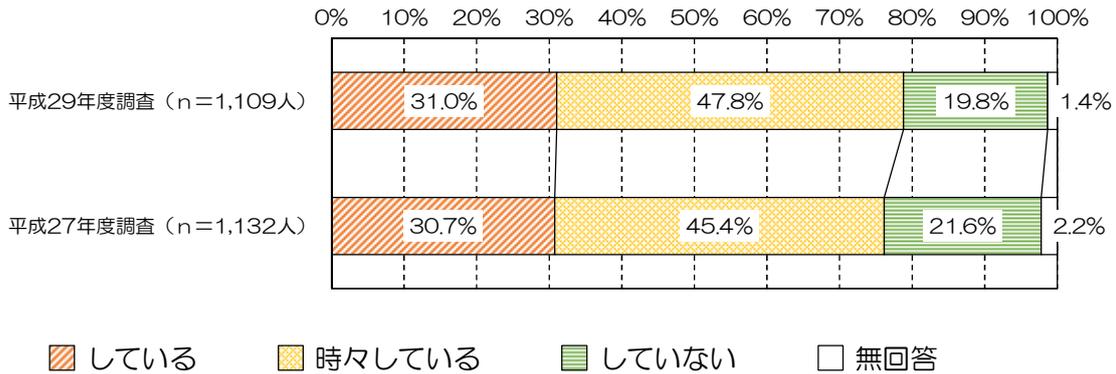
		n	している	少し大切にしている	重視していない	無回答
全体		100.0% 1,109人	42.4% 470人	41.7% 463人	14.9% 165人	1.0% 11人
居住地域	五所川原地域	100.0% 875人	40.1% 351人	42.7% 374人	16.8% 147人	0.3% 3人
	金木地域	100.0% 174人	52.3% 91人	40.8% 71人	6.9% 12人	0.0% 0人
	市浦地域	100.0% 43人	55.8% 24人	34.9% 15人	7.0% 3人	2.3% 1人
年齢	20歳代	100.0% 75人	14.7% 11人	41.3% 31人	44.0% 33人	0.0% 0人
	30歳代	100.0% 102人	23.5% 24人	51.0% 52人	25.5% 26人	0.0% 0人
	40歳代	100.0% 142人	25.4% 36人	50.0% 71人	24.6% 35人	0.0% 0人
	50歳代	100.0% 226人	33.6% 76人	50.9% 115人	15.5% 35人	0.0% 0人
	60歳代	100.0% 307人	49.8% 153人	41.0% 126人	8.5% 26人	0.7% 2人
	70歳代以上	100.0% 249人	67.9% 169人	27.3% 68人	4.0% 10人	0.8% 2人
性別	男性	100.0% 462人	46.1% 213人	38.7% 179人	14.9% 69人	0.2% 1人
	女性	100.0% 637人	40.0% 255人	44.4% 283人	15.1% 96人	0.5% 3人

## 2 健康増進

健康増進のための取組については、全体で47.8%が「時々している」としており、「している」(31.0%)とあわせると、78.8%が健康増進の取組をしているとしています。

平成27年度調査と比べると、「している」、「時々している」ともに若干割合が高まり、健康増進の取組をしている人の割合は高まっています。

回答者の属性別にみると、市浦地域では「している」という回答の割合が他の地域に比べて低く、年齢別にみると、30～40歳代で「している」との回答の割合が低くなっています。



している
  時々している
  していない
  無回答

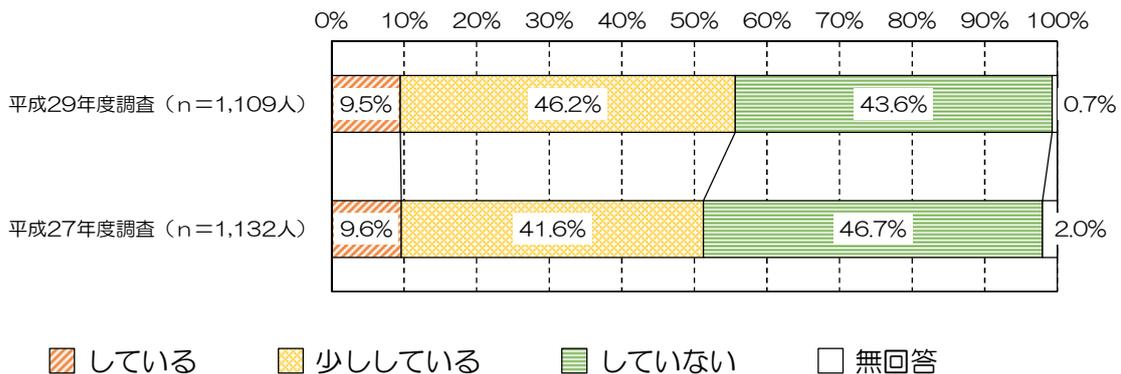
		n	している	時々している	していない	無回答
全体		100.0%	31.0%	47.8%	19.8%	1.4%
		1,109人	344人	530人	220人	15人
居住地	五所川原地域	100.0%	31.8%	47.4%	20.1%	0.7%
		875人	278人	415人	176人	6人
	金木地域	100.0%	31.0%	51.1%	17.2%	0.6%
	174人	54人	89人	30人	1人	
	市浦地域	100.0%	23.3%	51.2%	23.3%	2.3%
	43人	10人	22人	10人	1人	
年齢	20歳代	100.0%	29.3%	42.7%	28.0%	0.0%
		75人	22人	32人	21人	0人
	30歳代	100.0%	14.7%	44.1%	41.2%	0.0%
		102人	15人	45人	42人	0人
	40歳代	100.0%	19.0%	56.3%	23.9%	0.7%
		142人	27人	80人	34人	1人
	50歳代	100.0%	23.9%	48.2%	27.9%	0.0%
	226人	54人	109人	63人	0人	
	60歳代	100.0%	34.2%	52.8%	12.4%	0.7%
	307人	105人	162人	38人	2人	
	70歳代以上	100.0%	48.2%	41.0%	8.8%	2.0%
	249人	120人	102人	22人	5人	
性別	男性	100.0%	30.7%	46.5%	22.3%	0.4%
		462人	142人	215人	103人	2人
	女性	100.0%	31.6%	49.1%	18.4%	0.9%
	637人	201人	313人	117人	6人	

### 3 防災対策

防災対策を「している」回答者は9.5%ですが、「少ししている」(46.2%)とあわせると、55.7%が何らかの防災対策をしているとしています。

平成27年度調査と比べると、「している」はほぼ横ばいですが、「少ししている」は若干割合が高まっており、「している」、「少ししている」をあわせた防災対策をしている人の割合はやや高まっています。

金木地域では6割以上が防災対策をしているとしており、20歳代では「していない」が57.3%と6割近くを占めています。



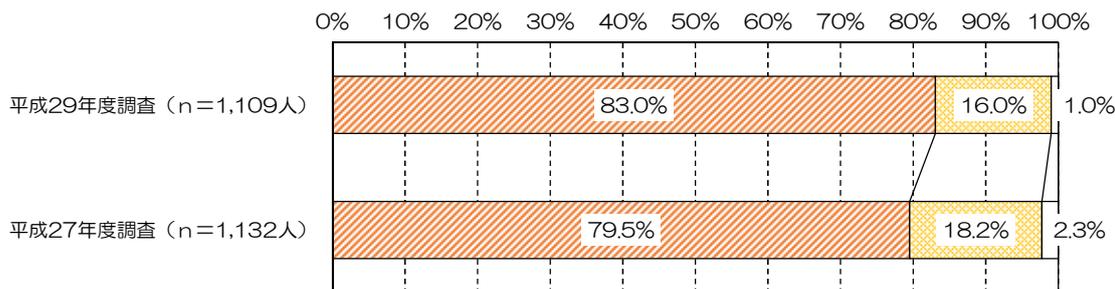
		n	している	少ししている	していない	無回答
全体		100.0%	9.5%	46.2%	43.6%	0.7%
		1,109人	105人	512人	484人	8人
居住地	五所川原地域	100.0%	9.6%	45.4%	44.9%	0.1%
		875人	84人	397人	393人	1人
	金木地域	100.0%	9.8%	51.7%	38.5%	0.0%
	174人	17人	90人	67人	0人	
	市浦地域	100.0%	7.0%	44.2%	48.8%	0.0%
	43人	3人	19人	21人	0人	
年齢	20歳代	100.0%	6.7%	36.0%	57.3%	0.0%
		75人	5人	27人	43人	0人
	30歳代	100.0%	7.8%	45.1%	47.1%	0.0%
		102人	8人	46人	48人	0人
	40歳代	100.0%	9.9%	50.0%	40.1%	0.0%
		142人	14人	71人	57人	0人
	50歳代	100.0%	6.6%	47.3%	46.0%	0.0%
	226人	15人	107人	104人	0人	
	60歳代	100.0%	8.8%	48.5%	42.7%	0.0%
	307人	27人	149人	131人	0人	
	70歳代以上	100.0%	14.5%	44.6%	40.6%	0.4%
	249人	36人	111人	101人	1人	
性別	男性	100.0%	10.0%	46.1%	43.9%	0.0%
		462人	46人	213人	203人	0人
	女性	100.0%	9.3%	46.5%	44.1%	0.2%
	637人	59人	296人	281人	1人	

## 4 相談相手

困った時の相談相手については、83.0%が「いる」としています。

平成27年度調査では「いる」が79.5%であったため、相談相手がいる人の割合は高まっています。

居住地域による差はあまりありませんが、年齢別にみると20～30歳代では相談相手がいるとの回答が9割を超えているものの、50歳代では78.8%にとどまっています。また、ひとり暮らしでは相談相手がいるとの回答が76.6%となっています。



いる
  いない
  無回答

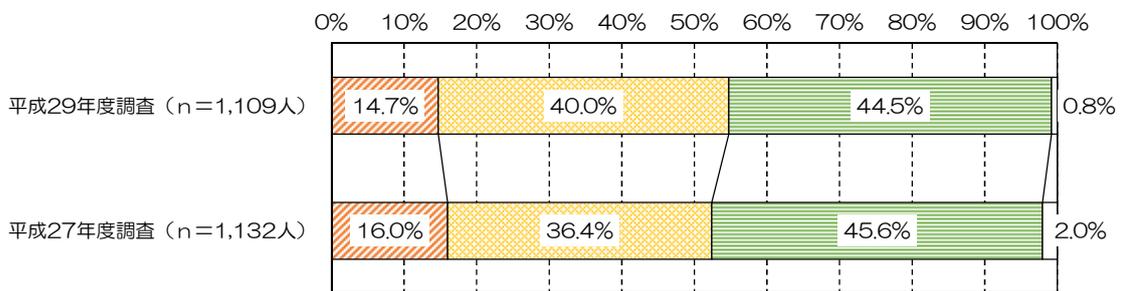
		n	いる	いない	無回答
全体		1,109人	83.0%	16.0%	1.0%
居住地域	五所川原地域	875人	83.2%	16.5%	0.3%
	金木地域	174人	85.1%	14.4%	0.6%
	市浦地域	43人	86.0%	14.0%	0.0%
年齢	20歳代	75人	92.0%	8.0%	0.0%
	30歳代	102人	92.2%	7.8%	0.0%
	40歳代	142人	83.8%	16.2%	0.0%
	50歳代	226人	78.8%	20.4%	0.9%
	60歳代	307人	81.4%	18.2%	0.3%
	70歳代以上	249人	84.3%	15.3%	0.4%
性別	男性	462人	81.4%	18.2%	0.4%
	女性	637人	85.2%	14.4%	0.3%
家族構成	ひとり暮らし	111人	76.6%	22.5%	0.9%
	夫婦のみ	281人	82.9%	16.4%	0.7%
	親と子(2世代)	480人	85.0%	15.0%	0.0%
	親と子と孫(3世代)	168人	85.7%	13.7%	0.6%
	その他	55人	80.0%	20.0%	0.0%

## 5 地域活動

地域のイベントや活動に「参加している」回答者は14.7%、「時々参加している」が40.0%となっており、あわせると半数以上が何らかの地域活動に参加しています。

平成27年度調査に比べ、「参加している」は減少しているものの、「時々参加している」は増加しており、「参加している」、「時々参加している」をあわせた参加しているとの回答の割合は若干高まっています。

居住地域別にみると、市浦地域では「参加している」との回答が18.6%と他の地域よりもやや高く、年齢別では、70歳代以上で24.1%と参加しているとの回答の割合が高くなっています。女性に比べると男性の方が「参加している」、「時々参加している」をあわせた参加しているとの回答の割合が高くなっています。



参加している
  時々参加している
  参加していない
  無回答

		n	参加している	時々参加している	参加していない	無回答
全体		100.0%	14.7%	40.0%	44.5%	0.8%
		1,109人	163人	444人	493人	9人
居住地域	五所川原地域	100.0%	15.4%	39.1%	45.3%	0.2%
		875人	135人	342人	396人	2人
	金木地域	100.0%	10.9%	46.0%	43.1%	0.0%
	174人	19人	80人	75人	0人	
	市浦地域	100.0%	18.6%	39.5%	41.9%	0.0%
	43人	8人	17人	18人	0人	
年齢	20歳代	100.0%	5.3%	36.0%	58.7%	0.0%
		75人	4人	27人	44人	0人
	30歳代	100.0%	7.8%	41.2%	51.0%	0.0%
		102人	8人	42人	52人	0人
	40歳代	100.0%	6.3%	42.3%	51.4%	0.0%
		142人	9人	60人	73人	0人
	50歳代	100.0%	13.3%	33.6%	53.1%	0.0%
	226人	30人	76人	120人	0人	
	60歳代	100.0%	16.9%	42.3%	40.4%	0.3%
	307人	52人	130人	124人	1人	
	70歳代以上	100.0%	24.1%	43.4%	32.1%	0.4%
	249人	60人	108人	80人	1人	
性別	男性	100.0%	19.0%	41.3%	39.4%	0.2%
		462人	88人	191人	182人	1人
	女性	100.0%	11.8%	39.6%	48.5%	0.2%
	637人	75人	252人	309人	1人	

「参加している」、「時々参加している」をあわせた参加しているとの回答の割合は、「生まれも育ちも五所川原市」という回答者では59.2%と6割近くを占めており、居住歴が5年未満では「参加していない」が66.7%と6割を超えています。

市への愛着がある回答者では59.7%が参加しているとしていますが、愛着は無いという回答者では、60.9%が「参加していない」としています。

		n	参加している	時々参加している	参加していない	無回答
全体		100.0%	14.7%	40.0%	44.5%	0.8%
		1,109人	163人	444人	493人	9人
居住状況	生まれも育ちも五所川原市	100.0%	15.6%	43.6%	40.8%	0.0%
		463人	72人	202人	189人	0人
	他所から五所川原市へ転居してきた	100.0%	15.4%	35.5%	48.7%	0.4%
	456人	70人	162人	222人	2人	
	五所川原市生まれだが、いったん市外で暮らしてから、五所川原市へ戻ってきた	100.0%	11.4%	42.8%	45.8%	0.0%
		166人	19人	71人	76人	0人
居住歴	5年未満	100.0%	2.2%	31.1%	66.7%	0.0%
		45人	1人	14人	30人	0人
	5年以上10年未満	100.0%	14.0%	37.2%	46.5%	2.3%
		43人	6人	16人	20人	1人
	10年以上20年未満	100.0%	13.0%	32.6%	54.3%	0.0%
		92人	12人	30人	50人	0人
	20年以上30年未満	100.0%	12.4%	31.6%	55.9%	0.0%
	177人	22人	56人	99人	0人	
	30年以上	100.0%	16.1%	44.2%	39.5%	0.1%
		694人	112人	307人	274人	1人
市への愛着	愛着がある	100.0%	16.9%	42.8%	40.2%	0.1%
		860人	145人	368人	346人	1人
	愛着は無い	100.0%	8.0%	30.7%	60.9%	0.4%
		225人	18人	69人	137人	1人

## 6 ボランティア活動

ボランティア活動に「参加している」は3.8%、「時々参加している」は9.2%で、あわせると13.0%が何らかのボランティア活動に参加しているとしていますが、86.1%は「参加していない」としています。

平成27年度調査では「参加していない」が85.9%で、参加していない人の割合はやや高まっていますが、「参加している」と「時々参加している」をあわせた参加している人の割合も若干ではあるものが高くなっています。

「参加している」と「時々参加している」をあわせた参加している人の割合は、五所川原地域と金木地域では1割を超えているものの、市浦地域では9.4%となっています。

また、年齢別にみると、70歳代以上では22.5%と他の年代よりも高い割合となっています。



参加している
  時々参加している
  参加していない
  無回答

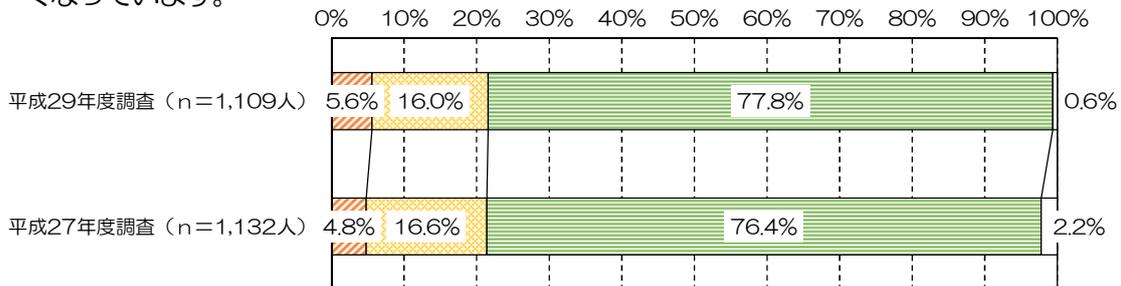
		n	参加している	時々参加している	参加していない	無回答
全体		100.0%	3.8%	9.2%	86.1%	0.9%
		1,109人	42人	102人	955人	10人
居住地	五所川原地域	100.0%	4.1%	9.4%	86.4%	0.1%
		875人	36人	82人	756人	1人
	金木地域	100.0%	2.3%	10.3%	86.8%	0.6%
		174人	4人	18人	151人	1人
	市浦地域	100.0%	4.7%	4.7%	88.4%	2.3%
		43人	2人	2人	38人	1人
年齢	20歳代	100.0%	2.7%	9.3%	88.0%	0.0%
		75人	2人	7人	66人	0人
	30歳代	100.0%	2.0%	7.8%	90.2%	0.0%
		102人	2人	8人	92人	0人
	40歳代	100.0%	1.4%	7.7%	90.8%	0.0%
		142人	2人	11人	129人	0人
	50歳代	100.0%	3.1%	5.8%	91.2%	0.0%
	226人	7人	13人	206人	0人	
	60歳代	100.0%	2.6%	9.1%	87.9%	0.3%
		307人	8人	28人	270人	1人
	70歳代以上	100.0%	8.4%	14.1%	76.7%	0.8%
		249人	21人	35人	191人	2人
性別	男性	100.0%	5.0%	11.7%	83.1%	0.2%
		462人	23人	54人	384人	1人
	女性	100.0%	3.0%	7.5%	89.2%	0.3%
		637人	19人	48人	568人	2人
市への愛着	愛着がある	100.0%	3.8%	9.8%	86.3%	0.1%
		860人	33人	84人	742人	1人
	愛着は無い	100.0%	4.0%	7.6%	87.6%	0.9%
		225人	9人	17人	197人	2人

## 7 公共交通の利用状況

公共交通を日常的に「利用している」のは5.6%で、「時々利用している」(16.0%)とあわせると、21.6%が公共交通を利用しているとしています。

平成27年度調査と比べると、「利用している」と「時々利用している」をあわせた公共交通を利用しているとの回答はほぼ横ばいですが、「利用していない」との回答の割合は若干増加しています。

五所川原地域では公共交通を利用しているとの回答が22.5%と他の地域よりも割合が高く、20歳代と70歳代以上では3割以上となっています。また、男性よりも女性の方が割合が高くなっています。



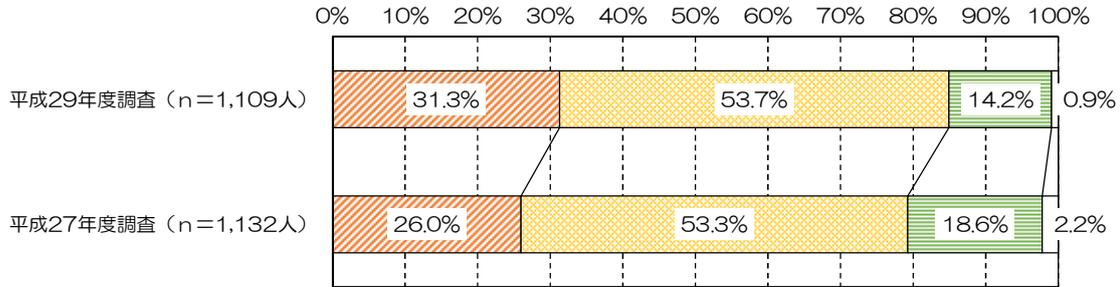
利用している
  時々利用している
  利用していない
  無回答

		n	利用している	時々利用している	利用していない	無回答
全体		100.0%	5.6%	16.0%	77.8%	0.6%
		1,109人	62人	177人	863人	7人
居住地域	五所川原地域	100.0%	6.6%	15.9%	77.5%	0.0%
		875人	58人	139人	678人	0人
	金木地域	100.0%	2.3%	16.7%	81.0%	0.0%
		174人	4人	29人	141人	0人
市浦地域	100.0%	0.0%	14.0%	86.0%	0.0%	
	43人	0人	6人	37人	0人	
年齢	20歳代	100.0%	13.3%	17.3%	69.3%	0.0%
		75人	10人	13人	52人	0人
	30歳代	100.0%	4.9%	10.8%	84.3%	0.0%
		102人	5人	11人	86人	0人
	40歳代	100.0%	3.5%	6.3%	90.1%	0.0%
		142人	5人	9人	128人	0人
50歳代	100.0%	2.7%	12.8%	84.5%	0.0%	
	226人	6人	29人	191人	0人	
	60歳代	100.0%	3.6%	20.8%	75.6%	0.0%
	307人	11人	64人	232人	0人	
70歳代以上	100.0%	10.0%	20.5%	69.5%	0.0%	
	249人	25人	51人	173人	0人	
性別	男性	100.0%	3.2%	13.6%	83.1%	0.0%
		462人	15人	63人	384人	0人
	女性	100.0%	7.4%	17.7%	74.9%	0.0%
		637人	47人	113人	477人	0人
通勤・通学先	市内	100.0%	4.6%	13.2%	82.2%	0.0%
		394人	18人	52人	324人	0人
	市外	100.0%	5.9%	13.2%	81.0%	0.0%
		205人	12人	27人	166人	0人
なし	100.0%	5.2%	17.6%	77.1%	0.0%	
	363人	19人	64人	280人	0人	

## 8 省エネやリサイクル

省エネルギーやリサイクルに「取り組んでいる」は31.3%、「少し取り組んでいる」は53.7%で、ともに平成27年度調査よりも回答の割合が高くなっています。

居住地域別では金木地域で89.1%と取り組んでいるとの回答の割合が高く、年齢的には40歳代以上で取り組んでいるという回答が8割を超えています。



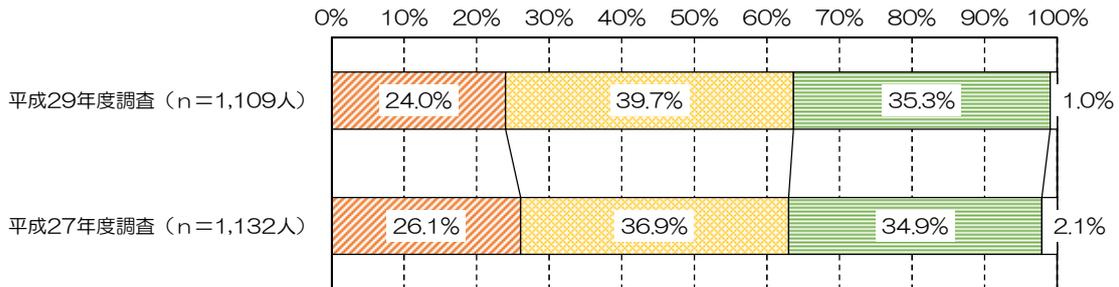
取り組んでいる
  少し取り組んでいる
  取り組んでいない
  無回答

		n	取り組んでいる	少し取り組んでいる	取り組んでいない	無回答
全体		100.0% 1,109人	31.3% 347人	53.7% 595人	14.2% 157人	0.9% 10人
居住地域	五所川原地域	100.0% 875人	30.9% 270人	54.3% 475人	14.5% 127人	0.3% 3人
	金木地域	100.0% 174人	36.2% 63人	52.9% 92人	10.9% 19人	0.0% 0人
	市浦地域	100.0% 43人	30.2% 13人	48.8% 21人	20.9% 9人	0.0% 0人
年齢	20歳代	100.0% 75人	25.3% 19人	50.7% 38人	24.0% 18人	0.0% 0人
	30歳代	100.0% 102人	23.5% 24人	51.0% 52人	25.5% 26人	0.0% 0人
	40歳代	100.0% 142人	25.4% 36人	55.6% 79人	19.0% 27人	0.0% 0人
	50歳代	100.0% 226人	24.3% 55人	64.2% 145人	11.5% 26人	0.0% 0人
	60歳代	100.0% 307人	32.6% 100人	55.4% 170人	11.7% 36人	0.3% 1人
	70歳代以上	100.0% 249人	45.4% 113人	44.2% 110人	9.6% 24人	0.8% 2人
性別	男性	100.0% 462人	27.3% 126人	56.5% 261人	16.0% 74人	0.2% 1人
	女性	100.0% 637人	34.5% 220人	52.1% 332人	13.0% 83人	0.3% 2人

## 9 趣味等

趣味等に対しては、24.0%が「取り組んでいる」としており、平成27年度調査よりも回答の割合が減少していますが、「少し取り組んでいる」は39.7%と平成27年度調査よりも回答割合が高まっており、あわせると趣味等に取り組んでいる人の割合は若干高まっています。

年齢的には20歳代で80.0%、70歳代以上で70.6%となっていますが、40～50歳代では5割台にとどまっています。



取り組んでいる
  少し取り組んでいる
  取り組んでいない
  無回答

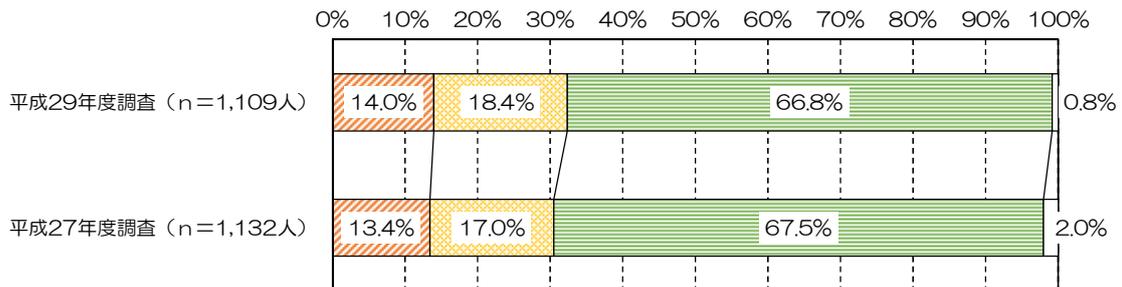
		n	取り組んでいる	少し取り組んでいる	取り組んでいない	無回答
全体		100.0%	24.0%	39.7%	35.3%	1.0%
		1,109人	266人	440人	392人	11人
居住地域	五所川原地域	100.0%	24.8%	39.1%	35.7%	0.5%
		875人	217人	342人	312人	4人
	金木地域	100.0%	24.1%	41.4%	34.5%	0.0%
	174人	42人	72人	60人	0人	
	市浦地域	100.0%	14.0%	48.8%	37.2%	0.0%
	43人	6人	21人	16人	0人	
年齢	20歳代	100.0%	38.7%	41.3%	20.0%	0.0%
		75人	29人	31人	15人	0人
	30歳代	100.0%	21.6%	39.2%	39.2%	0.0%
		102人	22人	40人	40人	0人
	40歳代	100.0%	19.0%	35.2%	45.8%	0.0%
		142人	27人	50人	65人	0人
	50歳代	100.0%	12.8%	42.9%	44.2%	0.0%
	226人	29人	97人	100人	0人	
	60歳代	100.0%	23.5%	43.3%	32.6%	0.7%
	307人	72人	133人	100人	2人	
	70歳代以上	100.0%	34.9%	35.7%	28.5%	0.8%
	249人	87人	89人	71人	2人	
性別	男性	100.0%	27.5%	43.7%	28.6%	0.2%
		462人	127人	202人	132人	1人
	女性	100.0%	21.8%	37.0%	40.7%	0.5%
	637人	139人	236人	259人	3人	

## 10 運動習慣

スポーツを「している(週1回以上)」(14.0%)、「時々している(月1回以上)」(18.4%)との回答はともに平成27年度調査よりも割合が上昇しており、あわせると32.4%がスポーツ等を行っているとしています。

居住地域別にみると、金木地域ではスポーツ等を行っているとの回答は24.7%にとどまり、年齢的には30～60歳代では3割前後とスポーツ等を行っているとの回答がやや低くなっています。

女性に比べると男性の方がスポーツ等を行っている割合が高くなっています。



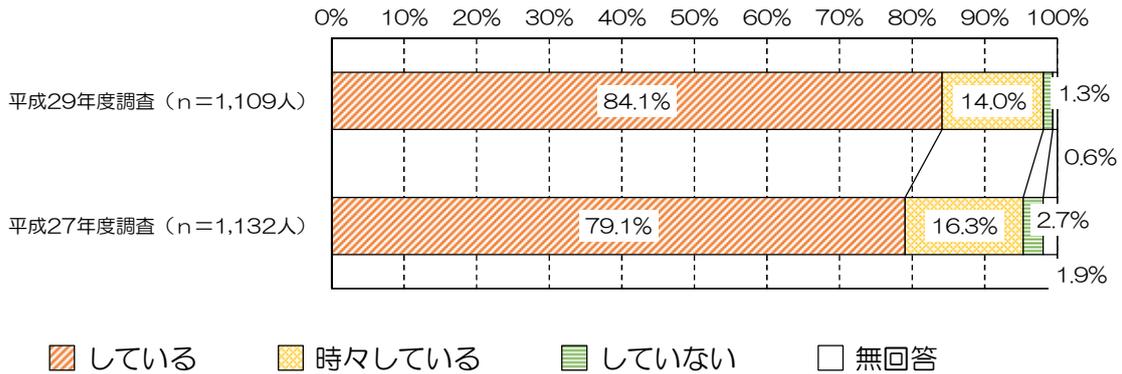
している(週1回以上)
 
 時々している(月1回以上)
 
 していない
 
 無回答

		n	している (週1回以上)	時々している (月1回以上)	していない	無回答
全体		100.0%	14.0%	18.4%	66.8%	0.8%
		1,109人	155人	204人	741人	9人
居住地域	五所川原地域	100.0%	14.7%	19.7%	65.4%	0.2%
		875人	129人	172人	572人	2人
	金木地域	100.0%	10.9%	13.8%	75.3%	0.0%
		174人	19人	24人	131人	0人
市浦地域	100.0%	16.3%	16.3%	67.4%	0.0%	
	43人	7人	7人	29人	0人	
年齢	20歳代	100.0%	18.7%	30.7%	50.7%	0.0%
		75人	14人	23人	38人	0人
	30歳代	100.0%	6.9%	20.6%	72.5%	0.0%
		102人	7人	21人	74人	0人
	40歳代	100.0%	9.9%	22.5%	67.6%	0.0%
		142人	14人	32人	96人	0人
	50歳代	100.0%	11.9%	16.4%	71.7%	0.0%
226人		27人	37人	162人	0人	
60歳代	100.0%	13.7%	15.0%	71.3%	0.0%	
	307人	42人	46人	219人	0人	
70歳代以上	100.0%	20.5%	18.1%	60.6%	0.8%	
	249人	51人	45人	151人	2人	
性別	男性	100.0%	16.7%	24.5%	58.7%	0.2%
		462人	77人	113人	271人	1人
	女性	100.0%	11.9%	14.3%	73.6%	0.2%
	637人	76人	91人	469人	1人	

# 11 市内での買い物

84.1%は日ごろ市内で買い物を「している」としており、平成27年度調査よりも回答の割合は高まっています。

市浦地域では「している」が76.7%で割合がやや低く、女性よりも男性の方が「している」という回答の割合が低くなっています。通勤・通学先についてみると、市内に通勤・通学している回答者よりも、市外に通勤・通学している回答者の方が「している」という回答が低くなっています。



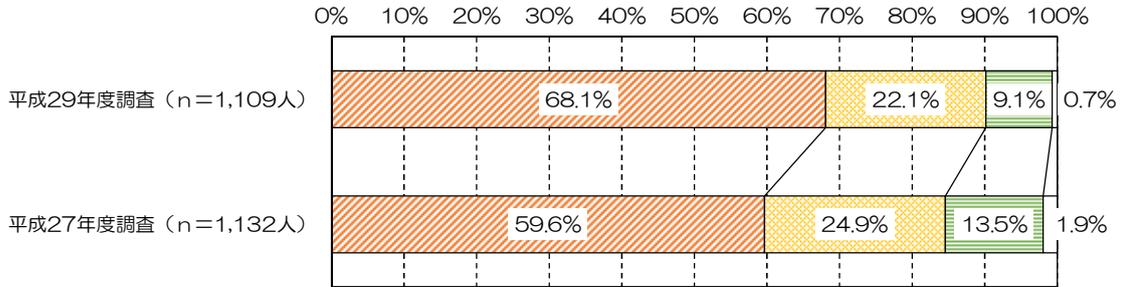
している
  時々している
  していない
  無回答

		n	している	時々している	していない	無回答
全体		100.0%	84.1%	14.0%	1.3%	0.6%
		1,109人	933人	155人	14人	7人
居住地	五所川原地域	100.0%	84.8%	13.9%	1.3%	0.0%
		875人	742人	122人	11人	0人
	金木地域	100.0%	86.2%	13.2%	0.6%	0.0%
	174人	150人	23人	1人	0人	
	市浦地域	100.0%	76.7%	18.6%	4.7%	0.0%
	43人	33人	8人	2人	0人	
年齢	20歳代	100.0%	78.7%	20.0%	1.3%	0.0%
		75人	59人	15人	1人	0人
	30歳代	100.0%	83.3%	14.7%	2.0%	0.0%
		102人	85人	15人	2人	0人
	40歳代	100.0%	83.8%	16.2%	0.0%	0.0%
		142人	119人	23人	0人	0人
	50歳代	100.0%	82.7%	16.4%	0.9%	0.0%
	226人	187人	37人	2人	0人	
	60歳代	100.0%	87.9%	10.7%	1.3%	0.0%
	307人	270人	33人	4人	0人	
	70歳代以上	100.0%	85.5%	12.4%	2.0%	0.0%
	249人	213人	31人	5人	0人	
性別	男性	100.0%	79.0%	19.3%	1.7%	0.0%
		462人	365人	89人	8人	0人
	女性	100.0%	88.9%	10.2%	0.9%	0.0%
	637人	566人	65人	6人	0人	
通勤・通学先	市内	100.0%	89.1%	10.4%	0.5%	0.0%
		394人	351人	41人	2人	0人
	市外	100.0%	72.7%	25.4%	2.0%	0.0%
	205人	149人	52人	4人	0人	
	なし	100.0%	86.2%	11.8%	1.9%	0.0%
	363人	313人	43人	7人	0人	

## 12 市広報の閲覧状況

市の広報を「読んでいる」とするのは68.1%で、平成27年度調査の59.6%よりも割合は高まっています。

年齢的には20歳代で20.0%と「読んでいる」との回答が特に低く、60歳代以上では「読んでいる」との回答の割合が特に高くなっています。



読んでいる
  時々読んでいる
  読んでいない
  無回答

		n	読んでいる	時々読んでいる	読んでいない	無回答
全体		100.0%	68.1%	22.1%	9.1%	0.7%
		1,109人	755人	245人	101人	8人
居住地域	五所川原地域	100.0%	69.3%	21.6%	9.0%	0.1%
		875人	606人	189人	79人	1人
	金木地域	100.0%	67.8%	24.1%	8.0%	0.0%
	174人	118人	42人	14人	0人	
	市浦地域	100.0%	62.8%	25.6%	11.6%	0.0%
	43人	27人	11人	5人	0人	
年齢	20歳代	100.0%	20.0%	48.0%	32.0%	0.0%
		75人	15人	36人	24人	0人
	30歳代	100.0%	46.1%	31.4%	22.5%	0.0%
		102人	47人	32人	23人	0人
	40歳代	100.0%	68.3%	19.0%	12.7%	0.0%
		142人	97人	27人	18人	0人
	50歳代	100.0%	66.4%	25.7%	7.5%	0.4%
	226人	150人	58人	17人	1人	
	60歳代	100.0%	75.9%	19.5%	4.6%	0.0%
	307人	233人	60人	14人	0人	
	70歳代以上	100.0%	85.1%	12.9%	2.0%	0.0%
	249人	212人	32人	5人	0人	
性別	男性	100.0%	61.5%	26.8%	11.7%	0.0%
		462人	284人	124人	54人	0人
	女性	100.0%	73.5%	19.0%	7.4%	0.2%
	637人	468人	121人	47人	1人	

「読んでいる」との回答は、居住状況別にみると「他所から五所川原市へ転居してきた」(73.2%)、居住歴別にみると「30年以上」(73.8%)、市への愛着別では「愛着がある」(72.1%)といった回答者で7割を超えて高い割合となっています。

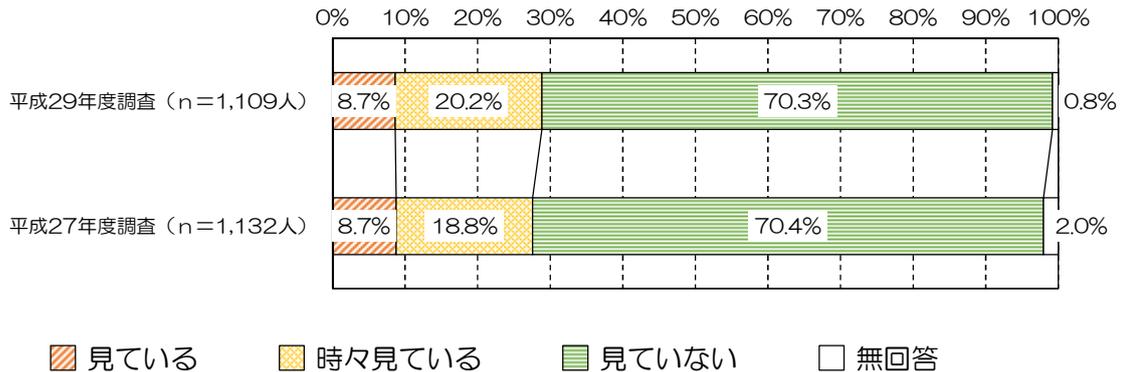
		n	読んでいる	時々読んでいる	読んでいない	無回答
全体		100.0% 1,109人	68.1% 755人	22.1% 245人	9.1% 101人	0.7% 8人
居住状況	生まれも育ちも五所川原市	100.0% 463人	67.2% 311人	20.7% 96人	12.1% 56人	0.0% 0人
	他所から五所川原市へ転居してきた	100.0% 456人	73.2% 334人	20.2% 92人	6.4% 29人	0.2% 1人
	五所川原市生まれだが、いったん市外で暮らしてから、五所川原市へ戻ってきた	100.0% 166人	58.4% 97人	32.5% 54人	9.0% 15人	0.0% 0人
居住歴	5年未満	100.0% 45人	55.6% 25人	26.7% 12人	17.8% 8人	0.0% 0人
	5年以上 10年未満	100.0% 43人	72.1% 31人	18.6% 8人	9.3% 4人	0.0% 0人
	10年以上 20年未満	100.0% 92人	60.9% 56人	29.3% 27人	9.8% 9人	0.0% 0人
	20年以上 30年未満	100.0% 177人	51.4% 91人	32.2% 57人	15.8% 28人	0.6% 1人
	30年以上	100.0% 694人	73.8% 512人	19.2% 133人	7.1% 49人	0.0% 0人
	市への愛着	愛着がある	100.0% 860人	72.1% 620人	19.8% 170人	8.1% 70人
	愛着は無い	100.0% 225人	55.1% 124人	30.7% 69人	13.8% 31人	0.4% 1人

## 13 市ホームページの閲覧状況

市のホームページを「見ている」という回答は8.7%、「時々見ている」は20.2%で、あわせると28.9%が市ホームページを見ているとしています。

市ホームページの閲覧状況は平成27年度調査とほぼ同様となっています。

市ホームページを見ているという回答は金木地域が33.9%で高く、市浦地域が21.0%で低くなっています。年齢別では20～30歳代と60歳代で見ているとの回答の割合が低くなっています。



■ 見ている     
 ■ 時々見ている     
 ■ 見ていない     
 □ 無回答

		n	見ている	時々見ている	見ていない	無回答
全体		100.0%	8.7%	20.2%	70.3%	0.8%
		1,109人	96人	224人	780人	9人
居住地域	五所川原地域	100.0%	8.9%	19.8%	71.3%	0.0%
		875人	78人	173人	624人	0人
	金木地域	100.0%	9.2%	24.7%	65.5%	0.6%
	174人	16人	43人	114人	1人	
	市浦地域	100.0%	4.7%	16.3%	76.7%	2.3%
	43人	2人	7人	33人	1人	
年齢	20歳代	100.0%	1.3%	21.3%	77.3%	0.0%
		75人	1人	16人	58人	0人
	30歳代	100.0%	3.9%	22.5%	73.5%	0.0%
		102人	4人	23人	75人	0人
	40歳代	100.0%	4.2%	34.5%	61.3%	0.0%
		142人	6人	49人	87人	0人
	50歳代	100.0%	7.1%	19.0%	73.9%	0.0%
	226人	16人	43人	167人	0人	
	60歳代	100.0%	8.1%	15.6%	76.2%	0.0%
	307人	25人	48人	234人	0人	
	70歳代以上	100.0%	17.7%	18.1%	63.5%	0.8%
	249人	44人	45人	158人	2人	
性別	男性	100.0%	10.0%	19.3%	70.8%	0.0%
		462人	46人	89人	327人	0人
	女性	100.0%	7.7%	21.0%	71.0%	0.3%
	637人	49人	134人	452人	2人	

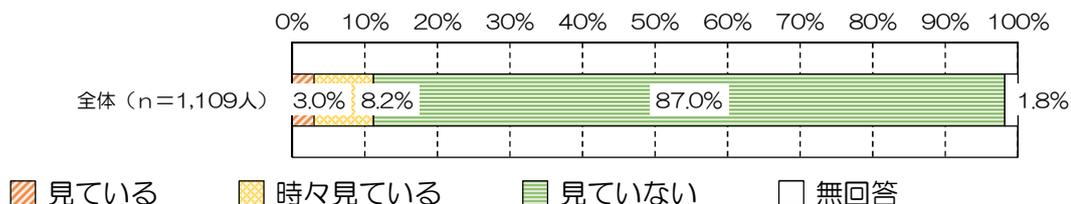
居住歴別にみると、市ホームページを「見ている」、「時々見ている」という回答は、5年未満では40.0%と4割を占めていますが、30年以上では28.6%となっており、居住歴が短い回答者の方が市ホームページを見ているという回答の割合が高くなっています。

		n	見ている	時々見ている	見ていない	無回答
全体		100.0% 1,109人	8.7% 96人	20.2% 224人	70.3% 780人	0.8% 9人
居住状況	生まれも育ちも五所川原市	100.0% 463人	9.7% 45人	19.4% 90人	70.6% 327人	0.2% 1人
	他所から五所川原市へ転居してきた	100.0% 456人	7.9% 36人	19.7% 90人	72.4% 330人	0.0% 0人
	五所川原市生まれだが、いったん市外で暮らしてから、五所川原市へ戻ってきた	100.0% 166人	7.8% 13人	24.1% 40人	68.1% 113人	0.0% 0人
居住歴	5年未満	100.0% 45人	11.1% 5人	28.9% 13人	60.0% 27人	0.0% 0人
	5年以上10年未満	100.0% 43人	4.7% 2人	25.6% 11人	69.8% 30人	0.0% 0人
	10年以上20年未満	100.0% 92人	3.3% 3人	29.3% 27人	67.4% 62人	0.0% 0人
	20年以上30年未満	100.0% 177人	5.6% 10人	19.8% 35人	74.6% 132人	0.0% 0人
	30年以上	100.0% 694人	10.2% 71人	18.4% 128人	71.0% 493人	0.3% 2人
市への愛着	愛着がある	100.0% 860人	9.7% 83人	19.9% 171人	70.3% 605人	0.1% 1人
	愛着は無い	100.0% 225人	4.9% 11人	23.1% 52人	71.6% 161人	0.4% 1人

## 14 市SNSの閲覧状況

市のSNSを「見ている」のは3.0%、「時々見ている」は8.2%で、あわせても11.2%しか市SNSを見ているという回答はありませんでした。

年齢別にみると、70歳代以上では市SNSを見ているという回答が24.5%と特に割合が高くなっています。



		n	見ている	時々見ている	見ていない	無回答
全体		100.0% 1,109人	3.0% 33人	8.2% 91人	87.0% 965人	1.8% 20人
居住地域	五所川原地域	100.0% 875人	2.6% 23人	8.2% 72人	88.2% 772人	0.9% 8人
	金木地域	100.0% 174人	5.7% 10人	9.2% 16人	83.9% 146人	1.1% 2人
	市浦地域	100.0% 43人	0.0% 0人	4.7% 2人	88.4% 38人	7.0% 3人
年齢	20歳代	100.0% 75人	0.0% 0人	5.3% 4人	94.7% 71人	0.0% 0人
	30歳代	100.0% 102人	2.0% 2人	2.9% 3人	95.1% 97人	0.0% 0人
	40歳代	100.0% 142人	0.0% 0人	9.2% 13人	90.8% 129人	0.0% 0人
	50歳代	100.0% 226人	0.9% 2人	4.4% 10人	94.7% 214人	0.0% 0人
	60歳代	100.0% 307人	1.6% 5人	7.8% 24人	89.3% 274人	1.3% 4人
	70歳代以上	100.0% 249人	9.6% 24人	14.9% 37人	71.9% 179人	3.6% 9人
性別	男性	100.0% 462人	3.0% 14人	9.1% 42人	86.8% 401人	1.1% 5人
	女性	100.0% 637人	2.8% 18人	7.5% 48人	88.4% 563人	1.3% 8人

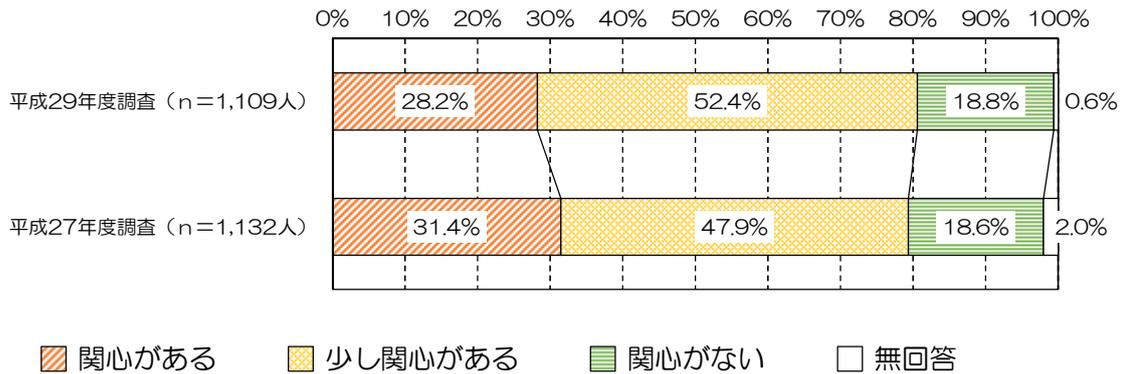
居住歴別にみると、居住歴が長いほど市SNSを見ている（「見ている」、「時々見ている」という回答の割合が高く、30年以上では13.3%となっています。また市に対する愛着がある回答者の方が愛着は無いという回答者よりも市SNSを見ているという回答の割合が高くなっています。

		n	見ている	時々見ている	見ていない	無回答
全体		100.0%	3.0%	8.2%	87.0%	1.8%
		1,109人	33人	91人	965人	20人
居住状況	生まれも育ちも五所川原市	100.0%	3.7%	8.0%	87.0%	1.3%
		463人	17人	37人	403人	6人
	他所から五所川原市へ転居してきた	100.0%	2.6%	8.8%	87.9%	0.7%
	456人	12人	40人	401人	3人	
	五所川原市生まれだが、いったん市外で暮らしてから、五所川原市へ戻ってきた	100.0%	1.2%	7.2%	90.4%	1.2%
	166人	2人	12人	150人	2人	
居住歴	5年未満	100.0%	2.2%	4.4%	93.3%	0.0%
		45人	1人	2人	42人	0人
	5年以上10年未満	100.0%	0.0%	4.7%	95.3%	0.0%
		43人	0人	2人	41人	0人
	10年以上20年未満	100.0%	0.0%	6.5%	92.4%	1.1%
	92人	0人	6人	85人	1人	
	20年以上30年未満	100.0%	1.1%	8.5%	89.8%	0.6%
	177人	2人	15人	159人	1人	
	30年以上	100.0%	3.9%	9.4%	85.4%	1.3%
	694人	27人	65人	593人	9人	
市への愛着	愛着がある	100.0%	3.4%	8.8%	86.6%	1.2%
		860人	29人	76人	745人	10人
	愛着は無い	100.0%	1.3%	6.2%	91.1%	1.3%
	225人	3人	14人	205人	3人	

# 15 市政への関心

市のまちづくりの取組や財政状況に対して「関心がある」は28.2%で、平成27年度調査に比べ、回答の割合はやや減少していますが、「少し関心がある」は52.4%と、平成27年度調査よりも割合は増加しており、あわせると市政に関心があるとの回答は80.6%で、関心があるとの回答は若干高まっています。

居住地域別にみると、市浦地域では69.8%と関心があるとの回答の割合が低く、年齢別では20歳代で58.6%と特に低くなっています。



■ 関心がある    
 ■ 少し関心がある    
 ■ 関心がない    
 □ 無回答

		n	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体		100.0%	28.2%	52.4%	18.8%	0.6%
		1,109人	313人	581人	208人	7人
居住地域	五所川原地域	100.0%	27.5%	54.2%	18.3%	0.0%
		875人	241人	474人	160人	0人
	金木地域	100.0%	34.5%	47.1%	18.4%	0.0%
	174人	60人	82人	32人	0人	
	市浦地域	100.0%	23.3%	46.5%	30.2%	0.0%
	43人	10人	20人	13人	0人	
年齢	20歳代	100.0%	13.3%	45.3%	41.3%	0.0%
		75人	10人	34人	31人	0人
	30歳代	100.0%	23.5%	52.9%	23.5%	0.0%
		102人	24人	54人	24人	0人
	40歳代	100.0%	18.3%	56.3%	25.4%	0.0%
		142人	26人	80人	36人	0人
	50歳代	100.0%	22.1%	58.4%	19.5%	0.0%
	226人	50人	132人	44人	0人	
	60歳代	100.0%	30.3%	55.0%	14.7%	0.0%
	307人	93人	169人	45人	0人	
	70歳代以上	100.0%	44.2%	45.0%	10.8%	0.0%
	249人	110人	112人	27人	0人	
性別	男性	100.0%	36.4%	46.8%	16.9%	0.0%
		462人	168人	216人	78人	0人
	女性	100.0%	22.6%	57.1%	20.3%	0.0%
	637人	144人	364人	129人	0人	

市政に関して関心がある（「関心がある」、「少し関心がある」）との回答は、おおむね居住歴が長いほど割合が高く、30年以上では84.7%となっています。

また、市に愛着がある回答者では市政に関心があるとの回答が86.9%ですが、愛着は無いという回答者では60.5%にとどまっています。

		n	関心がある	少し関心がある	関心がない	無回答
全体		100.0% 1,109人	28.2% 313人	52.4% 581人	18.8% 208人	0.6% 7人
居住状況	生まれも育ちも五所川原市	100.0% 463人	29.6% 137人	52.5% 243人	17.9% 83人	0.0% 0人
	他所から五所川原市へ転居してきた	100.0% 456人	27.4% 125人	52.9% 241人	19.7% 90人	0.0% 0人
	五所川原市生まれだが、いったん市外で暮らしてから、五所川原市へ戻ってきた	100.0% 166人	28.9% 48人	52.4% 87人	18.7% 31人	0.0% 0人
居住歴	5年未満	100.0% 45人	8.9% 4人	62.2% 28人	28.9% 13人	0.0% 0人
	5年以上 10年未満	100.0% 43人	27.9% 12人	48.8% 21人	23.3% 10人	0.0% 0人
	10年以上 20年未満	100.0% 92人	28.3% 26人	48.9% 45人	22.8% 21人	0.0% 0人
	20年以上 30年未満	100.0% 177人	21.5% 38人	52.0% 92人	26.6% 47人	0.0% 0人
	30年以上	100.0% 694人	31.8% 221人	52.9% 367人	15.3% 106人	0.0% 0人
市への愛着	愛着がある	100.0% 860人	32.2% 277人	54.7% 470人	13.1% 113人	0.0% 0人
	愛着は無い	100.0% 225人	14.7% 33人	45.8% 103人	39.6% 89人	0.0% 0人

# 第 4 章

## 施策評価



# 1 分析における留意事項

## (1) 施策名の表記

(1)～(43)の施策名については、下記の簡易表示で整理しています。

	選択肢の表現	簡易表示
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(1) 農林水産業の生産基盤が整備され、担い手が確保されていること	農林水産業の振興
	(2) 農林水産物のブランド化や6次産業化が推進され、農林水産業を通じた交流が図られていること	競争力の高い産業づくりの推進
	(3) 地域の特色を活かした取組・イベント等の支援により、魅力ある商店街が形成されていること	魅力ある商店街の形成
	(4) 地域資源を活用した新たな産業の育成など、地域経済の活性化が図られていること	新産業の育成と地域経済活性化
	(5) 企業誘致の推進などにより、工業の振興が図られていること	企業誘致による工業の振興
	(6) 観光客の増加により、地域の観光産業が発展すること	観光振興による活性化
	(7) 職業能力を開発したり、働く場所を増やしたりすること	雇用対策の推進
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(8) こころと体の健康づくりへの取組が行われ、健康への関心が高まること	健康づくりの推進
	(9) 病気になっても、診療体制が充実しており安心して病院に行けること	診療体制の充実
	(10) 結婚を希望する男女への出会いの場創出など、結婚への支援があること	結婚希望者への支援
	(11) 安心して子どもを産み、健やかに育てることができること	子育て支援の充実
	(12) 地域全体で支え合い、安心して地域で暮らしていけること	地域福祉の推進
	(13) 高齢者が生きがいを持ち、安心して生活できる環境が整っていること	高齢者福祉の充実
	(14) 障がいを持つ方が将来的に自立した生活を送ることができるような福祉サービスや相談体制が整っていること	障がい者福祉の充実
	(15) 生活困窮者の相談体制が整い、就労を支援し生活保護が適正に運営されること	生活困窮者福祉の推進
	(16) 介護・医療など社会保険制度が、適正に運営されること	社会保険制度の適正運営
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(17) 小中学校において、安全な施設環境と充実した教育環境が整備されていること	快適な学習環境の整備
	(18) 生涯にわたって興味のあることを学んだり、取り組める環境や機会があること	生涯学習の機会創出
	(19) 地域ぐるみで学校運営を支援する体制が整備されていること	地域ぐるみでの学校運営支援
	(20) 誰でも気軽にスポーツに親しめる環境や機会があること	スポーツ活動の機会創出
	(21) 市民によって地域の伝統が受け継がれるとともに、文化活動が盛んであること	芸術文化活動の振興
命と生活を守る安全・安心づくり	(22) 災害が起きても対応できる体制が整備されていること	災害に対応できる体制整備
	(23) 空き家対策が適切に進められていること	空き家対策の推進
	(24) 消防・救急並びに交通安全・防犯に関する体制、環境が整っていること	消防・救急・交通・防犯体制の整備
	(25) 消費生活に関する苦情や被害などの相談体制が整備されていること	消費者の安全安心の確保
	(26) 虐待や暴力、いじめについて、相談体制が整っていること	人権擁護の推進
快適で質の高い環境・住まいづくり	(27) 道路がよく整備されていて、安全で快適に移動できること	安全で快適な道路の整備
	(28) バスや鉄道などの公共交通手段が利用しやすいこと	公共交通の利便性
	(29) 中心市街地を整備することによって市の顔である“まち”が活性化すること	中心市街地整備による活性化
	(30) 公共施設（病院・福祉施設など）が誰でも使いやすいユニバーサルデザイン化されていること	公共施設のユニバーサルデザイン化
	(31) 道路の除雪が適切に行われ、安全に通行できること	雪対策の推進
	(32) 市営住宅が整備されていること	快適な市営住宅の整備
	(33) 公園がよく整備されていて、誰でも利用しやすいこと	利用しやすい公園整備
	(34) 下水・し尿処理やごみ収集などがきちんと行われ、衛生的な環境が整っていること	衛生的な居住環境の整備
	(35) 省エネルギー対策や新エネルギーの導入による地球温暖化防止対策が積極的に進められていること	省エネ推進・新エネ導入
共にすすめる持続可能なまちづくり	(36) 知りたい市役所の情報を手に入れやすいこと	広報広聴活動の推進
	(37) 町内会などによるコミュニティ活動が積極的に行われていること	積極的なコミュニティ活動
	(38) 市民団体等の主体的な活動を支援するなど、住民と行政との協働によってまちづくりが進められていること	住民協働によるまちづくり
	(39) 男女の性別に関係なく、お互いを尊重し合う社会であること	男女共同参画意識の醸成
	(40) 市民が満足できるような効率的な行政サービスが行われていること	快い行政サービスの実施
	(41) 市の財政基盤が安定していること	財政基盤の安定
	(42) 市外からの移住や、定住促進など、住んでみたい・住み続けたいまちづくりが進められていること	移住定住促進施策の推進
	(43) 周辺市町村と力を合わせて、よりよい行政サービスが行われていること	広域行政の推進

## (2) 満足度・重要度等の指数化について

---

満足度と重要度については、調査票への回答を以下のように得点化して、平均点を算出して分析を行っています。

### 【満足度指数】

「満足している」	=5点
「どちらかといえば満足している」	=4点
「ふつう」	=3点
「やや不満である」	=2点
「不満である」	=1点

### 【重要度指数】

「重要である」	=5点
「やや重要である」	=4点
「ふつう」	=3点
「あまり重要ではない」	=2点
「重要ではない」	=1点

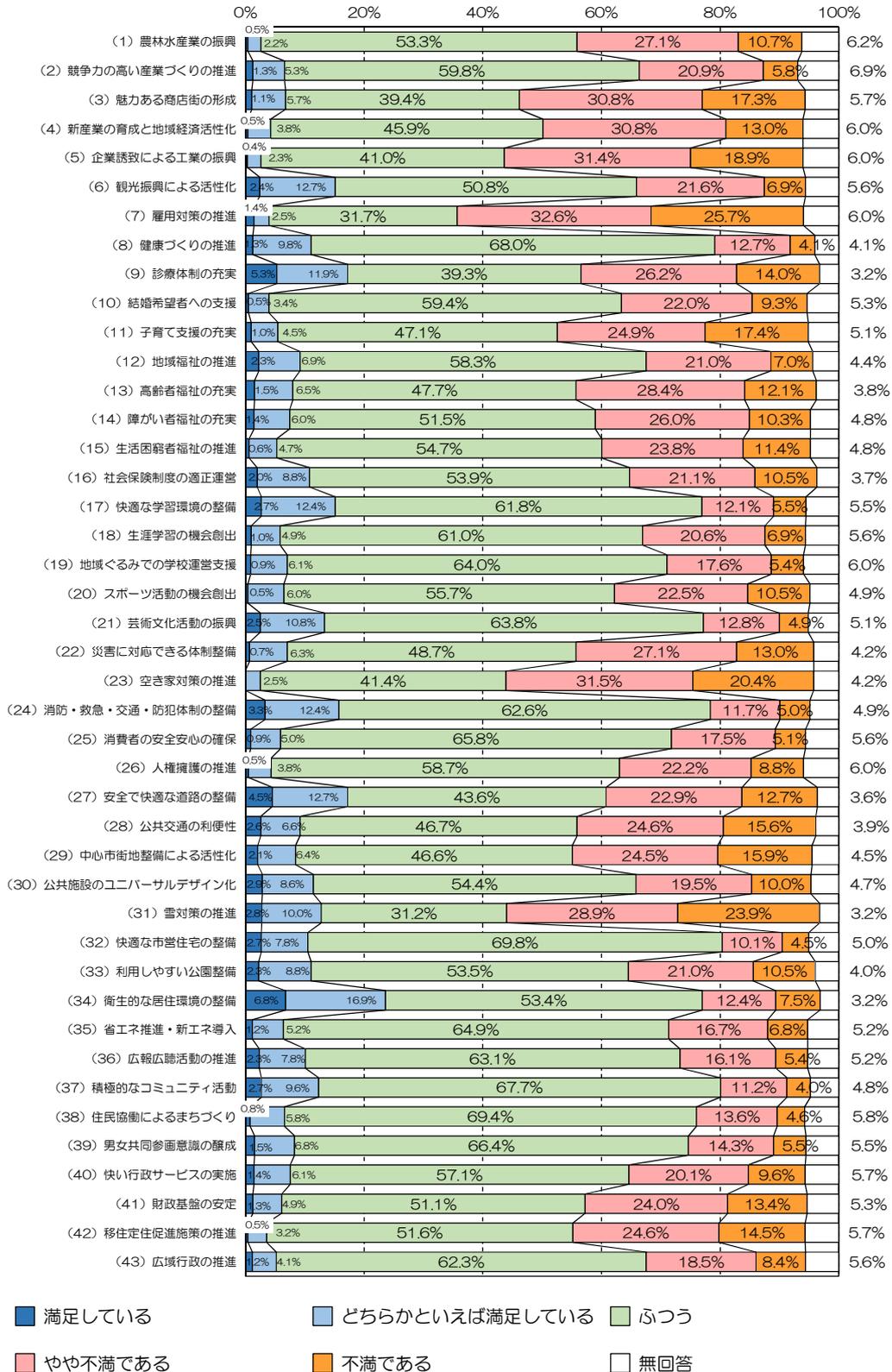
また、重要度と満足度のギャップを把握するために、ニーズ指数を算出して分析を行います。

### 【ニーズ指数】

重要度指数－満足度指数

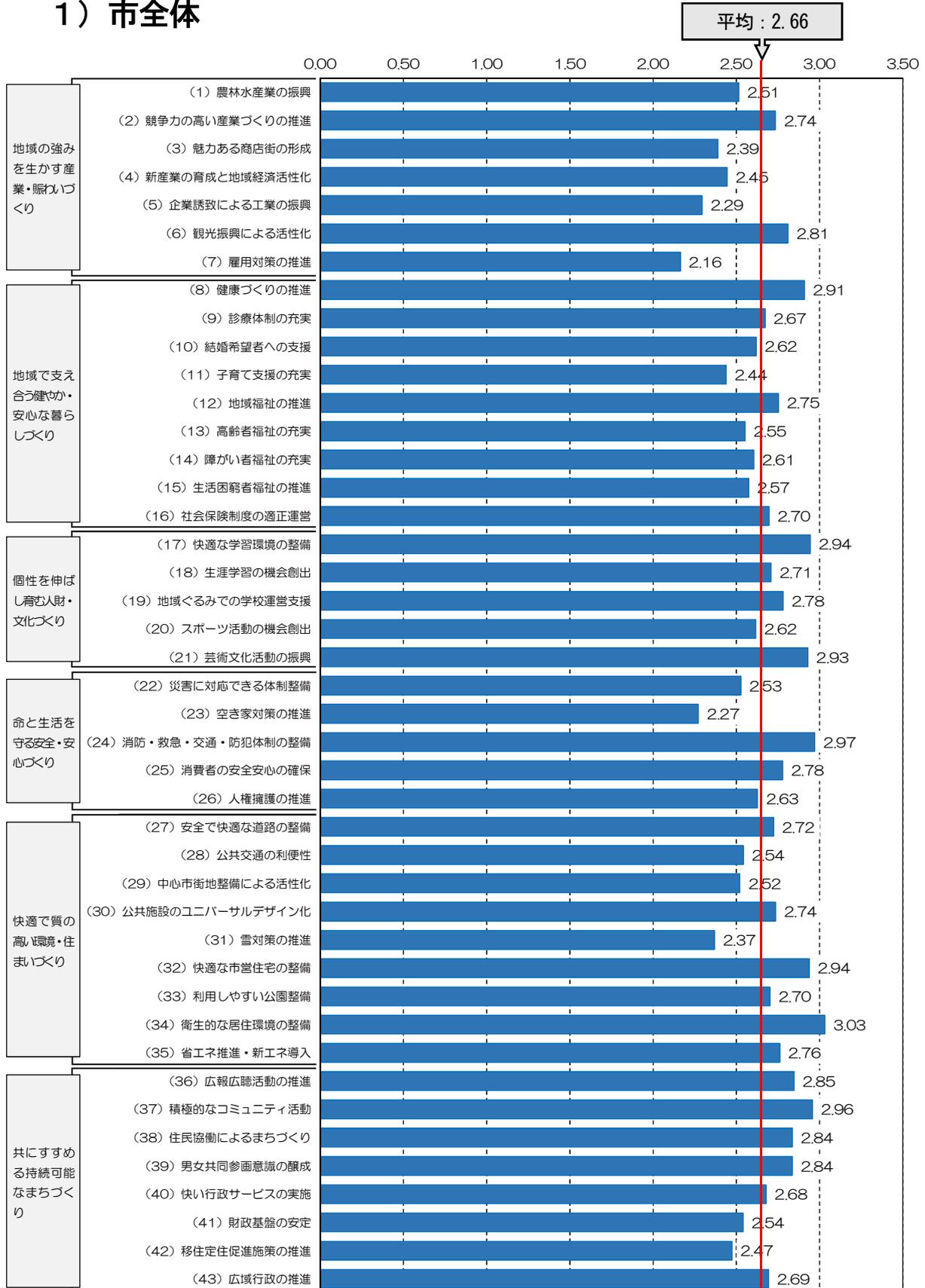
## 2 施策に対する満足度

### (1) 満足度の割合



## (2) 満足度指数

### 1) 市全体



全体		
上位	施策名	満足度
1位	(34) 衛生的な居住環境の整備	3.03
2位	(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.97
3位	(37) 積極的なコミュニティ活動	2.96
4位	(17) 快適な学習環境の整備	2.94
5位	(32) 快適な市営住宅の整備	2.94

全体		
下位	施策名	満足度
43位	(7) 雇用対策の推進	2.16
42位	(23) 空き家対策の推進	2.27
41位	(5) 企業誘致による工業の振興	2.29
40位	(31) 雪対策の推進	2.37
39位	(3) 魅力ある商店街の形成	2.39

施策の満足度をみると、もっとも満足度が高かったものは、(34) 衛生的な居住環境の整備の3.03ポイントとなっています。ついで、(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備(2.97ポイント)、(37) 積極的なコミュニティ活動(2.96ポイント)などの満足度が高くなっています。

一方、満足度がもっとも低かったものは、(7) 雇用対策の推進の2.16ポイントで、ついで、(23) 空き家対策の推進(2.27ポイント)、(5) 企業誘致による工業の振興(2.29ポイント)などへの満足度が低く、雇用対策や企業誘致、商店街の振興など、“地域の強みを生かす産業・賑わいづくり”の中の施策に対する満足度が低くなっています。

## 2) 属性別にみた満足度の状況

### ①居住地域別

居住地域別にみると、(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備と(34) 衛生的な居住環境の整備は各地域で共通して満足度が高くなっています。また、五所川原地域と金木地域では、(37) 積極的なコミュニティ活動の満足度が、五所川原地域と市浦地域では(17) 快適な学習環境の整備の満足度が、金木地域と市浦地域では(8) 健康づくりの推進の満足度が高くなっています。

一方、(7) 雇用対策の推進と(23) 空き家対策の推進についてはすべての地域で共通して満足度が低くなっています。

五所川原地域					
上位	施策名	満足度	下位	施策名	満足度
1位	(34) 衛生的な居住環境の整備	3.06	43位	(7) 雇用対策の推進	2.20
2位	(37) 積極的なコミュニティ活動	2.98	42位	(5) 企業誘致による工業の振興	2.32
3位	(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.97	41位	(23) 空き家対策の推進	2.33
4位	(17) 快適な学習環境の整備	2.97	40位	(31) 雪対策の推進	2.34
5位	(21) 芸術文化活動の振興	2.96	39位	(3) 魅力ある商店街の形成	2.40

金木地域					
上位	施策名	満足度	下位	施策名	満足度
1位	(32) 快適な市営住宅の整備	2.95	43位	(23) 空き家対策の推進	2.00
2位	(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.95	42位	(7) 雇用対策の推進	2.07
3位	(37) 積極的なコミュニティ活動	2.93	41位	(5) 企業誘致による工業の振興	2.14
4位	(8) 健康づくりの推進	2.90	40位	(4) 新産業の育成と地域経済活性化	2.30
5位	(34) 衛生的な居住環境の整備	2.89	39位	(11) 子育て支援の充実	2.32

市浦地域					
上位	施策名	満足度	下位	施策名	満足度
1位	(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.05	43位	(7) 雇用対策の推進	2.03
2位	(34) 衛生的な居住環境の整備	3.03	42位	(23) 空き家対策の推進	2.08
3位	(17) 快適な学習環境の整備	3.00	41位	(11) 子育て支援の充実	2.20
4位	(8) 健康づくりの推進	2.98	40位	(31) 雪対策の推進	2.29
5位	(19) 地域ぐるみでの学校運営支援	2.93	39位	(42) 移住定住促進施策の推進	2.31

## ②年齢別

年齢別にみると、50歳代を除き、(34) 衛生的な居住環境の整備に対する満足度が共通して高くなっています。また、40歳代以上では、(32) 快適な市営住宅の整備の満足度が高くなっています。30歳代と50歳代以上では、共通して(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備への満足度も高くなっています。

一方、すべての年齢において(7) 雇用対策の推進に対する満足度が低く、40歳代以上では共通して(5) 企業誘致による工業の振興に対する満足度が低くなっています。

20歳代					
上位	施策名	満足度	下位	施策名	満足度
1位	(21) 芸術文化活動の振興	3.14	43位	(7) 雇用対策の推進	2.11
2位	(2) 競争力の高い産業づくりの推進	3.07	42位	(31) 雪対策の推進	2.22
3位	(34) 衛生的な居住環境の整備	3.05	41位	(20) スポーツ活動の機会創出	2.30
4位	(17) 快適な学習環境の整備	3.03	40位	(41) 財政基盤の安定	2.34
5位	(6) 観光振興による活性化	3.01	39位	(42) 移住定住促進施策の推進	2.36

30歳代					
上位	施策名	満足度	下位	施策名	満足度
1位	(34) 衛生的な居住環境の整備	3.20	43位	(11) 子育て支援の充実	2.07
2位	(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.97	42位	(7) 雇用対策の推進	2.12
3位	(35) 省エネ推進・新エネ導入	2.92	41位	(31) 雪対策の推進	2.16
4位	(37) 積極的なコミュニティ活動	2.91	40位	(42) 移住定住促進施策の推進	2.19
5位	(25) 消費者の安全安心の確保	2.88	39位	(41) 財政基盤の安定	2.20

40歳代					
上位	施策名	満足度	下位	施策名	満足度
1位	(34) 衛生的な居住環境の整備	3.00	43位	(7) 雇用対策の推進	2.04
2位	(37) 積極的なコミュニティ活動	2.98	42位	(31) 雪対策の推進	2.18
3位	(21) 芸術文化活動の振興	2.94	41位	(11) 子育て支援の充実	2.31
4位	(32) 快適な市営住宅の整備	2.90	40位	(5) 企業誘致による工業の振興	2.33
5位	(17) 快適な学習環境の整備	2.88	39位	(3) 魅力ある商店街の形成	2.35

50歳代					
上位	施策名	満足度	下位	施策名	満足度
1位	(37) 積極的なコミュニティ活動	2.96	43位	(7) 雇用対策の推進	2.04
2位	(17) 快適な学習環境の整備	2.91	42位	(31) 雪対策の推進	2.09
3位	(21) 芸術文化活動の振興	2.86	41位	(23) 空き家対策の推進	2.17
4位	(32) 快適な市営住宅の整備	2.84	40位	(5) 企業誘致による工業の振興	2.22
5位	(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.82	39位	(28) 公共交通の利便性	2.33

60歳代					
上位	施策名	満足度	下位	施策名	満足度
1位	(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備	2.99	43位	(7) 雇用対策の推進	2.16
2位	(34) 衛生的な居住環境の整備	2.96	42位	(5) 企業誘致による工業の振興	2.22
3位	(17) 快適な学習環境の整備	2.93	41位	(23) 空き家対策の推進	2.23
4位	(32) 快適な市営住宅の整備	2.93	40位	(3) 魅力ある商店街の形成	2.30
5位	(37) 積極的なコミュニティ活動	2.89	39位	(4) 新産業の育成と地域経済活性化	2.36

70歳代以上					
上位	施策名	満足度	下位	施策名	満足度
1位	(34) 衛生的な居住環境の整備	3.34	43位	(23) 空き家対策の推進	2.33
2位	(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.18	42位	(5) 企業誘致による工業の振興	2.37
3位	(9) 診療体制の充実	3.16	41位	(7) 雇用対策の推進	2.41
4位	(8) 健康づくりの推進	3.13	40位	(3) 魅力ある商店街の形成	2.52
5位	(32) 快適な市営住宅の整備	3.12	39位	(10) 結婚希望者への支援	2.53

### ③市への愛着の有無別

市への愛着の有無別にみると、(32) 快適な市営住宅の整備、(34) 衛生的な居住環境の整備、(37) 積極的なコミュニティ活動については共通して満足度が高くなっています。

市への愛着がある回答者では、その他に(17) 快適な学習環境の整備、(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備に対する満足度が高くなっていますが、愛着は無いという回答者では、(8) 健康づくりの推進、(21) 芸術文化活動の振興に対する満足度が高くなっています。満足度が低い施策については、市への愛着の有無にかかわらず共通しています。

愛着がある					
上位	施策名	満足度	下位	施策名	満足度
1位	(34) 衛生的な居住環境の整備	3.09	43位	(7) 雇用対策の推進	2.22
2位	(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備	3.05	42位	(23) 空き家対策の推進	2.32
3位	(17) 快適な学習環境の整備	3.01	41位	(5) 企業誘致による工業の振興	2.33
4位	(37) 積極的なコミュニティ活動	2.99	40位	(3) 魅力ある商店街の形成	2.46
5位	(32) 快適な市営住宅の整備	2.98	39位	(31) 雪対策の推進	2.49

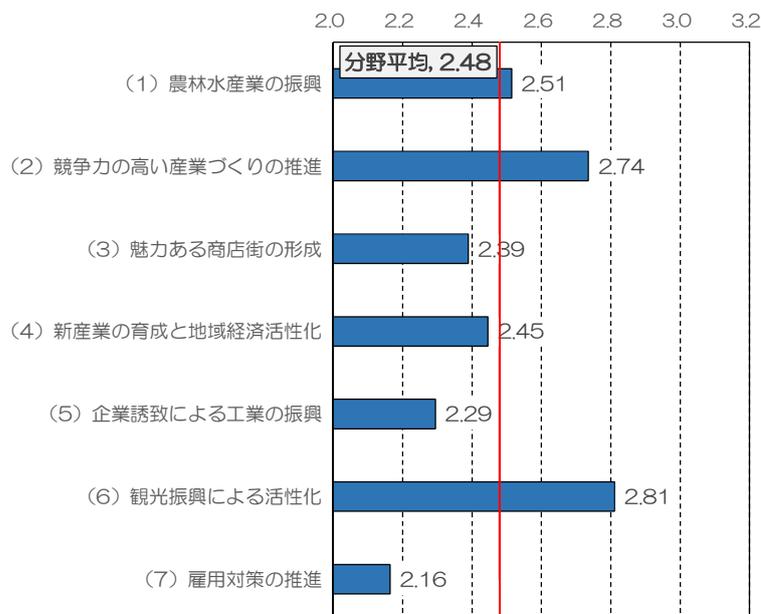
  

愛着は無い					
上位	施策名	満足度	下位	施策名	満足度
1位	(37) 積極的なコミュニティ活動	2.85	43位	(31) 雪対策の推進	1.93
2位	(34) 衛生的な居住環境の整備	2.81	42位	(7) 雇用対策の推進	1.94
3位	(21) 芸術文化活動の振興	2.80	41位	(23) 空き家対策の推進	2.10
4位	(32) 快適な市営住宅の整備	2.79	40位	(3) 魅力ある商店街の形成	2.13
5位	(8) 健康づくりの推進	2.76	39位	(5) 企業誘致による工業の振興	2.17

### 3) 政策分野別にみた満足度の状況

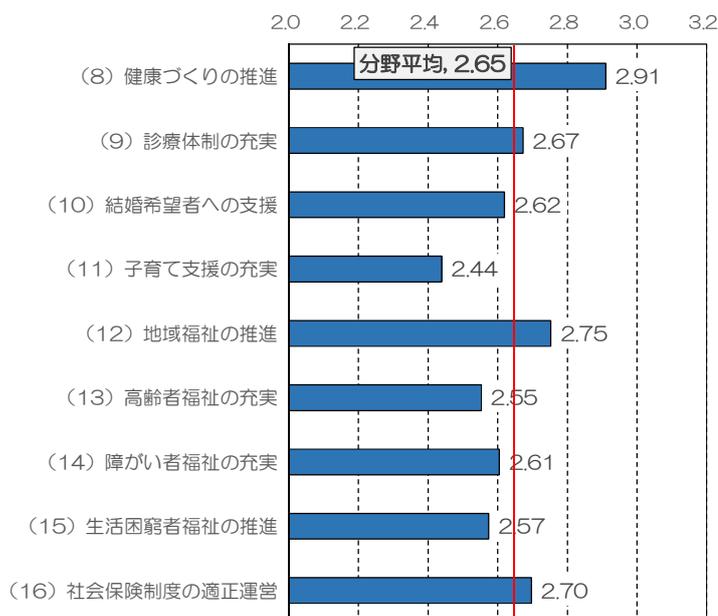
#### ①地域の強みを生かす産業・賑わいづくり

(6) 観光振興による活性化と、(2) 競争力の高い産業づくりの推進の満足度が高く、その他に(1) 農林水産業の振興は、政策分野の平均を上回っていますが、他の施策は平均を下回る満足度となっています。



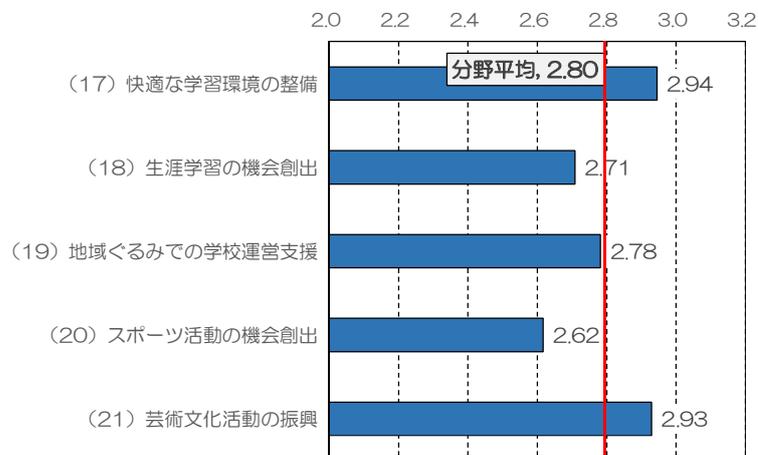
#### ②地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり

(8) 健康づくりの推進など、4つの施策は政策分野の平均を上回っていますが、他の施策は平均を下回る満足度となっています。



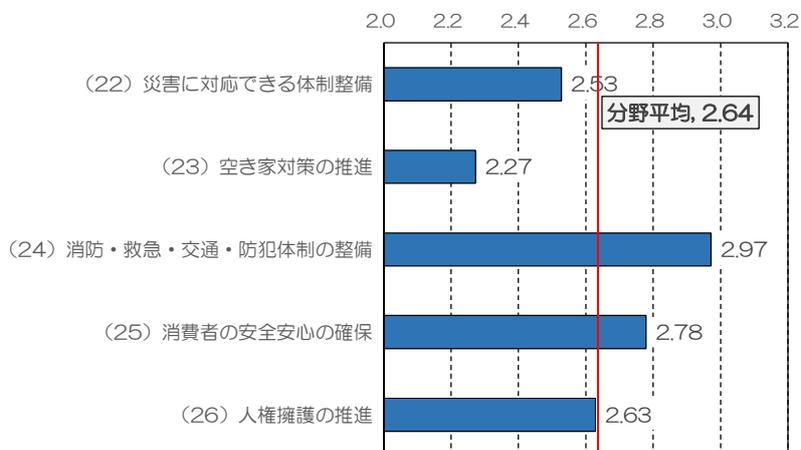
### ③個性を伸ばし育む人財・文化づくり

(17) 快適な学習環境の整備と(21) 芸術文化活動の振興は政策分野の平均を上回っていますが、他の施策は平均を下回る満足度となっています。



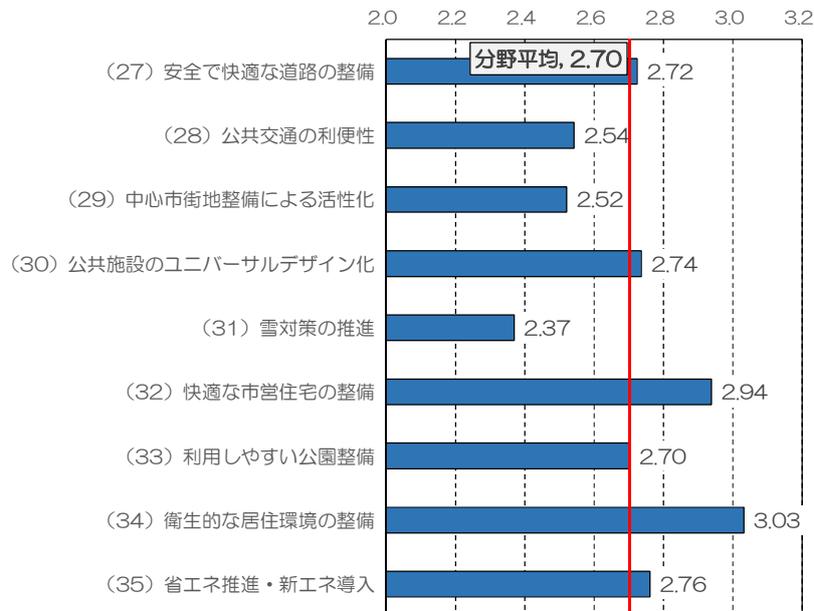
### ④命と生活を守る安全・安心づくり

(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備と(25) 消費者の安全安心の確保は政策分野の平均を上回っていますが、他の施策は平均を下回る満足度となっています。



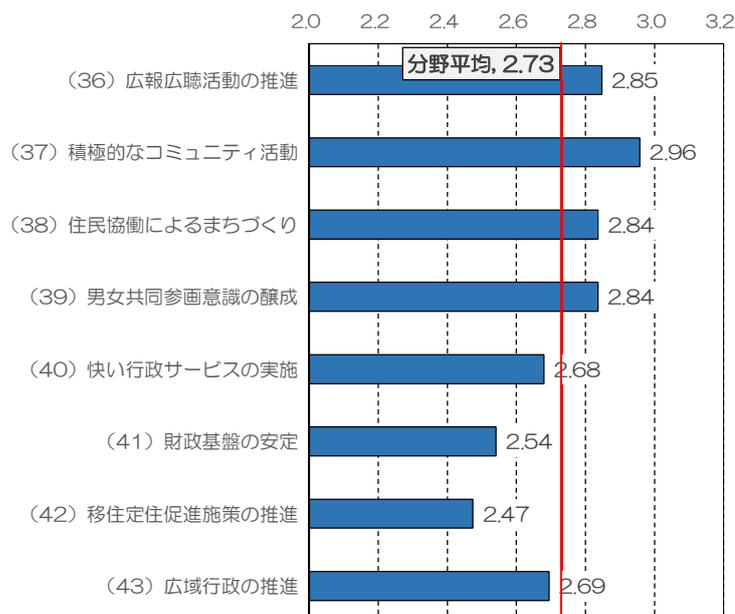
## ⑤快適で質の高い環境・住まいづくり

(34) 衛生的な居住環境の整備の満足度がもっとも高く、ついで(32) 快適な市営住宅の整備の満足度が高くなっています。政策分野の満足度を下回る施策は、(28) 公共交通の利便性、(29) 中心市街地整備による活性化、(31) 雪対策の推進、(33) 利用しやすい公園整備となっています。



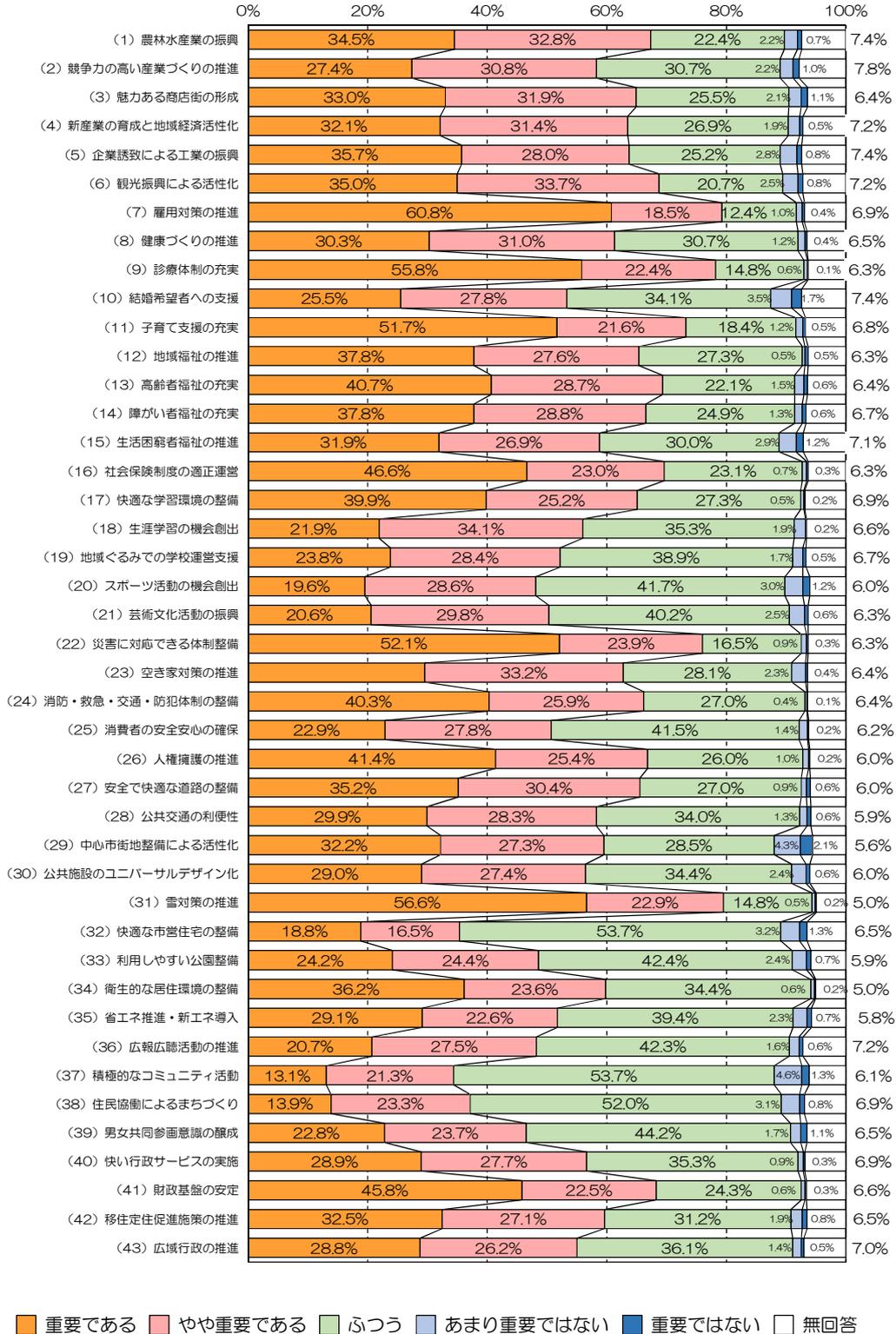
## ⑥共にすすめる持続可能なまちづくり

(36)～(39)は政策分野の満足度を上回っていますが、他の施策は平均を下回る満足度となっています。



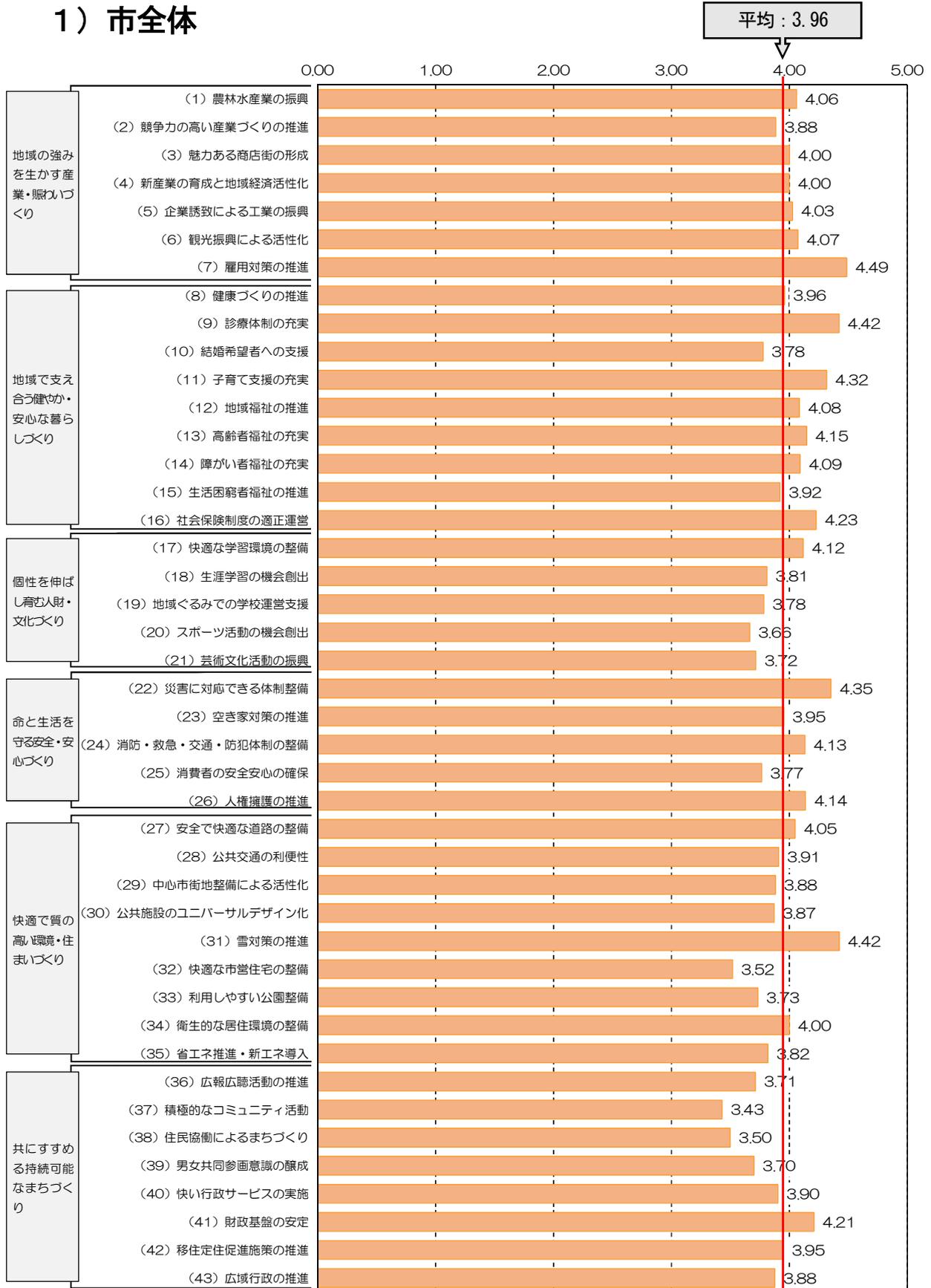
### 3 施策に対する重要度

#### (1) 重要度の割合



## (2) 重要度指数

### 1) 市全体



全体		
上位	施策名	重要度
1位	(7) 雇用対策の推進	4.49
2位	(31) 雪対策の推進	4.42
3位	(9) 診療体制の充実	4.42
4位	(22) 災害に対応できる体制整備	4.35
5位	(11) 子育て支援の充実	4.32

全体		
下位	施策名	重要度
43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	3.43
42位	(38) 住民協働によるまちづくり	3.50
41位	(32) 快適な市営住宅の整備	3.52
40位	(20) スポーツ活動の機会創出	3.66
39位	(39) 男女共同参画意識の醸成	3.70

施策の重要度をみると、もっとも重要度が高かったものは、(7) 雇用対策の推進の4.49ポイントとなっています。ついで、(31) 雪対策の推進(4.42ポイント)、(9) 診療体制の充実(4.42ポイント)などの重要度が高くなっています。

一方、重要度がもっとも低かったものは、(37) 積極的なコミュニティ活動の3.43ポイントで、ついで(38) 住民協働によるまちづくり(3.50ポイント)、(32) 快適な市営住宅の整備(3.52ポイント)などへの重要度が低く、その他に(39) 男女共同参画意識の醸成も3.70ポイントなど、“共にすすめる持続可能なまちづくり”の中の施策に対する重要度が低くなっています。

## 2) 属性別にみた重要度の状況

### ① 居住地域別

居住地域別にみると、(7) 雇用対策の推進、(9) 診療体制の充実、(22) 災害に対応できる体制整備、(31) 雪対策の推進の重要度がすべての地域に共通して高くなっています。

また、五所川原地域と金木地域では、(11) 子育て支援の充実に対する重要度が共通して高くなっています。

一方、(32) 快適な市営住宅の整備、(37) 積極的なコミュニティ活動、(38) 住民協働によるまちづくりに対する重要度はすべての地域に共通して低くなっています。

五所川原地域					
上位	施策名	重要度	下位	施策名	重要度
1位	(7) 雇用対策の推進	4.48	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	3.42
2位	(9) 診療体制の充実	4.43	42位	(38) 住民協働によるまちづくり	3.48
3位	(31) 雪対策の推進	4.43	41位	(32) 快適な市営住宅の整備	3.53
4位	(22) 災害に対応できる体制整備	4.37	40位	(20) スポーツ活動の機会創出	3.63
5位	(11) 子育て支援の充実	4.30	39位	(21) 芸術文化活動の振興	3.68

金木地域					
上位	施策名	重要度	下位	施策名	重要度
1位	(7) 雇用対策の推進	4.45	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	3.44
2位	(11) 子育て支援の充実	4.37	42位	(32) 快適な市営住宅の整備	3.49
3位	(9) 診療体制の充実	4.35	41位	(39) 男女共同参画意識の醸成	3.53
4位	(31) 雪対策の推進	4.34	40位	(38) 住民協働によるまちづくり	3.56
5位	(22) 災害に対応できる体制整備	4.24	39位	(36) 広報広聴活動の推進	3.56

市浦地域					
上位	施策名	重要度	下位	施策名	重要度
1位	(7) 雇用対策の推進	4.64	43位	(32) 快適な市営住宅の整備	3.43
2位	(31) 雪対策の推進	4.56	42位	(29) 中心市街地整備による活性化	3.49
3位	(9) 診療体制の充実	4.44	41位	(33) 利用しやすい公園整備	3.54
4位	(22) 災害に対応できる体制整備	4.44	40位	(37) 積極的なコミュニティ活動	3.64
5位	(26) 人権擁護の推進	4.38	39位	(38) 住民協働によるまちづくり	3.67

## ②年齢別

年齢別にみると、すべての年齢に共通して、(7) 雇用対策の推進、(9) 診療体制の充実、(22) 災害に対応できる体制整備、(31) 雪対策の推進に対する重要度が高くなっています。

また、20～60歳代では共通して、(11) 子育て支援の充実に対する重要度が高くなっています。

一方、(37) 積極的なコミュニティ活動、(38) 住民協働によるまちづくりについてはすべての年齢に共通して重要度が低く、20歳代を除き、(32) 快適な市営住宅の整備に対する重要度も共通して低くなっています。

20歳代					
上位	施策名	重要度	下位	施策名	重要度
1位	(7) 雇用対策の推進	4.61	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	3.45
2位	(22) 災害に対応できる体制整備	4.55	42位	(38) 住民協働によるまちづくり	3.51
3位	(9) 診療体制の充実	4.49	41位	(36) 広報広聴活動の推進	3.65
4位	(11) 子育て支援の充実	4.49	40位	(10) 結婚希望者への支援	3.67
5位	(31) 雪対策の推進	4.47	39位	(39) 男女共同参画意識の醸成	3.76

30歳代					
上位	施策名	重要度	下位	施策名	重要度
1位	(11) 子育て支援の充実	4.65	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	3.20
2位	(31) 雪対策の推進	4.63	42位	(38) 住民協働によるまちづくり	3.37
3位	(7) 雇用対策の推進	4.60	41位	(10) 結婚希望者への支援	3.47
4位	(9) 診療体制の充実	4.53	40位	(32) 快適な市営住宅の整備	3.54
5位	(22) 災害に対応できる体制整備	4.44	39位	(35) 省エネ推進・新エネ導入	3.61

40歳代					
上位	施策名	重要度	下位	施策名	重要度
1位	(7) 雇用対策の推進	4.59	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	3.26
2位	(31) 雪対策の推進	4.47	42位	(38) 住民協働によるまちづくり	3.41
3位	(9) 診療体制の充実	4.45	41位	(32) 快適な市営住宅の整備	3.49
4位	(11) 子育て支援の充実	4.40	40位	(39) 男女共同参画意識の醸成	3.59
5位	(22) 災害に対応できる体制整備	4.40	39位	(10) 結婚希望者への支援	3.62

50歳代					
上位	施策名	重要度	下位	施策名	重要度
1位	(31) 雪対策の推進	4.53	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	3.41
2位	(9) 診療体制の充実	4.51	42位	(38) 住民協働によるまちづくり	3.46
3位	(7) 雇用対策の推進	4.48	41位	(32) 快適な市営住宅の整備	3.50
4位	(22) 災害に対応できる体制整備	4.33	40位	(20) スポーツ活動の機会創出	3.59
5位	(11) 子育て支援の充実	4.27	39位	(21) 芸術文化活動の振興	3.63

60歳代					
上位	施策名	重要度	下位	施策名	重要度
1位	(7) 雇用対策の推進	4.50	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	3.47
2位	(9) 診療体制の充実	4.42	42位	(32) 快適な市営住宅の整備	3.51
3位	(31) 雪対策の推進	4.38	41位	(38) 住民協働によるまちづくり	3.53
4位	(22) 災害に対応できる体制整備	4.36	40位	(20) スポーツ活動の機会創出	3.65
5位	(11) 子育て支援の充実	4.28	39位	(39) 男女共同参画意識の醸成	3.67

70歳以上					
上位	施策名	重要度	下位	施策名	重要度
1位	(7) 雇用対策の推進	4.30	43位	(32) 快適な市営住宅の整備	3.48
2位	(9) 診療体制の充実	4.23	42位	(37) 積極的なコミュニティ活動	3.60
3位	(22) 災害に対応できる体制整備	4.21	41位	(38) 住民協働によるまちづくり	3.61
4位	(31) 雪対策の推進	4.21	40位	(20) スポーツ活動の機会創出	3.67
5位	(16) 社会保険制度の適正運営	4.20	39位	(33) 利用しやすい公園整備	3.69

### ③市への愛着の有無別

市への愛着の有無別にみると、市への愛着の有無にかかわらず、重要度が高い施策は共通しています。

重要度が低いものについても、(37) 積極的なコミュニティ活動、(38) 住民協働によるまちづくり、(32) 快適な市営住宅の整備については共通して低くなっています。

その他に、愛着がある回答者では、(20) スポーツ活動の機会創出、(39) 男女共同参画意識の醸成に対する重要度が低く、愛着は無い回答者では(21) 芸術文化活動の振興、(10) 結婚希望者への支援に対する重要度が低くなっています、

愛着がある					
上位	施策名	重要度	下位	施策名	重要度
1位	(7) 雇用対策の推進	4.50	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	3.50
2位	(9) 診療体制の充実	4.43	42位	(32) 快適な市営住宅の整備	3.56
3位	(31) 雪対策の推進	4.42	41位	(38) 住民協働によるまちづくり	3.57
4位	(22) 災害に対応できる体制整備	4.38	40位	(20) スポーツ活動の機会創出	3.71
5位	(11) 子育て支援の充実	4.34	39位	(39) 男女共同参画意識の醸成	3.73

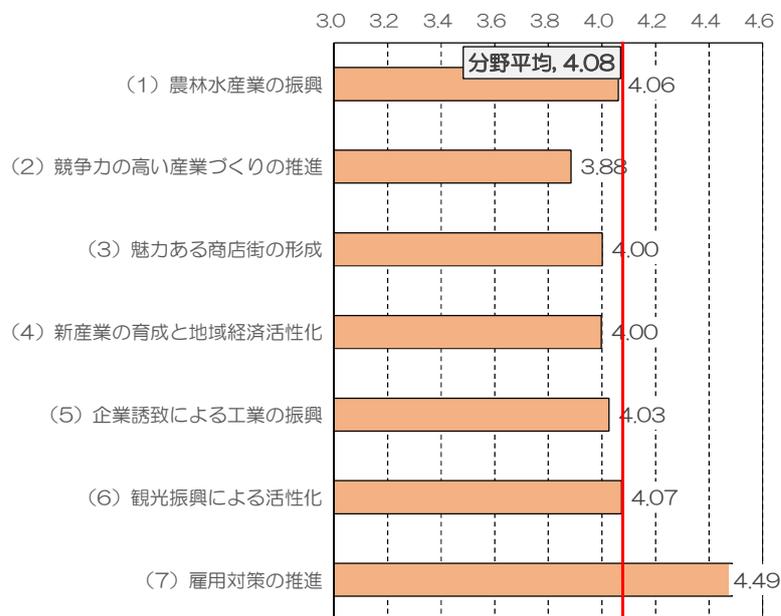
  

愛着は無い					
上位	施策名	重要度	下位	施策名	重要度
1位	(7) 雇用対策の推進	4.46	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	3.18
2位	(31) 雪対策の推進	4.44	42位	(38) 住民協働によるまちづくり	3.24
3位	(9) 診療体制の充実	4.38	41位	(32) 快適な市営住宅の整備	3.39
4位	(22) 災害に対応できる体制整備	4.27	40位	(21) 芸術文化活動の振興	3.41
5位	(11) 子育て支援の充実	4.23	39位	(10) 結婚希望者への支援	3.43

### 3) 政策分野別にみた重要度の状況

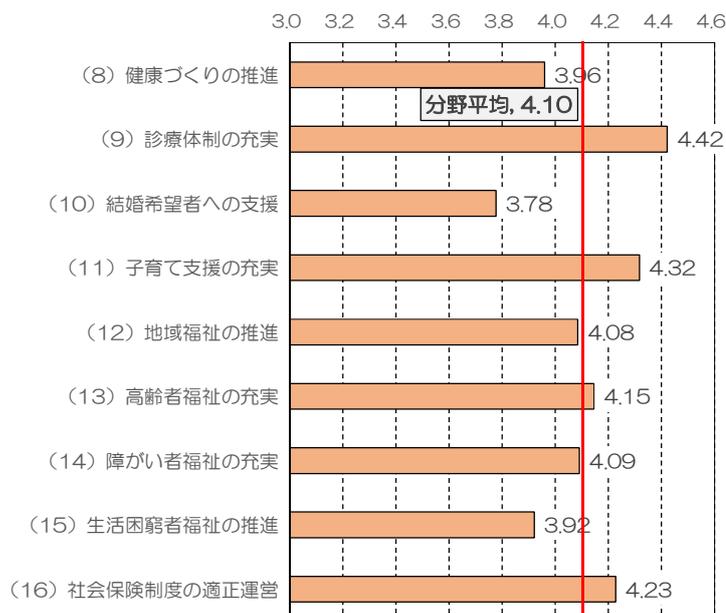
#### ①地域の強みを生かす産業・賑わいづくり

(7) 雇用対策の推進の重要度は政策分野の平均を上回っていますが、他の施策は平均を下回る重要度となっています。



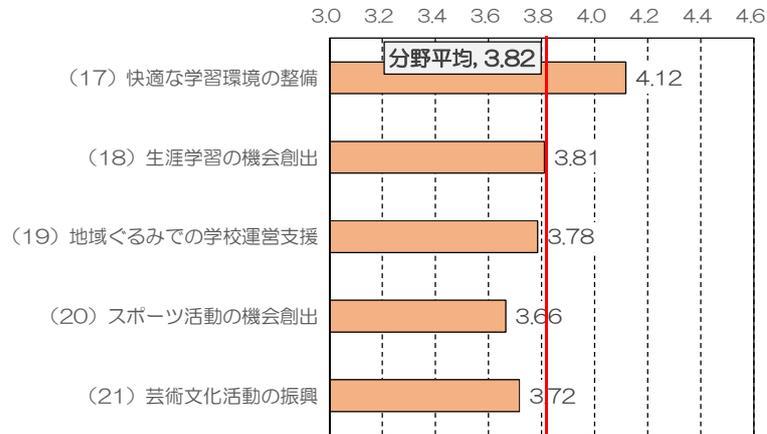
#### ②地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり

(9) 診療体制の充実、(11) 子育て支援の充実、(16) 社会保険制度の適正運営、(13) 高齢者福祉の充実の重要度が高く、その他の施策は政策分野の平均を下回る重要度となっています。



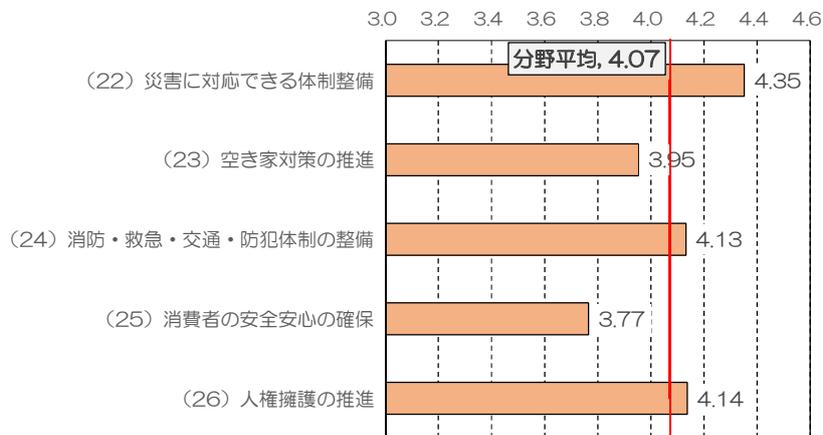
### ③個性を伸ばし育む人財・文化づくり

(17) 快適な学習環境の整備は政策分野の平均を上回る重要度となっていますが、他の施策は平均を下回っています。



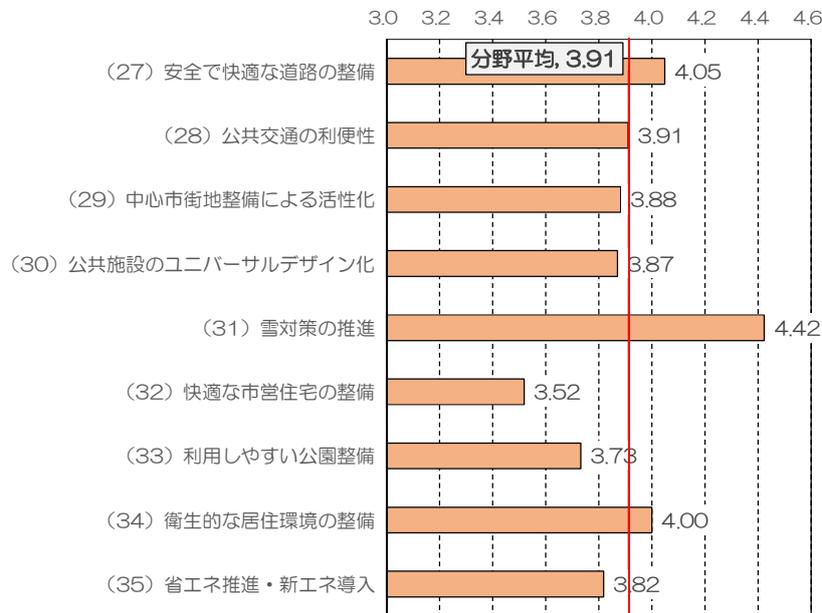
### ④命と生活を守る安全・安心づくり

(22) 災害に対応できる体制整備の重要度がもっとも高く、(23) 空き家対策の推進と(25) 消費者の安全安心の確保は政策分野の平均を下回る重要度となっています。



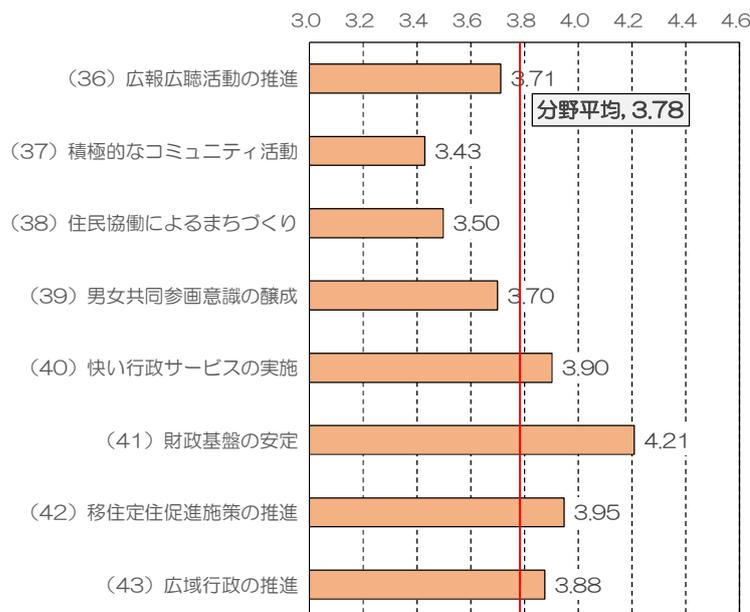
## ⑤ 快適で質の高い環境・住まいづくり

(31) 雪対策の推進の重要度がもっとも高く、(27) 安全で快適な道路の整備、(34) 衛生的な居住環境の整備の重要度は政策分野の平均を上回っていますが、他の施策は平均を下回る重要度となっています



## ⑥ 共にすすめる持続可能なまちづくり

(40)～(43)の重要度は政策分野の平均を上回り、(41) 財政基盤の安定の重要度がもっとも高くなっています。他の施策は平均を下回る重要度となっています。

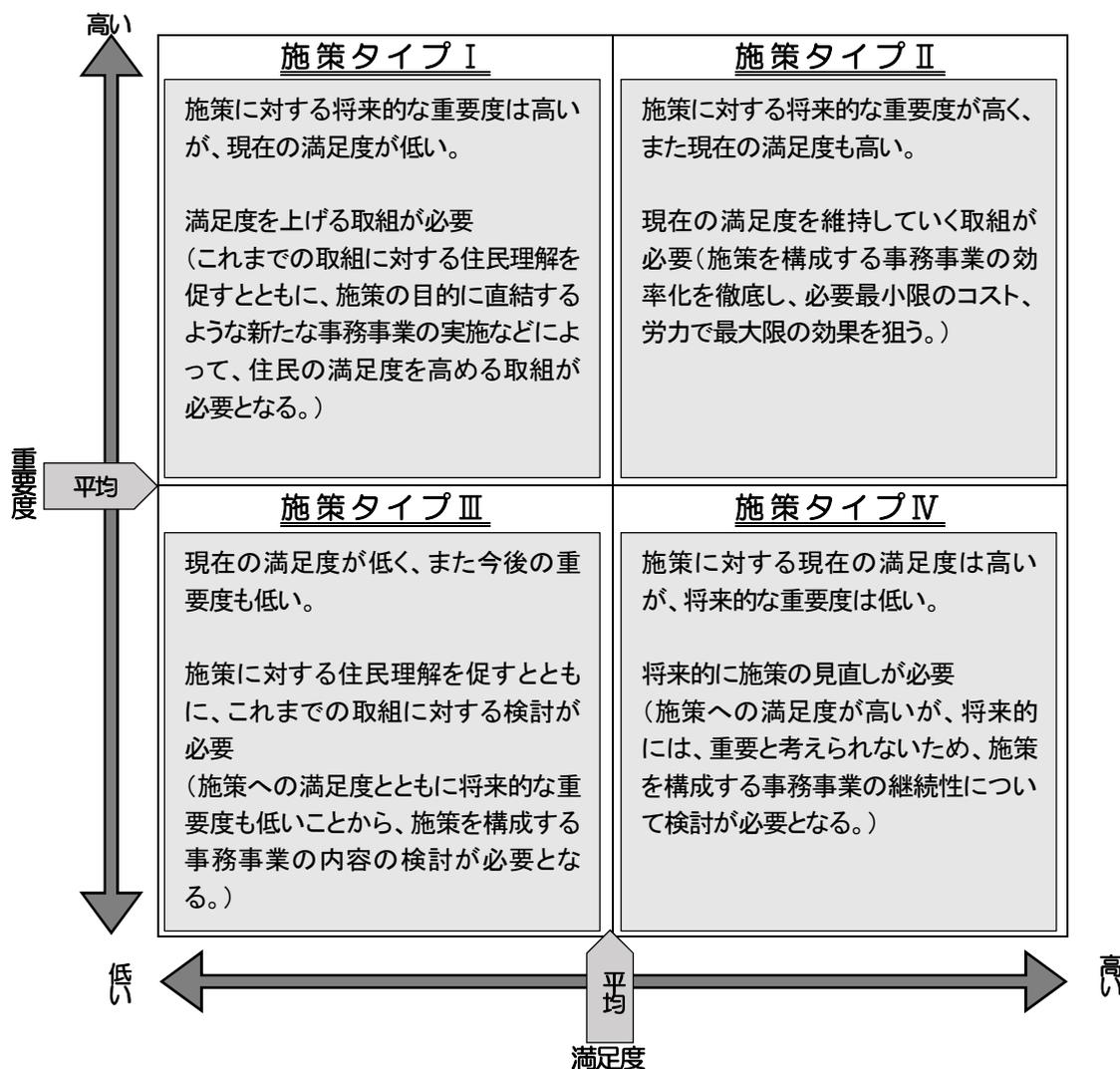


## 4 満足度・重要度の分析

### (1) 満足度と重要度の関係

満足度指数と重要度指数について、横軸を満足度指数、縦軸を重要度指数として散布図に整理して、満足度と重要度の関係について分析を行いました。

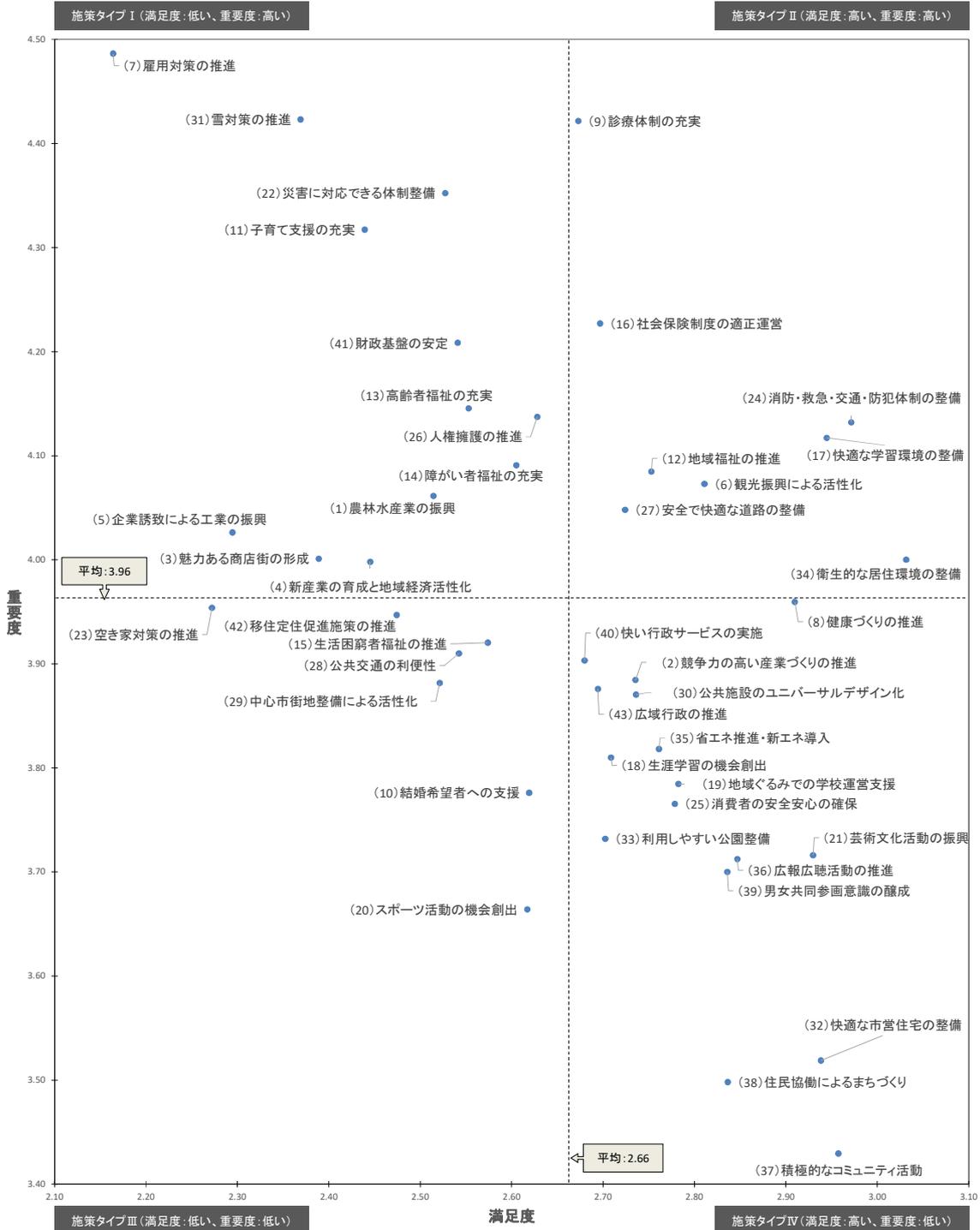
満足度、重要度の平均値に対して上回っているか・いないかで、以下のように施策タイプを分類・整理しています。



施策タイプⅠ	「重要度」が平均以上で、「満足度」は平均以下のもの この領域の施策は内容等を見直し、さらに市民満足度を高めるような事業を行う必要がある。
施策タイプⅡ	「重要度」が平均以上で、「満足度」も平均以上のもの この領域の施策は必要度も満足度も高く、現状の方向を継続すればよいと考えられる。
施策タイプⅢ	「重要度」が平均以下で、「満足度」も平均以下のもの この領域の施策は、施策を構成する事務事業の内容を検討する必要がある。
施策タイプⅣ	「重要度」が平均以下で、「満足度」は平均以上のもの この領域の施策は、施策を構成する事務事業の継続性を検討する必要がある。

# 1) 市全体

重要度が高いにもかかわらず、満足度が低い施策は、(1) 農林水産業の振興、(3) 魅力ある商店街の形成、(4) 新産業の育成と地域経済活性化、(5) 企業誘致による工業の振興、(7) 雇用対策の推進、(11) 子育て支援の充実、(13) 高齢者福祉の充実、(14) 障がい者福祉の充実、(22) 災害に対応できる体制整備、(26) 人権擁護の推進、(31) 雪対策の推進、(41) 財政基盤の安定で、“地域の強みを生かす産業・賑わいづくり”の中の施策が多くなっています。



重要度が高いにもかかわらず、満足度が低い施策タイプⅠには“地域の強みを生かす産業・賑わいづくり”の中の施策が多くなっていますが、“地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり”の中でも子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉など、各種の福祉施策に関わる項目が該当しています。

重要度が低いものの、満足度が高い施策タイプⅣには、“共にすすめる持続可能なまちづくり”の中の施策が多くなっています。

## ○施策タイプⅠ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(1)農林水産業の振興 (3)魅力ある商店街の形成 (4)新産業の育成と地域経済活性化 (5)企業誘致による工業の振興 (7)雇用対策の推進
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(11)子育て支援の充実 (13)高齢者福祉の充実 (14)障がい者福祉の充実
命と生活を守る安全・安心づくり	(22)災害に対応できる体制整備 (26)人権擁護の推進
快適で質の高い環境・住まいづくり	(31)雪対策の推進
共にすすめる持続可能なまちづくり	(41)財政基盤の安定

## ○施策タイプⅡ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(6)観光振興による活性化
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(8)健康づくりの推進 (9)診療体制の充実 (12)地域福祉の推進 (16)社会保険制度の適正運営
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(17)快適な学習環境の整備
命と生活を守る安全・安心づくり	(24)消防・救急・交通・防犯体制の整備
快適で質の高い環境・住まいづくり	(27)安全で快適な道路の整備 (34)衛生的な居住環境の整備

### ○施策タイプⅢ

政策分野	施策
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(10)結婚希望者への支援 (15)生活困窮者福祉の推進
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(20)スポーツ活動の機会創出
命と生活を守る安全・安心づくり	(23)空き家対策の推進
快適で質の高い環境・住まいづくり	(28)公共交通の利便性 (29)中心市街地整備による活性化
共にすすめる持続可能なまちづくり	(42)移住定住促進施策の推進

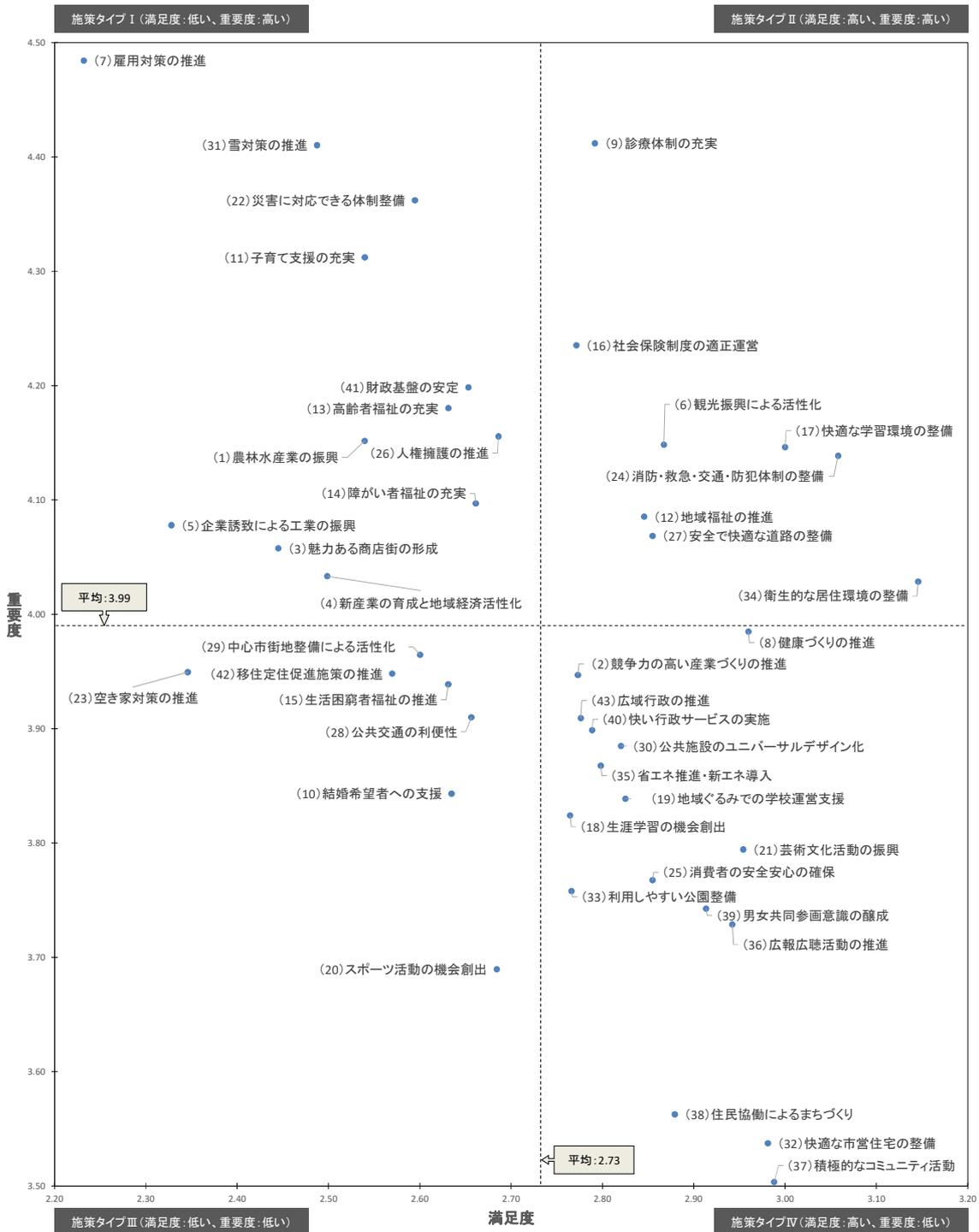
### ○施策タイプⅣ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(2)競争力の高い産業づくりの推進
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(18)生涯学習の機会創出 (19)地域ぐるみでの学校運営支援 (21)芸術文化活動の振興
命と生活を守る安全・安心づくり	(25)消費者の安全安心の確保
快適で質の高い環境・住まいづくり	(30)公共施設のユニバーサルデザイン化 (32)快適な市営住宅の整備 (33)利用しやすい公園整備 (35)省エネ推進・新エネ導入
共にすすめる持続可能なまちづくり	(36)広報広聴活動の推進 (37)積極的なコミュニティ活動 (38)住民協働によるまちづくり (39)男女共同参画意識の醸成 (40)快い行政サービスの実施 (43)広域行政の推進

## 2) 定住意向別

### ① 定住意向が高い層

定住意向が高い層においても、全体と同様に、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い施策は、雇用対策や企業誘致などの“地域の強みを生かす産業・賑わいづくり”の中の施策が多く、その他に子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉など、各種の福祉施策に関わる施策が該当しています。



## ○施策タイプⅠ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(1)農林水産業の振興 (3)魅力ある商店街の形成 (4)新産業の育成と地域経済活性化 (5)企業誘致による工業の振興 (7)雇用対策の推進
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(11)子育て支援の充実 (13)高齢者福祉の充実 (14)障がい者福祉の充実
命と生活を守る安全・安心づくり	(22)災害に対応できる体制整備 (26)人権擁護の推進
快適で質の高い環境・住まいづくり	(31)雪対策の推進
共にすすめる持続可能なまちづくり	(41)財政基盤の安定

## ○施策タイプⅡ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(6)観光振興による活性化
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(9)診療体制の充実 (12)地域福祉の推進 (16)社会保険制度の適正運営
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(17)快適な学習環境の整備
命と生活を守る安全・安心づくり	(24)消防・救急・交通・防犯体制の整備
快適で質の高い環境・住まいづくり	(27)安全で快適な道路の整備 (34)衛生的な居住環境の整備

### ○施策タイプⅢ

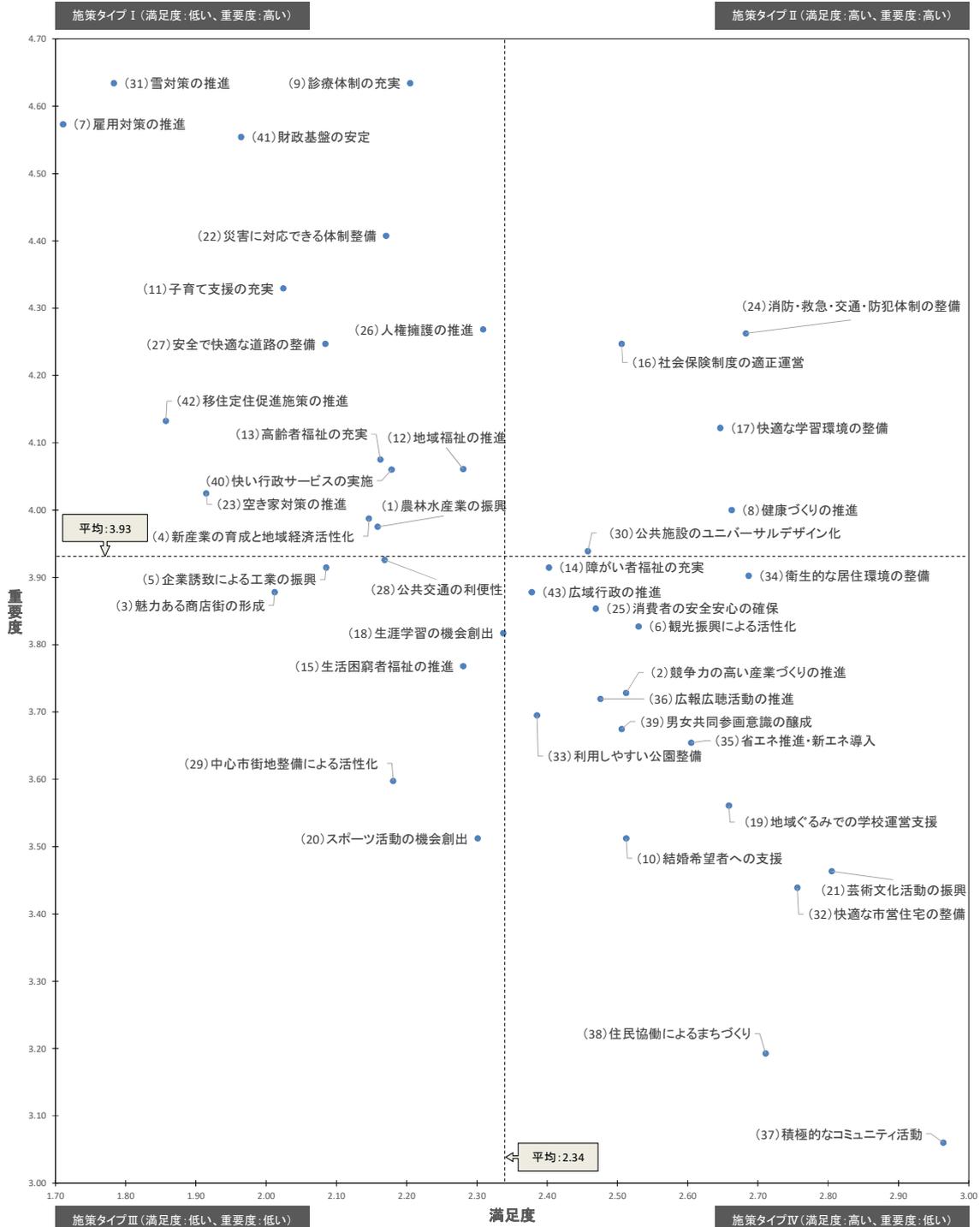
政策分野	施策
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(10)結婚希望者への支援 (15)生活困窮者福祉の推進
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(20)スポーツ活動の機会創出
命と生活を守る安全・安心づくり	(23)空き家対策の推進
快適で質の高い環境・住まいづくり	(28)公共交通の利便性 (29)中心市街地整備による活性化
共にすすめる持続可能なまちづくり	(42)移住定住促進施策の推進

### ○施策タイプⅣ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(2)競争力の高い産業づくりの推進
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(8)健康づくりの推進
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(18)生涯学習の機会創出 (19)地域ぐるみでの学校運営支援 (21)芸術文化活動の振興
命と生活を守る安全・安心づくり	(25)消費者の安全安心の確保
快適で質の高い環境・住まいづくり	(30)公共施設のユニバーサルデザイン化 (32)快適な市営住宅の整備 (33)利用しやすい公園整備 (35)省エネ推進・新エネ導入
共にすすめる持続可能なまちづくり	(36)広報広聴活動の推進 (37)積極的なコミュニティ活動 (38)住民協働によるまちづくり (39)男女共同参画意識の醸成 (40)快い行政サービスの実施 (43)広域行政の推進

## ②定住意向が低い層

定住意向が低い層では、(7)雇用対策の推進や(31)雪対策の推進など全体よりも多い15の施策が、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い施策に該当しています。



## ○施策タイプⅠ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(1)農林水産業の振興 (4)新産業の育成と地域経済活性化 (7)雇用対策の推進
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(9)診療体制の充実 (11)子育て支援の充実 (12)地域福祉の推進 (13)高齢者福祉の充実
命と生活を守る安全・安心づくり	(22)災害に対応できる体制整備 (23)空き家対策の推進 (26)人権擁護の推進
快適で質の高い環境・住まいづくり	(27)安全で快適な道路の整備 (31)雪対策の推進
共にすすめる持続可能なまちづくり	(40)早い行政サービスの実施 (41)財政基盤の安定 (42)移住定住促進施策の推進

## ○施策タイプⅡ

政策分野	施策
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(8)健康づくりの推進 (16)社会保険制度の適正運営
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(17)快適な学習環境の整備
命と生活を守る安全・安心づくり	(24)消防・救急・交通・防犯体制の整備
快適で質の高い環境・住まいづくり	(30)公共施設のユニバーサルデザイン化

### ○施策タイプⅢ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(3) 魅力ある商店街の形成 (5) 企業誘致による工業の振興
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(15) 生活困窮者福祉の推進
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(18) 生涯学習の機会創出 (20) スポーツ活動の機会創出
快適で質の高い環境・住まいづくり	(28) 公共交通の利便性 (29) 中心市街地整備による活性化

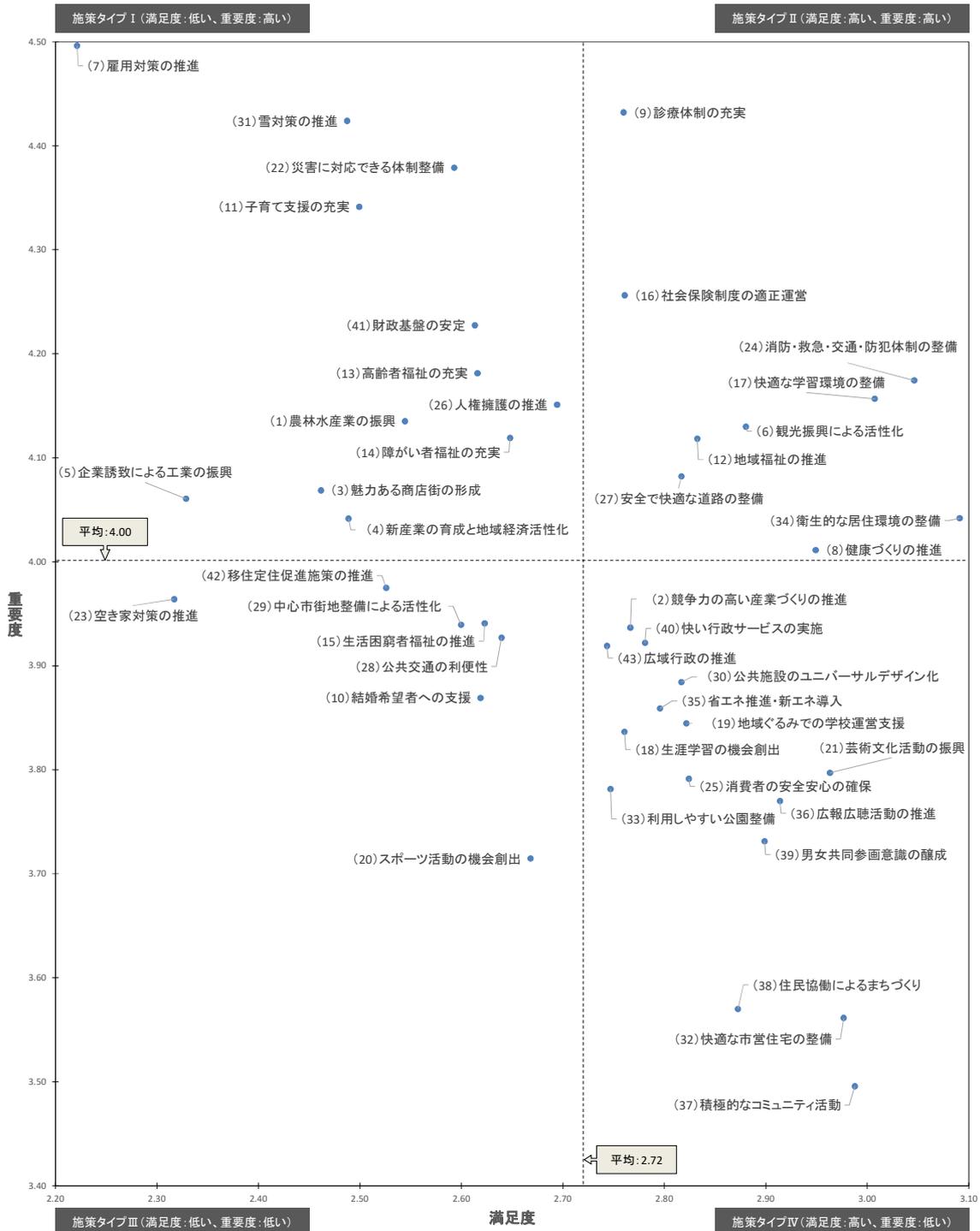
### ○施策タイプⅣ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(2) 競争力の高い産業づくりの推進 (6) 観光振興による活性化
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(10) 結婚希望者への支援 (14) 障がい者福祉の充実
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(19) 地域ぐるみでの学校運営支援 (21) 芸術文化活動の振興
命と生活を守る安全・安心づくり	(25) 消費者の安全安心の確保
快適で質の高い環境・住まいづくり	(32) 快適な市営住宅の整備 (33) 利用しやすい公園整備 (34) 衛生的な居住環境の整備 (35) 省エネ推進・新エネ導入
共にすすめる持続可能なまちづくり	(36) 広報広聴活動の推進 (37) 積極的なコミュニティ活動 (38) 住民協働によるまちづくり (39) 男女共同参画意識の醸成 (43) 広域行政の推進

### 3) 本市への愛着の有無別

#### ①愛着がある層

本市への愛着がある層でも全体と同様に、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い施策は、雇用対策や企業誘致などの“地域の強みを生かす産業・賑わいづくり”の中の施策が多く、その他に子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉など、各種の福祉施策に関わる施策が該当しています。



## ○施策タイプⅠ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(1)農林水産業の振興 (3)魅力ある商店街の形成 (4)新産業の育成と地域経済活性化 (5)企業誘致による工業の振興 (7)雇用対策の推進
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(11)子育て支援の充実 (13)高齢者福祉の充実 (14)障がい者福祉の充実
命と生活を守る安全・安心づくり	(22)災害に対応できる体制整備 (26)人権擁護の推進
快適で質の高い環境・住まいづくり	(31)雪対策の推進
共にすすめる持続可能なまちづくり	(41)財政基盤の安定

## ○施策タイプⅡ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(6)観光振興による活性化
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(8)健康づくりの推進 (9)診療体制の充実 (12)地域福祉の推進 (16)社会保険制度の適正運営
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(17)快適な学習環境の整備
命と生活を守る安全・安心づくり	(24)消防・救急・交通・防犯体制の整備
快適で質の高い環境・住まいづくり	(27)安全で快適な道路の整備 (34)衛生的な居住環境の整備

### ○施策タイプⅢ

政策分野	施策
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(10)結婚希望者への支援 (15)生活困窮者福祉の推進
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(20)スポーツ活動の機会創出
命と生活を守る安全・安心づくり	(23)空き家対策の推進
快適で質の高い環境・住まいづくり	(28)公共交通の利便性 (29)中心市街地整備による活性化
共にすすめる持続可能なまちづくり	(42)移住定住促進施策の推進

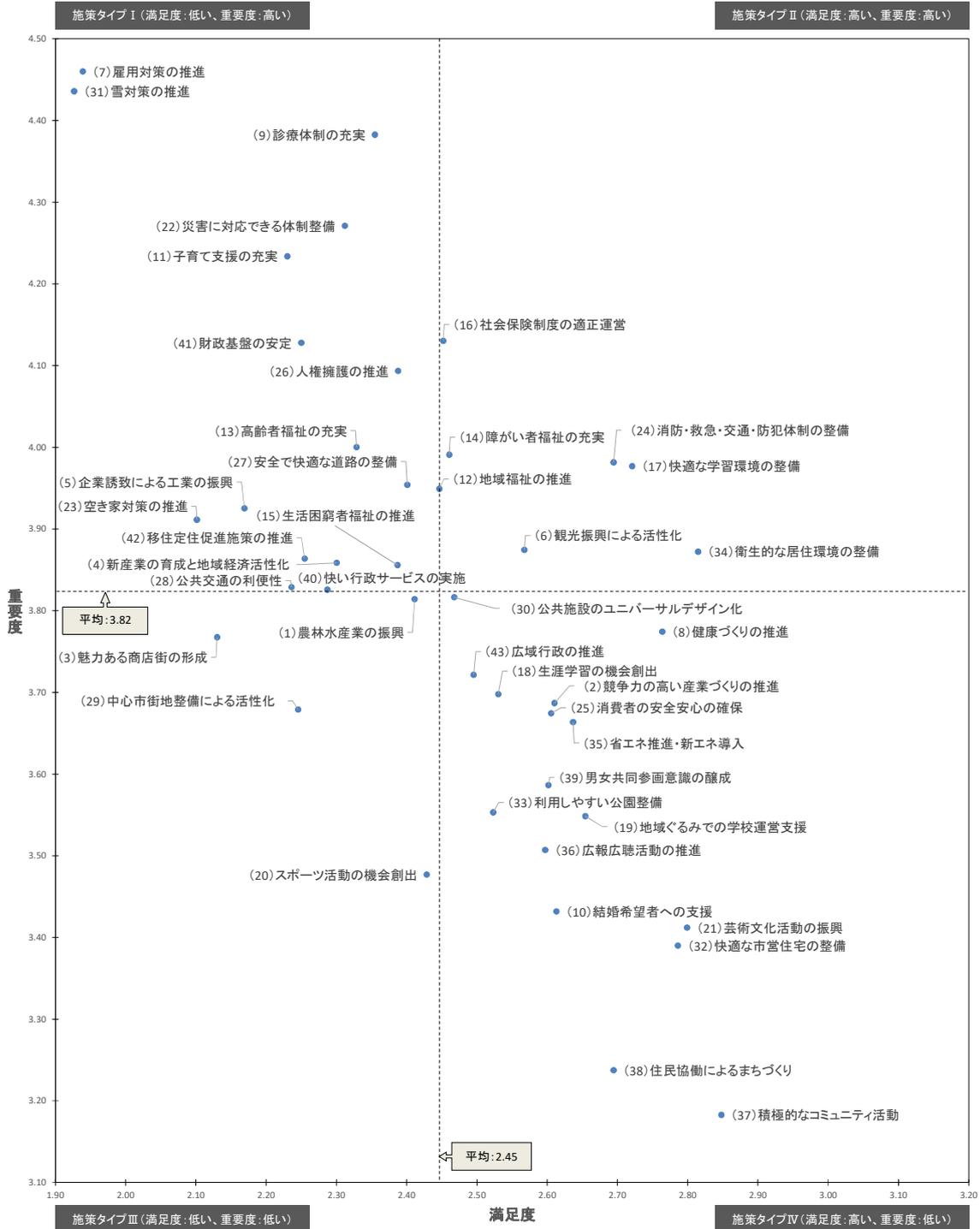
### ○施策タイプⅣ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(2)競争力の高い産業づくりの推進
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(18)生涯学習の機会創出 (19)地域ぐるみでの学校運営支援 (21)芸術文化活動の振興
命と生活を守る安全・安心づくり	(25)消費者の安全安心の確保
快適で質の高い環境・住まいづくり	(30)公共施設のユニバーサルデザイン化 (32)快適な市営住宅の整備 (33)利用しやすい公園整備 (35)省エネ推進・新エネ導入
共にすすめる持続可能なまちづくり	(36)広報広聴活動の推進 (37)積極的なコミュニティ活動 (38)住民協働によるまちづくり (39)男女共同参画意識の醸成 (40)快い行政サービスの実施 (43)広域行政の推進

## ②愛着は無い層

本市への愛着は無いという層では、重要度が高いにもかかわらず満足度が低い施策として、子育て支援や地域福祉、高齢者福祉などの“地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり”の中の施策が多くなっています。

該当する施策の数も 18 施策と全体よりも多くなっています。



## ○施策タイプⅠ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(4) 新産業の育成と地域経済活性化 (5) 企業誘致による工業の振興 (7) 雇用対策の推進
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(9) 診療体制の充実 (11) 子育て支援の充実 (12) 地域福祉の推進 (13) 高齢者福祉の充実 (15) 生活困窮者福祉の推進 (16) 社会保険制度の適正運営
命と生活を守る安全・安心づくり	(22) 災害に対応できる体制整備 (23) 空き家対策の推進 (26) 人権擁護の推進
快適で質の高い環境・住まいづくり	(27) 安全で快適な道路の整備 (28) 公共交通の利便性 (31) 雪対策の推進
共にすすめる持続可能なまちづくり	(40) 早い行政サービスの実施 (41) 財政基盤の安定 (42) 移住定住促進施策の推進

## ○施策タイプⅡ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(6) 観光振興による活性化
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(14) 障がい者福祉の充実
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(17) 快適な学習環境の整備
命と生活を守る安全・安心づくり	(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備
快適で質の高い環境・住まいづくり	(34) 衛生的な居住環境の整備

### ○施策タイプⅢ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(1) 農林水産業の振興 (3) 魅力ある商店街の形成
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(20) スポーツ活動の機会創出
快適で質の高い環境・住まいづくり	(29) 中心市街地整備による活性化

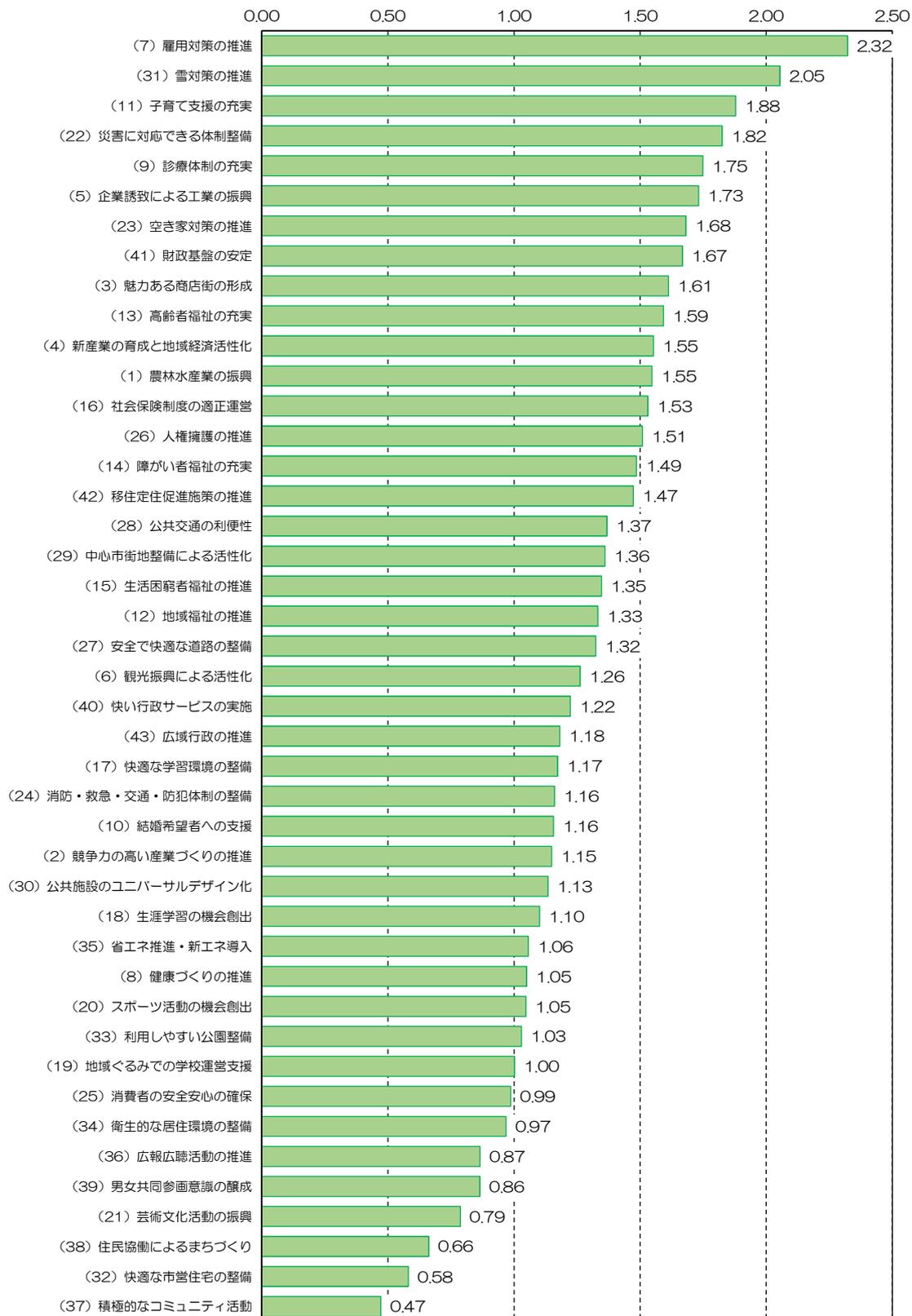
### ○施策タイプⅣ

政策分野	施策
地域の強みを生かす産業・賑わいづくり	(2) 競争力の高い産業づくりの推進
地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり	(8) 健康づくりの推進 (10) 結婚希望者への支援
個性を伸ばし育む人財・文化づくり	(18) 生涯学習の機会創出 (19) 地域ぐるみでの学校運営支援 (21) 芸術文化活動の振興
命と生活を守る安全・安心づくり	(25) 消費者の安全安心の確保
快適で質の高い環境・住まいづくり	(30) 公共施設のユニバーサルデザイン化 (32) 快適な市営住宅の整備 (33) 利用しやすい公園整備 (35) 省エネ推進・新エネ導入
共にすすめる持続可能なまちづくり	(36) 広報広聴活動の推進 (37) 積極的なコミュニティ活動 (38) 住民協働によるまちづくり (39) 男女共同参画意識の醸成 (43) 広域行政の推進

## (2) ニーズ指数

### 1) 市全体

ニーズ指数が高い施策（重要度と満足度との差が大きいもの）は、(7) 雇用対策の推進、(31) 雪対策の推進などとなっています。



全体		
上位	施策名	ニーズ指数
1位	(7) 雇用対策の推進	2.32
2位	(31) 雪対策の推進	2.05
3位	(11) 子育て支援の充実	1.88
4位	(22) 災害に対応できる体制整備	1.82
5位	(9) 診療体制の充実	1.75

全体		
下位	施策名	ニーズ指数
43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	0.47
42位	(32) 快適な市営住宅の整備	0.58
41位	(38) 住民協働によるまちづくり	0.66
40位	(21) 芸術文化活動の振興	0.79
39位	(39) 男女共同参画意識の醸成	0.86

重要度と満足度との差がもっとも大きかったものは、(7) 雇用対策の推進で、2.32 ポイントの差がありました。また、(31) 雪対策の推進についても2.05 ポイントの差があり、重要度が高い施策ほど満足度が低く、差が大きくなっています。

反対に、重要度と満足度との差が小さかったものは、(37) 積極的なコミュニティ活動(0.47 ポイント)、(32) 快適な市営住宅の整備 (0.58 ポイント)、(38) 住民協働によるまちづくり (0.66 ポイント) など、重要度が低かったものとなっています。

## 2) 属性別にみたニーズ指数の状況

### ① 居住地域別

居住地域別にみると、(7) 雇用対策の推進、(11) 子育て支援の充実についてはすべての地域に共通して重要度と満足度の差が大きくなっています。

また、五所川原地域と金木地域においては(22) 災害に対応できる体制整備で、五所川原地域と市浦地域においては(31) 雪対策の推進で、重要度と満足度の差が大きくなっています。金木地域と市浦地域においては、(23) 空き家対策の推進において重要度と満足度の差が大きくなっています。

一方、すべての地域において(32) 快適な市営住宅の整備については重要度と満足度の差が小さくなっています。

五所川原地域					
上位	施策名	ニーズ指数	下位	施策名	ニーズ指数
1位	(7) 雇用対策の推進	2.28	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	0.43
2位	(31) 雪対策の推進	2.09	42位	(32) 快適な市営住宅の整備	0.60
3位	(22) 災害に対応できる体制整備	1.84	41位	(38) 住民協働によるまちづくり	0.62
4位	(11) 子育て支援の充実	1.82	40位	(21) 芸術文化活動の振興	0.73
5位	(9) 診療体制の充実	1.74	39位	(36) 広報広聴活動の推進	0.88

金木地域					
上位	施策名	ニーズ指数	下位	施策名	ニーズ指数
1位	(7) 雇用対策の推進	2.38	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	0.51
2位	(11) 子育て支援の充実	2.05	42位	(32) 快適な市営住宅の整備	0.54
3位	(23) 空き家対策の推進	1.96	41位	(39) 男女共同参画意識の醸成	0.65
4位	(5) 企業誘致による工業の振興	1.83	40位	(36) 広報広聴活動の推進	0.73
5位	(22) 災害に対応できる体制整備	1.77	39位	(38) 住民協働によるまちづくり	0.78

市浦地域					
上位	施策名	ニーズ指数	下位	施策名	ニーズ指数
1位	(7) 雇用対策の推進	2.61	43位	(32) 快適な市営住宅の整備	0.53
2位	(31) 雪対策の推進	2.27	42位	(29) 中心市街地整備による活性化	0.66
3位	(11) 子育て支援の充実	2.15	41位	(30) 公共施設のユニバーサルデザイン化	0.85
4位	(23) 空き家対策の推進	2.12	40位	(35) 省エネ推進・新エネ導入	0.86
5位	(4) 新産業の育成と地域経済活性化	1.91	39位	(33) 利用しやすい公園整備	0.91

## ②年齢別

年齢別にみると、すべての年齢に共通して、(7) 雇用対策の推進と(11) 子育て支援の充実において重要度と満足度の差が大きくなっています。また70歳代以上を除いて、(31) 雪対策の推進においても重要度と満足度の差が大きくなっています。

一方、(37) 積極的なコミュニティ活動、(38) 住民協働によるまちづくりについてはすべての年齢において重要度と満足度の差が小さくなっています。

20歳代					
上位	施策名	ニーズ指数	下位	施策名	ニーズ指数
1位	(7) 雇用対策の推進	2.50	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	0.57
2位	(31) 雪対策の推進	2.25	42位	(38) 住民協働によるまちづくり	0.61
3位	(22) 災害に対応できる体制整備	2.01	41位	(36) 広報広聴活動の推進	0.66
4位	(11) 子育て支援の充実	1.99	40位	(21) 芸術文化活動の振興	0.78
5位	(41) 財政基盤の安定	1.99	39位	(30) 公共施設のユニバーサルデザイン化	0.89

30歳代					
上位	施策名	ニーズ指数	下位	施策名	ニーズ指数
1位	(11) 子育て支援の充実	2.58	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	0.29
2位	(7) 雇用対策の推進	2.49	42位	(38) 住民協働によるまちづくり	0.58
3位	(31) 雪対策の推進	2.48	41位	(34) 衛生的な居住環境の整備	0.65
4位	(41) 財政基盤の安定	2.16	40位	(10) 結婚希望者への支援	0.66
5位	(9) 診療体制の充実	2.10	39位	(32) 快適な市営住宅の整備	0.68

40歳代					
上位	施策名	ニーズ指数	下位	施策名	ニーズ指数
1位	(7) 雇用対策の推進	2.55	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	0.29
2位	(31) 雪対策の推進	2.29	42位	(32) 快適な市営住宅の整備	0.59
3位	(11) 子育て支援の充実	2.08	41位	(38) 住民協働によるまちづくり	0.59
4位	(9) 診療体制の充実	2.05	40位	(21) 芸術文化活動の振興	0.72
5位	(41) 財政基盤の安定	1.80	39位	(39) 男女共同参画意識の醸成	0.81

50歳代					
上位	施策名	ニーズ指数	下位	施策名	ニーズ指数
1位	(31) 雪対策の推進	2.45	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	0.45
2位	(7) 雇用対策の推進	2.44	42位	(38) 住民協働によるまちづくり	0.65
3位	(9) 診療体制の充実	2.10	41位	(32) 快適な市営住宅の整備	0.65
4位	(22) 災害に対応できる体制整備	1.86	40位	(21) 芸術文化活動の振興	0.77
5位	(11) 子育て支援の充実	1.81	39位	(19) 地域ぐるみでの学校運営支援	0.91

60歳代					
上位	施策名	ニーズ指数	下位	施策名	ニーズ指数
1位	(7) 雇用対策の推進	2.33	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	0.58
2位	(31) 雪対策の推進	1.97	42位	(32) 快適な市営住宅の整備	0.59
3位	(22) 災害に対応できる体制整備	1.88	41位	(38) 住民協働によるまちづくり	0.72
4位	(5) 企業誘致による工業の振興	1.87	40位	(39) 男女共同参画意識の醸成	0.81
5位	(11) 子育て支援の充実	1.85	39位	(21) 芸術文化活動の振興	0.83

70歳代以上					
上位	施策名	ニーズ指数	下位	施策名	ニーズ指数
1位	(7) 雇用対策の推進	1.89	43位	(32) 快適な市営住宅の整備	0.36
2位	(5) 企業誘致による工業の振興	1.62	42位	(37) 積極的なコミュニティ活動	0.52
3位	(22) 災害に対応できる体制整備	1.57	41位	(38) 住民協働によるまちづくり	0.69
4位	(23) 空き家対策の推進	1.49	40位	(36) 広報広聴活動の推進	0.73
5位	(11) 子育て支援の充実	1.47	39位	(34) 衛生的な居住環境の整備	0.74

### ③市への愛着の有無別

市への愛着の有無別にみると、市への愛着の有無にかかわらず、(7)雇用対策の推進、(31)雪対策の推進、(11)子育て支援の充実、(22)災害に対応できる体制整備に対する重要度と満足度の差は大きくなっています。

一方、(37)積極的なコミュニティ活動、(38)住民協働によるまちづくり、(32)快適な市営住宅の整備、(21)芸術文化活動の振興については共通して満足度と重要度の差は小さなものとなっています。

愛着がある					
上位	施策名	ニーズ指数	下位	施策名	ニーズ指数
1位	(7) 雇用対策の推進	2.27	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	0.51
2位	(31) 雪対策の推進	1.94	42位	(32) 快適な市営住宅の整備	0.58
3位	(11) 子育て支援の充実	1.84	41位	(38) 住民協働によるまちづくり	0.70
4位	(22) 災害に対応できる体制整備	1.79	40位	(39) 男女共同参画意識の醸成	0.83
5位	(5) 企業誘致による工業の振興	1.73	39位	(21) 芸術文化活動の振興	0.83

愛着は無い					
上位	施策名	ニーズ指数	下位	施策名	ニーズ指数
1位	(7) 雇用対策の推進	2.52	43位	(37) 積極的なコミュニティ活動	0.33
2位	(31) 雪対策の推進	2.51	42位	(38) 住民協働によるまちづくり	0.54
3位	(9) 診療体制の充実	2.03	41位	(32) 快適な市営住宅の整備	0.60
4位	(11) 子育て支援の充実	2.00	40位	(21) 芸術文化活動の振興	0.61
5位	(22) 災害に対応できる体制整備	1.96	39位	(10) 結婚希望者への支援	0.82

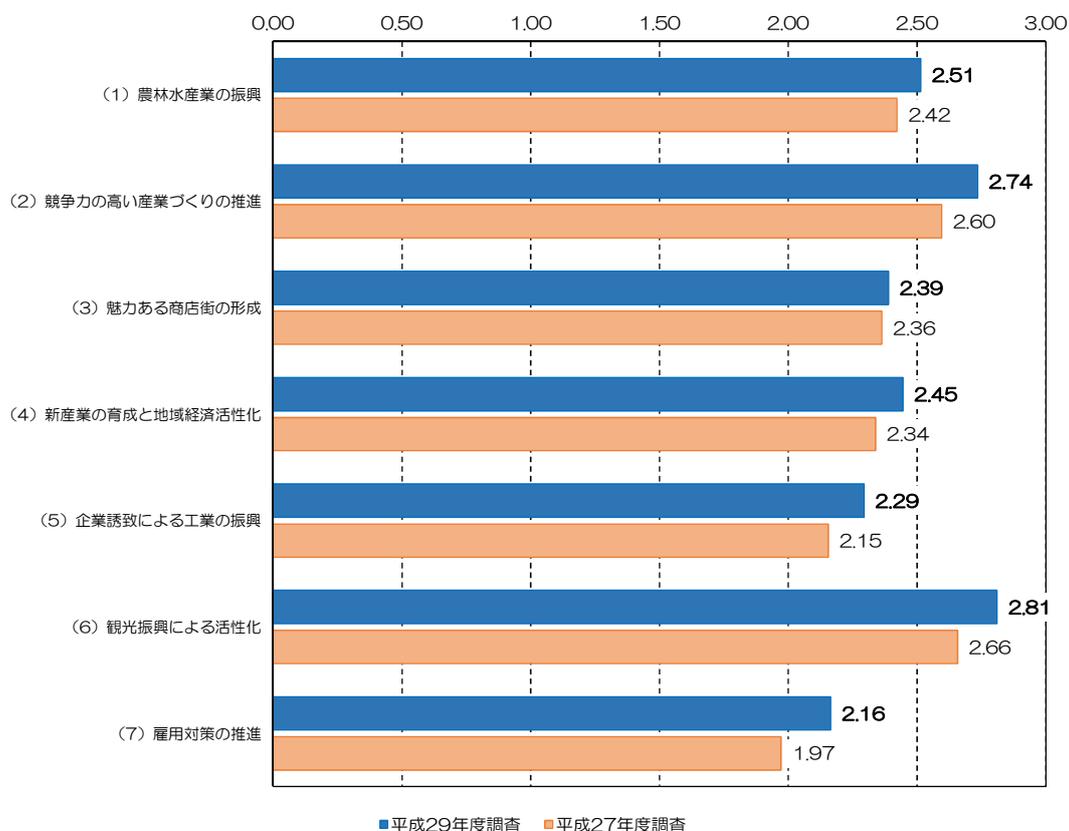
### (3) 政策分野別の詳細

#### 1) 地域の強みを生かす産業・賑わいづくり

##### ①満足度の推移

平成27年度調査からの満足度の推移をみると、すべての施策において満足度は上昇しています。特に(7)雇用対策の推進は平成27年度調査から0.19ポイント上昇し、2.16となっています。

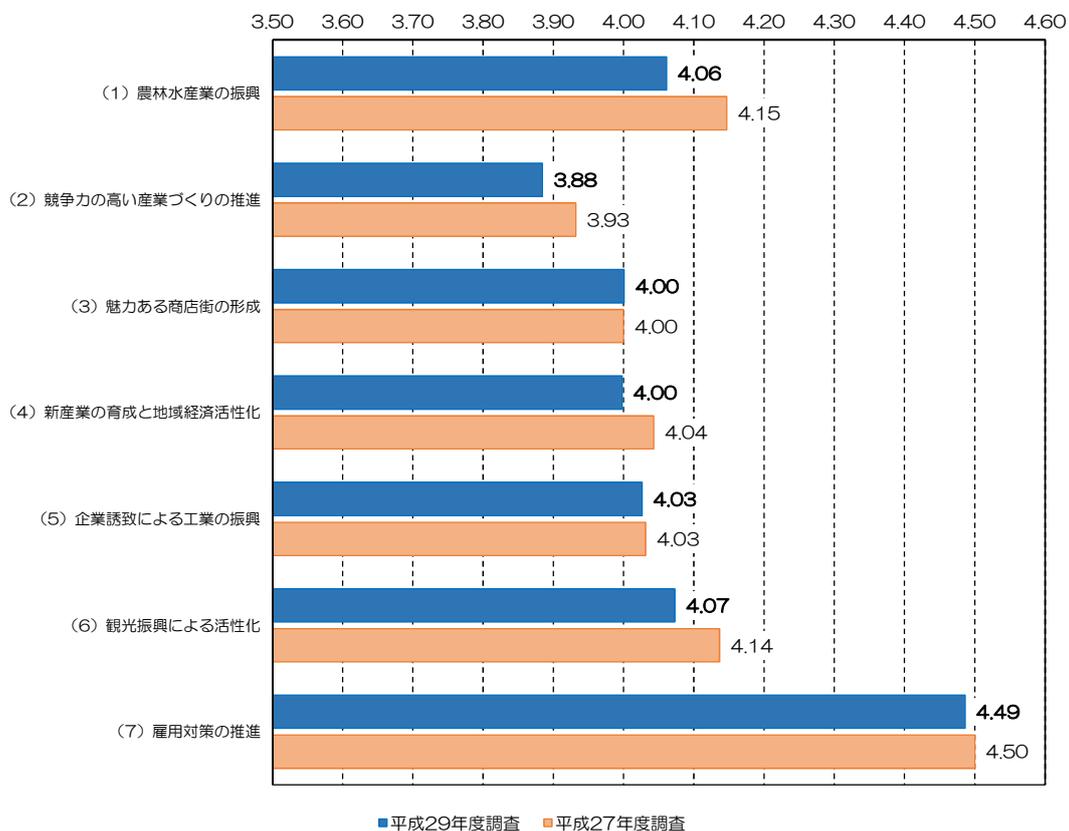
また、もっとも満足度が高かったのは、(6)観光振興による活性化の2.81ポイントとなっています。



## ②重要度の推移

平成 27 年度調査に比べて重要度が上昇した施策はなく、(3) 魅力ある商店街の形成を除いて重要度はわずかに下がっています。

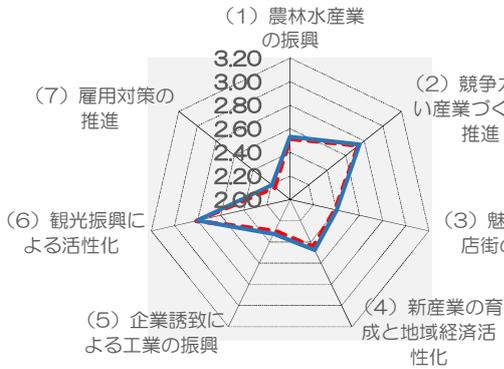
重要度がもっとも高い施策は、平成 27 年度調査と同様に、(7) 雇用対策の推進 (4.49 ポイント) となっています。



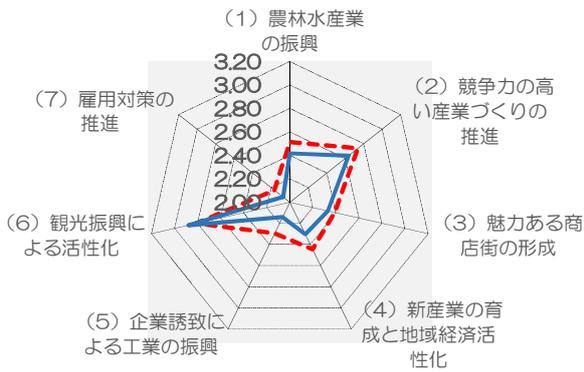
### ③属性別にみた満足度・重要度

#### 居住地域別

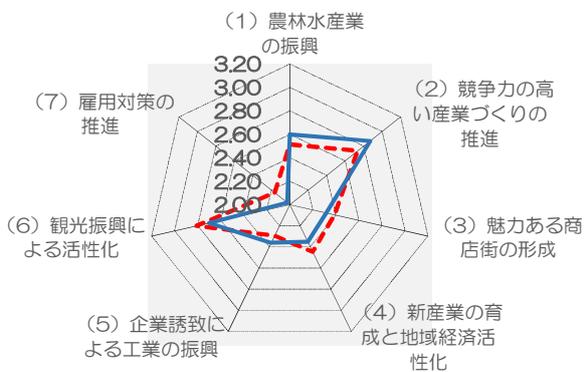
##### <満足度>



---全体 —五所川原地域

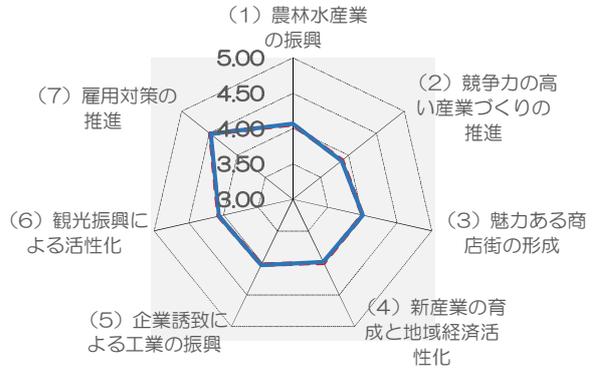


---全体 —金木地域

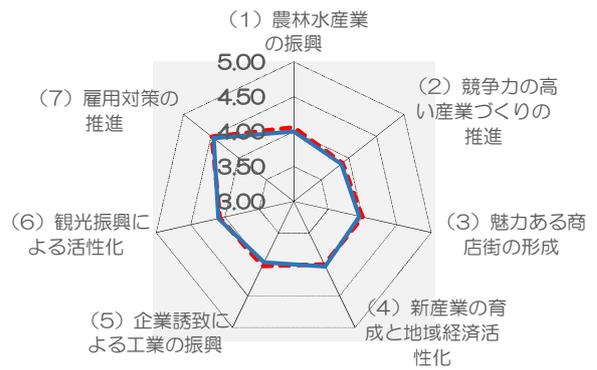


---全体 —市浦地域

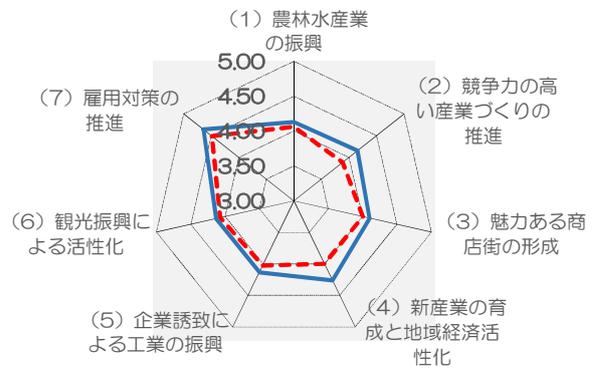
##### <重要度>



---全体 —五所川原地域



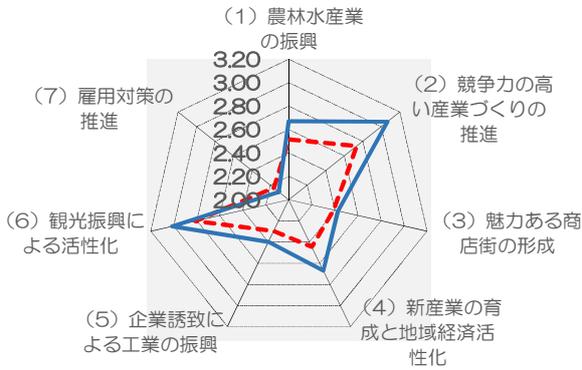
---全体 —金木地域



---全体 —市浦地域

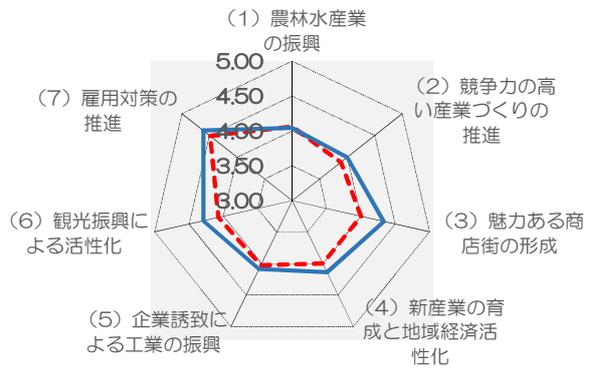
年齢別

<満足度>

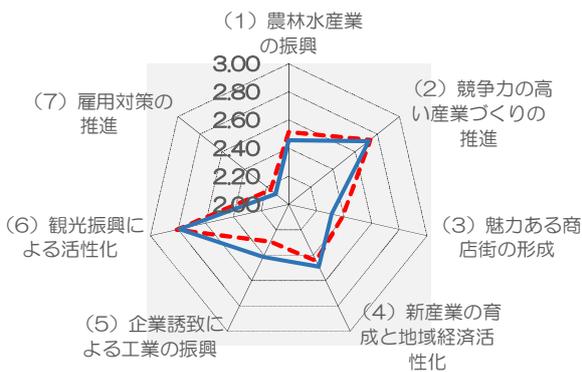


---全体 — 20歳代

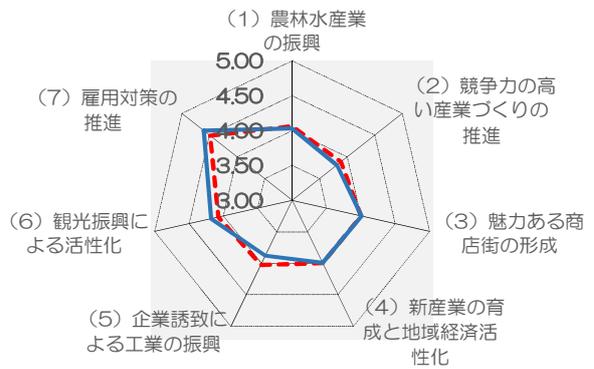
<重要度>



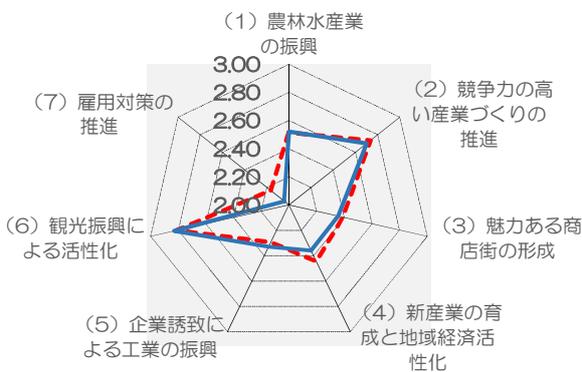
---全体 — 20歳代



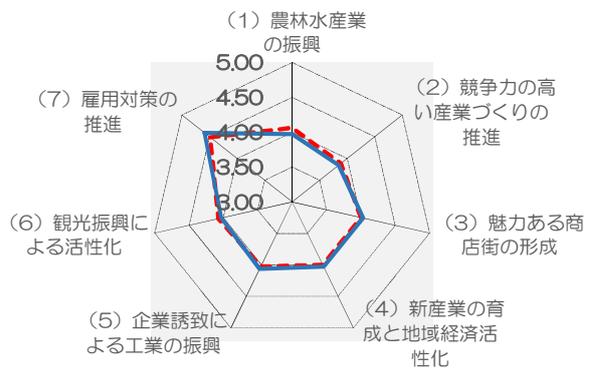
---全体 — 30歳代



---全体 — 30歳代

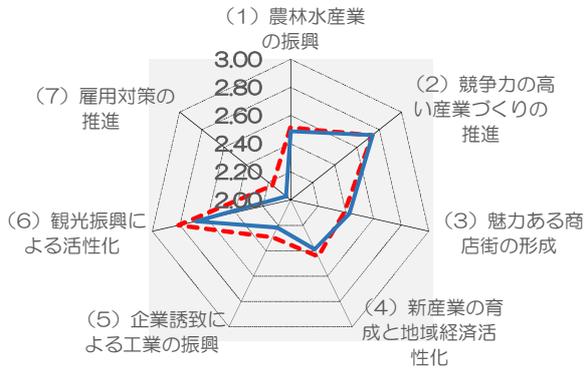


---全体 — 40歳代

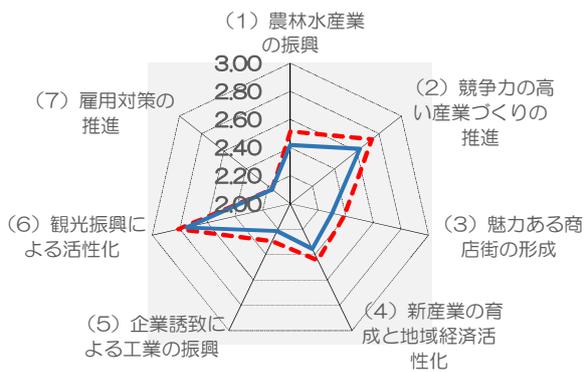


---全体 — 40歳代

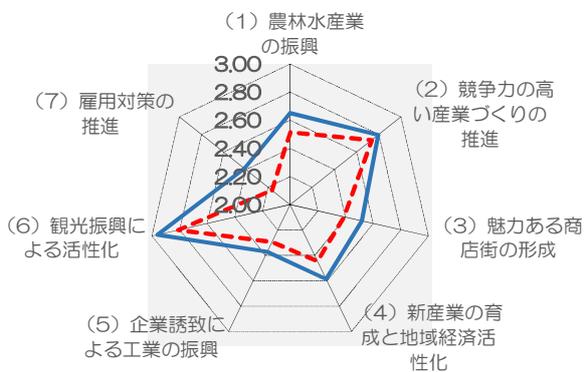
<満足度>



---全体 — 50歳代

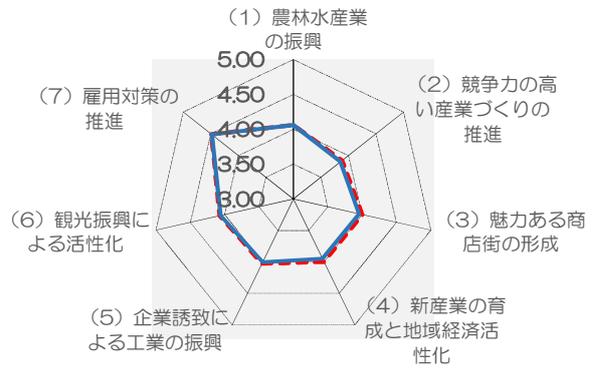


---全体 — 60歳代

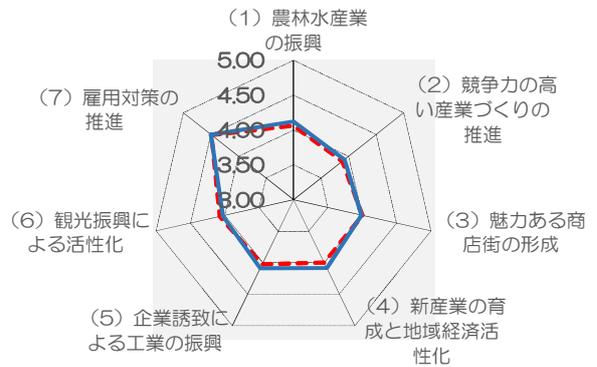


---全体 — 70歳代以上

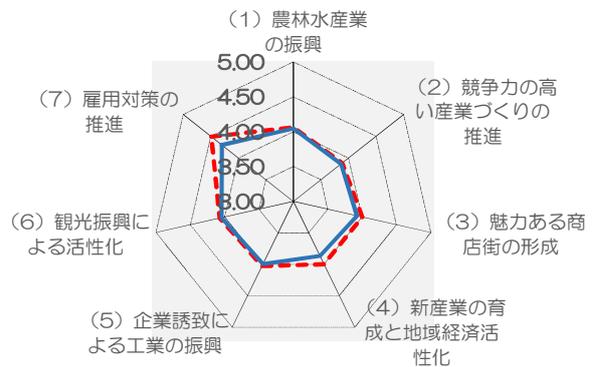
<重要度>



---全体 — 50歳代



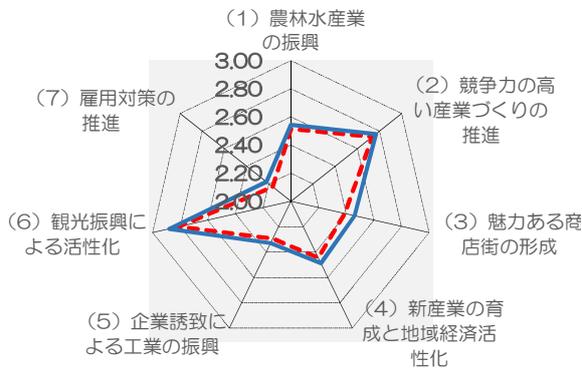
---全体 — 60歳代



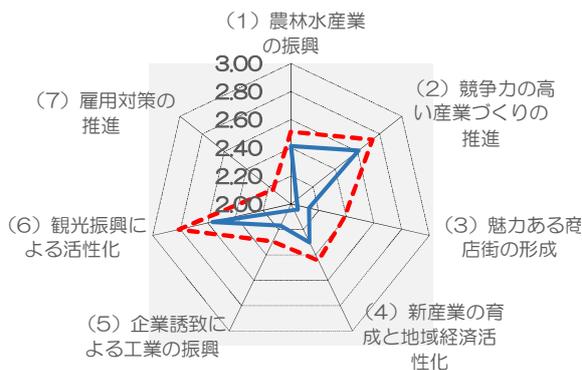
---全体 — 70歳代以上

## 市への愛着の有無別

### <満足度>

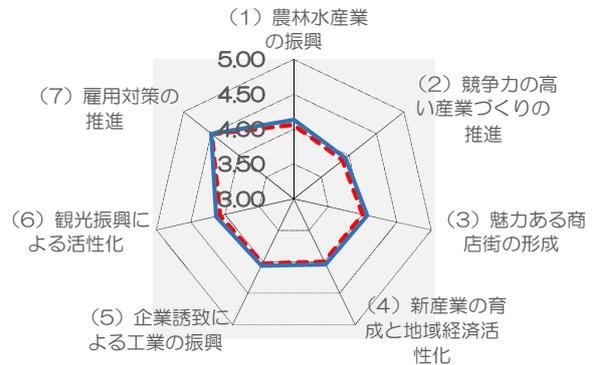


---全体 — 愛着がある

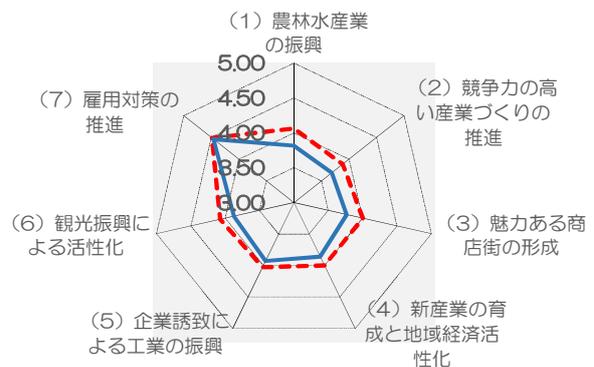


---全体 — 愛着は無い

### <重要度>



---全体 — 愛着がある



---全体 — 愛着は無い

居住地域別にみると、金木地域では全体よりも満足度は全般的に低く、市浦地域では全体よりも満足度が高い施策が多くなっています。また、市浦地域では重要度も全体よりも高くなっています。

年齢別にみると、70歳代以上では全般的に全体よりも満足度が高く、重要度は全体と同水準か、全体よりも低くなっています。

20歳代では(7)雇用対策の推進を除き、全体よりも満足度は高いものの、重要度も全体よりも高くなっています。

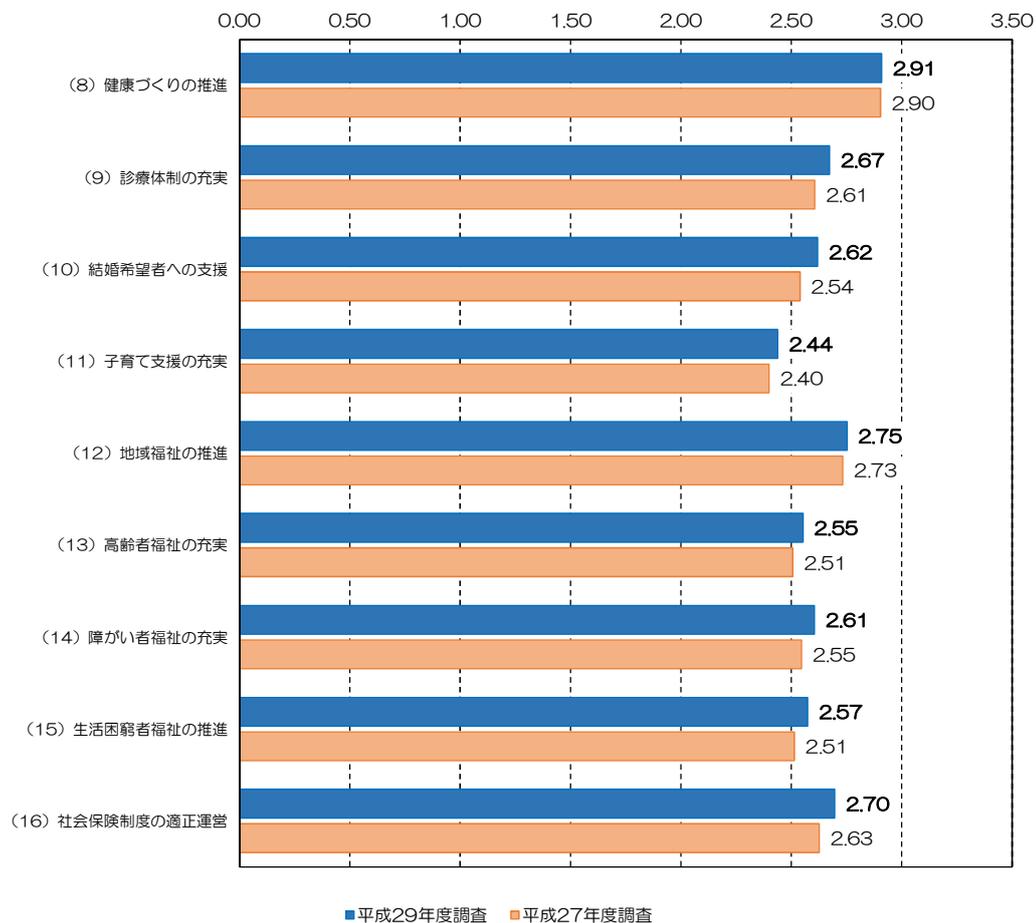
市への愛着の有無別にみると、愛着は無い層では、すべての施策において全体よりも満足度が低く、(7)雇用対策の推進を除き、重要度も低くなっています。

## 2) 地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり

### ①満足度の推移

平成27年度調査と比べるとすべての施策において満足度はわずかに上昇しています。

満足度が特に上昇したものはなく、平成27年度調査と同様に、(8)健康づくりの推進が2.91ポイントで満足度がもっとも高くなっています。

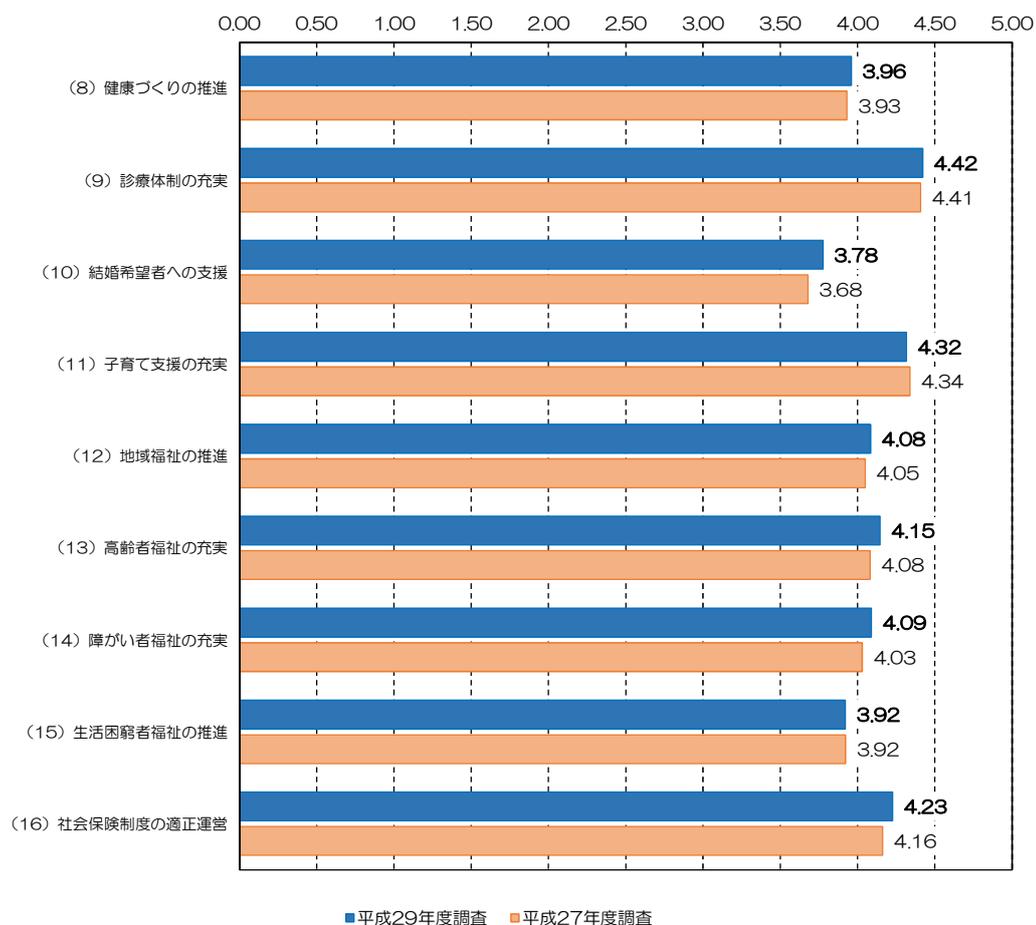


## ②重要度の推移

平成27年度調査と比べて、おおむね重要度は上昇していますが、(11)子育て支援の充実と(15)生活困窮者福祉の推進については横ばいか減少となっています。

平成27年度調査に比べて重要度が大きく上昇した施策は(10)結婚希望者への支援で、0.10ポイント上昇して、3.78ポイントとなっています。

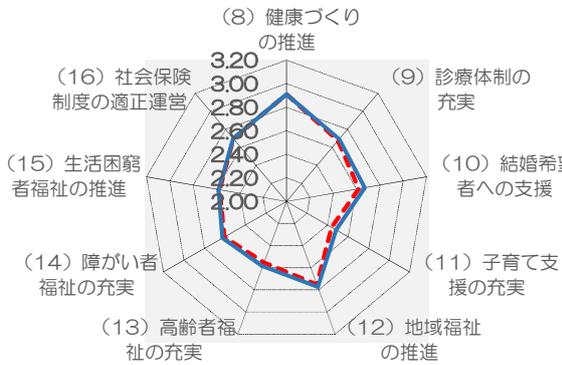
重要度が高い施策は、(9)診療体制の充実で、4.42ポイントとなっています。



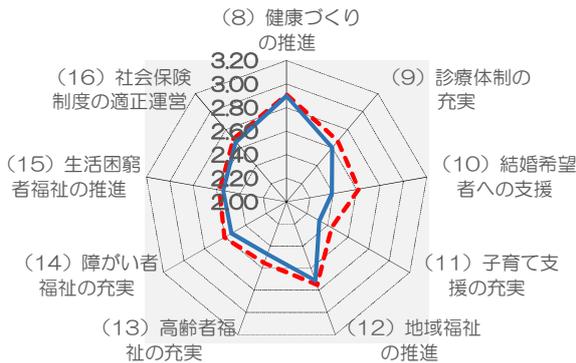
### ③属性別にみた満足度・重要度

#### 居住地域別

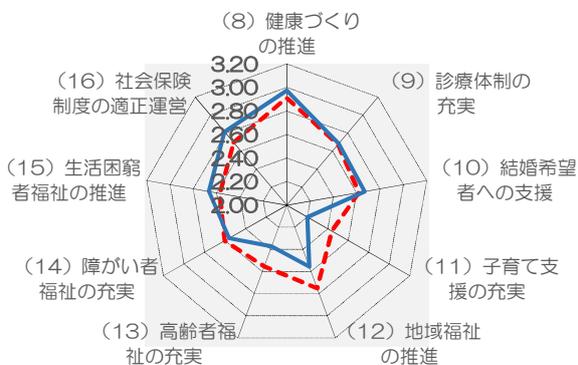
##### <満足度>



---全体 —五所川原地域

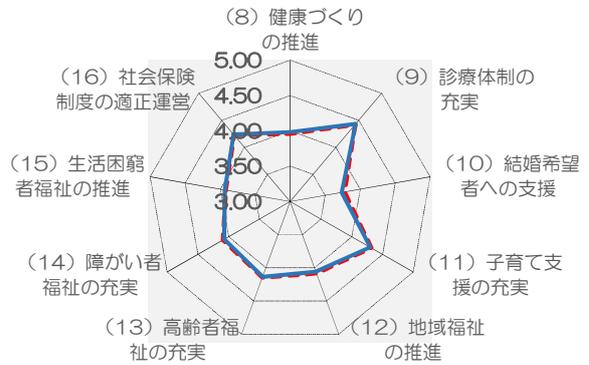


---全体 —金木地域

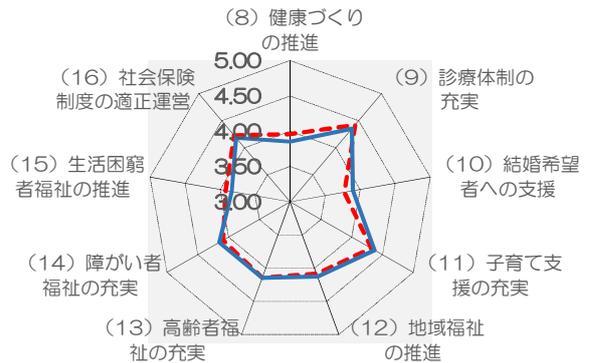


---全体 —市浦地域

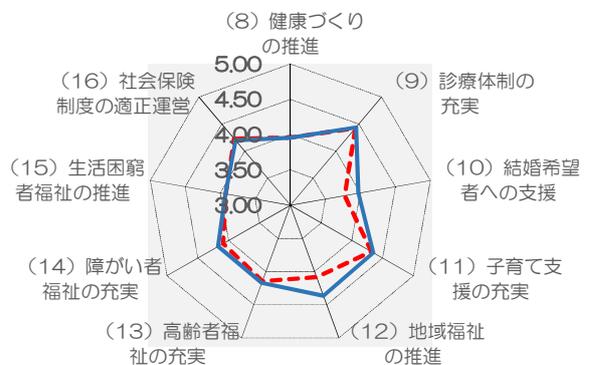
##### <重要度>



---全体 —五所川原地域



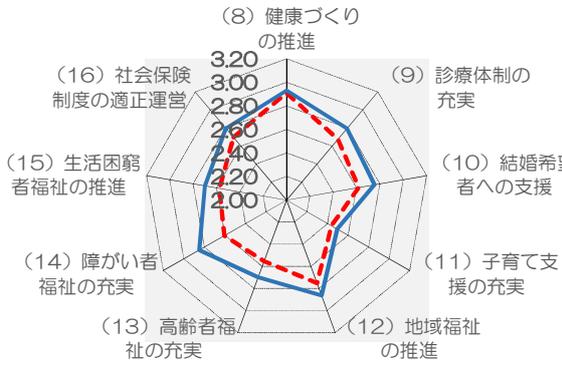
---全体 —金木地域



---全体 —市浦地域

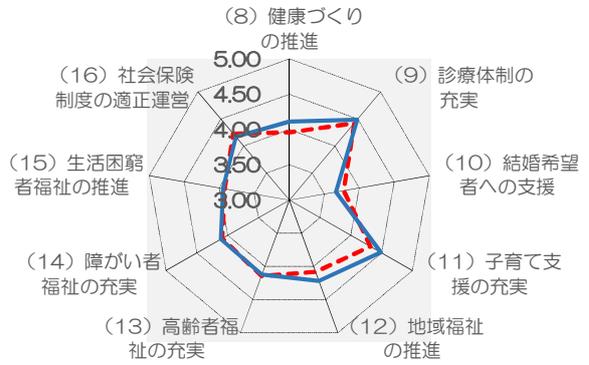
年齢別

<満足度>

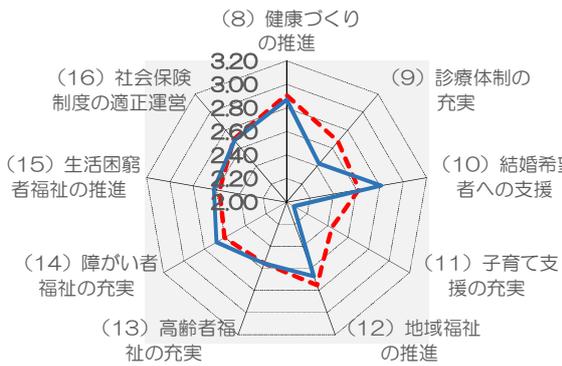


---全体 ---20歳代

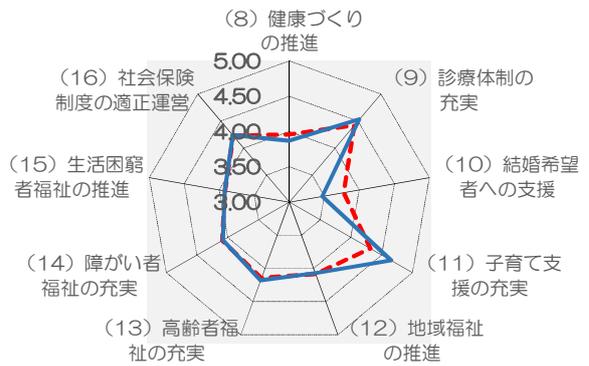
<重要度>



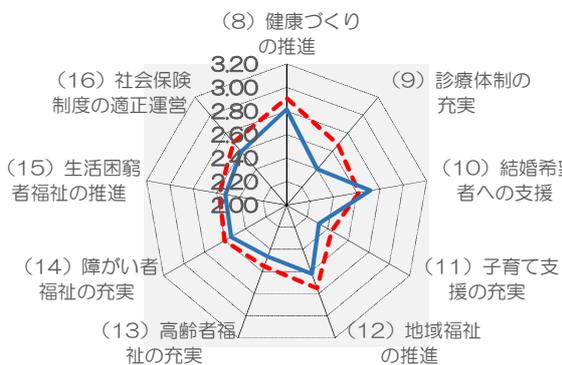
---全体 ---20歳代



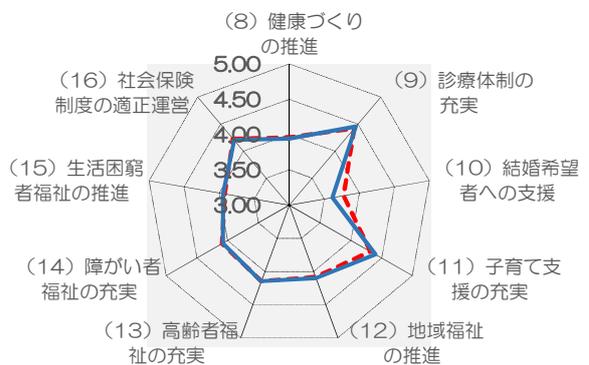
---全体 ---30歳代



---全体 ---30歳代

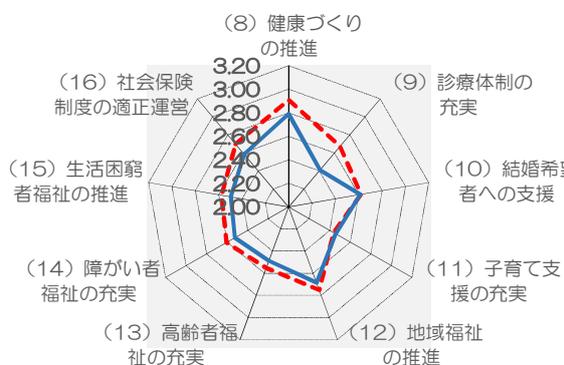


---全体 ---40歳代

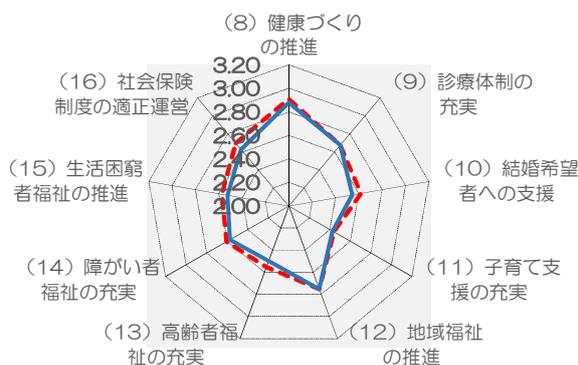


---全体 ---40歳代

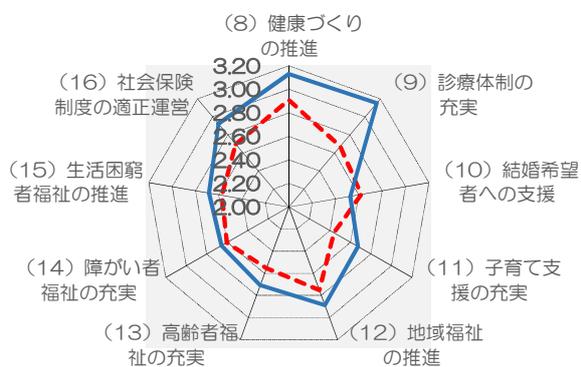
<満足度>



---全体 — 50歳代

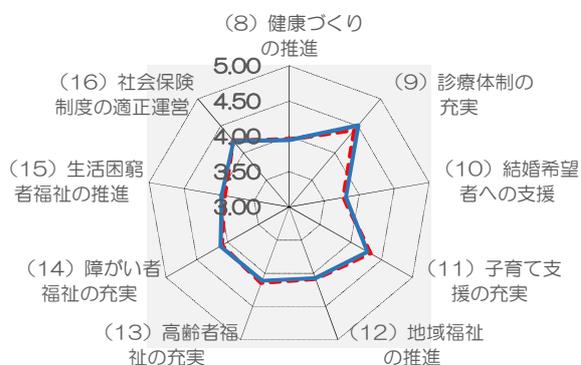


---全体 — 60歳代

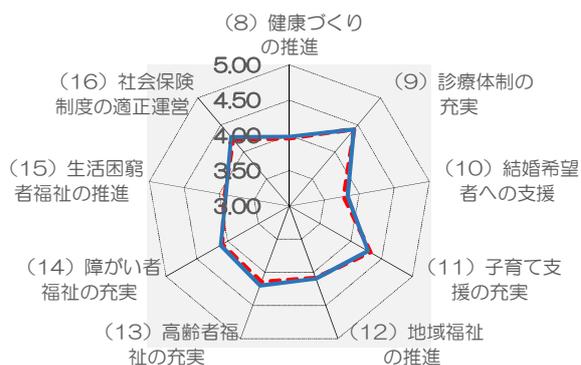


---全体 — 70歳代以上

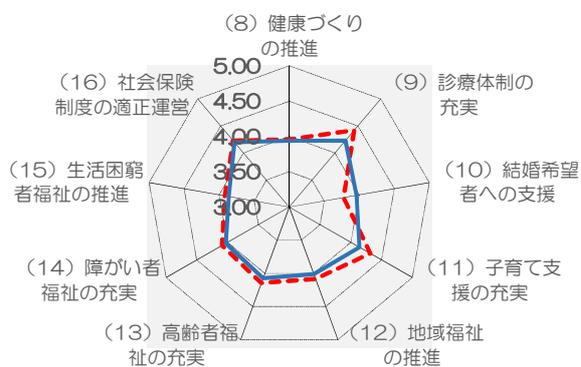
<重要度>



---全体 — 50歳代

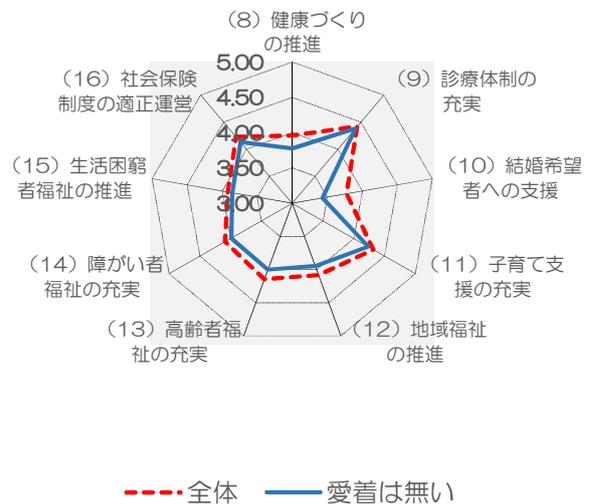
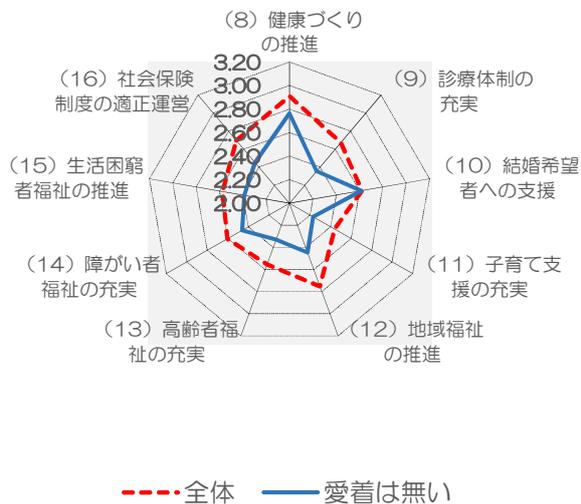
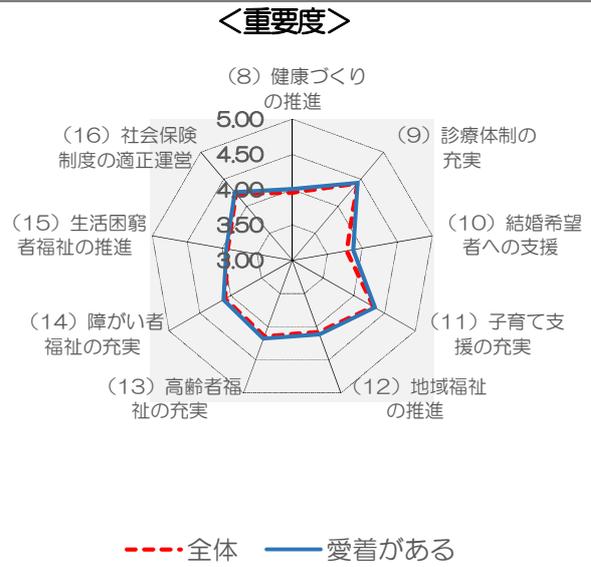
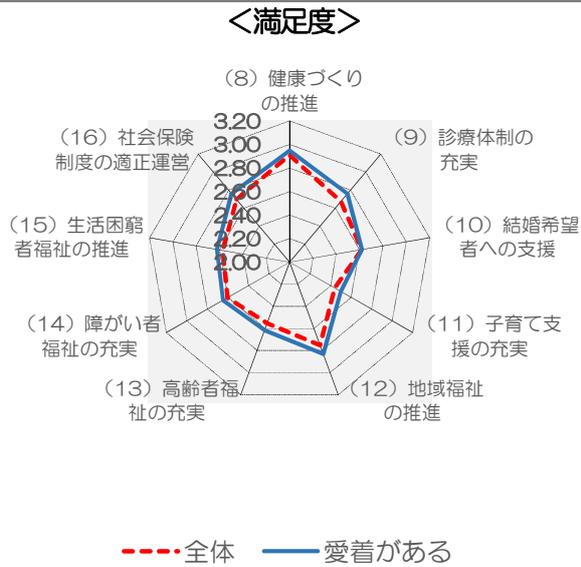


---全体 — 60歳代



---全体 — 70歳代以上

## 市への愛着の有無別



居住地域別にみると、金木地域では全体よりも満足度は全般的に低く、(10) 結婚希望者への支援、(11) 子育て支援の充実などの満足度が低くなっています。

市浦地域では(15) 生活困窮者福祉の推進、(16) 社会保険制度の適正運営などの満足度が全体よりも高いものの、(11) 子育て支援の充実、(12) 地域福祉の推進の満足度は低くなっています。また市浦地域では(12) 地域福祉の推進の重要度が高くなっています。

年齢別にみると、70歳代以上では(8) 健康づくりの推進、(9) 診療体制の充実の満足度が高く、全般的に施策の満足度が高くなっています。

(9) 診療体制の充実については、30～50歳代では満足度が低くなっています。

すべての年齢において、(9) 診療体制の充実と(11) 子育て支援の充実などの重要度が高くなっています。

市への愛着の有無別にみると、愛着は無い層では、おおむね全体よりも満足度が低く、重要度も低くなっています。

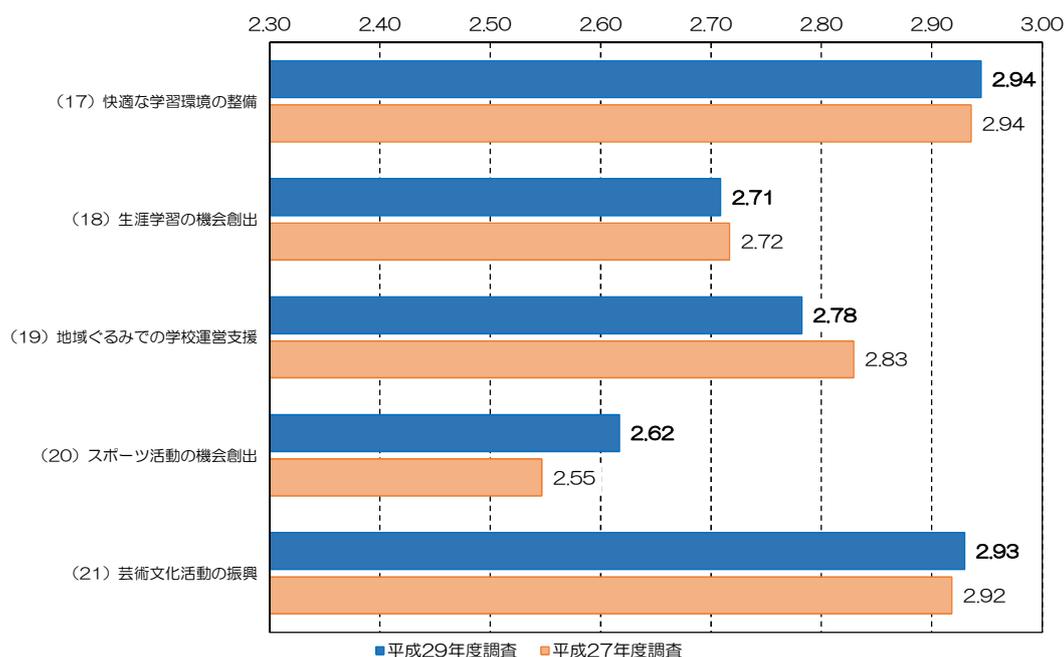
### 3) 個性を伸ばし育む人財・文化づくり

#### ①満足度の推移

(17) 快適な学習環境の整備、(20) スポーツ活動の機会創出、(21) 芸術文化活動の振興については、平成27年度調査に比べて満足度がわずかに上昇しています。

一方、(18) 生涯学習の機会創出と(19) 地域ぐるみでの学校運営支援については反対にわずかながら満足度が減少しています。

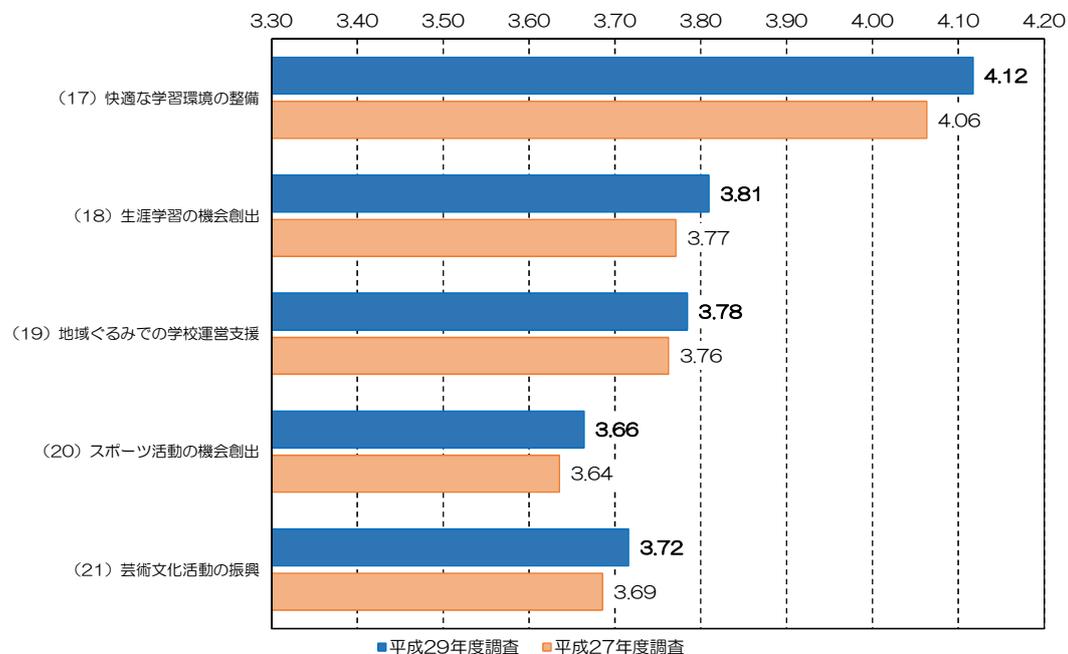
個性を伸ばし育む人財・文化づくりにおいては、(17) 快適な学習環境の整備(2.94ポイント)、(21) 芸術文化活動の振興(2.93ポイント)の満足度が高くなっています。



## ②重要度の推移

平成27年度調査と比べて、すべての施策の重要度がわずかながら上昇しています。

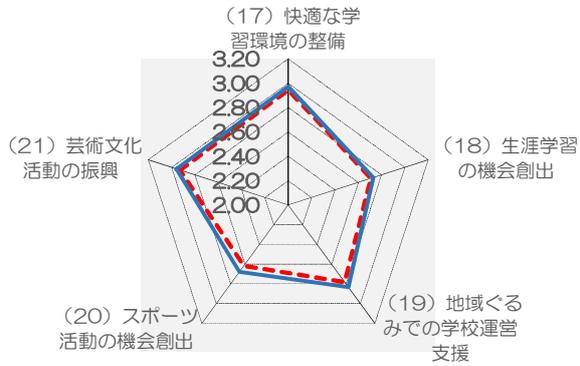
突出して上昇した施策はなく、重要度がもっとも高かった施策は、平成27年度調査と同様に(17) 快適な学習環境の整備(4.12ポイント)となっています。



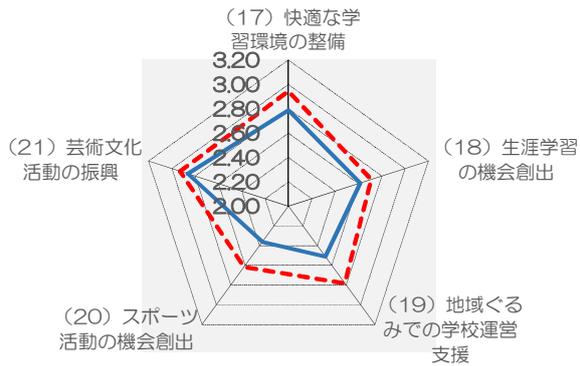
### ③属性別にみた満足度・重要度

#### 居住地域別

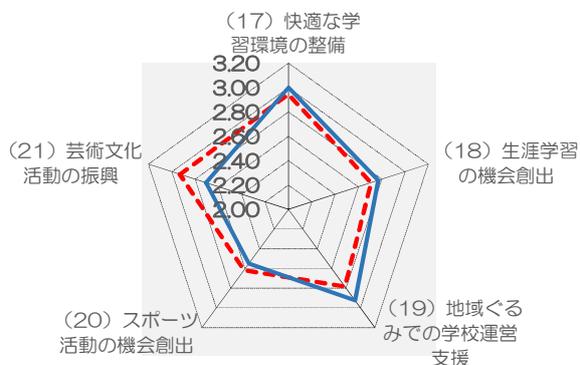
##### <満足度>



---全体 —五所川原地域

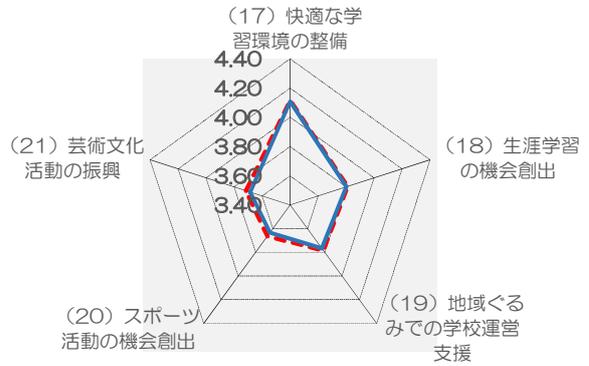


---全体 —金木地域

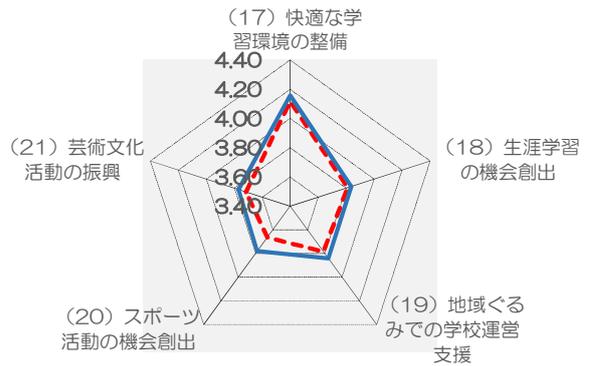


---全体 —市浦地域

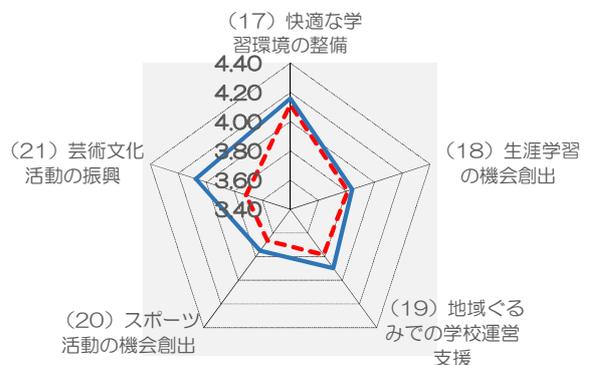
##### <重要度>



---全体 —五所川原地域



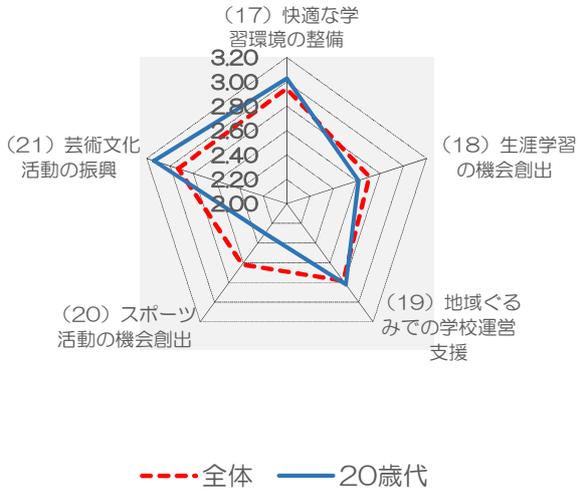
---全体 —金木地域



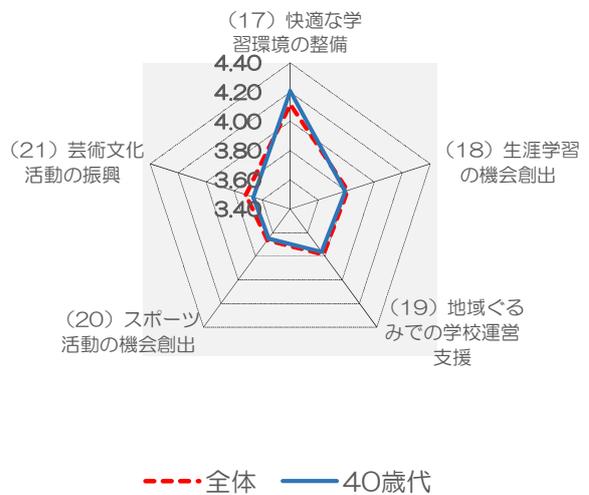
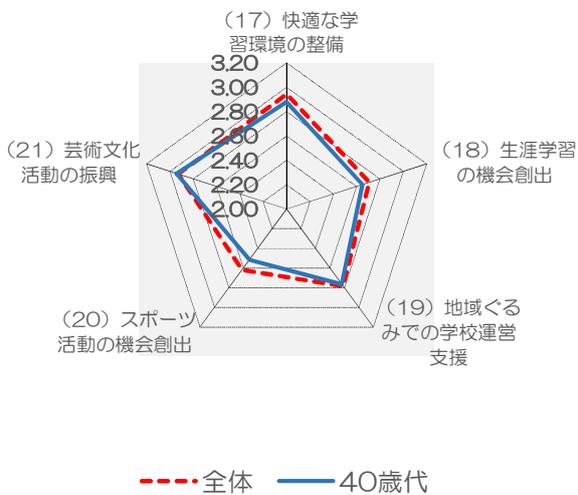
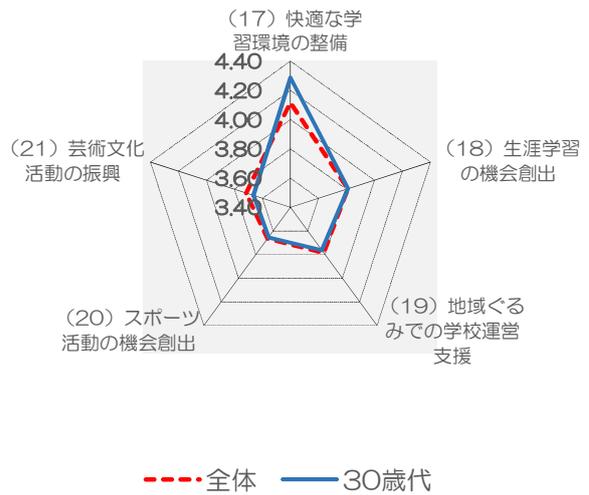
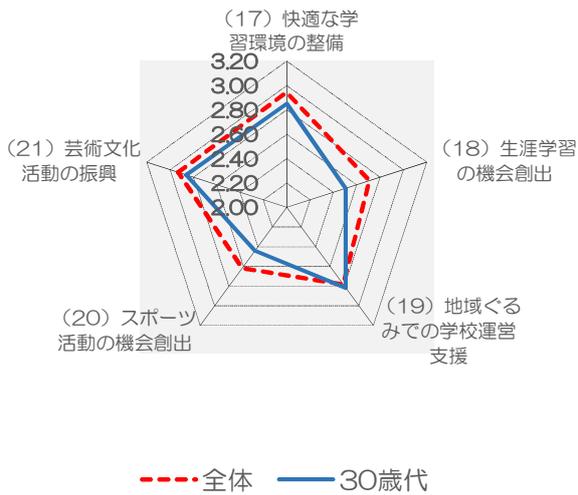
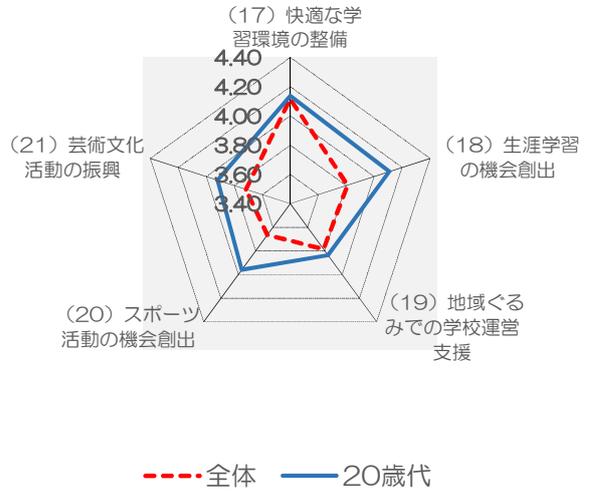
---全体 —市浦地域

年齢別

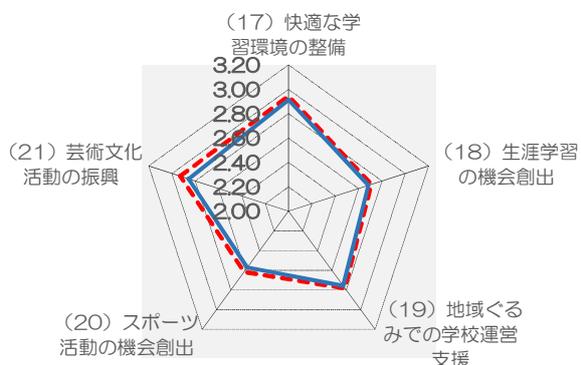
<満足度>



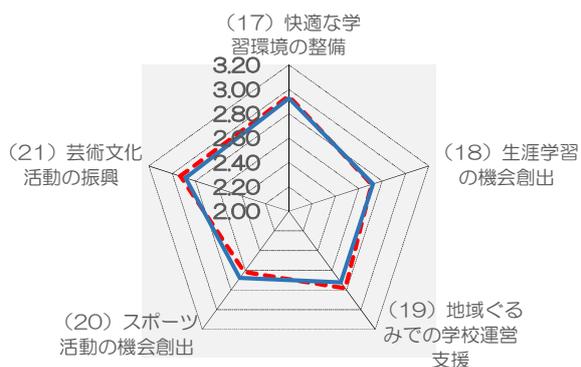
<重要度>



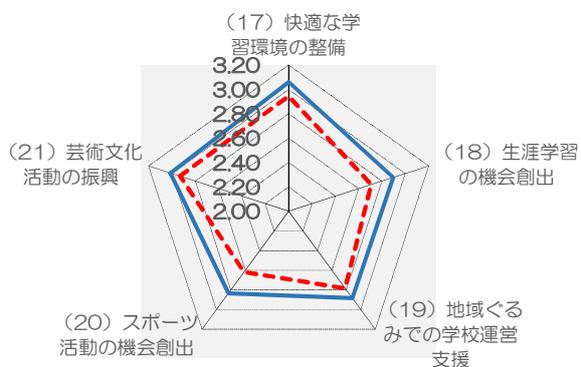
<満足度>



---全体 — 50歳代

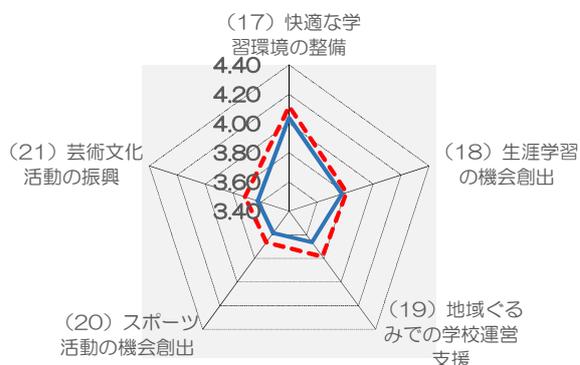


---全体 — 60歳代

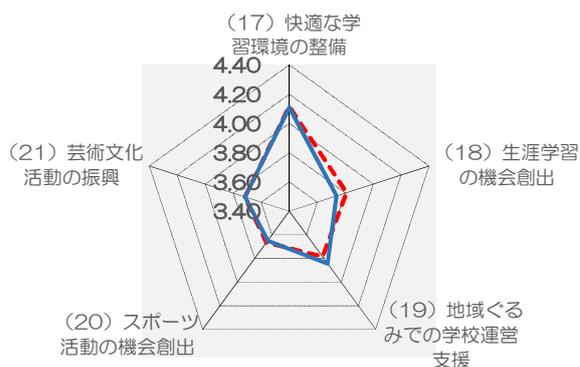


---全体 — 70歳代以上

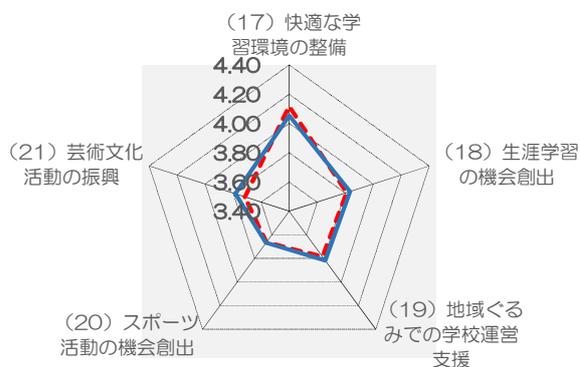
<重要度>



---全体 — 50歳代



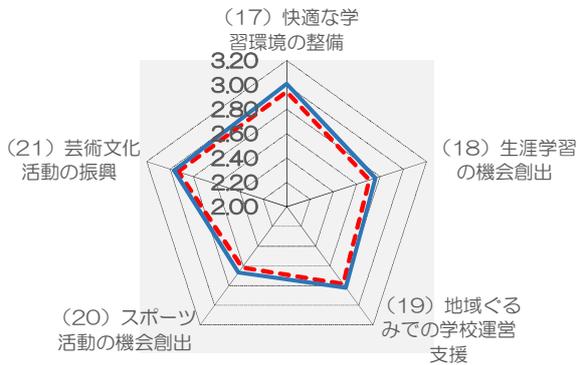
---全体 — 60歳代



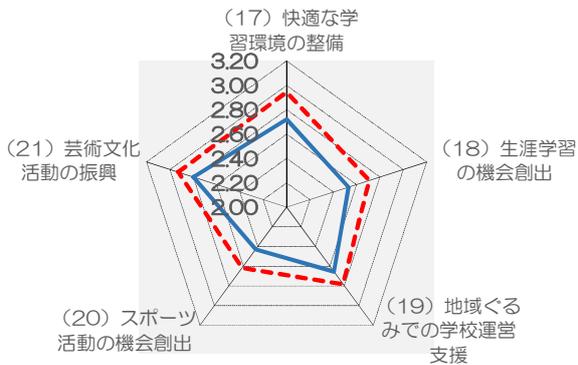
---全体 — 70歳代以上

## 市への愛着の有無別

### <満足度>

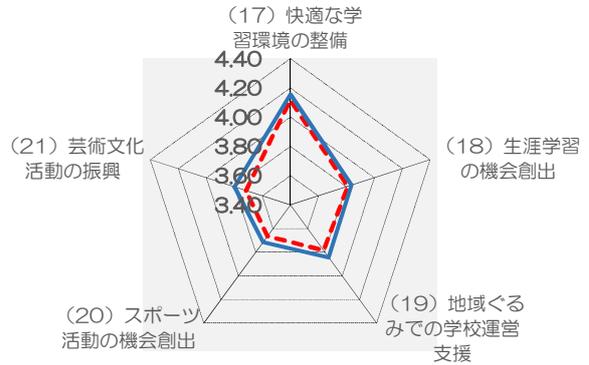


---全体 — 愛着がある

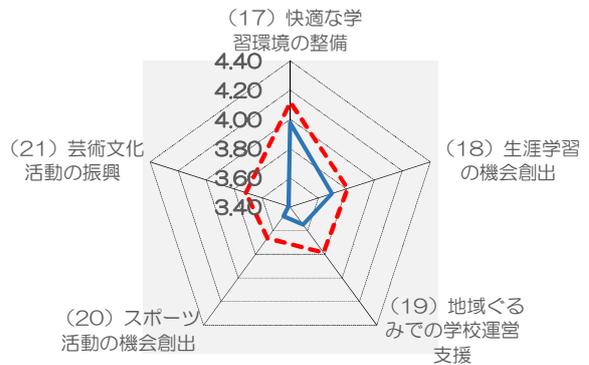


---全体 — 愛着は無い

### <重要度>



---全体 — 愛着がある



---全体 — 愛着は無い

居住地域別にみると、金木地域では全般的に満足度が低く、市浦地域では(21)芸術文化活動の振興などの満足度が全体よりも低くなっています。

重要度については、金木地域では(20)スポーツ活動の機会創出、市浦地域では(21)芸術文化活動の振興などで全体よりも高くなっています。

年齢別にみると、20歳代では(21)芸術文化活動の振興の満足度が高く、(20)スポーツ活動の機会創出の満足度が低くなっています。また20歳代では(18)生涯学習の機会創出と(20)スポーツ活動の機会創出の重要度が特に高くなっています。

50歳代では全般的に重要度が全体よりも低くなっています。

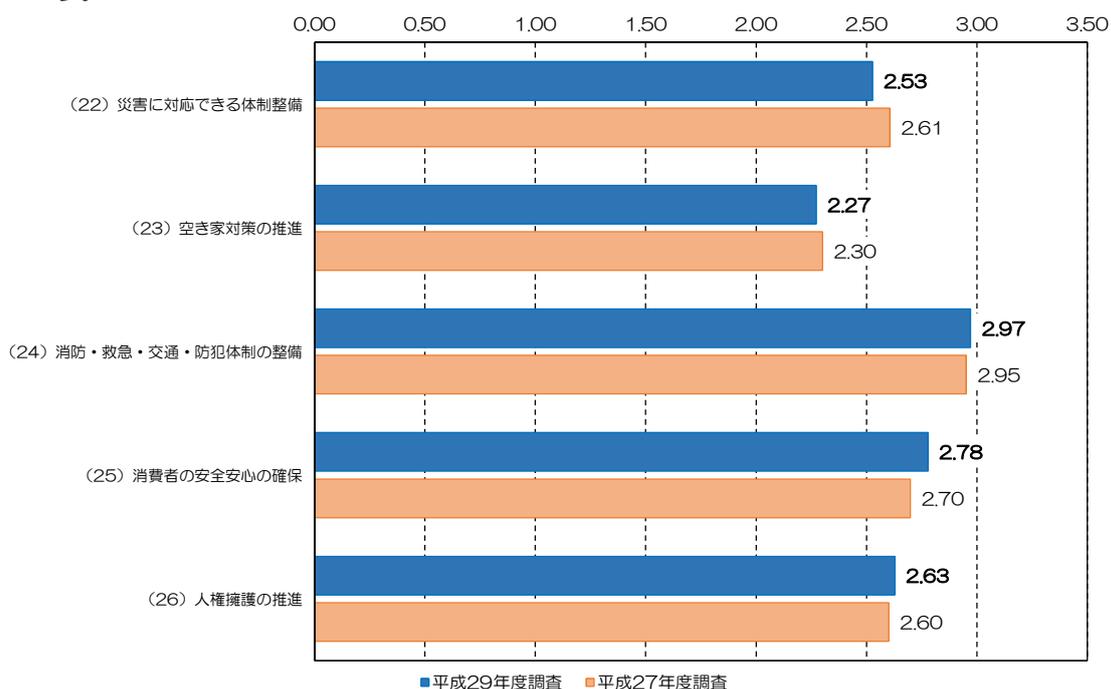
市への愛着の有無別にみると、愛着は無い層では、おおむね全体よりも満足度が低く、重要度も低くなっており、特に(21)芸術文化活動の振興の重要度が低くなっています。

## 4) 命と生活を守る安全・安心づくり

### ①満足度の推移

平成27年度調査と比べると、(22) 災害に対応できる体制整備と(23) 空き家対策の推進については満足度が減少しています。

(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備、(25) 消費者の安全安心の確保、(26) 人権擁護の推進については満足度がやや上昇しており、命と生活を守る安全・安心づくりの中では、(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備の満足度が2.97ポイントで最も高くなっています。

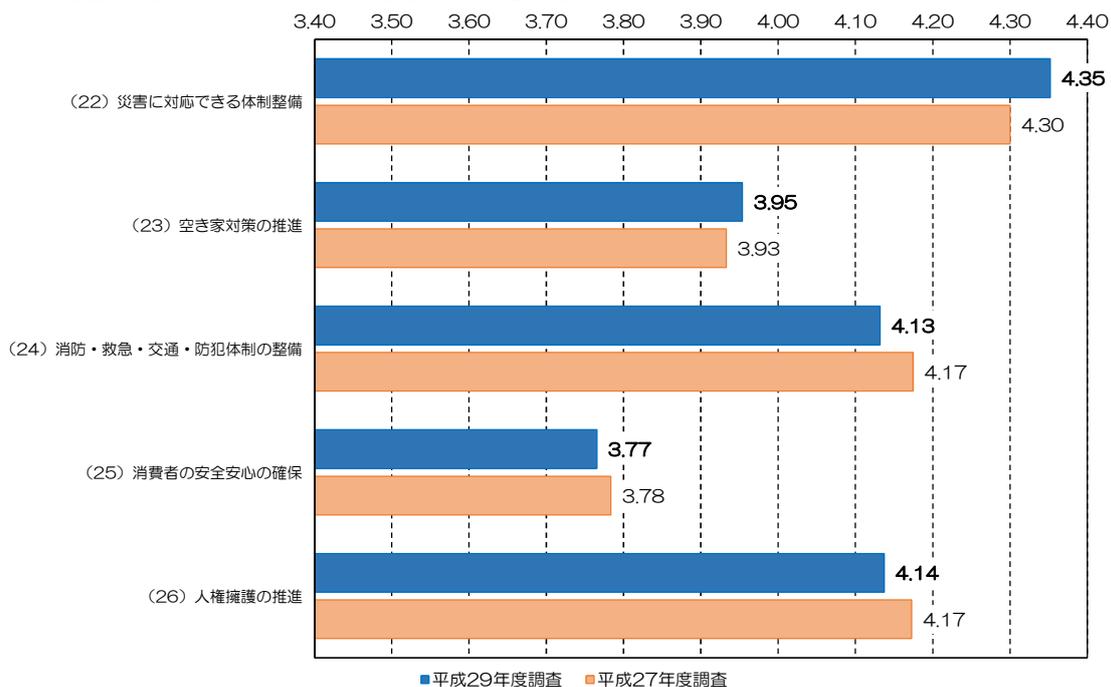


## ②重要度の推移

平成 27 年度調査と比べて、(22) 災害に対応できる体制整備と (23) 空き家対策の推進の重要度はやや上昇しています。

反対に、(24) 消防・救急・交通・防犯体制の整備、(25) 消費者の安全安心の確保、(26) 人権擁護の推進の重要度はわずかに下がっています。

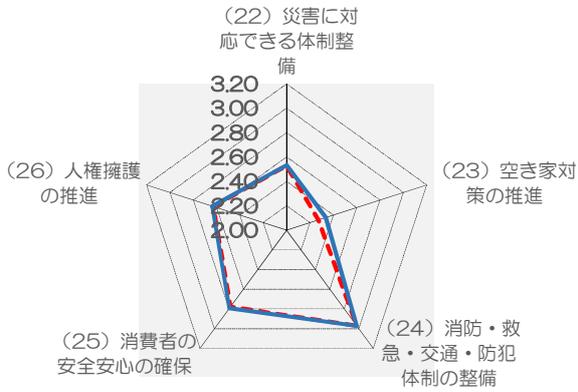
重要度がもっとも高かった施策は、平成 27 年度調査と同様に、(22) 災害に対応できる体制整備で、4.35 ポイントとなっています。



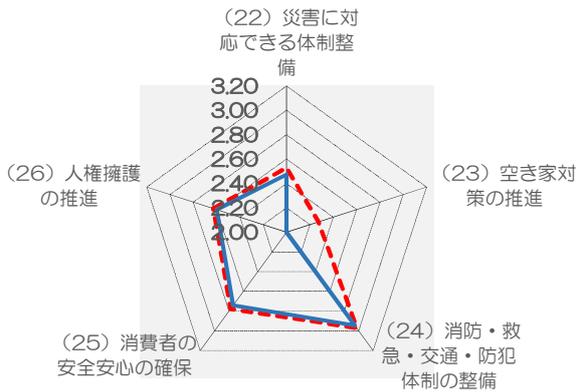
### ③属性別にみた満足度・重要度

#### 居住地域別

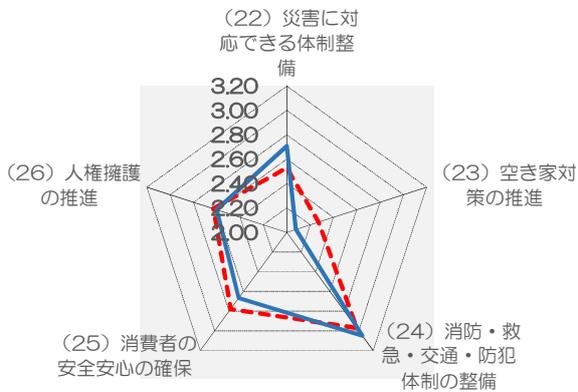
##### <満足度>



---全体 — 五所川原地域

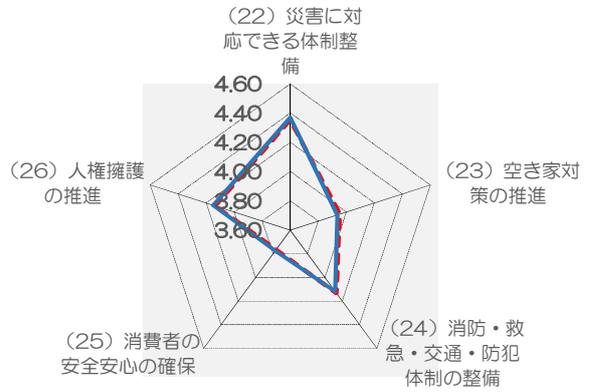


---全体 — 金木地域

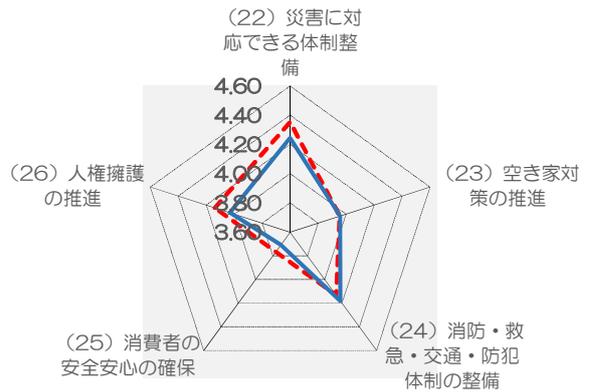


---全体 — 市浦地域

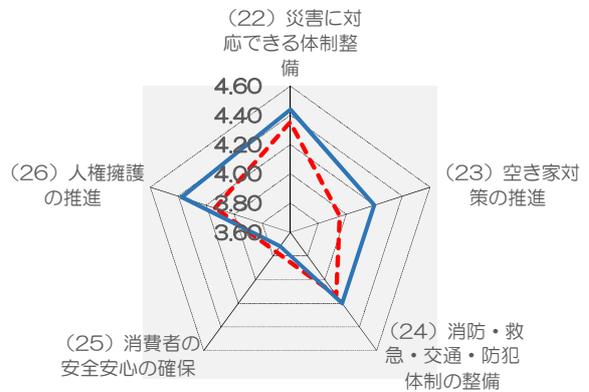
##### <重要度>



---全体 — 五所川原地域



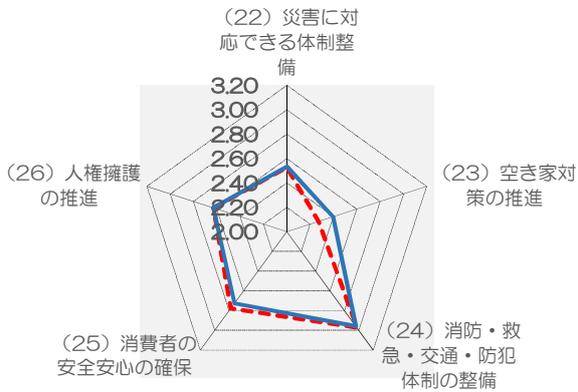
---全体 — 金木地域



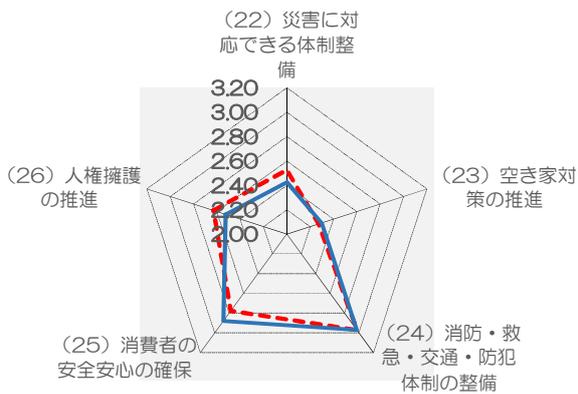
---全体 — 市浦地域

年齢別

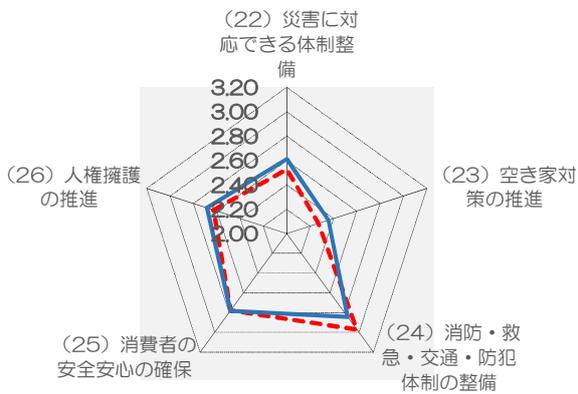
<満足度>



---全体 — 20歳代

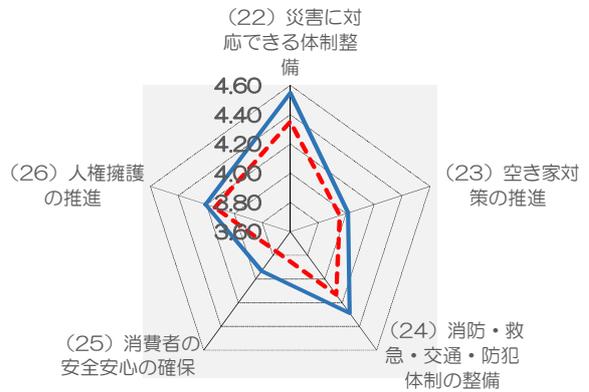


---全体 — 30歳代

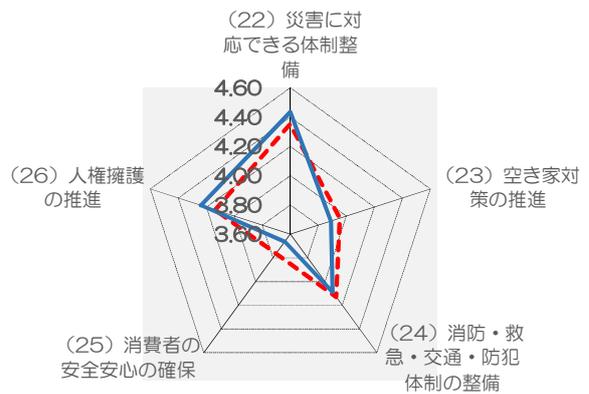


---全体 — 40歳代

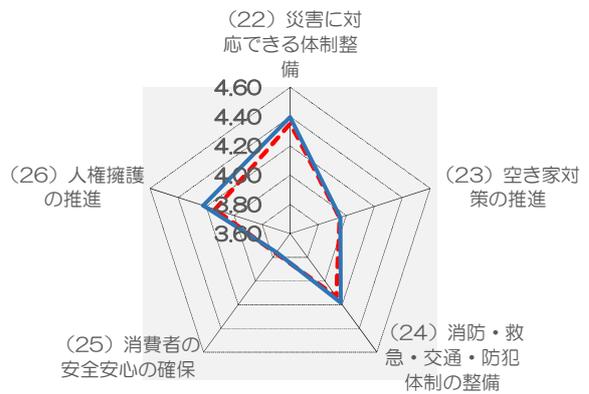
<重要度>



---全体 — 20歳代

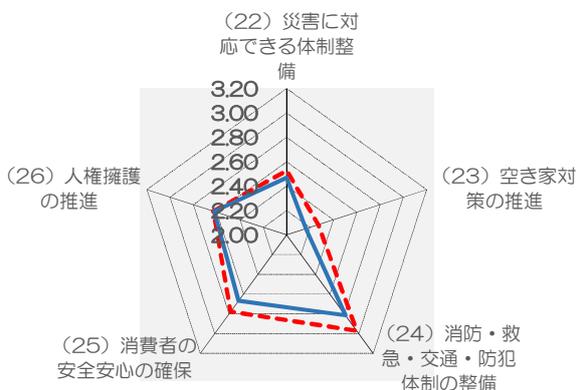


---全体 — 30歳代



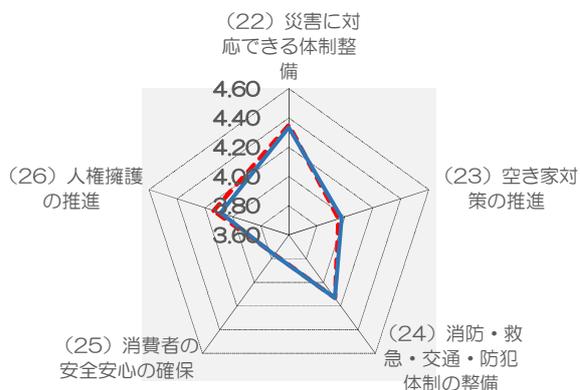
---全体 — 40歳代

<満足度>

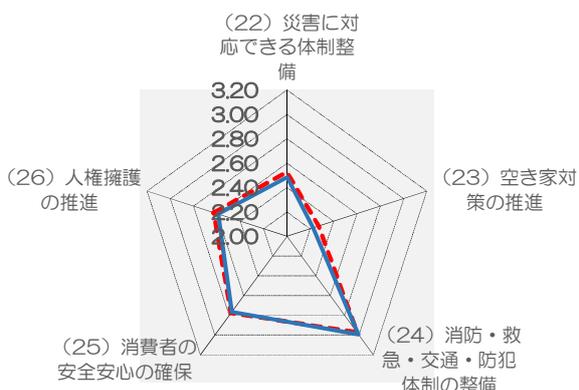


---全体 — 50歳代

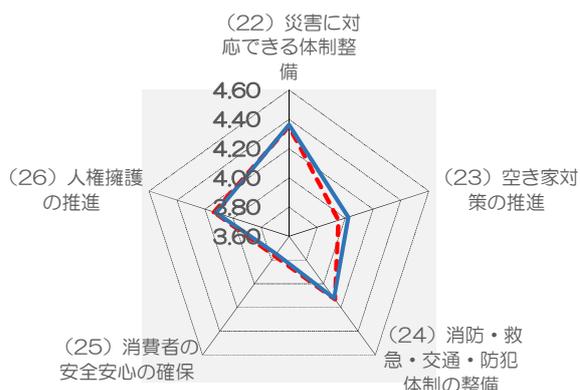
<重要度>



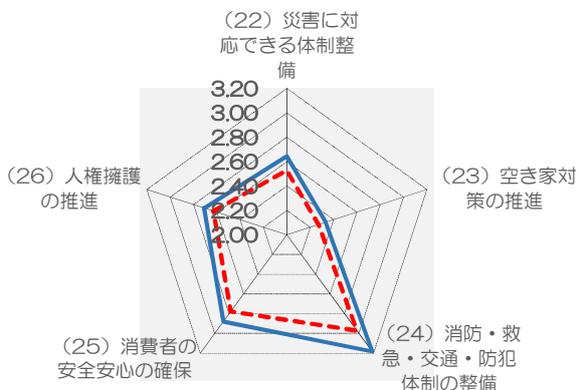
---全体 — 50歳代



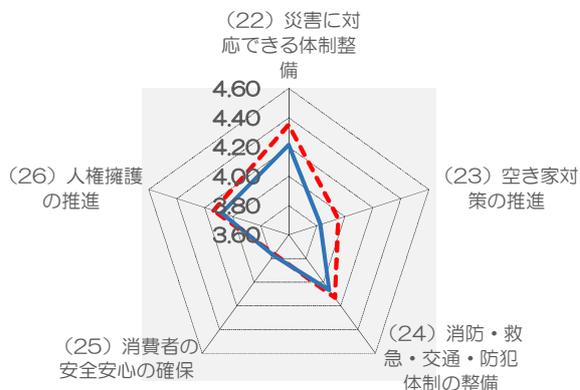
---全体 — 60歳代



---全体 — 60歳代

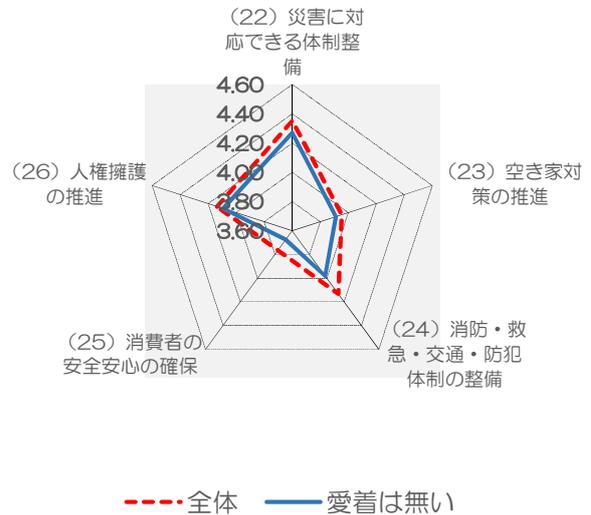
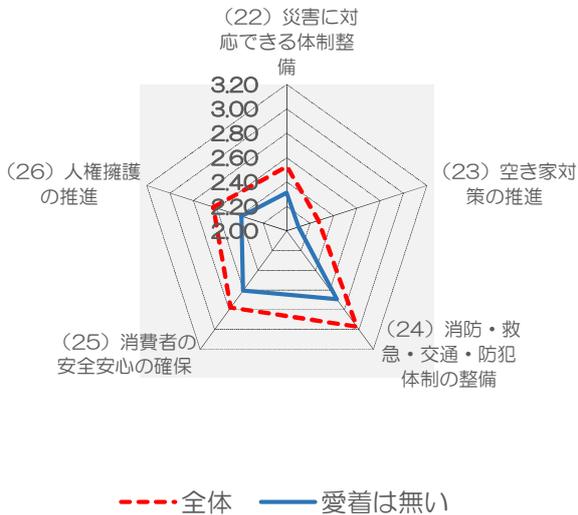
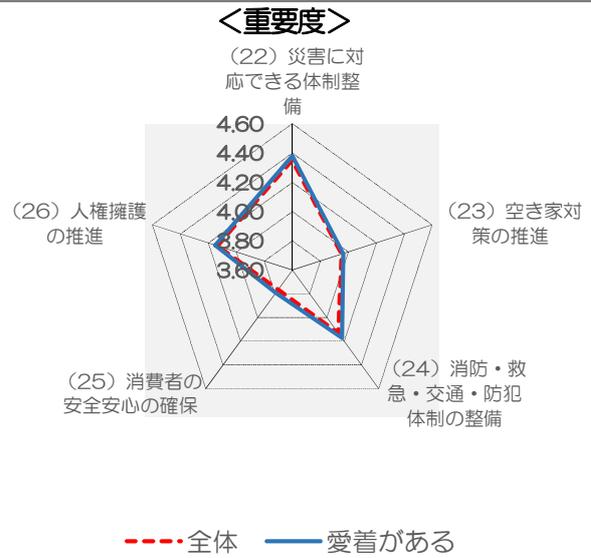
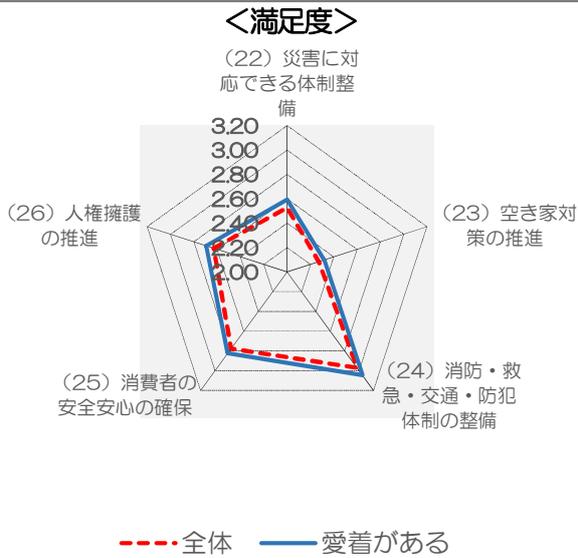


---全体 — 70歳代以上



---全体 — 70歳代以上

## 市への愛着の有無別



居住地域別にみると、金木地域と市浦地域では(23) 空き家対策の推進の満足度が低くなっています。また市浦地域では(23) 空き家対策の推進、(26) 人権擁護の推進などの重要度が全体よりも高くなっています。

年齢別にみると、50歳代では全般的に満足度が低く、70歳代では全般的に満足度が高くなっています。

重要度については全般的に20歳代で全体よりも高くなっています。

市への愛着の有無別にみると、愛着は無い層では、おおむね全体よりも満足度が低く、重要度も低くなっています。

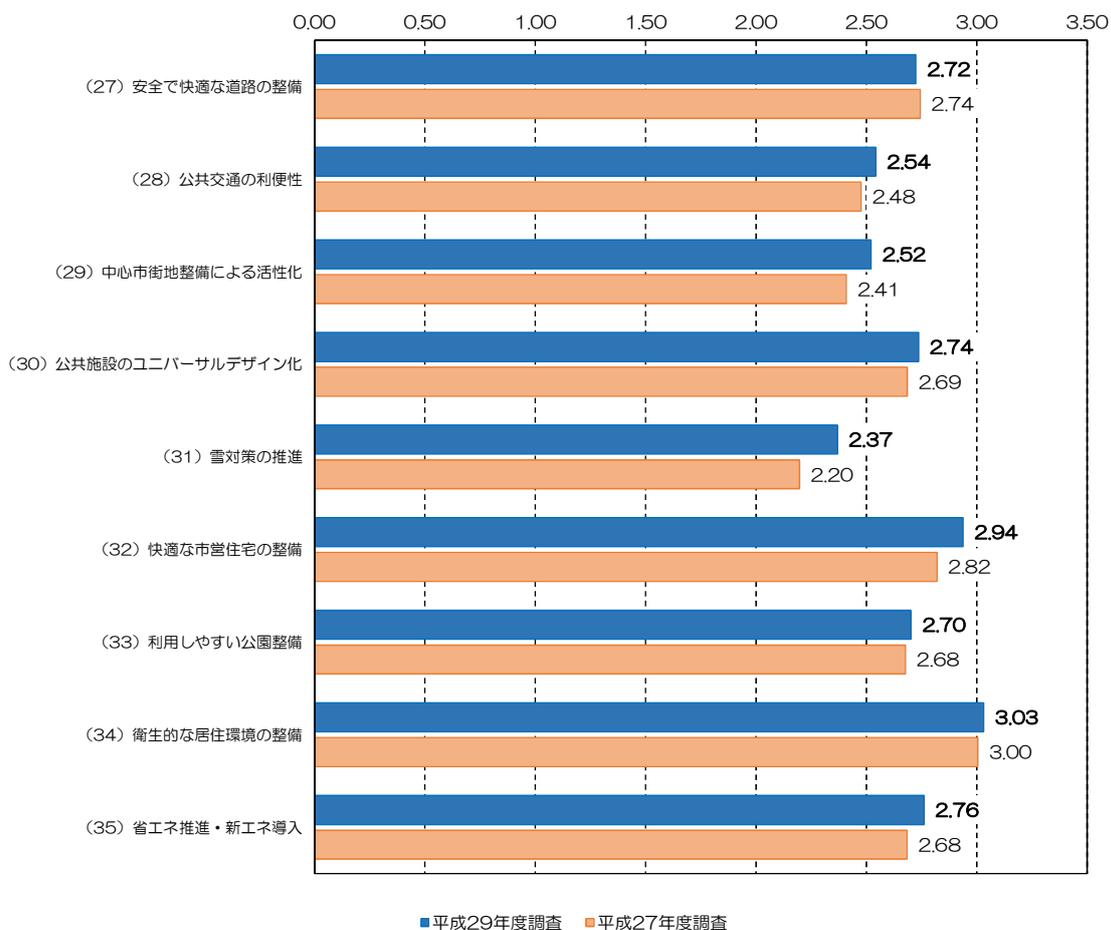
## 5) 快適で質の高い環境・住まいづくり

### ①満足度の推移

平成27年度調査と比べると、全般的に満足度は上昇していますが、(27)安全で快適な道路の整備だけはわずかに満足度が減少しています。

(31)雪対策の推進は平成27年度調査に比べて満足度が0.17ポイント上昇していますが、快適で質の高い環境・住まいづくりの中では満足度がもっとも低くなっています。

満足度が高かった施策は、(34)衛生的な居住環境の整備(3.03ポイント)、(32)快適な市営住宅の整備(2.94ポイント)となっています。

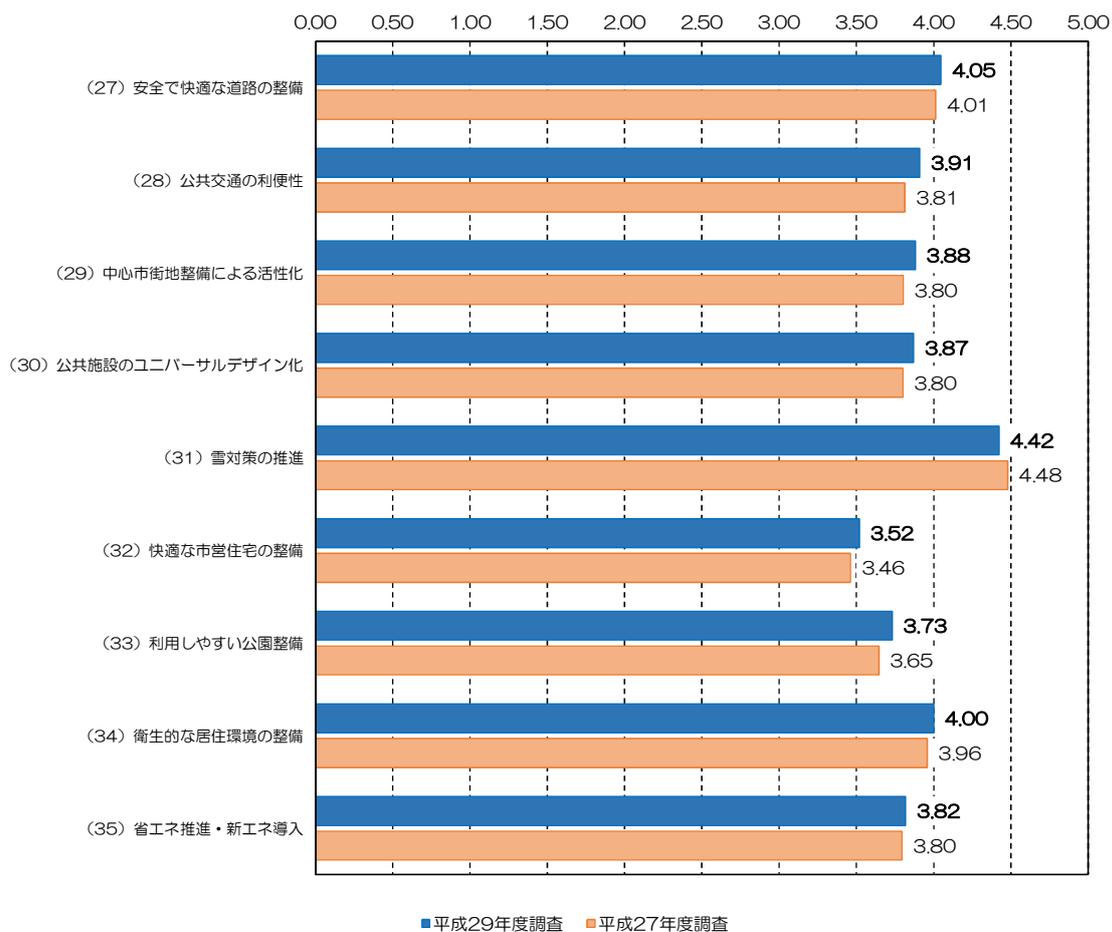


## ②重要度の推移

平成27年度調査と比べると全般的に重要度は上昇していますが、(31) 雪対策の推進だけはやや重要度が下がっています。

重要度が大きく上昇した施策は、(28) 公共交通の利便性で、0.10ポイント上昇し、3.91ポイントとなっています。

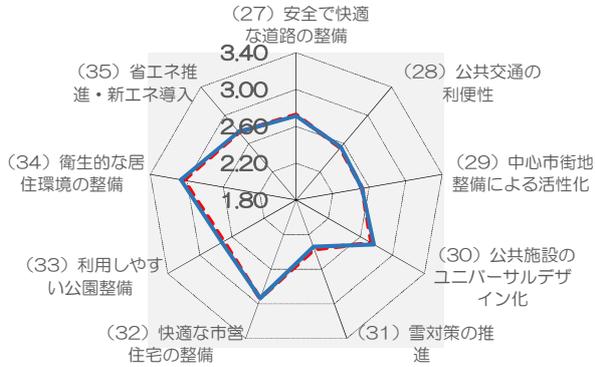
重要度がもっとも高い施策は平成27年度調査と同様に、(31) 雪対策の推進で、4.42ポイントとなっています。



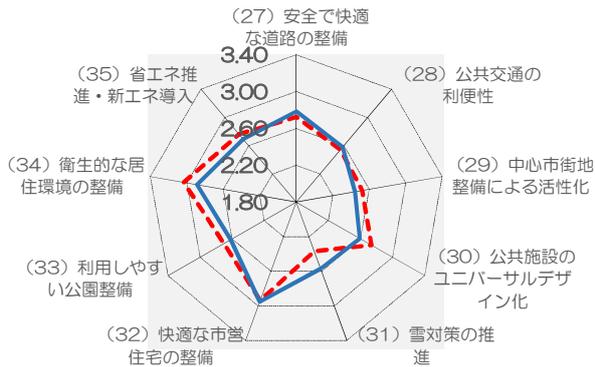
### ③属性別にみた満足度・重要度

#### 居住地域別

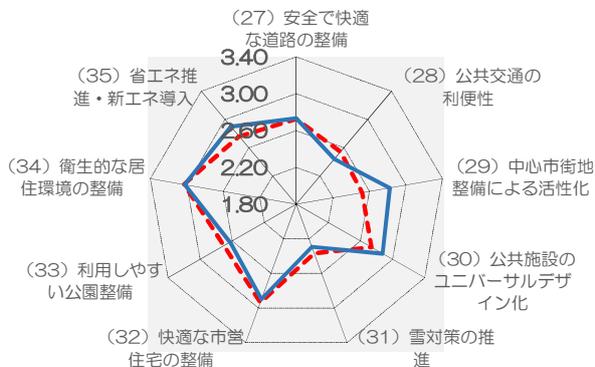
##### <満足度>



---全体 —五所川原地域

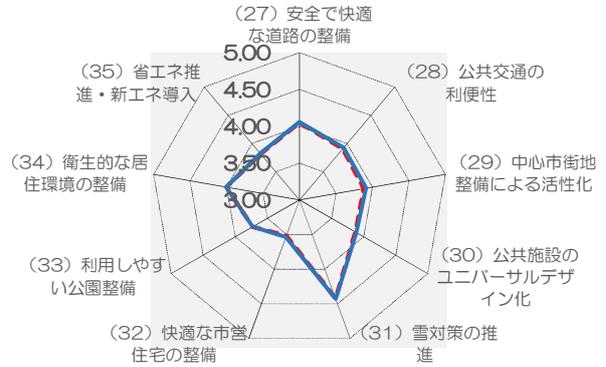


---全体 —金木地域

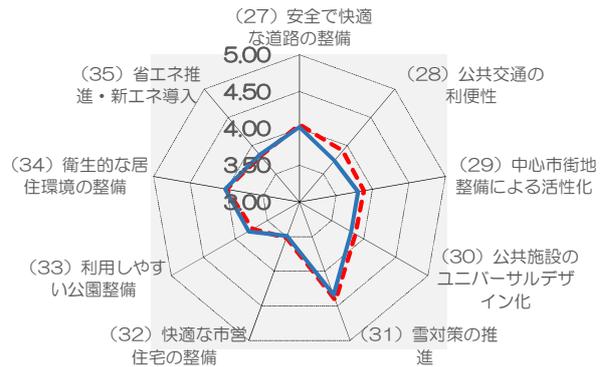


---全体 —市浦地域

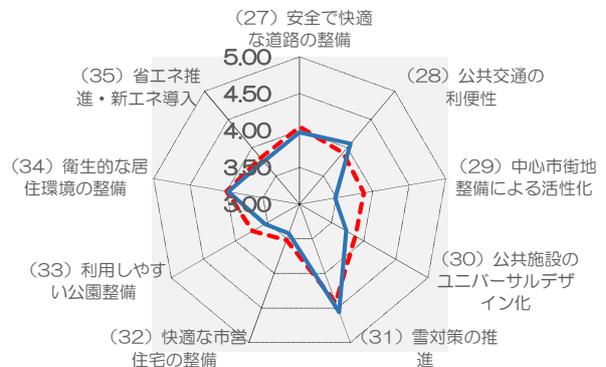
##### <重要度>



---全体 —五所川原地域



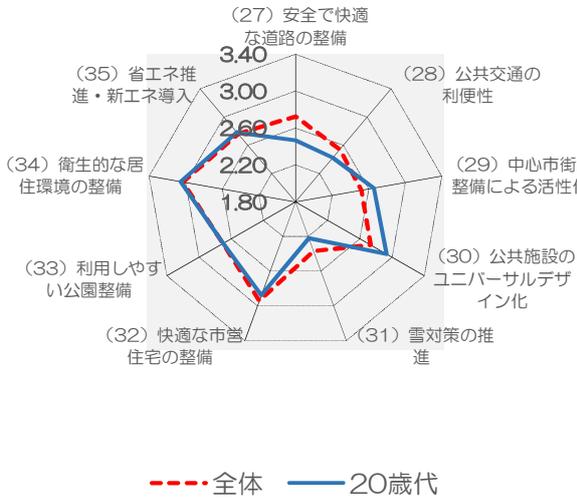
---全体 —金木地域



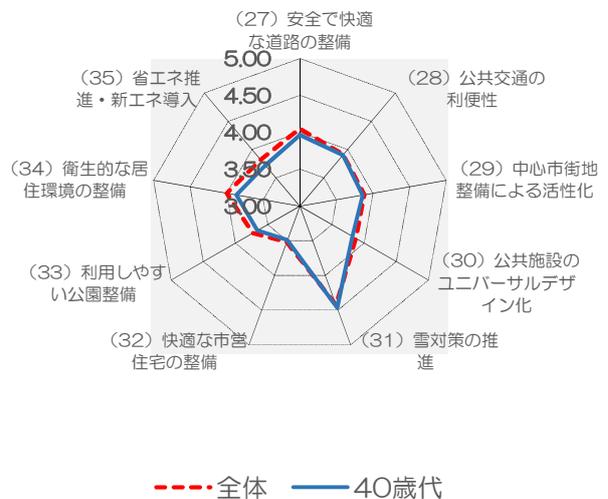
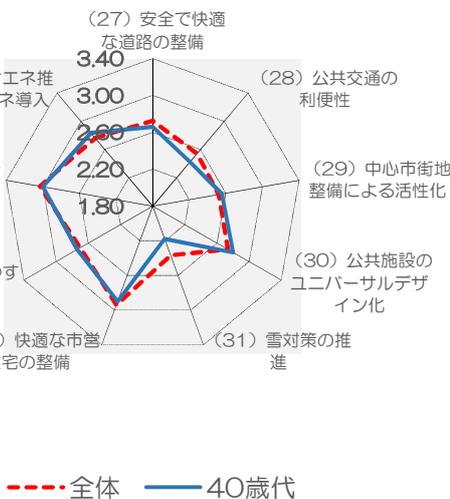
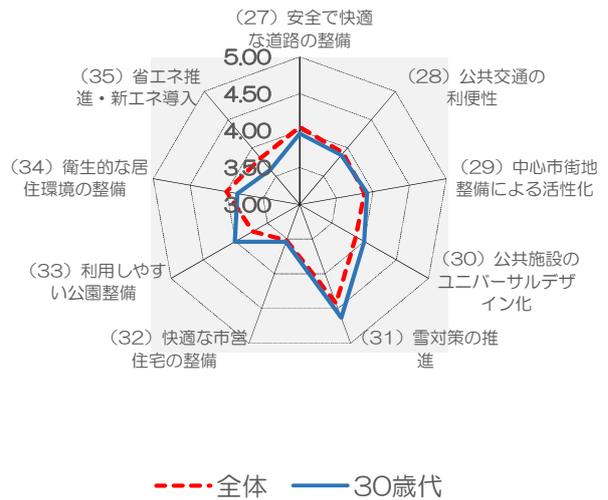
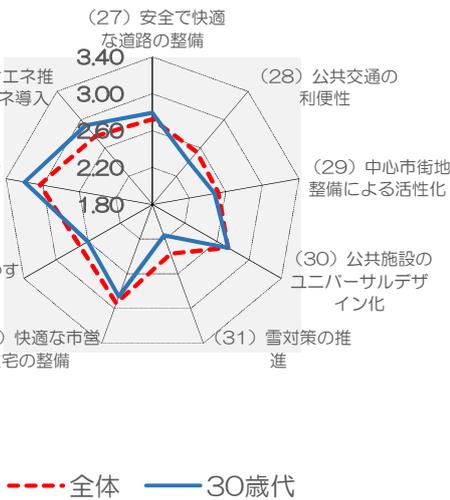
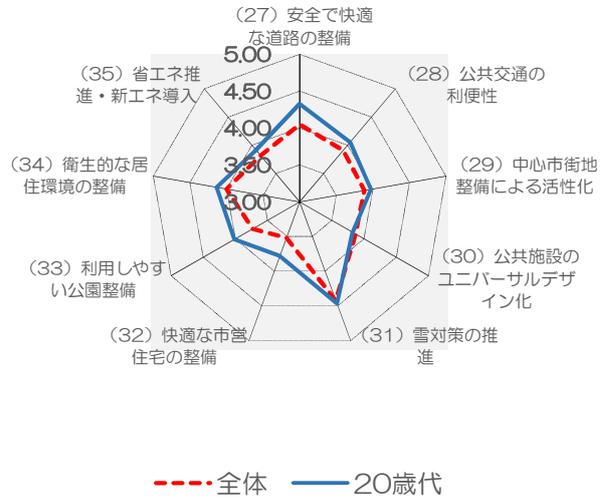
---全体 —市浦地域

年齢別

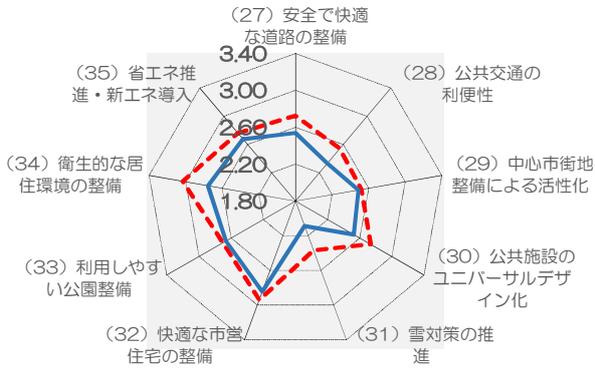
<満足度>



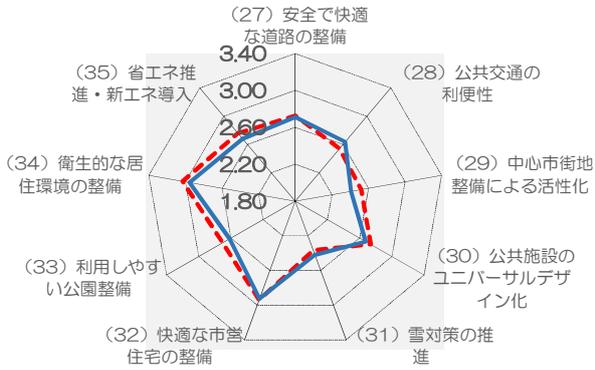
<重要度>



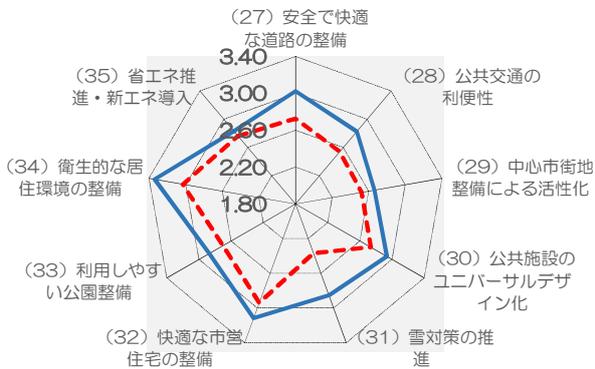
<満足度>



---全体 — 50歳代

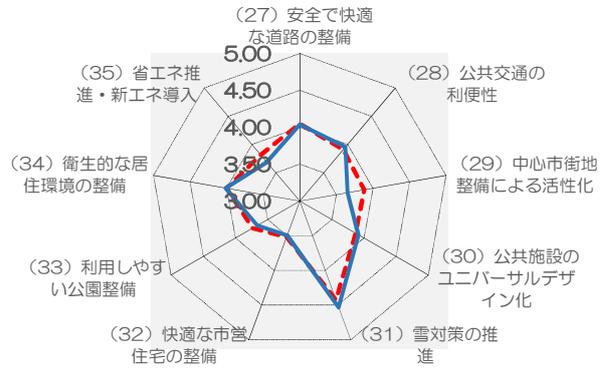


---全体 — 60歳代

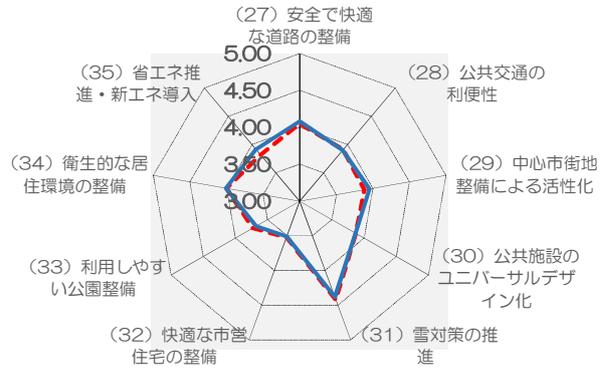


---全体 — 70歳代以上

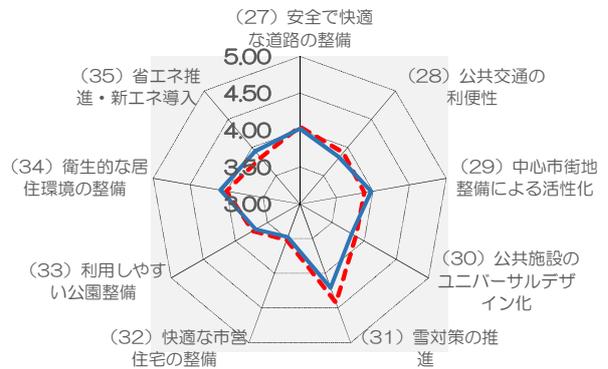
<重要度>



---全体 — 50歳代

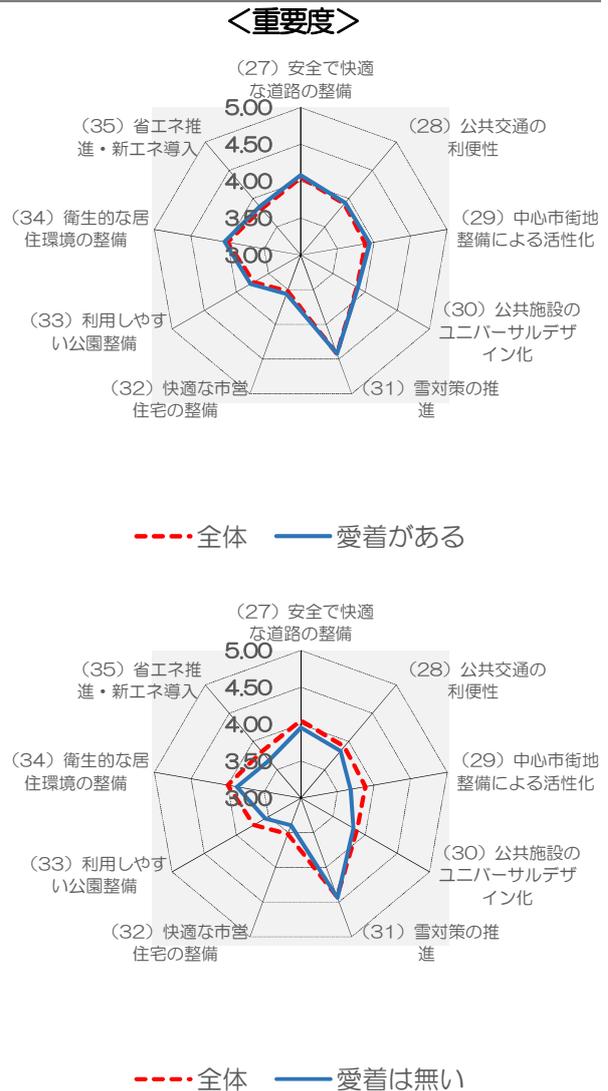
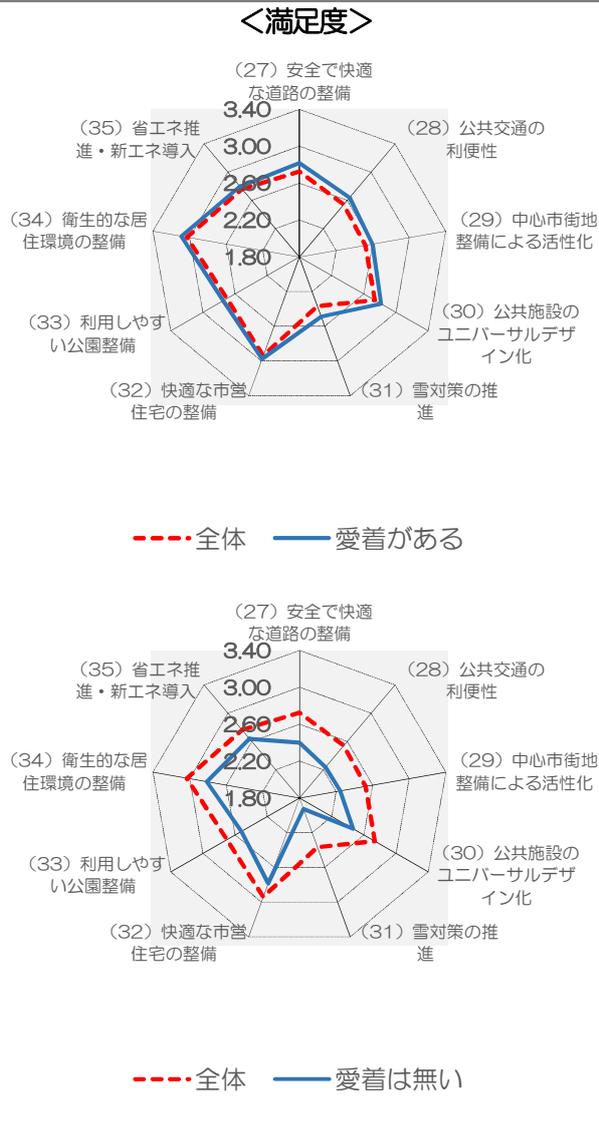


---全体 — 60歳代



---全体 — 70歳代以上

## 市への愛着の有無別



居住地域別にみると、市浦地域では(29)中心市街地整備による活性化、(30)公共施設のユニバーサルデザイン化などの満足度が全体よりも高くなっています。

市浦地域では(28)公共交通の利便性の重要度が高く、(29)中心市街地整備による活性化の重要度が全体よりも低くなっています。

年齢別にみると、50歳代では全般的に満足度が低く、70歳代では全般的に満足度が高くなっています。

重要度については全般的に20歳代で全体よりも高くなっています。

市への愛着の有無別にみると、愛着は無い層では、おおむね全体よりも満足度が低く、特に(31)雪対策の推進の満足度が低くなっています。

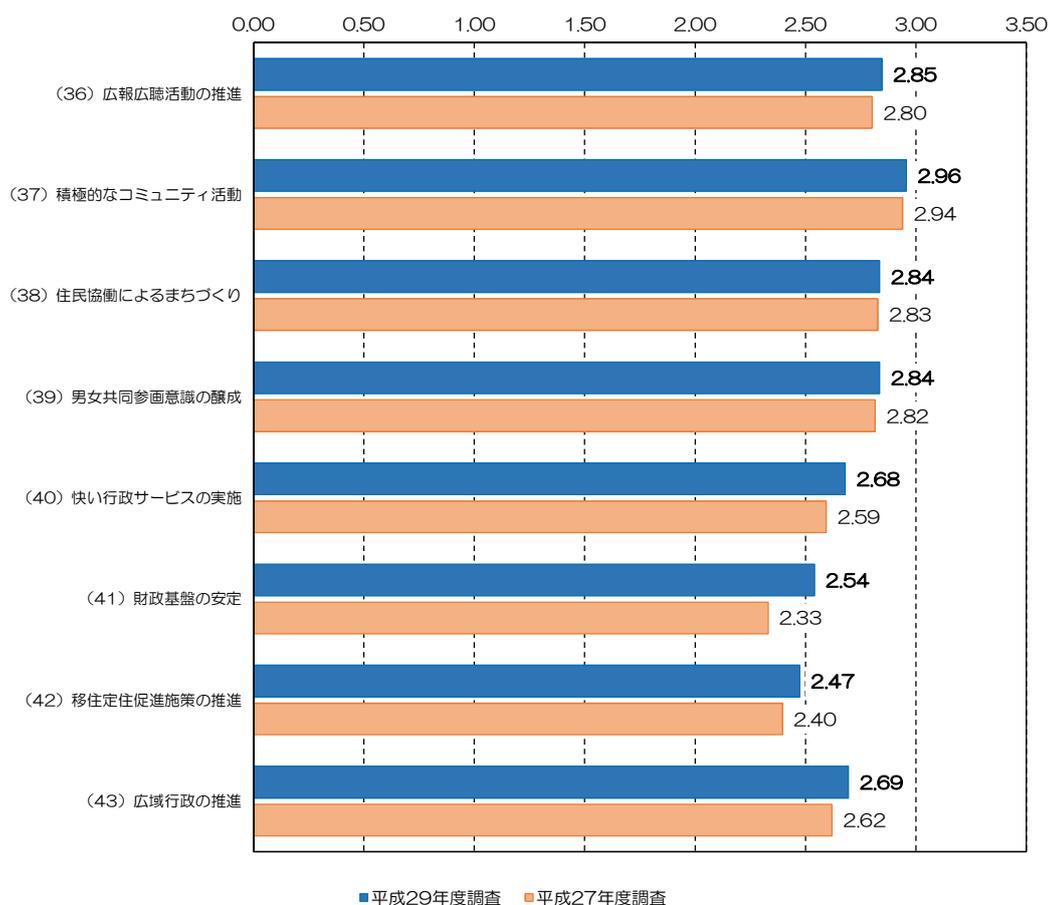
重要度も愛着は無い層の方が全般的に低くなっていますが、全体との差はあまりありません。

## 6) 共にすすめる持続可能なまちづくり

### ①満足度の推移

平成27年度調査に比べて、すべての施策において満足度は上昇しており、(41) 財政基盤の安定については0.21ポイント上昇しています。

共にすすめる持続可能なまちづくりの中で満足度の高かった施策は、(37) 積極的なコミュニティ活動の2.96ポイントとなっています。

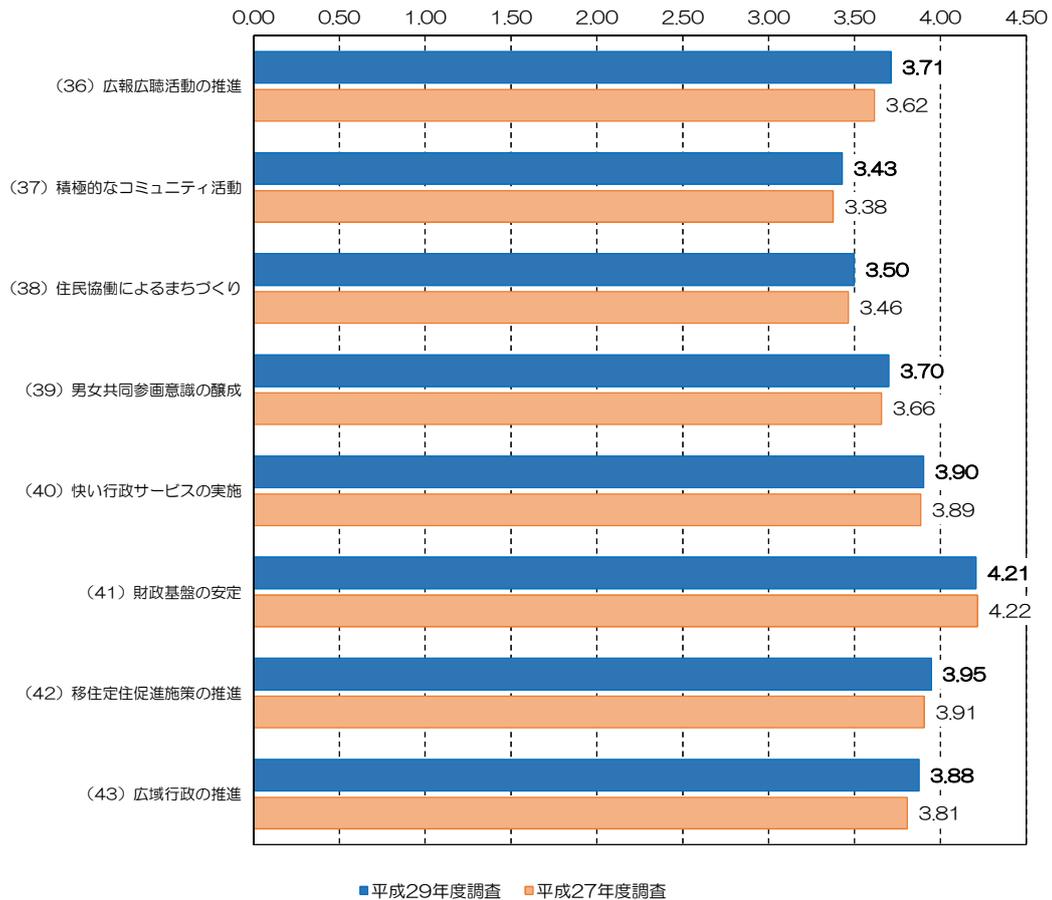


## ②重要度の推移

平成27年度調査に比べて全般的に重要度は上昇していますが、(41) 財政基盤の安定だけはわずかに重要度が下がっています。

重要度が大きく上昇した施策は、(36) 広報広聴活動の推進で、0.10ポイント上昇し、3.71ポイントとなっています。

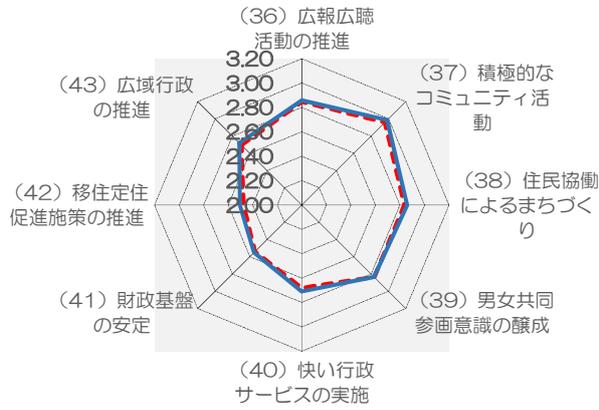
もっとも重要度の高い施策は(41) 財政基盤の安定で、4.21ポイントとなっています。



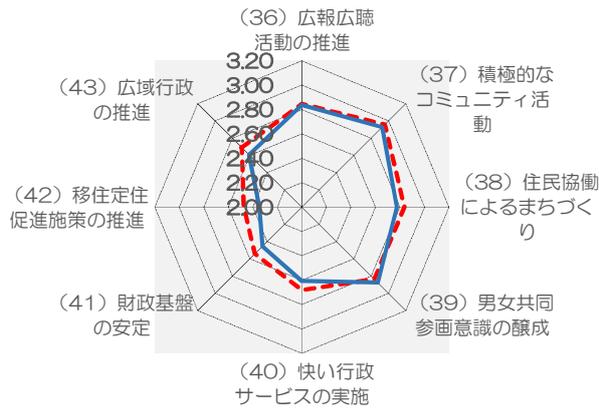
### ③属性別にみた満足度・重要度

#### 居住地域別

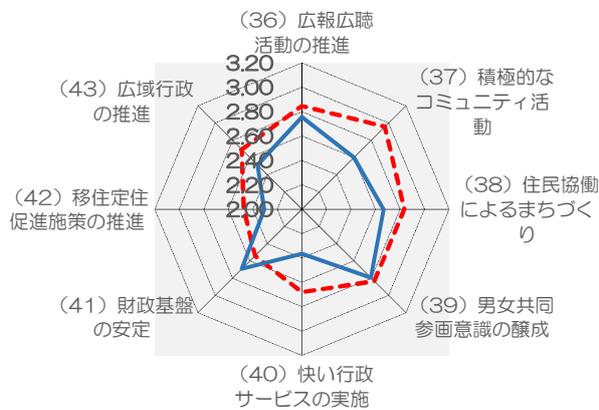
##### <満足度>



---全体 — 五所川原地域

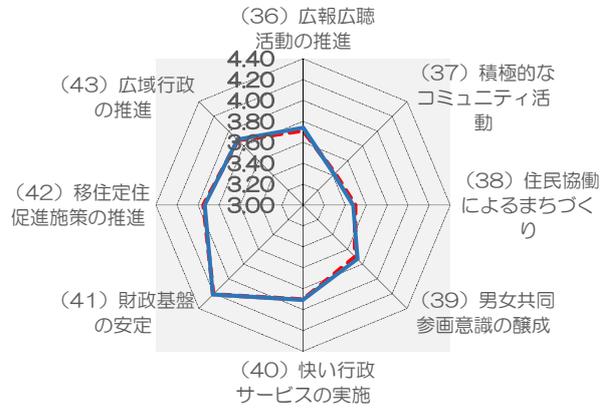


---全体 — 金木地域

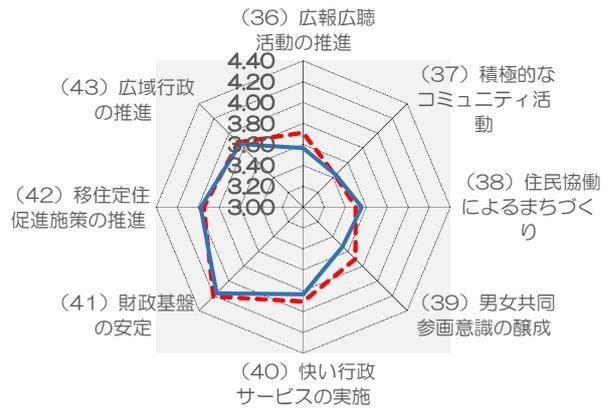


---全体 — 市浦地域

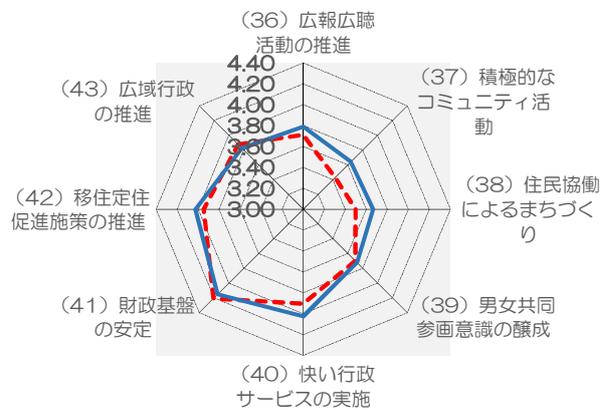
##### <重要度>



---全体 — 五所川原地域



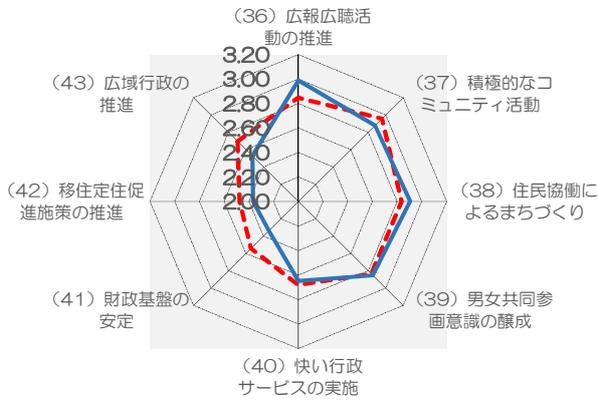
---全体 — 金木地域



---全体 — 市浦地域

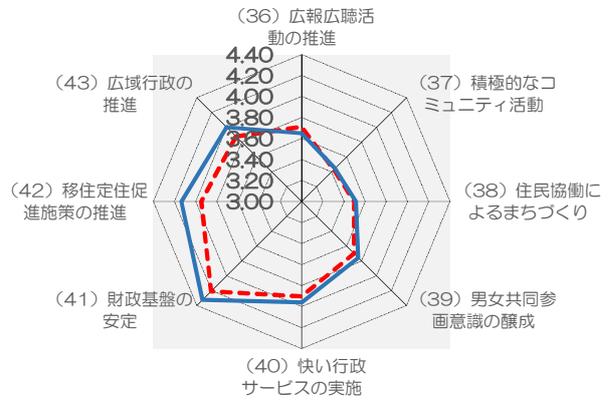
年齢別

<満足度>

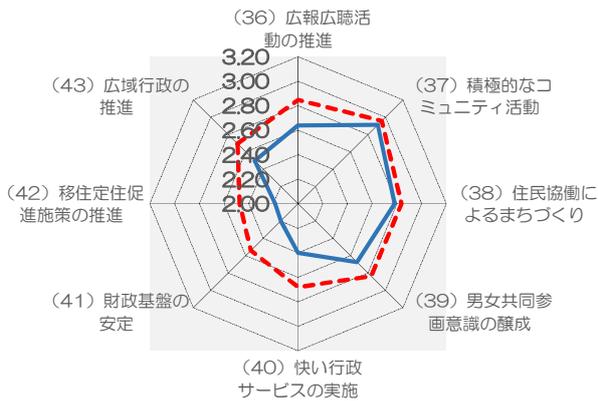


---全体 —20歳代

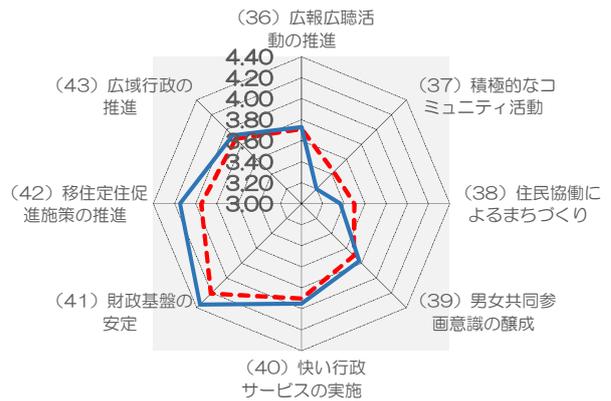
<重要度>



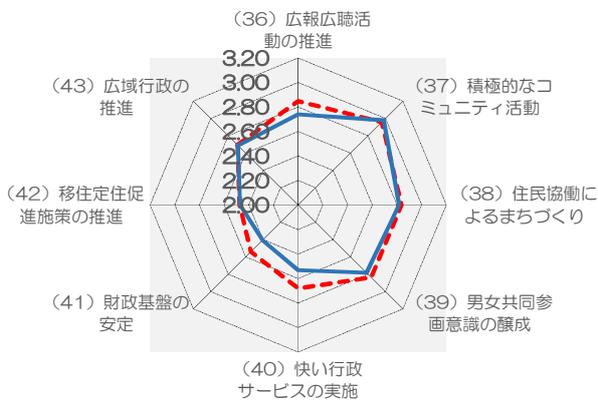
---全体 —20歳代



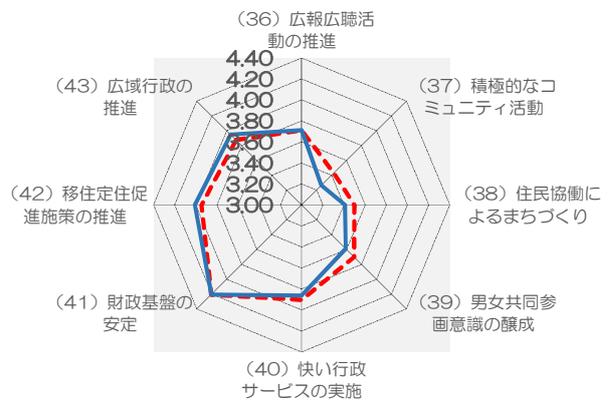
---全体 —30歳代



---全体 —30歳代

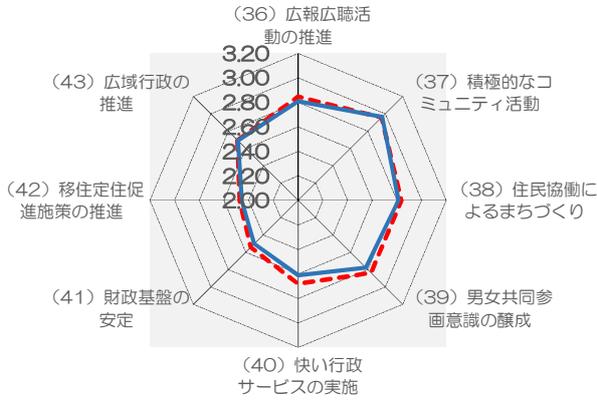


---全体 —40歳代



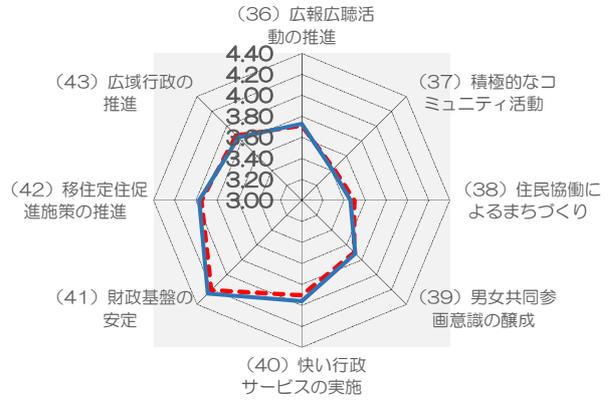
---全体 —40歳代

<満足度>

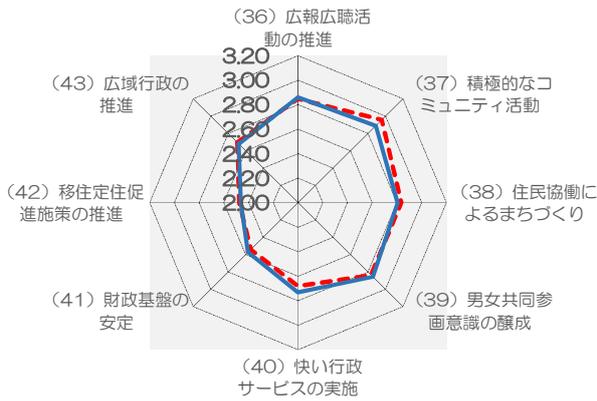


---全体 — 50歳代

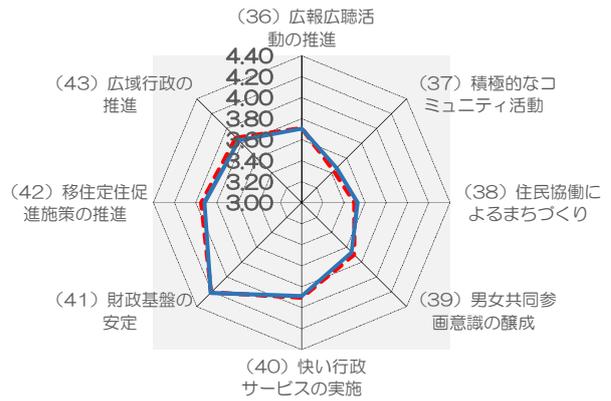
<重要度>



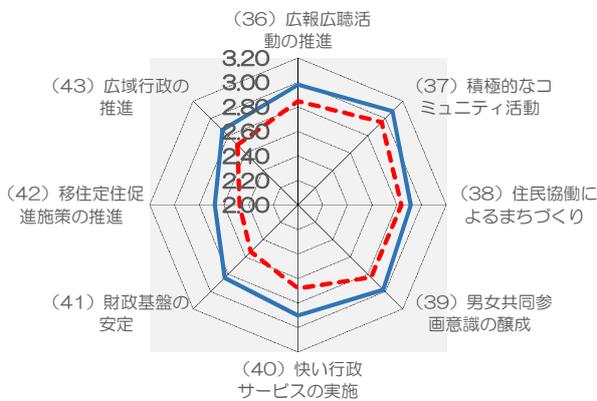
---全体 — 50歳代



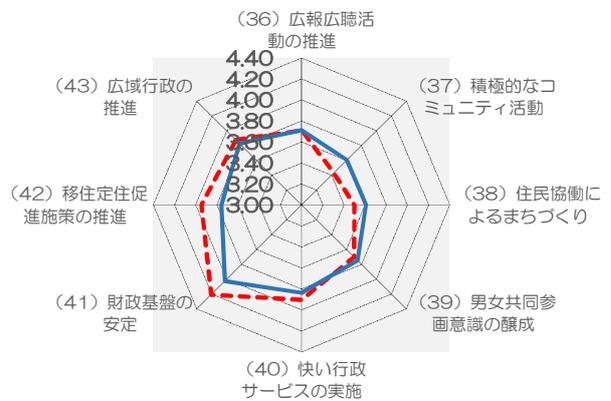
---全体 — 60歳代



---全体 — 60歳代

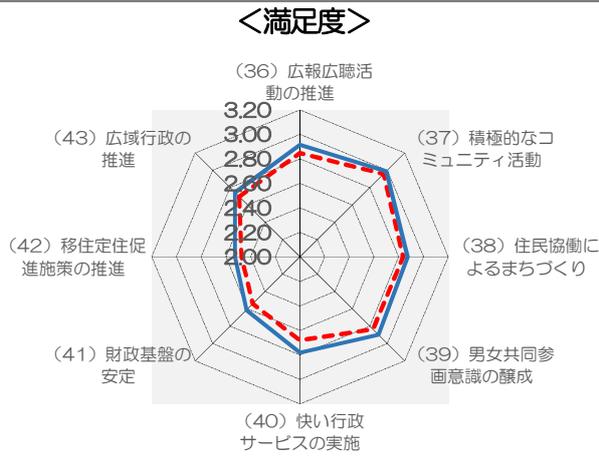


---全体 — 70歳代以上

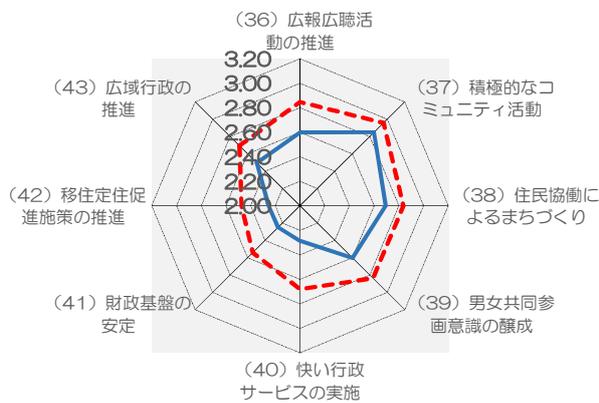


---全体 — 70歳代以上

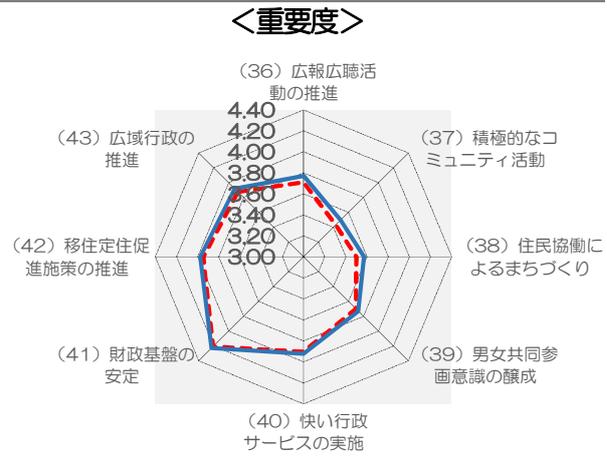
## 市への愛着の有無別



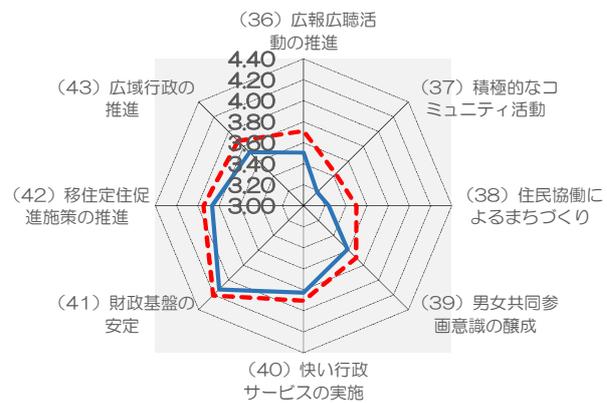
---全体 — 愛着がある



---全体 — 愛着は無い



---全体 — 愛着がある



---全体 — 愛着は無い

居住地域別にみると、市浦地域では(41) 財政基盤の安定の満足度が全体よりもやや高いものの、他の施策の満足度はおおむね全体よりも低くなっています。また重要度については、(37) 積極的なコミュニティ活動、(38) 住民協働によるまちづくりなどで全体よりも高くなっています。

年齢別にみると、30歳代では全般的に全体よりも満足度が低くなっています。

20歳代では(36) 広報広聴活動の推進の満足度が全体よりも高いものの、(41) 財政基盤の安定、(42) 移住定住促進施策の推進、(43) 広域行政の推進などの満足度が低く、40歳代では(40) 早い行政サービスの実施の満足度が低くなっています。

すべての年齢において(41) 財政基盤の安定の重要度が高くなっていますが、70歳代以上だけは全体よりも低い水準となっています。

市への愛着の有無別にみると、愛着は無い層では、おおむね全体よりも満足度が低くなっています。重要度も愛着は無い層の方が全般的に低く、特に(37) 積極的なコミュニティ活動、(38) 住民協働によるまちづくりの重要度が低くなっています。



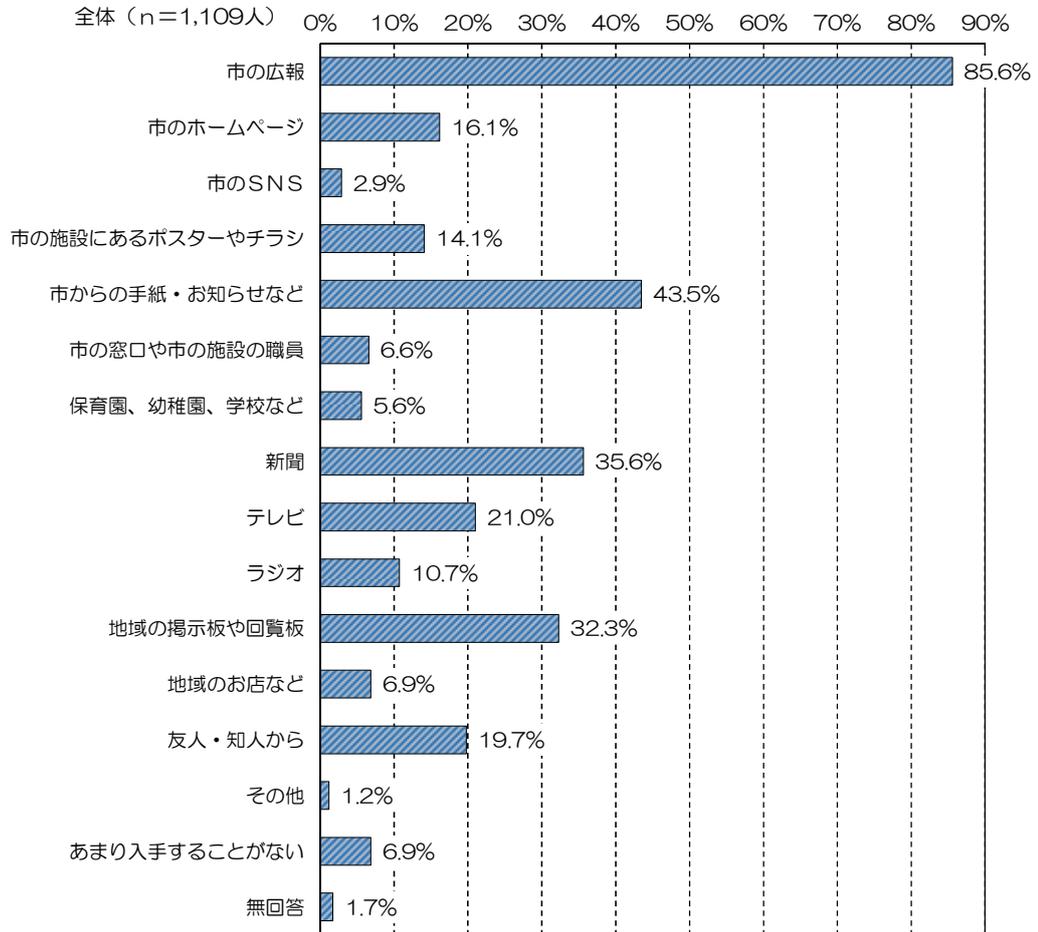
## 第 5 章

# 行政情報について



# 1 行政情報の確認・入手手段

五所川原市からの行政情報の確認・入手手段としては、「市の広報」が85.6%でもっとも多くなっています。ついで「市からの手紙・お知らせなど」が43.5%、「新聞」が35.6%、「地域の掲示板や回覧板」が32.3%となっています。



いずれの地域においても「市の広報」への回答がもっとも多くなっています。

年齢別にみると、20歳代では「あまり入手することがない」への回答が20.0%と多く、「市の広報」への回答は58.7%にとどまっています。「市のホームページ」への回答は、20～40歳代では2割を超えていますが、50歳代以上では2割を下回っています。

		n	市の広報	市のホームページ	市のSNS	市の施設にあるポスターやチラシ	市からの手紙・お知らせなど	市の窓口や市の施設の職員	保育園、幼稚園、学校など	新聞	テレビ	ラジオ	地域の掲示板や回覧板
全体		100.0% 1,109人	85.6% 949人	16.1% 179人	2.9% 32人	14.1% 156人	43.5% 482人	6.6% 73人	5.6% 62人	35.6% 395人	21.0% 233人	10.7% 119人	32.3% 358人
居住地域	五所川原地域	100.0% 875人	85.5% 748人	16.6% 145人	2.9% 25人	13.9% 122人	43.5% 381人	6.2% 54人	6.6% 58人	33.9% 297人	21.1% 185人	11.7% 102人	32.0% 280人
	金木地域	100.0% 174人	85.1% 148人	16.7% 29人	4.0% 7人	16.1% 28人	44.3% 77人	8.6% 15人	1.7% 3人	44.3% 77人	22.4% 39人	6.3% 11人	37.4% 65人
	市浦地域	100.0% 43人	88.4% 38人	9.3% 4人	0.0% 0人	11.6% 5人	37.2% 16人	9.3% 4人	0.0% 0人	30.2% 13人	11.6% 5人	11.6% 5人	20.9% 9人
年齢	20歳代	100.0% 75人	58.7% 44人	20.0% 15人	4.0% 3人	20.0% 15人	26.7% 20人	4.0% 3人	9.3% 7人	25.3% 19人	25.3% 19人	4.0% 3人	22.7% 17人
	30歳代	100.0% 102人	70.6% 72人	23.5% 24人	2.9% 3人	8.8% 9人	35.3% 36人	4.9% 5人	18.6% 19人	17.6% 18人	19.6% 20人	7.8% 8人	22.5% 23人
	40歳代	100.0% 142人	85.2% 121人	26.1% 37人	1.4% 2人	7.7% 11人	40.8% 58人	2.8% 4人	12.0% 17人	23.9% 34人	10.6% 15人	4.9% 7人	27.5% 39人
	50歳代	100.0% 226人	87.6% 198人	19.0% 43人	1.8% 4人	8.4% 19人	38.5% 87人	7.5% 17人	2.7% 6人	29.6% 67人	19.0% 43人	11.1% 25人	28.8% 65人
	60歳代	100.0% 307人	90.2% 277人	11.1% 34人	3.3% 10人	16.3% 50人	50.2% 154人	7.5% 23人	3.3% 10人	43.6% 134人	18.6% 57人	12.7% 39人	38.1% 117人
	70歳代以上	100.0% 249人	92.0% 229人	10.4% 26人	4.0% 10人	20.9% 52人	49.0% 122人	8.4% 21人	1.2% 3人	47.8% 119人	30.5% 76人	14.5% 36人	37.8% 94人
性別	男性	100.0% 462人	83.5% 386人	19.0% 88人	3.5% 16人	14.1% 65人	44.4% 205人	8.4% 39人	5.0% 23人	35.9% 166人	20.6% 95人	12.1% 56人	31.0% 143人
	女性	100.0% 637人	87.0% 554人	14.3% 91人	2.5% 16人	14.3% 91人	42.5% 271人	5.3% 34人	6.1% 39人	35.2% 224人	21.2% 135人	9.7% 62人	33.0% 210人
		n	地域のお店など	友人・知人から	その他	あまり入手することがない	無回答						
全体		100.0% 1,109人	6.9% 76人	19.7% 219人	1.2% 13人	6.9% 76人	1.7% 19人						
居住地域	五所川原地域	100.0% 875人	6.7% 59人	17.8% 156人	1.3% 11人	7.5% 66人	1.6% 14人						
	金木地域	100.0% 174人	7.5% 13人	28.2% 49人	1.1% 2人	2.9% 5人	2.3% 4人						
	市浦地域	100.0% 43人	4.7% 2人	20.9% 9人	0.0% 0人	7.0% 3人	2.3% 1人						
年齢	20歳代	100.0% 75人	12.0% 9人	17.3% 13人	4.0% 3人	20.0% 15人	0.0% 0人						
	30歳代	100.0% 102人	4.9% 5人	15.7% 16人	1.0% 1人	8.8% 9人	1.0% 1人						
	40歳代	100.0% 142人	5.6% 8人	14.1% 20人	0.7% 1人	3.5% 5人	0.7% 1人						
	50歳代	100.0% 226人	5.8% 13人	18.1% 41人	0.0% 0人	6.2% 14人	1.8% 4人						
	60歳代	100.0% 307人	6.2% 19人	19.9% 61人	1.3% 4人	3.6% 11人	2.3% 7人						
	70歳代以上	100.0% 249人	8.0% 20人	26.1% 65人	1.6% 4人	8.4% 21人	2.4% 6人						
性別	男性	100.0% 462人	4.3% 20人	18.4% 85人	1.9% 9人	8.0% 37人	2.6% 12人						
	女性	100.0% 637人	8.3% 53人	20.6% 131人	0.6% 4人	6.0% 38人	1.1% 7人						

市広報紙を読んでいる回答者では「市の広報」への回答が94.7%と特に多く、読んでいない回答者では「あまり入手することがない」への回答が28.7%となっています。

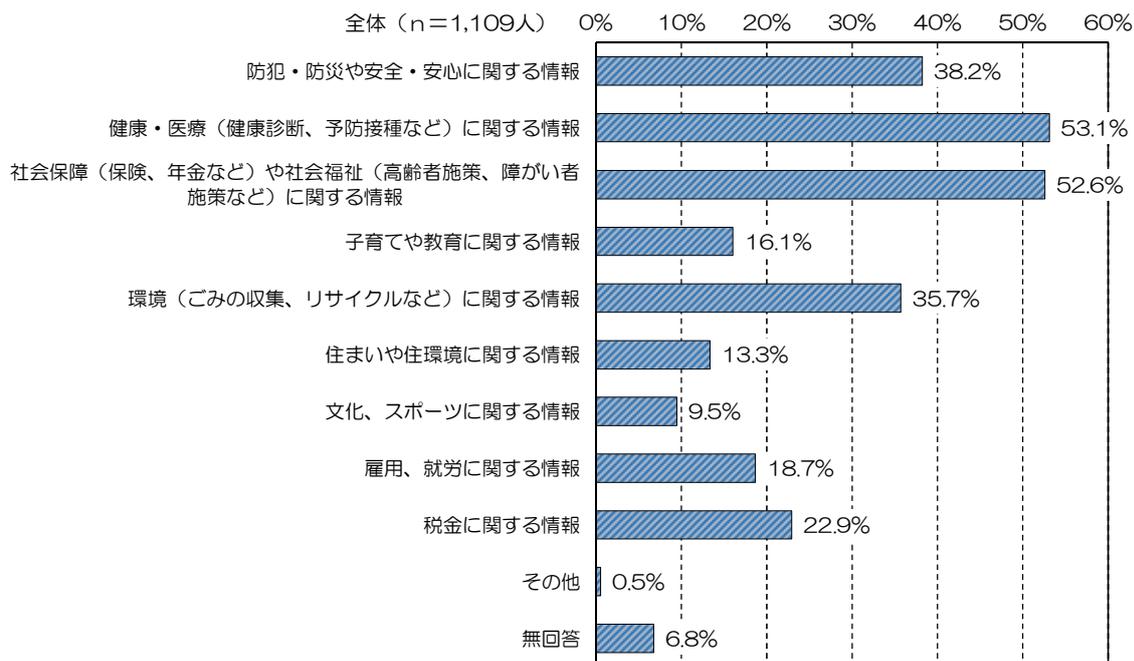
市ホームページを見ている回答者や市SNSを見ている回答者でも「市の広報」への回答が9割を超えていますが、市ホームページを見ている回答者の「市のホームページ」への回答は43.8%、市SNSを見ている回答者の「市のSNS」への回答は27.3%で、行政情報の確認・入手手段としては、「市の広報」への回答の方が多くなっています。

		n	市の広報	市のホームページ	市のSNS	市の施設にあるポスターやチラシ	市からの手紙・お知らせなど	市の窓口や市の施設の職員	保育園、幼稚園、学校など	新聞	テレビ	ラジオ	地域の掲示板や回覧板
全体		100.0% 1,109人	85.6% 949人	16.1% 179人	2.9% 32人	14.1% 156人	43.5% 482人	6.6% 73人	5.6% 62人	35.6% 395人	21.0% 233人	10.7% 119人	32.3% 358人
市広報紙の閲覧状況	読んでいる	100.0% 755人	94.7% 715人	17.9% 135人	3.4% 26人	15.4% 116人	46.1% 348人	6.6% 50人	5.2% 39人	40.8% 308人	21.7% 164人	12.1% 91人	35.4% 267人
	時々読んでいる	100.0% 245人	80.0% 196人	12.2% 30人	1.6% 4人	11.8% 29人	43.7% 107人	6.9% 17人	6.1% 15人	25.3% 62人	16.3% 40人	9.4% 23人	28.2% 69人
	読んでいない	100.0% 101人	30.7% 31人	13.9% 14人	2.0% 2人	10.9% 11人	21.8% 22人	5.9% 6人	7.9% 8人	20.8% 21人	25.7% 26人	4.0% 4人	18.8% 19人
市ホームページの閲覧状況	見ている	100.0% 96人	91.7% 88人	43.8% 42人	10.4% 10人	13.5% 13人	43.8% 42人	10.4% 10人	4.2% 4人	35.4% 34人	25.0% 24人	20.8% 20人	33.3% 32人
	時々見ている	100.0% 224人	89.3% 200人	44.2% 99人	5.4% 12人	19.2% 43人	42.4% 95人	9.4% 21人	9.8% 22人	33.9% 76人	23.2% 52人	10.7% 24人	32.6% 73人
	見ていない	100.0% 780人	83.6% 652人	4.9% 38人	1.3% 10人	12.7% 99人	43.3% 338人	5.4% 42人	4.6% 36人	36.0% 281人	19.6% 153人	9.5% 74人	32.1% 250人
市SNSの閲覧状況	見ている	100.0% 33人	90.9% 30人	12.1% 4人	27.3% 9人	6.1% 2人	42.4% 14人	6.1% 2人	3.0% 1人	48.5% 16人	45.5% 15人	18.2% 6人	36.4% 12人
	時々見ている	100.0% 91人	93.4% 85人	39.6% 36人	15.4% 14人	26.4% 24人	52.7% 48人	11.0% 10人	8.8% 8人	48.4% 44人	28.6% 26人	20.9% 19人	40.7% 37人
	見ていない	100.0% 965人	84.5% 815人	14.1% 136人	0.9% 9人	13.1% 126人	42.3% 408人	6.3% 61人	5.5% 53人	33.8% 326人	19.6% 189人	9.4% 91人	31.5% 304人
全体		100.0% 1,109人	6.9% 76人	19.7% 219人	1.2% 13人	6.9% 76人	1.7% 19人						
市広報紙の閲覧状況	読んでいる	100.0% 755人	7.0% 53人	20.9% 158人	0.7% 5人	3.8% 29人	1.6% 12人						
	時々読んでいる	100.0% 245人	4.1% 10人	17.1% 42人	2.4% 6人	6.9% 17人	2.0% 5人						
	読んでいない	100.0% 101人	10.9% 11人	16.8% 17人	2.0% 2人	28.7% 29人	2.0% 2人						
市ホームページの閲覧状況	見ている	100.0% 96人	9.4% 9人	26.0% 25人	3.1% 3人	4.2% 4人	2.1% 2人						
	時々見ている	100.0% 224人	8.0% 18人	17.4% 39人	1.3% 3人	3.1% 7人	1.8% 4人						
	見ていない	100.0% 780人	5.9% 46人	19.4% 151人	0.9% 7人	8.2% 64人	1.7% 13人						
市SNSの閲覧状況	見ている	100.0% 33人	9.1% 3人	27.3% 9人	3.0% 1人	6.1% 2人	0.0% 0人						
	時々見ている	100.0% 91人	14.3% 13人	22.0% 20人	1.1% 1人	4.4% 4人	3.3% 3人						
	見ていない	100.0% 965人	5.9% 57人	18.9% 182人	1.1% 11人	7.2% 69人	1.6% 15人						

## 2 充実してほしい行政情報

五所川原市からの行政情報について充実してほしいこととしては、「健康・医療（健康診断、予防接種など）に関する情報」（53.1%）、「社会保障（保険、年金など）や社会福祉（高齢者施策、障がい者施策など）に関する情報」（52.6%）がともに半数を超えて多くなっています。

ついで「防犯・防災や安全・安心に関する情報」が38.2%、「環境（ごみの収集、リサイクルなど）に関する情報」が35.7%となっています。



全体で回答の多かった「健康・医療（健康診断、予防接種など）に関する情報」については、市ホームページを見ている回答者や、市SNSを見ている回答者で特に回答の割合が高くなっています。

社会保障（保険、年金など）や社会福祉（高齢者施策、障がい者施策など）に関する情報は、60歳代以上で回答の割合が6割を超えて高くなっています。

また「防犯・防災や安全・安心に関する情報」については50歳代以上で、「環境（ごみの収集、リサイクルなど）に関する情報」については70歳代で、全体に比べて回答の割合が高くなっています。

	n	防犯・防災や安全・安心に関する情報	健康・医療（健康診断、予防接種など）に関する情報	社会保障（保険、年金など）や社会福祉（高齢者施策、障がい者施策など）に関する情報	子育てや教育に関する情報	環境（ごみの収集、リサイクルなど）に関する情報	住まいや住環境に関する情報	文化、スポーツに関する情報	雇用、就労に関する情報	税金に関する情報	その他	無回答	
全体	100.0% 1,109人	38.2% 424人	53.1% 589人	52.6% 583人	16.1% 178人	35.7% 396人	13.3% 148人	9.5% 105人	18.7% 207人	22.9% 254人	0.5% 6人	6.8% 75人	
居住地域	五所川原地域	100.0% 875人	38.6% 338人	52.5% 459人	52.2% 457人	16.8% 147人	35.7% 312人	12.7% 111人	9.5% 83人	18.3% 160人	22.6% 198人	0.5% 4人	7.0% 61人
	金木地域	100.0% 174人	36.8% 64人	55.7% 97人	53.4% 93人	11.5% 20人	37.4% 65人	14.4% 25人	9.8% 17人	20.1% 35人	23.6% 41人	0.0% 0人	6.9% 12人
	市浦地域	100.0% 43人	41.9% 18人	48.8% 21人	53.5% 23人	16.3% 7人	30.2% 13人	20.9% 9人	4.7% 2人	20.9% 9人	25.6% 11人	4.7% 2人	4.7% 2人
年齢	20歳代	100.0% 75人	25.3% 19人	46.7% 35人	26.7% 20人	34.7% 26人	26.7% 20人	17.3% 13人	21.3% 16人	37.3% 28人	18.7% 14人	0.0% 0人	9.3% 7人
	30歳代	100.0% 102人	34.3% 35人	52.0% 53人	31.4% 32人	55.9% 57人	19.6% 20人	15.7% 16人	7.8% 8人	26.5% 27人	22.5% 23人	1.0% 1人	5.9% 6人
	40歳代	100.0% 142人	30.3% 43人	50.7% 72人	38.7% 55人	32.4% 46人	32.4% 46人	13.4% 19人	10.6% 15人	31.7% 45人	16.2% 23人	1.4% 2人	6.3% 9人
	50歳代	100.0% 226人	40.3% 91人	43.4% 98人	54.9% 124人	9.3% 21人	38.5% 87人	15.5% 35人	8.8% 20人	21.7% 49人	23.5% 53人	0.4% 1人	6.2% 14人
	60歳代	100.0% 307人	42.7% 131人	59.0% 181人	64.2% 197人	4.6% 14人	35.2% 108人	13.4% 41人	7.2% 22人	16.0% 49人	26.7% 82人	0.0% 0人	5.5% 17人
	70歳代以上	100.0% 249人	41.4% 103人	57.8% 144人	60.2% 150人	5.2% 13人	44.6% 111人	9.2% 23人	8.8% 22人	3.6% 9人	22.9% 57人	0.8% 2人	8.8% 22人
性別	男性	100.0% 462人	40.0% 185人	49.1% 227人	54.1% 250人	16.0% 74人	31.0% 143人	13.0% 60人	12.1% 56人	16.0% 74人	27.1% 125人	0.2% 1人	7.4% 34人
	女性	100.0% 637人	37.0% 236人	55.7% 355人	51.3% 327人	16.2% 103人	38.9% 248人	13.7% 87人	7.2% 46人	20.9% 133人	19.8% 126人	0.8% 5人	6.4% 41人
市ホームページの閲覧状況	見ている	100.0% 96人	41.7% 40人	67.7% 65人	52.1% 50人	11.5% 11人	33.3% 32人	13.5% 13人	11.5% 11人	12.5% 12人	20.8% 20人	2.1% 2人	5.2% 5人
	時々見ている	100.0% 224人	39.3% 88人	50.9% 114人	47.8% 107人	26.8% 60人	31.7% 71人	14.7% 33人	9.4% 21人	19.2% 43人	24.1% 54人	0.4% 1人	7.6% 17人
	見ていない	100.0% 780人	37.4% 292人	51.8% 404人	54.0% 421人	13.6% 106人	36.9% 288人	13.1% 102人	9.1% 71人	19.5% 152人	22.8% 178人	0.4% 3人	6.8% 53人
市SNSの閲覧状況	見ている	100.0% 33人	42.4% 14人	69.7% 23人	57.6% 19人	6.1% 2人	39.4% 13人	12.1% 4人	9.1% 3人	3.0% 1人	12.1% 4人	0.0% 0人	6.1% 2人
	時々見ている	100.0% 91人	44.0% 40人	57.1% 52人	50.5% 46人	14.3% 13人	35.2% 32人	9.9% 9人	7.7% 7人	12.1% 11人	28.6% 26人	0.0% 0人	9.9% 9人
	見ていない	100.0% 965人	37.7% 364人	51.6% 498人	52.3% 505人	16.8% 162人	35.3% 341人	13.9% 134人	9.5% 92人	20.2% 195人	22.7% 219人	0.6% 6人	6.5% 63人

行政情報の確認・入手手段別にみると、「市のホームページ」から情報入手している回答者では、全体に比べ、「子育てや教育に関する情報」への回答の割合が高くなっています。また「保育園、幼稚園、学校など」から情報を得ている回答者でも「子育てや教育に関する情報」への回答の割合が全体よりも高く、6割を超えています。

「市のSNS」から情報入手している回答者では、「健康・医療（健康診断、予防接種など）に関する情報」への回答が71.9%と全体よりも高くなっています。

	n	防犯・防災や安全・安心に関する情報	健康・医療（健康診断、予防接種など）に関する情報	社会保障（保険、年金など）や社会福祉（高齢者施策、障がい者施策など）に関する情報	子育てや教育に関する情報	環境（ごみの収集、リサイクルなど）に関する情報	住まいや住環境に関する情報	文化、スポーツに関する情報	雇用、就労に関する情報	税金に関する情報	その他	無回答	
全体	100.0% 1,109人	38.2% 424人	53.1% 589人	52.6% 583人	16.1% 178人	35.7% 396人	13.3% 148人	9.5% 105人	18.7% 207人	22.9% 254人	0.5% 6人	6.8% 75人	
行政情報の確認・入手手段	市の広報	100.0% 949人	40.1% 381人	54.3% 515人	55.5% 527人	15.9% 151人	37.4% 355人	12.9% 122人	9.1% 86人	17.7% 168人	22.6% 214人	0.4% 4人	5.3% 50人
	市のホームページ	100.0% 179人	39.7% 71人	52.5% 94人	43.0% 77人	26.8% 48人	31.8% 57人	15.1% 27人	12.3% 22人	19.6% 35人	26.8% 48人	0.6% 1人	5.6% 10人
	市のSNS	100.0% 32人	53.1% 17人	71.9% 23人	50.0% 16人	12.5% 4人	31.3% 10人	6.3% 2人	12.5% 4人	9.4% 3人	28.1% 9人	0.0% 0人	3.1% 1人
	市の施設にあるポスターやチラシ	100.0% 156人	40.4% 63人	53.8% 84人	60.9% 95人	16.0% 25人	33.3% 52人	13.5% 21人	12.2% 19人	18.6% 29人	26.3% 41人	0.6% 1人	5.8% 9人
	市からの手紙・お知らせなど	100.0% 482人	39.8% 192人	58.5% 282人	58.7% 283人	15.1% 73人	35.9% 173人	12.7% 61人	9.1% 44人	16.4% 79人	26.6% 128人	0.2% 1人	4.8% 23人
	市の窓口や市の施設の職員	100.0% 73人	57.5% 42人	58.9% 43人	65.8% 48人	9.6% 7人	32.9% 24人	20.5% 15人	8.2% 6人	12.3% 9人	21.9% 16人	0.0% 0人	0.0% 0人
	保育園、幼稚園、学校など	100.0% 62人	41.9% 26人	58.1% 36人	35.5% 22人	61.3% 38人	17.7% 11人	11.3% 7人	8.1% 5人	29.0% 18人	22.6% 14人	0.0% 0人	3.2% 2人
	新聞	100.0% 395人	40.8% 161人	57.5% 227人	57.7% 228人	10.4% 41人	40.3% 159人	10.1% 40人	12.2% 48人	18.0% 71人	23.3% 92人	0.3% 1人	5.3% 21人
	テレビ	100.0% 233人	42.1% 98人	57.1% 133人	57.9% 135人	11.2% 26人	33.5% 78人	12.4% 29人	11.2% 26人	16.3% 38人	30.0% 70人	0.0% 0人	6.0% 14人
	ラジオ	100.0% 119人	47.9% 57人	62.2% 74人	57.1% 68人	7.6% 9人	31.1% 37人	13.4% 16人	12.6% 15人	14.3% 17人	31.1% 37人	0.0% 0人	2.5% 3人
	地域の掲示板や回覧板	100.0% 358人	43.3% 155人	57.3% 205人	60.6% 217人	10.9% 39人	37.2% 133人	10.6% 38人	7.8% 28人	17.3% 62人	27.4% 98人	0.6% 2人	4.2% 15人
	地域のお店など	100.0% 76人	47.4% 36人	61.8% 47人	44.7% 34人	14.5% 11人	35.5% 27人	19.7% 15人	10.5% 8人	18.4% 14人	32.9% 25人	0.0% 0人	2.6% 2人
	友人・知人から	100.0% 219人	39.3% 86人	60.7% 133人	55.7% 122人	14.2% 31人	33.3% 73人	19.6% 43人	11.9% 26人	18.3% 40人	24.2% 53人	0.0% 0人	3.7% 8人
	その他	100.0% 13人	15.4% 2人	46.2% 6人	53.8% 7人	23.1% 3人	23.1% 3人	15.4% 2人	23.1% 3人	30.8% 4人	15.4% 2人	0.0% 0人	7.7% 1人
	あまり入手することがない	100.0% 76人	31.6% 24人	50.0% 38人	47.4% 36人	13.2% 10人	31.6% 24人	14.5% 11人	15.8% 12人	22.4% 17人	23.7% 18人	1.3% 1人	3.9% 3人

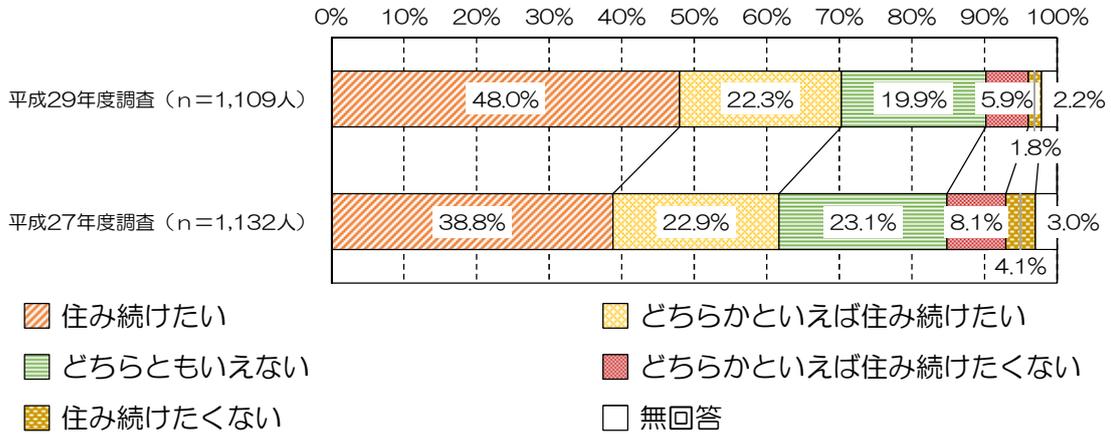
## 第 6 章

# 定住意向について

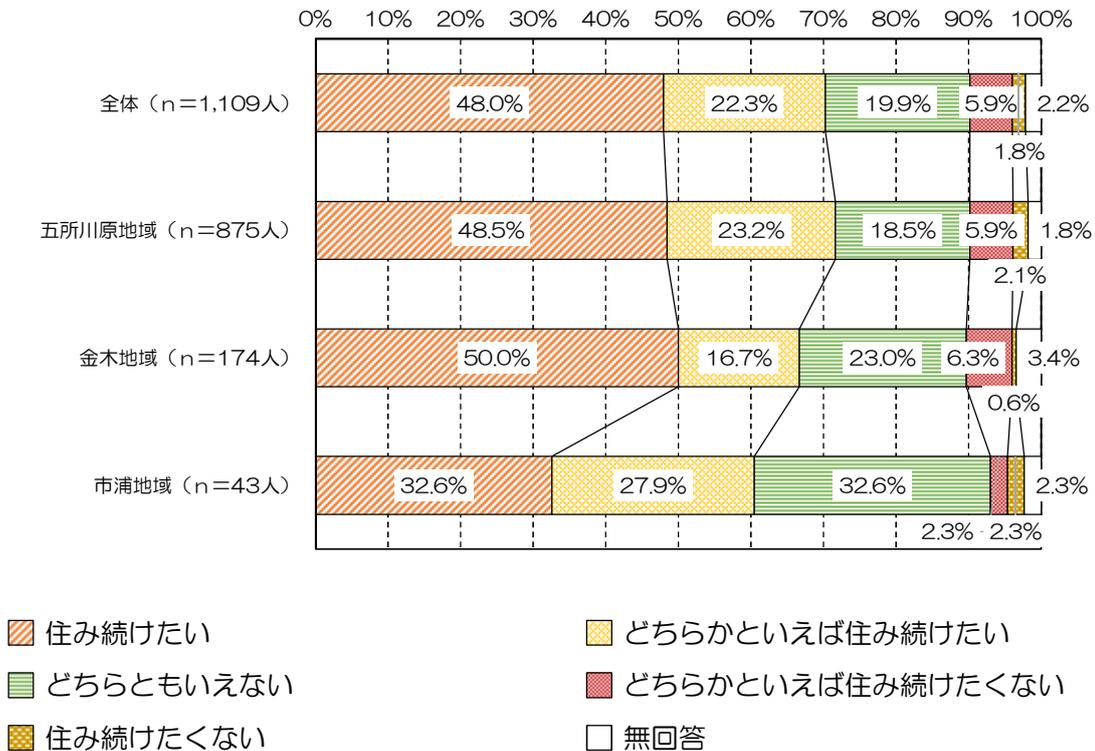


# 1 定住意向

五所川原市への定住意向についてみると、「住み続けたい」という回答は48.0%で、平成27年度調査よりも回答の割合が高まっています。「どちらかといえば住み続けたい」(22.3%)とあわせると、全体の70.3%が定住意向が高くなっています。



五所川原地域では71.7%、金木地域では66.7%が定住意向が高くなっていますが、市浦地域では60.5%と他の地域よりも割合が低く、「住み続けたい」という回答も32.6%にとどまっています。



「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」をあわせた定住意向が高い回答者の割合について、年齢別にみると、30～40歳代では5割台にとどまっていますが、60歳代以上では8割前後と高い割合となっています。

「生まれも育ちも五所川原市」という回答者では58.7%が「住み続けたい」としており、定住意向が高い回答者の割合も7割を超えており、居住歴が30年以上という回答者も同様の傾向を示しています。

また、本市に対して愛着がある回答者では「住み続けたい」が58.4%と、愛着は無いという回答者の10.7%を大きく上回っており、定住意向が高い回答者の割合も、愛着がある回答者では8割を超えています。

		n	住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらともいえぬ	どちらかといえば住み続けたくない	住み続けたくない	無回答
全体		100.0% 1,109人	48.0% 532人	22.3% 247人	19.9% 221人	5.9% 65人	1.8% 20人	2.2% 24人
年齢	20歳代	100.0% 75人	32.0% 24人	28.0% 21人	25.3% 19人	12.0% 9人	2.7% 2人	0.0% 0人
	30歳代	100.0% 102人	29.4% 30人	24.5% 25人	27.5% 28人	14.7% 15人	2.9% 3人	1.0% 1人
	40歳代	100.0% 142人	32.4% 46人	25.4% 36人	30.3% 43人	7.0% 10人	4.2% 6人	0.7% 1人
	50歳代	100.0% 226人	38.5% 87人	27.4% 62人	21.7% 49人	6.6% 15人	4.0% 9人	1.8% 4人
	60歳代	100.0% 307人	57.0% 175人	21.2% 65人	15.3% 47人	3.6% 11人	0.0% 0人	2.9% 9人
	70歳代以上	100.0% 249人	66.7% 166人	14.9% 37人	13.3% 33人	2.0% 5人	0.0% 0人	3.2% 8人
性別	男性	100.0% 462人	50.4% 233人	20.8% 96人	18.2% 84人	5.4% 25人	2.8% 13人	2.4% 11人
	女性	100.0% 637人	46.3% 295人	23.4% 149人	21.0% 134人	6.3% 40人	1.1% 7人	1.9% 12人
居住状況	生まれも育ちも五所川原市	100.0% 463人	58.7% 272人	18.4% 85人	14.5% 67人	4.8% 22人	1.3% 6人	2.4% 11人
	他所から五所川原市へ転居してきた	100.0% 456人	41.4% 189人	24.8% 113人	23.9% 109人	5.7% 26人	1.8% 8人	2.4% 11人
	五所川原市生まれだが、いったん市外で暮らしてから、五所川原市へ戻ってきた	100.0% 166人	37.3% 62人	26.5% 44人	22.3% 37人	9.6% 16人	3.6% 6人	0.6% 1人
居住歴	5年未満	100.0% 45人	35.6% 16人	8.9% 4人	33.3% 15人	11.1% 5人	8.9% 4人	2.2% 1人
	5年以上10年未満	100.0% 43人	18.6% 8人	25.6% 11人	34.9% 15人	16.3% 7人	4.7% 2人	0.0% 0人
	10年以上20年未満	100.0% 92人	23.9% 22人	34.8% 32人	29.3% 27人	7.6% 7人	2.2% 2人	2.2% 2人
	20年以上30年未満	100.0% 177人	35.0% 62人	28.2% 50人	23.7% 42人	10.2% 18人	2.3% 4人	0.6% 1人
	30年以上	100.0% 694人	56.6% 393人	20.2% 140人	15.7% 109人	4.0% 28人	1.2% 8人	2.3% 16人
	市への愛着	愛着がある	100.0% 860人	58.4% 502人	23.7% 204人	12.8% 110人	2.4% 21人	0.3% 3人
愛着は無い		100.0% 225人	10.7% 24人	15.1% 34人	46.2% 104人	19.6% 44人	7.6% 17人	0.9% 2人

# 第 7 章

## 自由意見



# 1 自由意見一覧

アンケート調査では、1,109件中、329件（29.7%）の自由意見の記載がありました。

329件の自由意見について、以下の7分野（テーマ）で分類したところ、1つの意見に複数の分類を行ったものもあるため、400件に分類しました。

分野(テーマ)		意見数	(構成比)
1	都市基盤 (中心市街地、都市環境、道路整備、公共交通)	76件	19.0%
2	産業 (農林水産業、商工業、観光、雇用・就労)	45件	11.3%
3	保健・医療・福祉 (保健・健康づくり、地域医療、高齢者福祉、子育て支援、障がい者福祉、社会保障)	78件	19.5%
4	居住環境 (雪対策、ごみ、上下水道、居住環境、消防・救急・防災、交通安全・防犯・消費生活)	59件	14.8%
5	教育・文化 (学校教育、スポーツ、社会教育・生涯学習、芸術・文化・伝統)	26件	6.5%
6	行政経営など (市政運営・行財政改革、市民参画・広報公聴・情報公開、コミュニティ活動・地域交流、まちづくり・将来のまち、少子化対策・定住促進、市町村合併・地域格差、市議会運営・市議会議員、税金・使用料・手数料、市職員、窓口対応、市役所庁舎・公共施設、アンケート調査、その他)	108件	27.0%
7	その他	8件	2.0%
合計		400件	100.0%
意見総数		329件	
重複分類件数		71件	

※自由意見の掲載に際しては、調査票への記入通りとしています。ただし、明確に誤記と判断される場合や、個人が特定される記述については事務局の判断にて、修正を行っています。

## 分野 1) 都市基盤

### ①中心市街地 (11 件)

回答内容-中心市街地	
1	五所川原の顔である駅前を青森、弘前のように近代的にしてほしい。私が小学生の時から何ら変わっていない。高校も5校あり、駅ビル、駅を抜ける地下道、歩道、車道を完備し、大町の活性化を図ってもらいたい。特にロータリーはかつて公園を考えたように、市民のシンボリック的存在にしてほしい。次に立佞武多の館であるが、私は県内県外で必ず宣伝している。特にレストラン“ハルニレ”は最高の景色が見られる。しかし、第三セクターのため、サービス精神に欠け客が少なく(特に昼)、残念である。民間のやる気のある人に任せ、若い人を使ってほしいと思っている。五所川原には素晴らしい人材がいると思うので、ぜひとも探し、活用させることを市役所の中に新しく設けてほしい!
2	中心市街地が完全に死んでいる。土地区画をし直し、駅中心の観光地域に出来ないものか?
3	・市中心街の早期活性化。・漆川工業団地への工場誘致と土地の有効活用。・閉校校舎の再利用とグラウンドの市民開放。・市中心街にホテル&セレモニーホール等の建設。・飯詰・旧陸上競技場の積極的な各種イベント等の開催(陸上、サッカー、気球、ドローン等の大会)。
4	市中心部が空洞化して残念です。人口減少に歯止めがかかる施策を考えてほしい。市の中心部は都市計画により、整備されましたが、本町、大町、駅前周辺等は、世帯数が大幅に減少したと思います。通勤、通学の交通手段は駅です。駅の利用者に対する無料駐車場を提案します。地元で中小企業者が地元で発展できる様な環境作りを希望します。若い人が学校を卒業し、地元で就労し続けられる様な町作りも同様です。介護保険の負担を考えてほしい。老健施設は充実していると思われませんが、高齢化が進み、矛盾していると思われませんが、生活困窮者が増加し、年金だけで老後の生活は大変厳しい状況です。
5	1. 市の中心部の衰退が目立ち。1. 街づくりのイメージが悪い。街中心部の開発が乏しい感じがする。エルムだけが街ではない。商都としての活気が全く失われてしまっている。商都復活を切に願う者である。1. 道路整備が遅い。1. 中心部だけでも排雪溝の徹底が必要。できれば藤崎町のように。1. 市庁舎を拠点に新しい時代を先取りしたミニシティーの再開発を強力に進めて欲しい。1. 低所得者にたいしても市独自の住みよい経済政策が欲しい。1. いつまでもゴミだらけではいけない。美しい街づくりが欲しい。1. 文化レベルが低い、教育や人材の育成をもっと充実させて欲しい。たとえば市行政にたずさわる人材は大学卒業者をもっとたくさん採用して欲しい。優れた人材が流出するのは街をさびしくしてしまうから。
6	合併による町村の過そ化が進んでいる。活性化に力を入れて欲しい。
7	※大町、駅前の活性化。老人・学生が居れる様な場所等があれば、そこからコミュニケーションが生まれ、生きた福祉が学べ、心あたたかい市になるのではと、常日頃感じてます。電車・バスを待っている時間をちょっとした図書館、プレールーム、軽食が取れる様な、雰囲気のある場所があれば良いなア〜。誰でも入りやすい入口で…。※道路の除雪について。舗道に排雪(ロータリー)されると、歩行者は、道路を歩く事になり、運転する側も大変だなア〜と、毎年感じてます。小学生・老人・視覚障害者は杖を使用しています。途中で、舗道がなくなる事で困惑してしまいます。何か良い方法がないもののでしょうか。もちろん、介護者、タクシーをと考えですが、いつもという事は出来ないと思います。御検討お願い致します。

回答内容-中心市街地

8	<p>私は生まれも育ちも根っからの津軽人です。学生の頃は早く都会に出たいと思っていましたが、今では私を取りまく縁のおかげで、五所川原にとどまられたことに感謝しています。私の子供の頃は中心街はにぎやかでした。中三、丸キ、丸友など、大きなデパートがあり、数多くの喫茶店、雑貨屋、洋服店、ライブハウスなどがあり、活気があったと思います。それが、数十年の間に、全国的にも問題になっている人口減少ですっかりさみしい街になってしまいました。私は日々、頭の中でもう一度活気のある五所川原にするためのデザインをしています。移住者を増やす為の取り組み(雇用がないと難しい)、住みやすい環境づくり、子育てをしやすい行政サービスの充実、また周辺地域とも連携して伝統文化を楽しめる観光の街に発展していけたらなあと思います。具体的に言うと、移住者を増やすには雇用の場所もないといけません、県内はIT系で活躍出来る企業が少なくと思います。また地元の魅力の6次産業のアピール力が弱いこと。環境で言うと、まずは公園の整備をしていただきたい。みどり町は各町内に公園がありますが、全て空き地になっています。遊具が何もない公園で、どうして子供が外で遊びますか？そして道路整備、これは観光客が走りやすいようにボコボコの車道をメンテナンスしてほしい事もありますが、優先順位としては下です。先にやってほしい事は歩道を整備する事です。雑草の処理もそうですが、歩道に空いている花壇がありますが、あの場所全てに手入れのあまり必要のない観葉植物の多年草を植えてはどうでしょうか？例えばラベンダーなど。子株が増えたら市民に自由に摘んでもらう。→イベント化する。五所川原はインフラが充実していないので、移動のアクセスが車のない方は不便な街だと思います。財政問題もあるので、簡単には解決出来る問題ではないと思うので、ならばいつその事、歩いて楽しめる街にしたらどうですか？街の緑や花を楽しんで、歩く人が増えれば、見た目にも活気が出ますし、短命県返上につながるのではないのでしょうか。また五所川原中心街は早く店が終わってしまうので、シャッターに伝統文化のねぶた絵や、こぎん柄、つがる塗のペイントをして、アートの街にしてはいかがですか？アイデアは出ます！いくらでも！！</p>
9	<p>一言申します。五所川原駅前が開発、他県からの人は、何と淋しい街並と驚く、立ねぶたの館は、立派、お祭りも素晴らしいが、他の通り、商店がなく、さびれてる。私は、65年以上住んでいますが、昔は、本当に良い街でした。大町通り、本町通り、もう少し、活気のある町に、出来ないものでしょうか、悲しいです。市でもがんばっているのですが、立ねぶたに力を入れている分を、市の中心地をもう少し発展できますようにお願いします。</p>
10	<p>平成29年6月当市に転入した者です。あまり参考にならないと思いますが、アンケートを提出させて頂きます。転入して来て感じた事は、街路樹がきれいにしている事、道路標識も見やすく助かります。駅周辺の寂しさには、ビックリしました。郊外に大きな商店モールがあるにしても、あまりにひどすぎます。中心、街を活性化しないと、市の発展はないと思います。どこの地方都市も似たようなものですが、早目の脱却を望んでいます。</p>
11	<p>町の中心部にもっともっと魅力的な店があれば良い。エルムの街方面は土、日、は(他の日でも)大変にぎわっているのに中心部は死んだ町になっている。(元中三デパートの通り)道路があちこちに出来、車があちこちから出て来て交通事故が心配である。(出て行った店はどこへ行ったのか?)ネプタの館だけでは人が集まらないと思う。町中に休けい所(東屋)があれば良い。</p>

## ②都市環境 (38 件)

回答内容-都市環境	
1	公園の整備。道の駅と物産品を販売し、遊具も沢山作り、安全に子供達が楽しめる所。1日中、遊べる所。※近くには、楽しめる所沢山あり、五所川原市にはない。
2	・米マイロードから金木に入るところの、赤い点めつの指示燈が切れて、そのままのときがあるので、気をつけてもらいたい。・金木には他の地域のような道の駅がないので、目玉となるおみやげ店のような(コーヒーも飲めるところが付いている)観光客が喜んで足を運んでくれる場所があったらいいと思います。・太幸治という観光地になっていながら、何かひとつ活性化されていない気がする。
3	エルム街の方にも駅をJR、津鉄、弘南バス、タクシー等の場所を設けるような、駅ビルのような場所にしてみっと交通のアクセスを良くし、観光客にリピーターになってもらえるようにできたらいいと思います。食、レストラン、おみやげ等をもっと身近に出来るように、むかしも今も駅は重要だと思えます。実際に働いている人よりも、生活保護を受けているの方が、月給にすれば良い感じがするのは私だけでしょうか。
4	1. 金木川は改修したのに水害の心配がある。改修したきり整備されていない(泥等がたまって川幅が狭くなっています。川底等整備するよう県に要望してほしいです。2. 金木病院のトイレのほとんどが和式です。病人、特に高齢者には大変つらいです。特に大腸の検査の時使用するトイレが和式なのは大変です。持(痔?)病が悪化します。洋式トイレのウォシュレット付を要望します。3. 芦野公園は春には桜の花見物でにぎやかですが、桜は紅葉もきれいです。弘前や黒石の中野もみじ山等は秋もすごい人手です。桜の木とあわせてもみじ等を植栽し、観光客を誘致できないでしょうか。
5	市浦は五所川原市でありながらどこよりも不便である。市内の高校へ通うにしても、定期代が納得いかないくらい、理不尽な精算の仕組だと思ふ。また旧西北病院が不便である。高齢者が多く行く病院だからこそ駐車場は駐車しやすくなければいけないはずなのに、立体駐車場は不便だと思ふ。具合が悪くて診察に行っているのに、各科の受け付け、看護婦、西北で働いている者、すべての従業員の態度の悪さは、目にあまる、それに加えて、医師の診察態度も最悪だ。親切、思いやり、やさしさ、そういう気持ちも業務の一貫なのではないだろうか。大人の間でいじめが多い、大人同志が、親切、思いやり、やさしい言動をみせない限り、子供のいじめは絶対なくなるらない。
6	観光客が増加傾向にある中、宿泊施設、市内道路の整備、除雪対策の充実が急務である。生活面においては、下水道料金が異常に高い。また、除雪については、毎年多額の予算を使うことを考えれば、市内に多くの流雪溝を設置し、市民協働の体制をとることも考慮すべきである。もう一言、少子高齢化に伴う人口減対策として、農林水産業対策、企業誘致の推進等による市民全体の所得が高まる努力をしていただき、青森県のモデル的な存在となるような、五所川原市になってもらいたい。以上。
7	下水道整備、歩道除雪。
8	芦野公園等アスレチック等、親子が集まるよう充実して欲しい。各公園も同様。市内の公園等春夏秋に応じた樹木、例えば芦野公園の吊り橋の対岸の方にもみじを植えるとか、夏は百日紅(サルズペリ)とか。体育館の充実(金木町)。津鉄とのシルバー料金の交渉し、高齢者ドライバーの減少を図って欲しい。

回答内容-都市環境	
9	(1)松島団地、冬期間標識についてお願い致します。各棟へ来客の際、棟の番号の出入口が雪のためわからなくなるという疑問の声がありました。そのために出入口所へ色別の標識番号札を記入し町番号がハッキリわかる様に立札をお願い致します。(2)町内会の会長始め、三役が今だに決まらず、広報以外何も役所関係の情報はわからないので、困ることも多々あります。コミュニケーションの出来る明るい町内を望みます。住居者は後期高齢になり、よい意見はさっぱり決定しません。何とかよい方向へ出来ませんか。一応参考迄…。
10	・芦野公園に観光に来る方がいるが、動物園などもう少し整備してきれいにしてほしい。・つがる総合病院は、地域の病院なのに気軽に行くことができない。紹介状などがなくても、すぐに利用できるようにしてもらいたい。職員の態度も考えてほしい。・健康福祉課や税務課で、親切に色々教えて頂きました。どの課に行っても親切にもらえるたらありがたいです。
11	(1)まだ、くみ取りの家がとなりにあり、夏に悪臭で困っている。→下水処理の拡充(小曲地区)。(2)ごみの分別がわかりにくく、出すと持って行ってもらえないことがある。→ゴミの出し方をわかりやすくする。
12	行政に直接関わる事ではないのですが、以前鱈ヶ沢方面から来た折、前を走行していた県外ナンバーの車が、たちねぶたの館の前で停車しました。そこには大型バスが止まっていたので、駐車スペースがあると思い止まったかと思われました。館前にはPのマーク、館裏に駐車場があります表示、そこまでのルートなど私が見た限り、どこにも見当りませんでした。カーナビで調べれば、とか、事前に確認して来てくれれば…との事かも知れませんが、個人単位での観光客(シルバー世代とか)も増えていると思うので、大きな表示板があれば親切なの…と思いました。
13	もう少し芦野公園の整備に力を入れてほしい。
14	今1人暮らしが各地域で非常に多く、また亡くなって行く方も多い。そして、家族で都会に出て行って故郷に帰ってこない方々が本当に多いと思います。それによって各地域で空き家が目だつ。中にはつぶれかかっている家、道路にはみ出して危険な箇所、また家の軒下にすずめバチの巣などがあり、大変危険ですので、市役所の方で早急に対応をしていただきたい。
15	五所川原市に総合運動公園を造ってほしい。もっと老人に対する運動場を考えて下さい。
16	合併したおかげで、金木に施設が無くなりました。トレセンなど(旧金木は死んでいる。)。中里地区がうらやましいナ…。また、五所市内にだけ力を入れているせいか、立佞武多など。芦野公園のつり橋、何年前からか通行止になっており、修繕するのに、多額の金額が要すると思いますが、早く開通してほしい。今春桜まつりで、はるばる八戸市から女性3名程“つり橋”渡りたいと夢をふくらませ来ましたが、ベニヤ板で通行止になっており、非常に残念がって帰って行きました。
17	・住宅希望者への配慮、対策。・生活困窮者の学生の配慮。
18	・空き家が多く、白アリ被害が不安。・公園が少ない。子供達の遊ぶ場所が無い。
19	芦野公園のつり橋を早期に修復してほしい。
20	・これからの子供達への投資を惜しまないでほしい。子供達が安全安心に遊べる公園の整備の手をぬかないでほしい。たとえば具体的に言うと、冬子供達のソリ遊びやスノボでにぎわった狼野長根は駐車場の除雪がされなくなり、連れていかれなくなり、残念に思っている。狼野長根の散策道路もいたる所橋が腐り、通行止めになったまま一年が過ぎる。・旧中三デパートの通りの現状はとても悲しい。かといって名案も浮かばない。よい街並みになることを願っている。
21	生活排水の整備を市中心以外もきちんとやって欲しい。
22	下水の整備をお願いします。夏は特に悪臭で大変です。
23	市長派は仕事ももらえて、市長派でないと仕事ももらえないと聞いているが…。あき家が多く、対策をしてほしい。

回答内容-都市環境	
24	家庭から出る排水が流れてる水路が、すぐ詰まって流れて行かない。側溝の整備がされてない為です。雨が降ると、側溝が満水になり、逆流してきます。雑草の処理をし、整備してほしいです。(漆川袖掛です)市役所や病院が新しくなるより、市民が生活していく上で何より大切なことです。用水路の整備をきちんとして下さい。
25	1. 五所川原市の歴史をだいじにしてほしい。→広い意味で検討して下さい。2. 五所川原市の景観を守って下さい。→市内の街並みや市浦地区の風力発電の施設をこわさないでほしい。3. 冬でも「カイケキ」に買い物ができるように、地下街を作して下さい。→冬は寒すぎますー(イヤダー)
26	下水の側溝の整備をお願いしたい。(上部蓋のない所、塞き止められている所)
27	昔のロータリー付近は賑やかであったと思います。緑の公園が出来る計画もあったような。現在は大町、本町閑散としているような気がします。津軽鉄道駅・五所川原駅をステーションビルのようなもっと人を集めるように出来ないものでしょうか。駐車場も無料化にするとか。
28	・もっと市営住宅を増やしてほしい。そして入りやすくしてほしい(そろえる書類が多い…)・ごみの分別用の資料を作り、各家庭に1冊ずつ渡してほしい。
29	交通ルールに対する意識を高めてほしい。中高生の自転車やスーパーでのライン無視で走る車など、少しのことで大きな事故につながる事を知ってほしい。そういう事に始まりいろいろな事に対してのモラルが高まってほしいと思う。自分が良ければいいというのでは、いつまでたっても変わらないと思う。働く場が増えると若い人が定住し、良くしていこうと考えるのかも知れないし、農業をしても、生活が安定して、暮していけるとか、先の人生が、不安なく生きていければ心によゆうが出きるのかもしれない。
30	人財づくりへの提案として、子育てに対する支援、協力はもちろんですが、もっと、保護者、地域、企業団体が入る(参画)様に入り易い様にするべきと思います。また施設の充実(例、国際レベル、全国レベルの大会が出来る施設)を図るべきです。道路整備はもちろんですが、本来の目的、目標からズレている様に思えます。例えば、通学路、スクールバスの整備です。バスが通るから、拡張するのでなく、子供らがより安全に歩行することが望ましいと思います。スクールバスは無料と聞いております。保護者にとつとは良い事ですが、子供らの教育にとって、良い事でしょうか?これら、まだまだ、〇〇ありき!の状態です。物事をすすめている様にしか思えません(見えません!)、お年寄りを大事にするのはわかりますが、未来、将来の子供たちを育み、導くことが、人財づくりだと思います。
31	漫画喫茶の誘致を願います。祭り期間の宿泊施設にも成り得ます。市営住宅に入りやすくして下さい。
32	(1)若い人達が住みやすいと思うように働く場がもっとあってもいいのではないのでしょうか。(2)五所川原の顔である駅前から大町にかけての街並があまりにもみすぼらしく、他県から来た方からこれが中心地ですかとよく言われます。色々と考えているのですが…。(3)冬の除雪ですが、もう少ししていい仕事をしていただきたい。家の前をきれいにかたづけした後、除雪車に大きい雪のかたまりを置いていかれるのがつらい年令になりました。
33	1. 若い世代の親達の負担を軽減する為に、子どもの(小・中学生)給食費無料化。2. 五所川原(生き生き)・金木(川倉の湯)には温泉施設があるが、市浦地区には無いので、公共の温泉を作ったらどうか。3. 高齢者が増えていく中で、病院等に低額で行けるようなルールというか、移動手段を考えて欲しい。五所川原にはエルム100円バスがあるが、金木・市浦地区には無いので、これらの地区についても、同様のサービスを受けられるように。市民が平等であるようお願いしたい。

回答内容-都市環境	
34	<p>子どもが生まれると同時期に五所川原市に転居してきましたが、小さい子ども(特に未就園児)がのびのびあそべるような施設が少ないと感じました。青森市や弘前市のように常時開放されているような、児童館や子育て支援センターなどがあれば、若いお母さん達も気軽に子育ての情報交換ができてよいのになあとと思います。また公園なども管理の難しさ等あるかとは思いますが、もう少し、小さい子が遊べるよう整備されていたらなと思います。近くの公園の例でいくと、砂場らしきものがあるのに全く手入れされておらず、草がぼうぼう石畳も補修されておらずガタガタ。せっかくの砂場も衛生面や安全性が心配であそばせられませんでした。子育てしやすい環境があれば、働き盛りの若い家族の安住も今よりもっと見込めるのではないかと考えます。</p>
35	<p>・3つの事はストレスがたまり健康に良くない。1. 青森、弘前では除雪がこななくて困っている中で、私の所は逆にき過ぎて困る。大雪、どか雪の時は早朝、午後2回きてもいいが、雪積もってない時や晴れた日はこないでほしい。かえって道路を狭くしている(雪壁も高くなるし)。せっかくきれいにしたのに除雪にゴロツと置かれ、そのたんび固められた重い雪を手作業でほぐし、雪片づけしなくてはいけない(私の所はすごく大変だ)。2. 交差点の近くなので、最近では毎年交通事故があり、そのたんびに私が散乱した物を片づける→事故した人がやるべきだ。3. 道路にタバコごっそり、落下物などマナーの悪い人がいて困る。※25、29年、私に五所川原市に関するアンケートが2回もきて回答している。同じ人の意見だけでなく、いろんな人の意見を参考にした方がいいので、今度はその方達にして下さい。</p>
36	<p>冬の除雪について。家の前に雪を置いていかれるのは、仕方のない事だが、道路は車を運転していて、事故でもおこせば命にもかかわる事なので、大変こわい思いをしている。凍ってツルツルになるのをどうにかできないのかと本当に思う。昔のスパイクタイヤの時には、これ程ツルツルにはならなかった。何か方法がないのか？誰か研究して！！川の整備(金木川)。草と木で川の水が見えない位、雨が降るたび気になる。</p>
37	<p>・岩木川に沿っている道路の五能線踏切から布施病院、芭蕉、田川へ至る道路の両側に捨てられているゴミが絶えません。ゴミ捨て禁止の標識を立てるとか、一斉にゴミ拾いをするとか何か対策をお願いしたい。・JR五能線五所川原駅から直接一ツ谷方面に降りられる跨線橋や陸橋を是非計画して下さい。・西若葉地区にも融雪溝を造って下さい。</p>
38	<p>1. 人を大事にする。2. 子供達の声が響く町にしてほしい。3. 公園をもっと活用して、人の交わりが増す方法を確実に企画して実施してほしい。市民にも一任させる方法を。(例)使用者に必ずゴミ拾いをさせる、意識づける。</p>

### ③道路整備 (18 件)

回答内容-道路整備	
1	岩木川の堤防を十三湖までサイクリングコースとして全て舗装してほしい。出来れば右岸から左岸を通って、往復出来れば最高です。事業は国土交通省がやると思うので、市の財政支出はないでしょう。国への働きかけをして(強く)是非実現してもらいたい。※最後に文句をひとつ…郊外型の大型ショッピングセンターを作って、昔ながらの商店街をシャッター通りにおきながら、何で今更商店街の活性化などと巨額の資金を使って大町の区画整理事業をしたのか、理解出来ない。頭が狂っているとしか思えない。
2	道路工事を見かける度に、歩道の整備をもっと多くしてほしいといつも思っています。ベビーカーでの散歩が困難です。車道にはみ出て歩くしかありません。公園も少なく、遊ばせる場所がありません。車で移動するのではなく散歩の途中で立て寄れる、そういう公園がありません。そしてショッピングセンターはエルムがありますが、フードコートがありません。子供が泣いても大丈夫な場所が欲しいです。医療費も他市は無料なのに、五所川原は未就学までの無料と限定され、保育料も高い。子育てしにくいです。
3	・下水道の整備、一般住宅も下水道にして頂きたい。道路の整備をきちんとしていただきたいです。でこぼこ道やそうでない(整備されていない)道が多く困っています。・粗大ゴミの回収してくれる回数をもう少し増やしてくれると助かります。(布団など(マットレス)が出せずに困っています。) ・エルム付近パチンコ店からのポイ捨てしたようなゴミが多く飛んできて、困っています。車で通る際も沢山の弁当の空などあり汚いです。
4	大きい箱物を作るのも大変よいのですが、もっと市民が生活しやすいように、車道、歩道の整備をしてほしいです。自分の家の前は何年も前から舗装がはがれて地盤の砂利が出ているのに、なおしてくれません。冬は除雪もしてくれません。もうすこし、市民の生活環境を考えてほしいです。お願いします。お願いします。お願いします。お願いします。お願いします。お願いします。お願いします。お願いします。
5	(1)広田団地の信号機の待ち時間が、本当に長すぎる。普通の信号機にしてほしい。時間のムダなのでなんとかしてくれ。(2)姥范の小学校に向かうほうきょうのあるすぐ近くのセブンイレブンのコンビニのすぐ近くのT字路の所に左せつ専用車線があれば、小学校方面に向かう車のせいでスピード落とすことなく、スムーズに進めるのになんで作らないんですか？(3)姥范のバス停の近くの市内方面に向かうすぐ近くの交差点は、いつもいつも車の流れが悪すぎるので、とにかく左せつ専用の道路を作ってくれば、鶴田方面に向かう車のせいで、流れが悪くなる事は、なくなると思うので、早く作ってください。とにかく車の流れが悪い。(4)ゴミの分別のもっともっとくわしい本がほしい。わかりづらい。
6	道路について。雨が降ると水はけが悪いのか、道路に溝が出来ているせいなのか、車で通ると水しぶきがすごい所がある。他にも、つぎはぎの道路とか…立佞武多が通る所の道路整備はするのにも、他の道路はなかなかしてくれない。
7	道路、上・下水道、し尿処理等を充実してほしいです。
8	ちょっと苦ろうして収入上げても、税金とって農道はぜんぜんだめで良いものつくれと言われても、やる気ない！！エルムエルム、立ちねぷたなんてやめてしまえばいい。土木工事は、なんで農道整備しないんだろう。

回答内容-道路整備	
9	1. 五所川原JRの駅舎を、(1)少し移動(2)又は駅舎の下に道路を通して、大町の駅道路をエルムの道路(片側2車線の道路)を結ぶ道路にしたら…いいと思う～大町及び駅前の活性化。2. 五所川原からJR津軽鉄道等を利用する場合、無料駐車場又は適当な駐車場がない為、JRを利用する場合、駐車場の広い浪岡駅、大釈迦駅を利用している人が多い～弘南バス駅前の建物、津軽鉄道の建物等を整理して、買物の際にも利用できる駐車場、上記1を実施した場合は、余裕のある駐車場を作ることができ、又駅裏にショッピングセンターをも作ることができる…と思う。
10	つがる総合病院の前の信号機の位置をかえてほしい。向いの薬局へ行く人の横断が多く危険。
11	稲実地区の道路がせまい。特に歩道が1人で歩いてやっど。自転車が来ればよけるけど、せきの方によらないと通れない。段差もあり、ぶつかればせきの方におちそうになる。マエダあたりは巾も広くていいけど、そこからの歩道はせまい。二人で歩いても大丈夫な道幅にしたいと思います。お願いします。
12	ケーズデンキ前の道路が非常に悪いと思います。市の中心街の道路なので早急に直していただきたいと思います。又、信号機を、感应式に変更できないものかご検討をお願いします。
13	101号線と市役所前の道路がぶつかる交差点の流れが悪くてとても不便です。朝8:00頃特に流れが悪く、信号機などで何か改善できないでしょうか。ご検討よろしくをお願いします。(市職員が多く歩いている時間帯なのでとてもあぶないです。)仕事が終わってから利用できるスポーツ施設があればいいなと思います。
14	駅うらへの通路が早期に願う。
15	中泊やつがる市が、中学生まで、医療費がかからないのに、なぜ五所川原は出来ないのでしょうか。祭りにばかりお金を使ってる場合ではないでしょ。市役所の業務も、エルムとかに支所置けないから、新庁舎が出るんだから、土、日、祝、午前中だけでも、住民票とか出せるようにしてほしい。子供等の通学路、歩道が古くてあぶない。エルムの方ばかり道路なおさず、住んでいる人間が多く使っている場所など直すべき。松島団地児童公園、遊んでる子供等のとび出し、ボールが車道に飛んでくることが多い。車道側に柵をつけるか、遊具を車道からはなれた場所に移動してほしい。
16	子供の医療費公助が6才までというのは、低所得者の私にとっては、とても厳しいです。せめて、15才までにして欲しいです。他の市町村でも中学校まで無料のところがあるそうです。がんばって無料にして下さい。あと道路がガタガタで、散歩するときとても歩きづらいところがあります。点検して整備して下さい。
17	1. 歩行者のための冬期の歩道除雪対策。2. 増え続けるカラスによる市内の道路の汚れ対策。
18	五所川原市では、ミサイル(北朝鮮)の時、サイレンが鳴らなかった。なぜですか？情報弱者の方々にとっては、大事だと思います。弘前市ですらなっていたそうですよ。深浦町、つがる市でも、日頃より、町営放送を流しています。たちねぶたに力を入れるのは結構ですが、しっかりやって下さい。苦情、きていないのですか？道路整備も、極めて悪い。(とくに歩道)民俗資料館の荒廃ぶりもなげかわしい。税金を払っている者としては、もっとインフラ整備をしっかりとっていただきたいです。過疎に悩む町村の職員は、とても必死ですよ。がんばっています。五所川原市職員の方々もがんばっていらっしゃるのですが、まず、基本的な部分からしっかりとっていただきたいです。放送の件は、早急に、よろしくおねがいします。改善されない際は、他の機関に相談することも考えています。

#### ④公共交通 (9 件)

回答内容-公共交通	
1	(1)公共交通機関の充実を図ってほしい。高齢者が買い物や通院のために出かけることが難しい。市の無料巡回バスを使えるようにしてほしい。(2)基幹産業の充実を図ってほしい。若者が働ける企業の誘致を積極的に進めてほしい。
2	・駅前活性化に取り込んでほしい。・公共交通機関が不便で、市内でも移動しづらい。バスの運行が、他の街にくらべて少なすぎて、旅行客を呼びたくても呼べない。車社会なのはわかるが整備してほしい。・だれもが毎日楽しくすごせる街にしてほしい。
3	・交通の便が悪すぎる(バス、電車共に)→市内の移動にも市外(青森市や弘前市あるいは県外)への移動にも使いにくい。便も少なく、時間も必要な時間帯に限り無い。・選挙活動を行うのは仕方のないことだが、テスト中や勉強・授業中に被るような時間帯に大音量で選挙カーから演説をしているのは学生が集中できない。小～高校生まで大変迷惑している。もう少し配慮できないのか。・高齢者の交通マナーが悪すぎる。保護するばかりでは勘違いを起こさせてしまっていることに気付いて頂きたい。
4	旧五所川原市北部(金木町手前)の利便性(商業施設)が他に比べなにかと劣っていると思う。バスも減便され、高齢者の買い物が非常に不便である。
5	高齢ドライバーが免許返納しても、生活に支障ないよう交通手段が充実するといいなと思います。格安だったり、今あるバス停よりもっと多くの場所で乗り降りできたり、便利であれば免許返納する人も増えるかもしれないです。自分の親も高齢ですし、自分自身もいずれそうなると思うと考えさせられます。たまに、危ない運転の高齢ドライバーに遭遇すると、田舎で交通手段が少ないので仕方ないと思いつつも、乗るべきではないと思ってしまいます。
6	交通に不便なので、通院、買物はタクシーです。毎日でなくてもよいので、週1、2回120円バスでもと思います。(私は片道1,110円で駅前までタクシーです)
7	私は、市浦の街人ですが、毎週月よう日、十三始発行政バスではあります。あと2回の週3回にして頂けたらと思います。これは、私だけではなく、十三の人皆の願いでもあります。よろしくお願ひします。
8	車社会ですが、車のない方(運転できない人)にはとってとても不便な街になってます。年老いて、買物出来ない人がこれではふえつつけることでしょう。歩道も危ない所がいっぱいあって、足腰の弱い人はとってつらいです。手の回らないのはわかりますが、細かい事に気を配って欲しいとは年寄りの身勝手でしょうか？中央にばかりに目が行ってませんか？
9	今は自分の車があります。いずれ世話にならなくなる時(もうすぐ)になります。これからよろしくお願ひします。

## 分野2) 産業

### ①農林水産業 (3件)

回答内容-農林水産業	
1	農林水産に興味のある担い手を、他県からでも受け入れられる体制づくりをして確保する。首都圏(他県)や海外に売り込める、特産の加工品をもっと増やし、販売ルートも広げる。素人の意見なので、「言うは易く行うは難し」です。五所川原の新エネルギーとは今現在、何処に何があるのでしょうか？高齢者の自動車事故を減らす為の対策はされてますか？
2	・魅力を感じる事が少ない。・西目屋の様に土地を活用や譲渡などを行い、若い人間を入れるべき。・リンゴ、米など農産物のアピール不足。たちねふたは県外でもある程度知られるようになりましたが、それ以外は何もないので、ブランド力をつけてもらいたい。・役所の対応が良くない。流れ作業すぎ。
3	市浦の福祉センターなどに介護用トイレなど水廻りなどがほしいです。農作物を作っても、動物に取られて作る気持が段々すれてきた。さるのくじょをしてほしい。むずかしいと思いますけど。

### ②商工業 (10件)

回答内容-商工業	
1	・市役所をはじめ、建物は充実させているが、市民への行政サービスは後退する一方である。例えば、特産品の開発や販売への支援。さまざまな分野での起業支援。町内会等の活動支援の充実による地域、コミュニティーの維持など。市役所職員も市民である。もっと考えを充実させて！！・近隣の市町村から、市の財政状況を心配されるようでは情けない。市民の理解を得られるようなガラス張りの財政運営をするべきである。・つがる総合病院の入院看護サービスの充実をするべき。患者の立場に立っていない。
2	市の中心をもっとにぎやかにして、かんきょうを良くしてほしい。
3	どの地域でも安定して働ける場所が無いと活性化にならない。物売る仕事だけでなく、生産する産業の企業誘致が必要だと思います。
4	大きなショッピングモールに人が集中し、まだまだ街の中心部が淋しい気がします。まずきちんとした駐車場の確保と活気のある商店街等があれば、楽しい街になるのではないかと思います。また、市役所が新しくなるのであれば、その周りや駅前の整備も行い、もっと良い街になればと願います。
5	1. 産業振興に力を入れるべき。2. 工業団地の活性化と誘致の推進をもっと計る。3. 創業支援と企業連携等で産業活性化を計ってはどうか。4. 空き家対策は早急に対策すべき。5. Uターン、Iターンなくして人口問題の対策はできないと思う。推進対策や助成金を計画してはどうか。
6	・五所川原の若者離れが進んでるので、企業誘致の推進に力を入れて欲しいです。・人口の減少に歯止めをかけたいので、「五所川原市に住めば〇〇代無料。」などの特典を市外の若者にアピールする。※養育費や保育費。
7	公園の整備。道の駅と物産品を販売し、遊具も沢山作り、安全に子供達が楽しめる所。1日中、遊べる所。※近くには、楽しめる所沢山あり、五所川原市にはない。

回答内容-商工業	
8	岩木川の堤防を十三湖までサイクリングコースとして全て舗装してほしい。出来れば右岸から左岸を通って、往復出来れば最高です。事業は国土交通省がやると思うので、市の財政支出はないでしょう。国への働きかけをして(強く)是非実現してもらいたい。※最後に文句をひとつ…郊外型の大型ショッピングセンターを作って、昔ながらの商店街をシャッター通りにおきながら、何で今更商店街の活性化などと巨額の資金を使って大町の区画整理事業をしたのか、理解出来ない。頭が狂っているとしか思えない。
9	(1)公共交通機関の充実を図ってほしい。高齢者が買い物や通院のための出かけることが難しい。市の無料巡回バスを使えるようにしてほしい。(2)基幹産業の充実を図ってほしい。若者が働ける企業の誘致を積極的に進めてほしい。
10	市民憲章に「文化のかおるまちをつくります」と制定されていますが、他県・他市と比べて五所川原は文化面で遅れています。そのためには市政で力を注いで欲しいのは、1. 菊ヶ丘公園を四季折々に花木が楽しめる市民の憩いの広場に整備。2. 菊ヶ丘公園にある図書館は暗く、狭く落ちついて利用することができないので、つがる市の図書館のようにゆとりをもって利用できるような図書館の建築。資料館も内容を充実させ、学ぶ資料館への整備と建築。3. 青森市のように運転免許返納者に対する乗物、買物などに対する特典への対策。4. つがる市のように中学生までの医療費の無料化の実施。5. ドームでの広場での朝市、月一回に市民フリーマーケットを開くなど、市民に気軽に利用できる克雪ドームの活用。五所川原に住んでよかった、住みたいという人が一人でも多くなることを期待して、ご意見ご提案しました。五所川原を愛する一市民。

### ③観光 (17件)

回答内容-観光	
1	◎ふるさと納税の津軽鉄道コースの金額は、どのようなかたちで津鉄に利用して頂けるのでしょうか？◎金木さくらまつりを、もっと昔のように盛り上げたいのですが、商工会だけではなく、市役所でも一緒に五所川原市のイベントとして、力をかして頂けないのでしょうか？◎金木小・中学生が給食がおいしくない、量が少ないと学校の先生方も言っていますが、改善はしないのですか？◎20代、30代の子供を育てている世代に、空家を優先的に安く賃貸したり、もっと市民の目につくよう、情報を耳に入りやすくして、少子化、過疎化に注力すべきではないのでしょうか？◎農協だけではなく、若い農家又は、UターンやIターンで農家をしている担い手を支援したり、新しく商売を考えている世代に力を貸したり、気軽に相談できる市役所にシフトチェンジできないのでしょうか？◎市民を型にはめるのではなく、市民が自ら動きたくなる市役所になって頂きたいです。新しい庁舎になるのですから、良い機会だと思います。アンケートも良い方法ですが、直接、これからの担い手である20代、30代に聞いて歩く方法もムダではないはずですよ。
2	・市浦地区には大沼公園、十三脇元バンガローなど、いろいろな自然と楽しむ施設がありますが、あまり活用されていないように思います。市が中心となってイベントなど、活用方法を考えてもらいたい。・し〜うらんどタラソテラピーがありますが、これももっと知ってもらいたい。県、内外に…。・空き家の方が多い状態です。動物の住みかになっている家もあります。対処してもらいたい。
3	毎年、立ちネプタが行なわれていますが、以前と違い活気がない。ダラダラ歩いて。踊りも少し増やしてはいかがでしょうか。段々飽きに来てる様です。

回答内容-観光	
4	・観光施設の入場料について。「例」立佞武多館の入場料について、身障者とその同伴者の入場料を無料にして頂けないものでしょうか？最近では弘前モミヂ祭りの会場と青森県立美術館、浅虫水族館は無料でした。・スポーツ施設について。公認の陸上競技場がないことと、野球場等他市町村と比較して見劣りします。・その他1.（文化活動について）浪岡中世の館では、入場お一人200円でコーヒー付きのコンサートを毎月一度位の割合で開催していて盛況です。その他2.「道の駅」がない。「浪岡の道の駅」は毎日盛況ですよ！失礼なことばかり申し上げて申し訳ありません。
5	遊ぶところを増やしてほしい。絶対的な観光スポットがない。冬はイルミネーションをやってほしい。赤ちゃんを連れていけるカフェがほしい。もっとイベントを増やしてほしい。芸人を呼んでほしい。
6	立佞武多期間中の観光を市にもっとお金が落ちるような体制をしたらいいと思う。たとえばホテルを造成するとか。
7	津軽道付近に観光施設やレジャー施設等の人を集めて一日中楽しめるような所があれば県外からも人を集められるのではないかと思います。
8	五所川原の顔である駅前を青森、弘前のように近代的にしてほしい。私が小学生の時から何ら変わっていない。高校も5校あり、駅ビル、駅を抜ける地下道、歩道、車道を完備し、大町の活性化を図ってもらいたい。特にロータリーはかつて公園を考えたように、市民のシンボリック存在にしてほしい。次に立佞武多の館であるが、私は県内県外で必ず宣伝している。特にレストラン“ハルニレ”は最高の景色が見られる。しかし、第三セクターのため、サービス精神に欠け客が少なく(特に昼)、残念である。民間のやる気のある人に任せ、若い人を使ってほしいと思っている。五所川原にはすばらしい人材がいると思うので、ぜひとも探し、活用させることを市役所の中に新しく設けてほしい！
9	・米マイロードから金木に入るところの、赤い点めつの指示燈が切れて、そのままのときがあるので、気をつけてもらいたい。・金木には他の地域のような道の駅がないので、目玉となるおみやげ店のような(コーヒーも飲めるところが付いている)観光客が喜んで足を運んでくれる場所があったらいいと思います。・太宰治という観光地になっていながら、何かひとつ活性化されていない気がする。
10	中心市街地が完全に死んでいる。土地区画をし直し、駅中心の観光地域に出来ないものか？
11	エルム街の方にも駅をJR、津鉄、弘南バス、タクシー等の場所を設けるような、駅ビルのような場所にしてもっともっと交通のアクセスを良くし、観光客にリピーターになってもらえるようにできたらいいと思います。食、レストラン、おみやげ等をもっと身近に出来るように、むかしも今も駅は重要だと思います。実際に働いている人よりも、生活保護を受けているの方が、月給にすれば良い感じがするのは私だけでしょうか。
12	・市中心街の早期活性化。・漆川工業団地への工場誘致と土地の有効活用。・閉校校舎の再利用とグラウンドの市民開放。・市中心街にホテル&セレモニーホール等の建設。・飯詰・旧陸上競技場の積極的な各種イベント等の開催(陸上、サッカー、気球、ドローン等の大会)。
13	・駅前の活性化に取りくんでほしい。・公共交通機関が不便で、市内でも移動しづらい。バスの運行が、他の街にくらべて少なすぎて、旅行客を呼びたくても呼べない。車社会なのはわかるが整備してほしい。・だれもが毎日楽しくすごせる街にしてほしい。
14	1. つがる総合病院等、医師不足により混雑し、待時間が長いのでどうかして欲しい。2. 魚菜センター等については、関係者が協力して、他の市町村からも買い物に来るような、観光的な大きな施設を作り、集客を図り、経済を活性化して欲しい。

回答内容-観光	
15	除雪問題。毎年の除雪の経費を見ると、市内全町村に毎年少々でも除雪排溝をつくった方が良い。省エネ問題。市内全町村に毎年少々でも外灯にLED電気と交換した方が良い。五所川原市に道の駅。農業、漁業、林業、大型道の駅、温泉付き、大型観光バス駐車場。五所川原立佞武多のPR。高速バス→東京、高速バスのポデーに立佞武多のシール。
16	1. 金木川は改修したのに水害の心配がある。改修したきり整備されていない(泥等がたまって川幅が狭くなっています。川底等整備するよう県に要望してほしいです。2. 金木病院のトイレのほとんどが和式です。病人、特に高齢者には大変つらいです。特に大腸の検査の時使用するトイレが和式なのは大変です。持(痔?)病が悪化します。洋式トイレのウォシュレット付を要望します。3. 芦野公園は春には桜の花見物でにぎやかですが、桜は紅葉もきれいです。弘前や黒石の中野もみじ山等は秋もすごい人手です。桜の木とあわせてもみじ等を植栽し、観光客を誘致できないでしょうか。
17	観光客が増加傾向にある中、宿泊施設、市内道路の整備、除雪対策の充実が急務である。生活面においては、下水道料金が異常に高い。また、除雪については、毎年多額の予算を使うことを考えれば、市内に多くの流雪溝を設置し、市民協働の体制をとることも考慮すべきである。もう一言、少子高齢化に伴う人口減対策として、農林水産業対策、企業誘致の推進等による市民全体の所得が高まる努力をしていただき、青森県のモデル的な存在となるような、五所川原市になってもらいたい。以上。

#### ④雇用・就労 (15件)

回答内容-雇用・就労	
1	(1)若い人達が住みやすいと思うように働く場がもっとあってもいいのではないのでしょうか。(2)五所川原の顔である駅前から大町にかけての街並があまりにもみすぼらしく、他県から来た方からこれが中心地ですかとよく言われます。色々と考えているのですが…。(3)冬の除雪ですが、もう少ししていねいな仕事をしていただきたい。家の前をきれいにかたづけた後、除雪車に大きい雪のかたまりを置いていかれるのがつらい年令になりました。
2	・高校を卒業すると、地元就職以外はほぼ県外へ出て行くが、Uターン就職したくても、働く場所が極めて少ない。もっと働く場所を増やすべき。・まだまだ女性差別が根強い。・病院の充実。つがる病院は何の役に立たない。結局、青森、弘前へ回される。
3	1. 将来の期待。若い者に働く場所を確保。現状では限られている。2. 働く場所の確保はいいが、賃金の所得の問題。青森県の所得、特に五所川原及び北五地方の将来、及び現在の所得では全国でも下から数えた方が早いのが現状で、一般的社会の形態は全国でも最低レベルである。市役所、県、国、所得のかくさについて話してあるが、較差については将来も現在も同じ形態でいくと思う。賃金が悪ければ、地域経済は最低で、都会から見ればかけはなれてた場所になりうる可能性が大である。特に西北五地域、上記の通り所得が非常に低いので、景気のよさは感じた事がない。公務員、官公庁の勤務している所得の較差はあまりにもかけ離れている現状である。公務員等の賃金の見直しをかけ、職場ではたらく人間も見直す必要がある。議員及び幹部職員は少なくするには問題があると言っている人間は関係者がほとんどである。一番大事な市町村の政策の問題は、国からの決定した法律を実施するだけ。どくじの政策はまったくなし。日本の地方の中でも、市、町、村どくじに行政を取り入れて発展している地域はいっぱいあります。特に五所川原は市長及議員等の利益性に注視しているのが現状である。特に公共事業には談ごう、必ず仕事の配分まで決まっているとの事で、はっきりして公共事業しか利益の追求がないのが現状で借金だらけである。職員の見直し、特に高齢の女性の勤務者の賃金の見直しをかける必要がある。
4	仕事の場をもっとふやしてほしいと思います。あと、女性との出会いの場を作してほしいです。

回答内容-雇用・就労	
5	仕事で「人手不足」「高齢化」に悩まされています。企業にもメリットのある就労支援を。不妊治療の支援の充実も。
6	地域の特性を生かした町づくりが必要で、市全体が住んでよかった町づくり。若者が安心して働けるような企業誘致。
7	五所川原市で働かせてもらいました。ボランティアした時もありました。今は安住の地として終末をと考えています。他の地へ移住する気もないのですが…よく言えば若い方達に安定した職を与えてほしい。若い方達が安心して住み続けるようにしてほしいと願う者です。交通機関の充実、若い方達が多く住む市にしたいです。アルバイトでなく定職にしてほしい。安心して子供を産み育てられるようにと願います。女性が働かなくても、男性が安定した職業につきしっかりした収入があれば世の中、当市も、もっと安定してくるのではないのでしょうか？
8	若い人が働ける場所があると、人口もふえるし、子供もふえると思います。
9	仕事(職場)の出来る場所が少なく、あったとしても賃金が少ない…市政には直接関係はないのかもしれませんが、生活が苦しすぎてとても住みやすいとはいえないのが実情です。毎日の生活が精一杯なので、貯金もなく、老後も不安しかありません。子どもは大切ですが、兄弟がいるので更に家計も苦しく、これからの世代が子どもを欲しがらないのも納得です。今の時代、中卒、高卒では仕事も厳しいといえますし、高卒でも一生頑張れる職場がほしいですし、年をとっても働ける(賃金保障)事が希望です。
10	現在市営住宅に親といっしょに住んでいますが、なかなか仕事が見つからず、将来も住めるか今から不安でいっぱいです。買い物や病院への通院などは充実していて安心してますが、住むところがなくなるのは元も子もないです。いろいろ会社を受けてはいますが、働く場所が少なく感じます。あと求人情報なども広く発信してほしいです。
11	若い人達が安心して暮らせる様にとにかく就労場所の確保が何よりも必要であると思う。
12	年金生活者でも(国民年金)、足、腰が丈夫な内は、金銭的に楽に楽しく暮せる様支援お願いしたいです。ちなみにシルバー人材センターは、あてにならず、3,500円取られたただけでした。生活保護者を減らす為にも、ぜひお考え願いたいです。
13	誰もが健全な職場で、ある程度の安定が保たれ、安心して働ける場所を作って欲しい。
14	市が主導して、ボランティアを主体とした、だけど少しばかり賃金を支給して、生きがいを持たせ、やることなく、プラプラしているお年寄りたちや、若者が入ってもよい、何かしたいと思っている人達、まだ意欲のある老人達を活用させる場所を、地域ごとに作って欲しい、自分が世の中の為に、少しでも役に立っていると思えば、人はうれしいもの、自分からは何も出来なくとも、行政で枠組を作ってくださいれば、皆、入って行きやすい。手持ちぶさたのお年寄りたちを生かして下さい。
15	五所川原市は、他の市にくらべて、働く場所も病院も少なすぎると思います。祭りにお金をかけて人々を呼ぶ事も大事ですが、まず五所川原市が住んで良い所だと言えるようなとり組をしてほしいと思います。

## 分野3) 保健・医療・福祉

### ①保健・健康づくり (3件)

回答内容-保健・健康づくり	
1	短命県だと騒いでいるわりに、健康になれる施設がない。運動施設や体にいい食事が出来る店、またそういう催しが少なすぎると思う。
2	健康寿命を延ばす為に、無料でストレッチや体操等出来る(コーチも居て)、施設が欲しい!! コーチが指導して、年代別に応じた運動、器具等、利用してやる。一人で、日常生活を維持する為の運動の出来る施設が欲しい!!
3	文化、スポーツ、健康を推進し、支援し、この街に住みたい。住み続けたいと思える街づくりをして欲しい。市役所、商工会館、克雪ドーム…お金の使い方に大変な疑念を抱かざるを得ないのが現状です。子供の将来、老後の暮らし、生き甲斐を持って生活できる五所川原市となって欲しい。そのためには、もっと必要な施設、お金の使い方があるように思えてなりません。誇りを持って外にアピール出来る物、文化スポーツ、生活環境をもっと豊かにできる施策、施設が必要だと思います。例えば、市民がみんなで応援できるスポーツクラブ(Jリーグクラブやバスケットクラブなど)の設立を支援することで、経済効果はかなり見込めるのでは…。今後の市政に期待しています。

### ②地域医療 (22件)

回答内容-地域医療	
1	1. つがる総合病院等、医師不足により混雑し、待時間が長いのでどうかして欲しい。2. 魚菜センター等については、関係者が協力して、他の市町村からも買い物に来るような、観光的な大きな施設を作り、集客を図り、経済を活性化して欲しい。
2	五所川原市は、他の市にくらべて、働く場所も病院も少なすぎると思います。祭りにお金をかけて人々を呼ぶ事も大事ですが、まず五所川原市が住んで良い所だと言えるようなとり組をしてほしいと思います。
3	若者が住み続けたいと思えるような、まちにして欲しい。医療費や税金も考えてほしい。
4	つがる総合病院についてですが大きい病院ですが高齢者にとってとてもつらい、何がつらいかと言うと長時間待つことにより苦痛がともないます。これをぜひ改善してもらいたいです。又、お金を多く医者に出しても、いい医者を連れてきてはどうでしょうか提案します。もう1つは高齢者の為に各部落ごとに集まる場所が必要かとつねづね考えています。60才を過ぎた1人ぐらしの人達は話す場もなく死にたいと言っています。そういう人達のために、集まって話しをする場所それも部落の中心なところが良いのではないかと考えられます。
5	つがる総合病院は利用しづらい。天狗になってる。と思う!! 子供の医療費タダにしろ!! もっと努力しろ!! つがる市はタダだぞ!!
6	病院の充実が急務。夜間救急が集中すると、対応できていない。医療従事者が疲弊している為、良質な治療に至っていない場面が散見されます。早急に待遇改善と、人員の補充が必要です。私は医療従事者ではありませんが、他県から転入して来て、非常に不安を覚えました。

回答内容-地域医療	
7	短命県返上と健診を受け、要検査の結果をいただいた時、検査を受ける機関が少なく、受けるまでの時間がかかり、再検査の結果もちろんさらに遅くなり、その間のストレスが大変なものとなっている事例が多く聞えます。再検査を流れよくする工夫がほしいと思います。私自身も経験ありますが、再検から結果まで、2ヵ月くらいかかり、治療にはさらに3ヵ月後と(それでも大丈夫のことと思いますが)言われ、他市の病院で治療いたしました。せっかく当市にもりっぱな病院があるのにと、とても残念な気持ちで病気よりも気分が重く感じました。すべてに通じる事と思いますが、市民の気持ちがみんなでがんばろう、協力して一緒にめざす方向へ導く行政を期待しております。大好きな五所川原ですので。
8	つがる総合病院の体制の充実(利用者の評判が良くない)、年齢に関係なく行ける場所と行事が欲しい。
9	私は72才なので、つがる総合病院に行きます。待時間が長く、つかれます。又検査するときまつてからの期間が長すぎます。患者にとってはほんとに不安です。もう少し早目に出来ませんか。勝手なお願いですみません。
10	つがる総合病院の、脳外科・心臓外科の充実を切に、セツに、せつに望む。
11	つがる総合病院について一言お願い致します。りっぱな建物ですが、あまり良い話がきこえてこないこと、なぜでしょうか。市政・行政それとも院内が問題なのか、考えてもいいのではないのでしょうか？
12	五所川原は災害もあまりなく、そういう意味ではすごしやすい所だと思いますが、反面活気が一部分だけ、頑張ってる盛り上げて活動してる人もいますが、少し残念な気がします。つがる総合病院に関していろいろ不満をいってる人が多いような気がしますので、それに対するアンケートをとってみたいかがでしょうか。医師不足とか色々考えた上での、もう一度中核病院という役割みたいなものを市民に説明し協力等をお願いします。今回の質問で自分自身いかに無関心なことがいっぱいあり、これからは市民としてもっと関心をもっていきたいと思います。
13	一番の問題点として、命にも関わる、つがる総合病院の体制。私自身、家族、知人など来院した際、対応、医師の力量不足など不満はあっても何ひとつ満足した事はないと言いきれます。まだ、以前の西北病院の方が良かったと話す方もいます。友人が末期ガンで助かる見込みのない状態で入院していた時は、看護師さん達が親切で助かるとは話していました。ただひとつ良い話はそれだけです。何のために莫大な資金で造ったのでしょうか？たとえ建物は立派であっても、中にいる人材が患者に対して気持ち良く、そして適切な処置をしてもらえないばかりか、逆に腹を立て、病気が悪化すると思い、他の優秀なかかりつけ医のいる病院か通院している弘前大学病院に(救急時)行く事に決めています。今までこれほど周囲からの不満を聞き、直接頼りにならない機関だと痛感した事はありません。“弘大へ行く”と言うと、“自分達も弘大から来てる”というのが口グセだそうで、自分達も言われましたが、医師個人として、信頼できないという意味で話してるわけです。患者の意志を尊重してほしいです。
14	金木病院の駐車場について、いつも満車状態で空いている所をさがすのに一苦労します。通路に止めている車もあり、接触事故も必配されます。職員の方が止めているのでは…？職員専用の駐車場をみると職員数に比べて車の数が少なすぎる事です。これから雪が降ると除雪した雪でなおさら駐車場が狭くなります。職員の方の駐車は自しゆくするようお願いいたします。
15	つがる総合病院の会計が、西北病院の時と何ら変りなく混雑しているのが、とても残念です。補助の人がいない様な(例えば弘大等をもっと参考にすべき)システムにしてほしい。(妻の側から一言)医者態度がとても悪い、患者の前で看護師を叱るなど、いい加減にしてほしい。乳ガン検診で1年後触診を受ける様に言われましたが、自分達は大腸ガンの手術等で忙しいので、住民検診を受けて下さいとの事でした。私が年令的に触診はないと言いましたらそこをお願いしなさいとの事です。あの住民検診の混雑70才以上のシステム上その様な事はできないのがわからないのでしょうか…？

回答内容-地域医療	
16	1. 金木川は改修したのに水害の心配がある。改修したきり整備されていない(泥等がたまって川幅が狭くなっています。川底等整備するよう県に要望してほしいです。2. 金木病院のトイレのほとんどが和式です。病人、特に高齢者には大変つらいです。特に大腸の検査の時使用するトイレが和式なのは大変です。持(痔?)病が悪化します。洋式トイレのウォシュレット付を要望します。3. 芦野公園は春には桜の花見物でにぎやかですが、桜は紅葉もきれいです。弘前や黒石の中野もみじ山等は秋もすごい人手です。桜の木とあわせてもみじ等を植栽し、観光客を誘致できないでしょうか。
17	市浦は五所川原市でありながらどこよりも不便である。市内の高校へ通うにしても、定期代が納得いかないくらい、理不尽な精算の仕組だと思ふ。また旧西北病院が不便である。高齢者が多く行く病院だからこそ駐車場は駐車しやすくなればいけないはずなのに、立体駐車場は不便だと思ふ。具合が悪くて診察に行っているのに、各科の受け付け、看護婦、西北で働いている者、すべての従業員の態度の悪さは、目にあまる、それに加えて、医師の診察態度も最悪だ。親切、思いやり、やさしさ、そういう気持ちも業務の一貫なのではないだろうか。大人の間でいじめが多い、大人同志が、親切、思いやり、やさしい言動をみせない限り、子供のいじめは絶対なくなるらない。
18	・高校を卒業すると、地元就職以外はほぼ県外へ出て行くが、Uターン就職したくても、働く場所が極めて少ない。もっと働く場所を増やすべき。・まだまだ女性差別が根強い。・病院の充実。つがる病院は何の役に立たない。結局、青森、弘前へ回される。
19	・除排雪を充実させてほしい。せっかく除雪しても家の前をブルドーザーが大量の雪を置いていき、家から出られなくなるのはとても困ります。ブルドーザーを見ていると、ただ走って距離をかせている様子。きれいにブルドーザーで除雪してくれる様、各業者に指導してくれたらと思う。・医療費など検討して欲しい。つがる市、中泊町などは、医療費がただだったり、インフルエンザ接種はただでできるなど、市民の事を考えている。税金をおさめているのだから、その税金をたちねふたと市役所建設にだけでなく、まんべんに回して欲しい。これからも市民の為、よろしく願います。
20	ゴミの回収～燃えないゴミの回収は2週に1回は少ない、どんどんゴミがたまるので、週1回にして欲しいです。親が病気を患い、初めて介護申請や、高額医療費の限度額申請ができることを他の人から聞いて知りました。それを知らなかったらと思うと医療費支払いで破産するところでした。入院先の弘大の相談窓口に行ってもちっとも教えてもらえませんでした。もっと病院と連携を図り、大変な状況に陥っても安心して暮らせるような総合的にサポートをお願いしたいです。
21	1. 建設業者選定を特定化しないようにしてほしい。2. 医師の確保を充実してほしい。3. 金木病院2階の病棟が使用されていないが、もっと活用の方法を検討してほしい。たとえば、老人ホーム化として利用か、腎臓透析施設化とかに利用しては。
22	・市役所をはじめ、建物は充実させているが、市民への行政サービスは後退する一方である。例えば、特産品の開発や販売への支援。さまざまな分野での起業支援。町内会等の活動支援の充実による地域、コミュニティーの維持など。市役所職員も市民である。もっと考えを充実させて！！・近隣の市町村から、市の財政状況を心配されるようでは情けない。市民の理解を得られるようなガラス張りの財政運営をするべきである。・つがる総合病院の入院看護サービスの充実をするべき。患者の立場に立っていない。

### ③高齢者福祉 (6件)

回答内容-高齢者福祉	
1	「2025年問題」が言われているように、超のつく少子高齢化社会に突き進んでいる。その状況下で様々な問題があると思うが、身の回りの近くにいる人達などを見て、特に考えることは、次のようなことである。1. 独居の人たちのこと(特に高齢者)・健康面の不安の解消。・生活の不安の解消。・人々とのつきあいの不安の解消。2. 子どもたちのこと。・今後に向けて必要な力の育成(コミュニケーション、語学、IT等)。・格差の解消(いろいろな点で)。3. 成人(特に30代~40代)・町内会など地域について意識を持って行事などに参加したりすること。4. 高齢者世代~成人世代~子どもたち。このつながりの希薄化が最も今後に向けて心配されることと思う。
2	・各地区毎に介護予防活動ができる支援が欲しい。最初は四半期に1回ずつでもいいので、住民協議会に働きかけたり、保健協力員さん方による呼びかけ等、歩いて行ける距離で、参加できるといいのですが…。・ごしよりん体操の普及。老いも若きもみんなができる体操なので、各保育園、小学校、中学校、高校等、各老人施設でもよさこいを踊る位と同じように普及されるといいですね。
3	私は夫、義母に先だたれ、事務的なことがほとんど解らず失敗しました。夫のおじ(精神科)と同居し、老人ホームへ入居した時には私が責任者となり、いとも簡単に支払いしていました。そのおじが亡くなって、年金の差額の手続きに役所へ行って、成年後けん人手続きをしてないと、権利はなしとのことでした。そういう手続きが有ることも全然知らなかったし、老人ホームに入っている時にでも、成年後けん人制度という手続きしてないと亡くなった時にゴタゴタがおこること、どっかで知らせてくれるところがなかったかと、今でも自分の無知さにはらだたく思っている。私みたいな人が他にもいるのでは…といつも思っている。
4	市中心部が空洞化して残念です。人口減少に歯止めがかかる施策を考えてほしい。市の中心部は都市計画により、整備されましたが、本町、大町、駅前周辺等は、世帯数が大幅に減少したと思います。通勤、通学の交通手段は駅です。駅の利用者に対する無料駐車場を提案します。地元の中小企業者が地元で発展できる様な環境作りを希望します。若い人が学校を卒業し、地元で就労し続けられる様な町作りも同様です。介護保険の負担を考えてほしい。老健施設は充実していると思われませんが、高齢化が進み、矛盾していると思われませんが、生活困窮者が増加し、年金だけで老後の生活は大変厳しい状況です。
5	夫婦共後期高齢に入り介護問題が切実になって、相談してほしい時はどこへ行けば良いのかよくわからず、広報等にくわしく説明してほしい。
6	・金木支所に介護保険の申請に行ったら、ケアマネを通して申請しろと追い返された。施設に入所させたいが、入所にケアマネは必ずしも必要ではない。・小学校の放課後児童クラブ。国は6年生まで受け入れとしているが、現状1~3年までしか、預ってもらえない。9才が長期休業期間に、1人で1日中過ごせると思うのか？人がいない、場所がない等の理由が通るのか？保育園の待機児童がいる分、小学校の児童にも居場所が必要と考えるべき。そうでなければ必然的に母親が仕事を辞めなければならなくなり、貧困へのスパイラルとなる。就労人口も減っている中で、就労している親をもつ子ども達のことをもっと考えるべき。放課後児童クラブを市内全部で1~6年まで、受け入れをしてほしい。

#### ④子育て支援 (41 件)

回答内容-子育て支援	
1	中泊やつがる市が、中学生まで、医療費がかからないのに、なぜ五所川原は出来ないのでしょうか。祭りにばかりお金を使ってる場合ではないでしょ。市役所の業務も、エルムとかに支所置けないから、新庁舎が出るんだから、土、日、祝、午前中だけでも、住民票とか出せるようにしてほしい。子供等の通学路、歩道が古くてあぶない。エルムの方ばかり道路なおさず、住んでいる人間が多く使っている場所など直すべき。松島団地児童公園、遊んでる子供等のとび出し、ボールが車道に飛んでくることが多い。車道側に柵をつけるか、遊具を車道からはなれた場所に移動してほしい。
2	子供の医療費公助が6才までというのは、低所得者の私にとっては、とても厳しいです。せめて、15才までにして欲しいです。他の市町村でも中学校まで無料のところがあるそうです。がんばって無料にして下さい。あと道路がガタガタで、散歩するときとても歩きづらいところがあります。点検して整備して下さい。
3	1. 若い世代の親達の負担を軽減する為に、子どもの(小・中学生)給食費無料化。2. 五所川原(生き生き)・金木(川倉の湯)には温泉施設があるが、市浦地区には無いので、公共の温泉を作ったらどうか。3. 高齢者が増えていく中で、病院等に低額で行けるようなルールというか、移動手段を考えて欲しい。五所川原にはエルム100円バスがあるが、金木・市浦地区には無いので、これらの地区についても、同様のサービスを受けれるように。市民が平等であるようにお願いしたい。
4	子どもがうまれると同時に五所川原市に転居してきましたが、小さい子ども(特に未就園児)がのびのびあそべるような施設が少ないと感じました。青森市や弘前市のように常時開放されているような、児童館や子育て支援センターなどがあれば、若いお母さん達も気軽に子育ての情報交換ができてよいのになと思います。また公園なども管理の難しさ等あるかとは思いますが、もう少し、小さい子が遊べるよう整備されていたらなと思います。近くの公園の例でいくと、砂場らしきものがあるのに全く手入れされておらず、草がぼうぼう石畳も補修されておらずガタガタ。せっかくの砂場も衛生面や安全性が心配であそばせられませんでした。子育てしやすい環境があれば、働き盛りの若い家族の安住も今よりもっと見込めるのではないかと考えます。
5	子どもが増えない事には、高齢者を支える事はできないと思うので、安心して子どもを育てる事が出来る環境が必要だと思います。(保育料の無料化など)(インフルエンザ等予防接種)スポーツを気軽に楽しむにも、金木地区には自由に使える体育館がありません。今、注目されているバスケットボールにふれあう機会を身近に子どもたちに体験できる環境があればと思います。(公園などにバスケットリング)
6	建築関係ばかりに予算がかかっているようなので、もっと子育てや教育にお金をかけてほしい。次世代を活躍する子ども達への集まる場の確保や、教育に関係する予算を増やしてほしい。
7	子どもに対する支援が他市町村に比べて整っていない。医療費の助成しかり、学童保育しかり。学童保育に関しては、6時まで迎えないので、利用ができないし、6時前に迎えに行った時「もっと早く来て下さい」と言われた。働いている人は利用できない制度ではないのか？五所川原市民は皆6時に学校に迎える時間に仕事が終わるのか？今年のはじめてリフォームに対する助成があるのを知った。広報には載せていない情報なので知らなかった。市民が知らない情報を一部の人にしか知らせていないのではないのか？不信感が募った。住民票などの市民課の窓口サービスを土日でも欲しい。つがる市のように、エルムなどに窓口開設できないのか？

回答内容-子育て支援	
8	・保育料が他に比べて高すぎる。パート代はほぼ保育料。子供を何人も産めない。・子供の医療費、中学校まで無料でない市はほぼないのに、五所川原は有料。子育てはしにくい市である。・市には借金あるのに、公務員の給料待遇が良すぎる。五所川原の一般企業と同じにとまでは言わないが、借金が無くなるまでもう少しカットしたり、本当に借金を無くす気があるのか。(一般企業は、経営難だとボーナス出ないのに)・皆に不満たくさん言われると思うが、頑張って下さい。・空き家バンクをもっと広めてほしい。
9	他の地域では、小学校にあがっても医療費が無料の所があります。五所川原もそうになってほしいです。立ちねぶたは、誰でも気軽に参加できる体制になっていない。町内のねぶたなどは、参加費など支払わないといけないし、カラスなどの若者がいるところに子連れの子市民は参加できない。今年は、田町のねぶたが出なかったの、出たくても出れない家族がたくさんいました。誰でも気軽に参加できる場所づくりをしてほしいです。保育所の値段が高すぎる。子供を育てやすい環境にしないと少子化問題はよくなりませんと思います。
10	子育て世帯にやさしい行政をお願いします。観光産業への注力は今以上いらないので、一次、二次産業へ予算の配分と誘致をお願いします。
11	高校生まで医療費を無料にしてほしい。
12	子供に対する医療費、つがる市と同様にならないですか？
13	つがる市や鶴田町のように、子供の医療費無料とか、子供関係に力を入れないと、みんな移り住んでしまうと思う。実際周りはみんなそうしている。五所川原に住み続けたいので、何とかがんばってください。
14	・乳幼児の保険の適用を高校卒業まで引きのばしてほしい。・最低賃金をどうにかもう少し上げてほしい。仕事内容と見合っていない。
15	つがる市のように中学生まで医療費をタダにしてほしい。子どもを育てやすい環境を第一に望みます。
16	子育て支援に力を入れて下さい。子供を産む時、産んだ後の金銭面、お母さんの精神面でのフォローに特に力を入れてほしいと思います。
17	乳児検診ですが、よその市町村では、4ヶ月、1才6ヶ月、3才児の他に、4ヶ月～1才6ヶ月児の検診の間に2～3回個人的に病院で無料でやる所や、集団でやっているところがほとんどで、五所川原市だけがないような気がするの、やってほしいと思います。
18	子供医療費助成制度の整備不足や他の自治体に比べて、保育料が高い事等、子育て世帯からすると助成は少ししかしてくれないのに、取る分はしっかり取るという市政のイメージが強い。高齢者が増えているのも事実だが、子育て世帯への助成がしっかり成されなければ、少子化が進み、人口が減り続け、一人当たりの税負担が更に増加するのでは？→誰も住みたくなくなる。わざわざ使い勝手が悪い場所への病院移設。その跡地への新庁舎の建設等、誰が望んで誰の為に行っているのか全く不透明。税金を徴収する為に税金を使ってヘリコプターを飛ばす矛盾。部分最適より、全体最適を考えて欲しい。
19	シングルマザーをしています。金銭によゆうがなく、子供を病院に連れていくことが出来ません。シングルだと一度、病院に支払いをしなくてはダメなので困っています。青森市内だと立て替える必要がないので、引越しを考えている程、しんこくに考えていました。また、子供を預ける施設も少なく、シングルマザーにとって、五所川原市内は住みづらい環境のように感じました。子供をギセイにしても、一生懸命働いても、生活は不安定なままです。まずは医療の部分だけでも改善して欲しいです…医療費は生活する上でかなり負担になっています。2人いるので1回で1万近くとられることがあります。月に数回通うだけで数万なくなるのはあんまりです。手続きに行く時間もない程、忙しい生活の中で一生懸命頑張っている人達の声をぜひ、市の方で検とうしていただきたいです。よろしくお願いします。

回答内容-子育て支援	
20	<p>・子どもの医療費助成について→小学校就学前までではなく、つがる市や中泊町のように中学校卒業までにして頂けませんか？・妊婦健診費助成について→つがる市のように全額助成して頂けると助かります。・もっと若い世代の人達に魅力ある市政を(西目屋村のように…)お願いしたいです。(妊婦～子育てしやすい助成・環境)・市民の方々の健康づくり・体力づくり・憩いの場となるような設備があつたらいいなと思います。ex:・トレーニングができるようにマシンを何台か。・高齢者の方々が楽しめて毎日でも遊びに来たいと思えるような場所の提供。(ディサービスとかではなくて)誰とも行き来のない孤独を感じている高齢者も沢山いるのではと思います。少しでも外出して生き活きと生活してほしい。※早目のご検討、取組みに期待しております。どうぞ宜しくお願いします。</p>
21	<p>子育て世代にはとても住みにくい街。街全体が不親切だと思う。</p>
22	<p>五所川原も、もっと子育てしやすい街にして頂きたい。他の市では(つがる市、弘前など…)インフルエンザの予防接種の無料化など考えてほしいです。子供は3500円×2回と大きい出費です。だから、インフルかかてる子が五所には多いんじゃないですか？せめて、2回目無料とか、半分負担とか何かしら考えて下さい。あと、イベントもっと増やして、五所川原に人を呼ぶために、イベントやってるのはわかりますが、宣伝が全ぜんたりないと思います。せっかくイベントやってもわからないと、お客さんも来ない…お金をかけてイベントを作っても集客できなきゃ意味がありません…もっと宣伝してください！！雪まつりもできない、桜まつりもできない…(雪時期、桜時期は青森や弘前に取られちゃいます)たちねぶたの時しか人が来ないのは、足りなすぎます。エルムにたよりすぎです。五所をもっと活性化に！してほしい。もっともっと住みたくなるようなお得をつけてほしいです。西目屋だつてがんばってます。それくらい何かやらないと何もこれからは変わらないと思います。あじがさわはオムツ無料であげたり、園バスおくりむかえ無料など。考えてやってる所が多いです。これ以上子供住みにくいようなら、そうゆうサービスがある所に行きたくなります。</p>
23	<p>周辺の市町村は子どもの医療費が中学校まで無料なのに、五所川原市だけは違うのが残念。つがる市は無料だからと言って不便でも、つがる市に住んでる人もまわりこいます。財政難なのはわかるけど、なんだかもったいないな…とも思います。</p>
24	<p>五所川原でも少子化対策として婚活支援等を行っている様ですが、子供に対する支援が近隣市町と比べ劣っていると思われる。子どもの医療費無料化、入学援助金については、となりのつがる市と比べ、雲泥の差で、柏などに若い人の人口流出がある様にも思われる。大至急取組が必要な事である。</p>
25	<p>他県に住んでいる子ども達家族は、五所川原市は子どもの医療費負担があり、住みにくいと言います。若い家族が五所川原市に戻って住みたくなるような五所川原市にして頂きたいし、していきたくと思います。保育料や教育費の負担を軽減してほしいと考えます。</p>
26	<p>医療費の無料が就学前までだったり、保育料の無料化されていなかったりなど近隣の市町村に比べ負担が多く子育てがしにくい。五所川原市で子育てするメリットが無い。</p>
27	<p>五所川原市も子供の医療費など考えてほしい。子供の多い家庭や所得の少ない家庭でも、子供を病院に連れて行ける様にしてほしい。</p>
28	<p>私には、孫が3人(息子小3、男の子、3才の女の子)娘の(3才の男の子)います。それぞれ、嫁も働きながら頑張っていますが、そのつど職をかえています。やはり、子どもがまだ小さいと体調をこわして(私もたまにはみてあげますが…)娘ももう一人欲しいと言っていますが、なかなか小さい子どもをかかえていますと、子どものために休んだりすると長く続かないみたいです。やはり、託児所の増加や働く女性たちに安心して働く職場(たとえば会社に託児所がある)の改善とかを希望します。これからは孫たちが五所川原ですずっと都会にでることなく、ふるさとを自慢出来るように、住みよい町づくりをして欲しいです。</p>

回答内容-子育て支援	
29	保育料や医療費、予防接種など、周囲の市に比べると、損をしている気になります。住んでいるメリットが大きい方に人が流れていくのは当然だと思うので、他者にすすめられる町づくりをして欲しいです。五所川原農林高校が、とても貢献していると感じます。伝統も大切ですが、もう少し国際化していきたい。
30	子育て支援に力を入れてほしい。他の市に比べるとおとっている。イベントにお金をかけすぎ。母子家庭への支援は手厚いが両親そろっている家庭の方が金がない。
31	子どもたちが成長しても住んでいたい魅力ある街づくりがなされていない(少なくとも感じられない)。
32	隣の鶴田町より五所川原市へ転居しました。鶴田町では保護者の所得制限なしで子どもの医療費が小学校卒業まで無料です。五所川原市にも頑張ってもらいたいです。
33	・ねぶたについて。だんだんと盛り上がりがなくなって人が減少してる気がするのでもっと若者が参加しやすいようにしてもっと盛り上げたほうがいいと思う。保育園の保育料をもう少し安くしてほしい。
34	・子育て中の為、就学している子どもの医療費無料にしてほしい。・学童の時間延長をしてほしい。土、長期休み(春、夏、冬休み等)朝7:30から開校または、夕18:30位まで等。・保育士をしているが、保健師さんの対応が良く、保護者への支援も、早くなったように感じる。・大雨になると、道路の水があふれている事がある為、早い対応をお願いしたい。松島地区
35	子どもの医療費無料など、子供を産み育てやすい環境整備をしてほしい。地域で高齢者をみれるような環境整備をしてほしい。
36	子どもの医療費の無償化。(期間が短かすぎなので、中学校までにしてもらいたいです。つがる市は期間が長いらしいです)。子どもが育てやすい環境(託児所など夜間の部など)。雇用(小さい子がいても働ける場所)。
37	道路工事を見かける度に、歩道の整備をもっと多くしてほしいといつも思っています。ベビーカーでの散歩が困難です。車道にはみ出て歩くしかありません。公園も少なく、遊ばせる場所がありません。車で移動するのではなく散歩の途中で立て寄れる、そういう公園がありません。そしてショッピングセンターはエルムがありますが、フードコートがありません。子供が泣いても大丈夫な場所が欲しいです。医療費も他市は無料なのに、五所川原は未就学までの無料と限定され、保育料も高い。子育てしにくいです。
38	・子育て支援に関して、メディアで取り上げられている「子ども手当」のみが市から個別で送られてくる。子ども達ももっとあそべる場を増やし、のびのびと楽しめるテーマパーク的な物が必要だと思います。エルムだけが子ども達のあそび場に思えます。・除雪が上手な年と下手な年の差が大きく、とても危険です。通学路など重要な所はもちろん、細い路地ももっといねいにやってみてほしいと思います。市議や市長宅といった人達の家の前だけではなく、もっと細やかな目を向けて下さるようお願いいたします。
39	・市民税がもっと安くなるよう活動してほしい。・子供の医療費がかかっているのが不満です。子育てしにくい環境だと感じます。
40	現在建設中の市役所が豪華すぎる。デザインは良いかもしれないが、税金のムダ使いと思われる。子供の医療費や治療費の無償化など、もっと子育て支援に力を入れて欲しい。
41	五所川原市は他の隣接する市町村より税金が高いと思う。子供の医療費も小学校就学前まで助成してくれるが、他では中学校卒業までの所もある。税金が高く、子育てをしていく中で、住みやすい街とは言えない。これからは高齢者が増えていく中で、若い人達が住みやすい環境にしてほしい。

### ⑤障がい者福祉（3件）

回答内容-障がい者福祉	
1	相談事とか生活保護障害者、国民年金を84才なので、障害者年金に変更して貰いたい。
2	障害をもつ娘がいますが、夫が他県で単身赴任のため二重生活を10年以上しているのに何でもすぐ夫の年収で決められるのには怒りさえおぼえる事があります。県からの通知も不服に思います。来年中学に上がる子もいて生活はさらに苦しくなるのが目に見えています。パート等も考えていますが、夫の父も同居していて80才を超えています。（年金が減られ行動範囲も狭くなったように感じます。）もう少し枠を考えていただきたいと思います。
3	他市町村と比べると、いまひとつ関わりがうすいと感じる行政職員が、個別に在宅生活の障害者、介護を必要とする人にもっと積極的に心をこめて関わってほしい。事業所はそれなりにあるが、保健師も含めて、個別訪問などで関わってほしい。障害をもつ家族への関わりをもう少し力を入れてほしい。他市町村は当事者だけでなく、そのつらさをかかえるご家族にも行政の職員（保健師、福祉職員）も、熱心です。当事者だけでなく、家族との関わりも保健師がもっと関わってほしい。（それなりに関わりが良い職員もいますが）

### ⑥社会保障（3件）

回答内容-社会保障	
1	安心して暮らせる福祉施設など、重要である。
2	国民健康保険が高すぎる！！
3	住み慣れた土地で暮らし続けることが一番。社会福祉の充実に不満、この点をお願いしたい。

## 分野4) 居住環境

### ①雪対策 (30件)

回答内容-雪対策	
1	1. 歩行者のための冬期の歩道除雪対策。2. 増え続けるカラスによる市内の道路の汚れ対策。
2	・3つの事はストレスがたまり健康に良くない。1. 青森、弘前では除雪がこななくて困っている中で、私の所は逆にき過ぎて困る。大雪、どか雪の時は早朝、午後2回きてもいいが、雪積もってない時や晴れた日はこないでほしい。かえて道路を狭くしている(雪壁も高くなるし)。せっかくきれいにしたのに除雪にゴロツと置かれ、そのたんび固められた重い雪を手作業でほぐし、雪片づけしなくてはいけない(私の所はすごく大変だ)。2. 交差点の近くなので、最近では毎年交通事故があり、そのたんびに私が散乱した物を片づける→事故した人がやるべきだ。3. 道路にタバコごっそり、落下物などマナーの悪い人がいて困る。※25、29年、私に五所川原市に関するアンケートが2回もきて回答している。同じ人の意見だけでなく、いろんな人の意見を参考にした方がいいので、今度はその方達にして下さい。
3	冬の除雪について。家の前に雪を置いていかれるのは、仕方のない事だが、道路は車を運転していて、事故でもおこせば命にもかかわる事なので、大変こわい思いをしている。凍ってツルツルになるのをどうにかできないのかと本当に思う。昔のスパイクタイヤの時には、これ程ツルツルにはならなかった。何か方法がないのか？誰か研究して！！川の整備(金木川)。草と木で川の水が見えない位、雨が降るたび気になる。
4	除雪問題。毎年の除雪の経費を見ると、市内全町村に毎年少々でも除雪排溝をつくった方が良い。省エネ問題。市内全町村に毎年少々でも外灯にLED電気と交換した方が良い。五所川原市に道の駅。農業、漁業、林業、大型道の駅、温泉付き、大型観光バス駐車所。五所川原立佞武多のPR。高速バス→東京、高速バスのボデーに立佞武多のシール。
5	・除排雪を充実させてほしい。せっかく除雪しても家の前をブルドーザーが大量の雪を置いていき、家から出られなくなるのはとても困ります。ブルドーザーを見ていると、ただ走って距離をかせている様子。きれいにブルドーザーで除雪してくれる様、各業者に指導してくれたらと思う。・医療費など検討して欲しい。つがる市、中泊町などは、医療費がただだったり、インフルエンザ接種はただでできるなど、市民の事を考えている。税金をおさめているのだから、その税金をたちねふたと市役所建設にだけでなく、まんべんに回して欲しい。これからも市民の為、よろしく願います。
6	・子育て支援に関して、メディアで取り上げられている「子ども手当」のみが市から個別で送られてくる。子ども達ももっとあそべる場を増やし、のびのびと楽しめるテーマパーク的な物が必要だと思います。エルムだけが子ども達のあそび場に思えます。・除雪が上手な年と下手な年の差が大きく、とても危険です。通学路など重要な所はもちろん、細い路地ももっといねいにやってほしいと思います。市議や市長宅といった人達の家の前だけではなく、もっと細やかな目を向けて下さるようお願いします。
7	市道があまりよくない(てんぷらほそう)。冬になるとよくわかる(いくら除雪しても)。それから、私は趣味で写真を撮っていますが、市民が(又はサークル、グループ)作品を展示する場所がありません。青森、弘前、八戸など大きな市は行政でも私設で、個人でも色々な場所がありますが、五所川原はとくに少ないです。大きな展示会をやりたくても出来ないのです。いまさら作れともいえないし、文化の面でだれでも市民であれば、自由に使える場所があれば良いと考えております。五所川原市民美術館を作ることがもっとも理想だと思っております。(小きぼでも)そんな場所があれば発表する場所があれば、文化、美術の面で大いにぎわうと思っております。どうか考えてください。五所川原にはそんな場所が1つもない事を、市長さん作ってください。お願い致します。

回答内容-雪対策	
8	私の町内では雪を道路の両わきにキカイで飛ばす人がいてめいわくしています。私はいつも雪をなげてきれいにしていますが、除雪車はこんなにかたづけている私の所に特にごっそりおいていきます。ヤネ雪を道路におとしてなげるもしない家の方にその雪をごっそりやってくれませんか。何十年もつらい思いをしています。このような事をやめさせて下さいませんか。雪をなげない人の出入りに雪をおいていったらなげないわけにはいかないのですから…まじめに雪なげをしている人は、バカをみてるのでしょうか。P3、P4の満足度「わからない」もあっていいのでは、私はわからない所が多かったです。今は自分の車があります。いずれ世話にならなくなる時(もうすぐ)になります。これからよろしくをお願いします。
9	除雪が粗末で来るのが遅い。
10	・除雪担当の会社に厳しく指導して欲しいです。(車庫や玄関前に雪のかたまりを置いていかないように)
11	雪対策の充実化。住宅密集地の融雪溝等の設備を全体的に設置してほしい。税金の軽減。
12	・除雪に力をもっと入れてほしい。・市に連絡しても断られ、議員に連絡するとすぐ行うような管理体制はおかしい。・他の施設等を作らず、除雪作業を全力で行ってほしい。・立佞武多等の祭も重要だけど、冬の期間、安全に暮らせるようにして欲しい。
13	年寄りの家の前に大きな雪のかたまりをおいておかれるのが、1番つらいです。
14	除雪の回数をもう少し多くして欲しい。
15	自分の知らない部分もあり、答を書く事は出来ない所もありました。市と県の除雪をする時の事ですが、道路にとりかたまりの人が雪を出す為、その雪が自分の所におされて入口に入ってしまう困っています。モラルの問題だと思います。市の広報などでもっと何回も大きく書いてもらいたいです。
16	冬の除雪について、十分ではない地区と、過剰な地区があると思う。高齢者が多い地区(知っているはずです)に、もっと気配りをすべきです。雪が積もってから3日もしてからではあまりにも遅いと思います。除雪車がこないで、無理に人力で(自力)やったのかえってひどい状態に雪を残していく…。昨年、何度も見ました。あの玄関先の巨大なかたまりを、あのお年寄りにどうしろというのでしょうか。市としても業者に委託して「ハイ、おしまい。あとは業者の責任で…」というのは税金を払っている市民をバカにしているように思います。上手にやって下さい。
17	雪対策。毎年除雪費莫大である。消雪溝の整備をお願いしたい。
18	冬の除雪について、南小学区の住民ですが、積った雪は寄せて行くだけでなく、きちんと排雪してもらわないと歩行者は安心して歩けません。道路がせまいうえに、交通量が多いので困ります。
19	除雪について。高齢者、児童、障害者等の為にも、除雪は広くしていただきたい。
20	・毎年、除雪がきれいに入ったり入らなかったりで、不便に思っています。新しく家が建ち、益々雪の置き場所も無くなってきているので、どうかしてほしいです。・家の近場で、よく事故が起きているので、少なくなるよう何か対策をしてほしいです。学生も通る道でもあるので、今のままだと危険だと思います。
21	消雪溝がほしい。

回答内容-雪対策	
22	<p>・冬の除雪についてですが、朝7時頃～出勤するのに除雪が行われておらず、仕事へ行くまで大変な時があります。特に小道や交差点。小道出る時(家の近くだけでなく)色々な所、雪がいっぱいです。大通りだけやれば良いという事ではないと思います。エルム近くの2車線の除雪は、もう少しキレイに除雪できれば交通渋滞も軽減出来るのでは？と思います。長富のふきだまりも何とかしてほしいです。吹雪になると何もみえない。事故が起きてあたり前です。カンで走るしかない。・カセ地域である。ドラムカンをたたくおじさんの騒音。(秋に鳥をおいはらうため)他近所の人達は、何とも思っていないのでしょうか？かなりうるさいです。・道幅せまい所は広く出来ないのでしょうか？大型車が多くなっている。</p>
23	<p>五所川原市は雪国のため、除雪等の道路や排雪等。1人暮らしが多いので考えてほしい。</p>
24	<p>除雪の際、家の前に雪をいっぱい残される。ある程度はしょうがないが、もう少しもって行ってほしい。</p>
25	<p>除雪作業のお願い。車庫の前に雪の魂を置いていかないでほしいです。高齢になり片付けが大変です。(道路だけきれいにしても…)</p>
26	<p>除雪をもう少し頑張ってもらいたい。住宅街の道路はとくに幅がせまくなってしまうので、つがる市の方みたいにきれいに除雪してほしい。</p>
27	<p>お仕事ご苦労さまです。毎年いま頃になるとおもう事があります。除雪はとても有難い事でいつも感謝しておりますが、除雪車が行ったあと、置いていかれた山積みの雪はいいのですが凍りついた雪がごろごろあり大きい物だと大変なおもいをします。若い頃には、なんとも感じなかったものなのですが、年々大変になって来ました。毎回とはいいいませんので、大雪の時は、除排雪をお願いしたいものですね。宜しくお願い致します。</p>
28	<p>観光客が増加傾向にある中、宿泊施設、市内道路の整備、除雪対策の充実が急務である。生活面においては、下水道料金が異常に高い。また、除雪については、毎年多額の予算を使うことを考えれば、市内に多くの流雪溝を設置し、市民協働の体制をとることも考慮すべきである。もう一言、少子高齢化に伴う人口減対策として、農林水産業対策、企業誘致の推進等による市民全体の所得が高まる努力をしていただき、青森県のモデル的な存在となるような、五所川原市になってもらいたい。以上。</p>
29	<p>大きい箱物を作るのも大変よいのですが、もっと市民が生活しやすいように、車道、歩道の整備をしてほしいです。自分の家の前は何年も前から舗装がはがれて地盤の砂利が出ているのに、なおしてくれません。冬は除雪もしてくれません。もうすこし、市民の生活環境を考えてほしいです。お願いします。お願いします。お願いします。お願いします。お願いします。お願いします。お願いします。お願いします。お願いします。お願いします。</p>
30	<p>(1)若い人達が住みやすいと思うように働く場がもっとあってもいいのではないのでしょうか。(2)五所川原の顔である駅前から大町にかけての街並があまりにもみすぼらしく、他県から来た方からこれが中心地ですかとよく言われます。色々と考えているのですが…。(3)冬の除雪ですが、もう少ししていねいな仕事をしていただきたい。家の前をきれいにかたづけた後、除雪車に大きい雪のかたまりを置いていかれるのがつらい年齢になりました。</p>

②ごみ (16 件)

回答内容-ごみ	
1	<p>・岩木川に沿っている道路の五能線踏切から布施病院、芭蕉、田川へ至る道路の両側に捨てられているゴミが絶えません。ゴミ捨て禁止の標識を立てるとか、一斉にゴミ拾いをするとか何か対策をお願いしたい。・JR五能線五所川原駅から直接一ツ谷方面に降りられる跨線橋や陸橋を是非計画して下さい。・西若葉地区にも融雪溝を造って下さい。</p>
2	<p>ゴミの回収～燃えないゴミの回収は2週に1回は少ない、どんどんゴミがたまるので、週1回にして欲しいです。親が病気を患い、初めて介護申請や、高額医療費の限度額申請ができることを他の人から聞いて知りました。それを知らなかったらと思うと医療費支払いで破産するところでした。入院先の弘大の相談窓口に行ってもちっとも教えてもらえませんでした。もっと病院と連携を図り、大変な状況に陥っても安心して暮らせるような総合的にサポートをお願いしたいです。</p>
3	<p>ごみ収集のプラスチック回収日を増やして欲しい！！せめて1週間に1回はお願いしたい！！図書館をもっと利用しやすくしてほしい。耐震対策など大丈夫ですか？キレイで本の種類も多いので、つがる市図書館を利用しています。克雪ドームの費用対効果は？もっと有効活用を！！小学校にプールを作ってほしい！！1シーズン3回の授業は少なすぎる！！プールが無い学校は市民プールを安く利用できるようにしているが、共働きなどでは夏休中も連れていけないし、意味がない。</p>
4	<p>立ちねぶたを観に来た知人が、その素晴らしさに感激し、何度も何度も語っていました。「良く、こんなおまつりができること！」と。しかし、その人は次の日の朝、まつりのルートの近くを散歩した時、「あれだけのねぶたが通るまちなのに、ゴミが電柱に黄色い網で括られているのですね。何だか興奮めました」と、驚いてもしました。私の住む地域では住民が小さい小屋を建てて(町内会で)維持していますが、そう言われた後、車で市街地(の近く)を通り、確かに指摘される様な状態に気付きました。郊外は、余裕のある土地がある、まちなかにはないことはわかります。しかし、公共の土地や、理解のある民間の土地を活用して、もう少し“近代的な”ゴミ置き場にできないものでしょうか？市長さんのおうちの近くもいかがでしょうか、先ず！！たくさんの優秀な市役所職員の方々が、通勤や帰宅の際に家と役所の間で目にする、感じる、を直接、自分の持ち場とは違う分野のことで、どんなに小さなことでも意見を言えるように行けたら、五所川原が良いまちになるヒントになる気がします。私は「仕事ではない時でも、アンテナをしっかりと張って生活しろ！」といつも言ってる。先輩の請売りですが、市役所職員の方々が、それぞれの住む地域(町内会)の活動に積極的に参加して下さいと嬉しい。市役所職員なんだから全部！ということではなく、たとえば二度に一度、三度に一度でも良いから、参加したら単純に楽しい、ホントのところ、住民の素直な声だっけけるし、だからこれからの仕事のチャンス、ヒントをつかむことができるようになる。お願いします。勝手に書きました。時間も(ほんの少しだけ)使いました。1%でもどうかどうか、役立てて下さいますよう。</p>
5	<p>ゴミの分別が大変！特に小型電子とか焼やせないゴミ。分解をありえないくらいしてすてないとダメだし。</p>
6	<p>私自身、体のリハビリもかねて、自転車に乗る機会が多く、町を走っていて気づく事も多く、ゴミの投げ捨てる目立つ事が残念に思っている。県民、市民のマナーの一層の強化を図ってほしいと思っております。「キレイな景観なくて、人集まらない。」「キレイな環境なくて、人育たない。」「キレイな場所なくて、神様来ない。」と、常日頃思っております。又、今まで日本各地を見て来ましたが、残念な事に、五所川原市ほどゴミが捨てられている所は見た事ありません。景観のすばらしい津軽平野であってほしいと、岩木山も見ております！！</p>
7	<p>リサイクルゴミの回収日を増やして欲しい。分別が細かすぎる為、燃えるゴミよりリサイクルゴミの方が多くなる為、収集所はいつもリサイクルがあふれています。</p>

回答内容-ごみ	
8	五所川原に引越して来て2年になります。常日頃からこの地域のごみ収集・リサイクル活動に不満があります。プラスチックごみの収集日が月に2日しかないのは、とても困ります。燃えるごみと同じくらいたくさん貯まっていくプラごみは、月2回では間に合いません。週1回くらいが良いと思います。また、ビン、缶の捨てる手段も少なく困ります。夫婦2人暮らしですので、あまり貯まらないですが、こまめに捨てたい反面、少しの量に対してビン缶専用の袋を使う事に引け目を感じてしまいます。またビンと缶を混ぜて入れてはいけない事も不便だと感じています。私が以前暮らしていた地域では、ごみ収積所に大きなカゴを数個置いてもらい、捨てたいものをカゴの中に分別して入れていく方法をとっていました。とても便利でした。正直、ここまでごみを捨てる事に困る地域は初めてです。利用者の立場から考えて改善していただきたいと思います。
9	ゴミの分別が細かすぎて面倒。総合病院職員の態度が悪い。(全員ではなく一部の)特に内科。
10	(1)私が居住している町内会はアパートの数が多く、現在520世帯です。町内会の世帯数385で、ゴミ問題でルール守ってくれないアパート住民が多く目につきます。市のほうからアパートの経営者に独自のゴミ箱設置を義務付けして、アパート住民で管理することを、お願いしてもらいたい。(2)私の町内会で、つがる総合病院の評判があまりよくありません。応対等その他を改革が必要と思われる。自分もお世話になりたいと思っていない。幹部の人達はデスクワークだけでなく、巡回を多くしてもらいたい。
11	出来れば(ゴミ)について…
12	ゴミの処理が他市町村に比べ、劣る。焼却炉の問題だと思うが、弘前、青森、むつ等に比べ、分別が大変です。他市町村から引っ越してきた人はかなり不便を感じるはず。毎日のことですから重大な問題です。これでは、五所川原市の定住したいと思う人が減ります。速やかに対処すべき、最優先事項だと思います。市庁舎が新しくなりますが、その資金でゴミ問題を何とかすべきなのではと、通りを通るたびに思っています。定住者が増えず、税収が増えないという悪循環の要因として、向き合うべきではないでしょうか！！
13	つがる総合病院で受診する患者さんに、看護師が問診をするのですが、回りの人たちに聞かれていやな思いをしたことがあります。もう少し配慮できないものではないでしょうか。ごみ収集の袋、名前、記入しやすくなりました！
14	難しい事は全然分かりませんが、主婦として1番身近な、ゴミの出し方には、すごく不満をもっています。リサイクル袋を使っても、燃やせないゴミ袋を使ってもどちらでもいいのであれば、始めから何種類も作らなければいいと思うし、まぎらわしいです。袋に入れるゴミも燃やせないゴミは非常に少なく、カン、ビンなども月1回でもいいくらい、それに比べてプラスチック類は毎週にして欲しいくらいです。月1度の資源ゴミも家庭で保存しておくのは大変なので、どこかに持っていける場所を作って欲しい、ダンボールや小型電機器ナド…、他の市町村は、そのてんいいと思います。詰め替えの洗剤類も燃やせないゴミのはずが、プラスチック類で出してるっていう人の話も聞きます。逆に細かくやり過ぎて、収集する人も分かってないのでは？！早急に考えて欲しいです。ドームにあるインラインスケート場も誰も使ってもなく、ムダ！！それだったら、ドックランにしてくれた方が喜ぶ人が多いはず！！ムダな経費をかけて、健康診断を進めても…必要ない事をやりすぎ
15	粗大ゴミの年1回の回収は少なすぎると思う。(有料にしてもよいので月1回くらいなら)

回答内容-ごみ	
16	日頃から、ゴミの回収など、毎日、お世話になっています。私は、この五所川原の地で、しっかり自分の手と足を使って、生涯、自立した生活を営んでいくことを、生き甲斐としています。そのために必要なことに取り組むことは、本当に楽しく、喜びを感じます。特に関心が高いのは、地域医療、中でも精神医療です。最近、患っていた精神疾患の服薬生活から、完全に自立(離れる)できる目途が、自分で立てられるよう、変わってきました。約23年続きましたが、自分が本気で望み求め、行動すると、本当に健康を回復できるんだという、自信が生まれました。短命日本一の青森県に住む1人の自分、その中でも、雇用環境が特に厳しい五所川原市民の1人である自分、命の大切さ、そのために、家族や隣人との関係を調整し、非常時に備え、普段から互いに関心を持てますように

### ③上下水道 (2件)

回答内容-上下水道	
1	・下水道の整備、一般住宅も下水道にして頂きたい。道路の整備をきちんとしていただきたいです。でこぼこ道やそうでない(整備されていない)道が多く困っています。・粗大ゴミの回収してくれる回数をもう少し増やしてくれると助かります。(布団など(マットレス)が出せずに困っています)・エルム付近パチンコ店からのポイ捨てしたようなゴミが多く飛んできて、困っています。車で通る際も沢山の弁当の空などあり汚いです。
2	下水道整備、歩道除雪。

### ④居住環境 (6件)

回答内容-居住環境	
1	動物はかわいいし、大切な家族のような存在という思いはわかるのですが、ここ数年、近所の数件の方々が猫のフン、犬のフンで大変な思いをしています。育てるうえでのマナーを守るよう指導してほしいと思います。特に猫は外へ出すとかっている人の目につかず、あちこちでフンをし、お金をかけ対策したり、毎回いやな思いでかかっていない人が片づけています。何か対策を考えて下さるようお願い致します。
2	広田町内に住んでますが、町内のドブ全て汚ない。不衛生である。市で管理するのか、町内で管理するのか、不明である。一度市の役員の方、見に来て下さい。異臭もしますから。
3	アライグマ、アナグマの駆除をお願い致します。
4	市営住宅に入居中で家賃を支払いしているのに、大家の役割が市役所にも拘わらず、修理の連絡をすると、一度は来てくれるが、財政が厳しいから予算が無いからと我慢してほしいと断られる。それはどの様に考えているのか？建物が古くなると、建具の規格、サイズも無いからと、仕方ないと言われ、諦めるしかない。修理をしてくれないので、有れば別の所に転居させてくれても良いのではないのでしょうか？もう少し、入居者の事も考えてほしいです。その様な事で相談しに窓口に行っても、職員の対応は住宅に住んでいるのに、生意気だと言わんばかりの態度です。職員に修理してもらおう訳ではないので、もう少し対応を考えてほしいです。

回答内容-居住環境	
5	・一昨年前迄は、空を黒幕を張ったかの様なカラスの群れと、フン害に只々驚いていましたが、昨年からかなり数が減り、ホッとしていました。市の広報で対策を採っていると知りここに。・何年か前、ラッシュ時の大橋で猫が車に引かれ、次々と車が走り抜ける姿に心が痛み、市に電話したところ、先ぐに片付けていただき、その対応に感謝した事が有ります。・一人暮らし、又は家族がいない時、亡くなれば医師より早く警察が来て、対応を余儀なくされる事に疑問を感じます。医師の病状診断の判定が有って、次に警察の方の方が、家族にとって心の負担が少ないのでは無いかと思います。
6	無料の入浴が、皆んなに喜ばれている。

### ⑤消防・救急・防災（3件）

回答内容-消防・救急・防災	
1	最近、北朝鮮によるミサイル実験が行なわれているが、行政では「すみやかに安全な場所に避難して下さい」と言うが、どこへ避難すれば良いのか。お金の問題もあろうかと思うが、シェルターを兼ねた施設等考慮する必要があるのではないのでしょうか。大町商店街、あのままで終るのでしょうか。あの状態では人が集まらなく、かえってさびれて行くのではないかと心配です。観光の名所「太宰の蔵」、地元の人でもどこにあるかわからないのが現状です。立佞武多とだき合わせで大々的にPRすることによって、集客も増えるのでは…老婆心です。日頃、市民の為に努力している皆さんに感謝しています。頑張ってください。
2	岩木川が氾濫したりしたら、どこへ避難したら良いのか？どのようにして、知る事ができるか、不安です。
3	今年、北朝鮮が2回北海道上空を通過するミサイルを発射した際に、市は防災無線等を通じて市民に情報を提供し、避難の仕方等の告知を広くしたのでしょうか？テレビでは知らされたが、防災放送を聞いたこともなければ、サイレンが鳴ったということもなかったように思います。緊急の際の情報提供や避難の呼びかけはどうなっているのでしょうか。また、ミサイル発射の際の児童生徒の避難のあり方について、市教委から示されたのは、2回目のミサイル発射の後でした。早々と対応した弘前市を挙げるまでもなく、市の対応は極めて遅いと言わざるを得ません。児童・生徒の安生確保を真剣に考えているのかと思います。

### ⑥交通安全・防犯・消費生活（2件）

回答内容-交通安全・防犯・消費生活	
1	現在、地域に防犯カメラが設置されていないので、事件、事故等の解明の為に必要だと思うので、是非防犯カメラの設置をお願いしたい。
2	住民が安心、安全で生活できることを希望します。

## 分野5) 教育・文化

### ①学校教育 (8件)

回答内容-学校教育	
1	<p>・教育に金を惜むな。・市浦地区に地域づくり団体の事務局を担う課がほしい。・市浦地区でも公民館活動費用等、五所川原市内と同様な活動資金を分配してほしい。又は、資金や支援が受けられる情報だけでも、受けられる地域に密着した課が必要である。・空き家対策、人口減少対策として、特に金木地区、市浦地区は、子育て支援の充実として、医療費無料化や、小・中学校の給食費無料化等、地域から外へ移住しない対策または移住してくる環境の方策等を、考案していければいいと思う。・基本、市の職員に採用されている方々は市に居住するべき、等々。</p>
2	<p>子供が少なく、学校教育がなりたっていない。(部活、音楽、遠足、競走意識など)上の理由は、市内に職場がない、雇用がないので、市外へいく。子育てに不満があるから、1時間の通勤でさえ、ひっこしてしまふ。五所川原の中心ばかりの開発・対策・活性化などで、郊外が見はなされている。結果、郊外からコミュニティーがなくなってきて、空き家、学校、老人地域となり、これにより、なおさら行政は郊外に力をそそがない。負のスパイラルである。大人が市内から市外へはたらきに行き、子は市内から市外や五一中に通学し、それが数年後には一家でひっこしとなる。親がのこって子は都会へ就職。うち何割かは五所川原にもどるが、市内に職がない。税金のつかいかたの抜本的なみなおしが必要と思う。</p>
3	<p>教育にお金を使ってほしい。つがる市ではきれいな図書館をたてて、五所川原の子どももみんなつがる市まで本を読みに行っている。五所川原も教育の方にお金を使っていたらと思う。新しい市役所いりません。</p>
4	<p>最近特に子どもの学校生活や社会との関わりで、自殺や他殺や、いじめ、不登校、ひきこもり、その他諸々の理由で子供達が不幸な環境にいるのが目立ちます。(よろこんで)、(生き生きと)学校に行けるような学校環境(少し様子が気になる子どもや手がかりそうな子などのいい点を見つけ指導し、長所をのびして指導できる教職員の増員を希望します。)この頃の様子をみていると、子供に本気で接しない教職員もありそうです。その子たちの身になって、時間をかけて共に苦しんで指導して下さる学校が多くあればいいと思います。みていると、すぐそういう子供達を区別し、わきよせているようにもみえます。手のかかる子供を特に手をかけて本気に、十分本気に管理職も含めて、それ一点で指導できる環境を希望します。徳の育たない学校には教育(特に将来への)はありません。(1)徳を頂点に(2)体をきたえ(3)学力をつける学校(委員会教育事務所も含む)。環境が輝いている学校をいっぱいみたいです!</p>
5	<p>・五所川原市で、小、中一貫となる「義務教育学校」を設立できないか。((約10年前、市長選挙の公約に「五所川原高校」を、とり込む形での中高一貫校設立!という内容があったのを覚えている。県立高校と、市立の中学校の統合は難しいと思われるが、市内の小、中学校は、皆「市立」の学校である。これから学校の整理、統合が進められていくなら、「義務教育学校」を市立校として設立することは、検討の余地があるのではないか。(「地域」に根ざす。地域に生きる人材の育成、「人づくり」の面からも、一つご検討頂きたい。)))</p>
6	<p>「2025年問題」が言われているように、超のつく少子高齢化社会に突き進んでいる。その状況下で様々な問題があると思うが、身の回りの近くにいる人達などを見て、特に考えることは、次のようなことである。1. 独居の人たちのこと(特に高齢者)・健康面の不安の解消。・生活の不安の解消。・人々とのつきあいの不安の解消。2. 子どもたちのこと。・今後に向けて必要な力の育成(コミュニケーション、語学、IT等)。・格差の解消(いろいろな点で)。3. 成人(特に30代~40代)・町内会など地域について意識を持って行事などに参加したりすること。4. 高齢者世代~成人世代~子どもたち。このつながりの希薄化が最も今後に向けて心配されることと思う。</p>

回答内容-学校教育	
7	建築関係ばかりに予算がかかっているようなので、もっと子育てや教育にお金をかけてほしい。次世代に活躍する子ども達が集まる場の確保や、教育に関係する予算を増やしてほしい。
8	ごみ収集のプラスチック回収日を増やして欲しい！！せめて1週間に1回はお願いしたい！！図書館をもっと利用しやすくしてほしい。耐震対策など大丈夫ですか？キレイで本の種類も多いので、つがる市図書館を利用しています。克雪ドームの費用対効果は？もっと有効活用を！！小学校にプールを作ってほしい！！1シーズン3回の授業は少なすぎる！！プールが無い学校は市民プールを安く利用できるようにしているが、共働きなどでは夏休中も連れていけないし、意味がない。

## ②スポーツ (12件)

回答内容-スポーツ	
1	総合運動公園など、他の市町村に比べてかなり遅れているように感じます。五所川原市のよりよい活性化の為に、そういう施設は必要だと思います。克雪ドーム周辺に陸上トラックや人工芝のサッカー場等のスポーツ施設が必要だと思います。なぜなら、北五の各種大会等では会場が市内で行なう事が少ないので、市内で大会を開催するのに必要ではないでしょうか。県民大会の会場を市内で行なう場合、非常に施設が不十分で恥ずかしいです。
2	※走れメロスマラソンにフルマラソン(42.195km)をぜひ入れてほしいです。(夫)
3	・市民プールを屋外ではなく、室内プールにして利用しやすい環境にしてほしい。・つがる総合病院を救急車の出入りにくい場所に建設したのが意味が分からない。よろしく願います。
4	五月に実施している「メロスマラソン」回数を重ね、参加者も増加傾向にあり、良い事だと思いますが、多額の予算が支出されております。他のスポーツイベントにも少し助成する事が出来ないのでしょうか。全県で取り組んでいる「短命県返上」に向け、もっと頑張りましょう！医療費の減少を目指して！
5	ジムや屋内プールなどの施設の充実。ランニングやサイクリングのためのコース整備。
6	冬場のトレーニングセンターがほしい。(運動不足解消のため)
7	サッカー場施設があつてよいのでは？
8	公民館のちかくでも、どこでもよいけれど、スポーツジム、私達老人でも出きるような、トレーニングセンターがあつたら、もっと幸いと存じます。
9	・プロ野球を誘致できる球場を建ててほしい。→スポーツ施設の充実。・ELM周辺に映画館、ボウリング場を建ててほしい。
10	市が運営するトレーニングジムで一年中利用ができるプールがあるといい。立ねぶた祭り、観光資源としては良いけれど、昔のように地元の人が気軽に参加できるようにしてほしい。
11	芦野公園等アスレチック等、親子が集まるよう充実して欲しい。各公園も同様。市内の公園等春夏秋冬に応じた樹木、例えば芦野公園の吊り橋の対岸の方にもみじを植えるとか、夏は百日紅(サルズベリ)とか。体育館の充実(金木町)。津鉄とのシルバー料金の交渉し、高齢者ドライバーの減少を図って欲しい。
12	子どもが増えない事には、高齢者を支える事はできないと思うので、安心して子どもを育てる事が出来る環境が必要だと思います。(保育料の無料化など)(インフルエンザ等予防接種)スポーツを気軽に楽しむにも、金木地区には自由に使える体育館がありません。今、注目されているバスケットボールにふれあう機会を身近に子どもたちに体験できる環境があればと思います。(公園などにバスケットリング)

### ③社会教育・生涯学習（2件）

回答内容-社会教育・生涯学習	
1	<p>・市内には三つの資料館があった。五所川原、金木、市浦。うち市浦のみ開館しているが、金木は閉さ、五所川原は立派な建物が現存しているのに、閉館している。中には色々な多くの資料があるのにもったいないと思う。何かの形で開館出来ないのでしょうか。・時々、五所川原の図書館を利用させて頂いておりますが、パソコンを持参しても、コンセントは使用出来ないようで、結局柏のイオン図書館を利用してしまふ。電気を開放したらもっと人が行くように思うのですが…。</p>
2	<p>アンケート内容を記入するまで、市の中心街の状況や地域のコミュニティについて深く考えたことはなかったが、五所川原市の行政に特別不満を感じないし、生活していて不便と思っただけだったので、とても過ごしやすい町だと思う。おばあちゃん達も活気があって、あたたかい町だと思う。月1などでスポーツ教室や、英会話教室などあれば、参加したいです。大学生になった今だからこそ、地元で活動したり趣味を見つけたりできれば良いと思います。図書館をもっと利用しやすくしてほしい。（バスの本数を増やすなど）。ELMバスを夜の遅い時間まで増やしてほしい。五所、弘前間のバスを遅い時間帯まで増やしてほしい（20:00以降）。市役所の採用人数を増やしてほしい…。</p>

### ④芸術・文化・伝統（4件）

回答内容-芸術・文化・伝統	
1	<p>市民憲章に「文化のかおるまちをつくります」と制定されていますが、他県・他市と比べて五所川原は文化面で遅れています。そのためには市政で力を注いで欲しいのは、1. 菊ヶ丘公園を四季折々に花木が楽しめる市民の憩いの広場に整備。2. 菊ヶ丘公園にある図書館は暗く、狭く落ちついて利用することができないので、つがる市の図書館のようにゆとりをもって利用できるような図書館の建築。資料館も内容を充実させ、学ぶ資料館への整備と建築。3. 青森市のように運転免許返納者に対する乗物、買物などに対する特典への対策。4. つがる市のように中学生までの医療費の無料化の実施。5. ドームでの広場での朝市、月一回に市民フリーマーケットを開くなど、市民に気軽に利用できる克雪ドームの活用。五所川原に住んでよかった、住みたいという人が一人でも多くなることを期待して、ご意見ご提案しました。五所川原を愛する一市民。</p>
2	<p>文化、スポーツ、健康を推進し、支援し、この街に住みたい。住み続けたいと思える街づくりをして欲しい。市役所、商工会館、克雪ドーム…お金の使い方に大変な疑念を抱かざるを得ないのが現状です。子供の将来、老後の暮らし、生き甲斐を持って生活できる五所川原市となって欲しい。そのためには、もっと必要な施設、お金の使い方があるように思えてなりません。誇りを持って外にアピール出来る物、文化スポーツ、生活環境をもっと豊かにできる施策、施設が必要だと思います。例えば、市民がみんなで応援できるスポーツクラブ（Jリーグクラブやバスケットクラブなど）の設立を支援することで、経済効果はかなり見込めるのでは…。今後の市政に期待しています。</p>
3	<p>私は、高校教諭で高校演劇に携る者です。青森県は高校演劇が盛んであるにも関わらず、この西北五地域は他地域に大きく劣っているように感じております。八戸市は多くの地域劇団が賑わい、青森市では中学校時点から演劇の大会が盛んで、弘前はそもそも文化、芸術に重きを置いている土地です。西北五地域は教養を育てる場所として、非常に他地区より見劣りするようになっております。若い世代を巻きこんだ、イベントに力を入れるような政策をして頂けたらと存じます。全国有数の高校演劇県青森なのですから、その流れに乗るよう、地域を盛り上げていきたいと思います。</p>

回答内容-芸術・文化・伝統

4	<p>市道があまりよくない(てんぷらほそう)。冬になるとよくわかる(いくら除雪しても)。それから、私は趣味で写真を撮っていますが、市民が(又はサークル、グループ)作品を展示する場所がありません。青森、弘前、八戸など大きな市は行政でも私設で、個人でも色々な場所がありますが、五所川原はとくに少ないです。大きな展示会をやりたくても出来ないのです。いまさら作れてともいえないし、文化の面でだれでも市民であれば、自由に使える場所があれば良いと考えております。五所川原市民美術館を作ることがもっとも理想だと思っております。(小きぼでも)そんな場所があれば発表する場所があれば、文化、美術の面で大いにぎわうと思っております。どうか考えてください。五所川原にはそんな場所が1つもない事を、市長さん作ってください。お願い致します。</p>
---	---

## 分野6) 行政経営など

### ①市政運営・行財政改革 (14件)

回答内容-市政運営・行財政改革	
1	1. 建設業者選定を特定化しないようにしてほしい。2. 医師の確保を充実してほしい。3. 金木病院2階の病棟が使用されていないが、もっと活用の方法を検討してほしい。たとえば、老人ホーム化として利用か、腎臓透析施設化とかに利用しては。
2	・金木支所に介護保険の申請に行ったら、ケアマネを通して申請しろと追い返された。施設に入所させたいが、入所にケアマネは必ずしも必要ではない。・小学校の放課後児童クラブ。国は6年生まで受け入れとしているが、現状1～3年までしか、預ってもらえない。9才が長期休業期間に、1人で1日中過ごせると思うのか？人がいない、場所がない等の理由が通るのか？保育園の待機児童がいる分、小学校の児童にも居場所が必要と考えるべき。そうでなければ必然的に母親が仕事を辞めなければならなくなり、貧困へのスパイラルとなる。就労人口も減っている中で、就労している親をもつ子ども達のことをもっと考えるべき。放課後児童クラブを市内全部で1～6年まで、受け入れをしてほしい。
3	具体的に何を取り組んでいるのかわからない。また個に集中して全体を視野にした取り組みになっていない。申請や手続きに関しても、知っている人だけが得をする。知らない人は放置されていると思うことがある。せっかく住民の情報が市しかわからないので、該当するかもしれない情報をお知らせするようなことが必要と思う。活性化するためには、まずは住民満足度を上げることで他からでも来たい町づくりにしてもらいたい。
4	市の中心街にばかり金を使い、合併になった他の町はあまり重要でない様な感じ、見受けられません。他の町はよくなっておりません。
5	いつもありがとうございます。市民のための様々な活動に感謝しています。
6	少子高齢化の昨今、どこの地域でも年寄だらけ、夫婦2人だけとか、又は一人暮らしが多くなりました。そこで一番の問題は健康状態。体調が悪くてもなかなか病院迄行けないとか、あるいは孤独死などが心配される。そこで私達の地域では、今年度から消防センターを借りて、ほぼ毎月2回ほどカラオケ会を行っています。来ている人達の話の聞くと、ストレス解消になって、とっても良いと評判。次のカラオケ会が待遠しいとの事。他の地域の年配者達にも健康寿命が長くなる様、行政が何んらかの手助が必要なのではないかなと思います。
7	施設にはいって快適な介護を受けさせるためには、その後の施設の考え方や調査や抜き打ちの査察等もひつようではないだろうか。
8	新庁舎に伴い、今まで以上の行政サービスが良くなるといいなと思います。子供たちの身近に遊べる場所がたくさんあるといいです。
9	以前から気になっていた言葉があります。それは「ヤツマレ」です。ヤツマレってとても悪い言葉です。自分では何もしない、出来無いのにはやし立てる卑怯者とも言える津軽人の悪いせです。昔言葉で文化としては大切に悪くないですが、あまり意味を重視しないでヤツマレという名の企画にはうんざりです。貧民のかくれた声をもっと聞いてより良い五所川原市にしてほしいです。
10	・市役所をはじめ、建物は充実させているが、市民への行政サービスは後退する一方である。例えば、特産品の開発や販売への支援。さまざまな分野での起業支援。町内会等の活動支援の充実による地域、コミュニティーの維持など。市役所職員も市民である。もっと考えを充実させて！！・近隣の市町村から、市の財政状況を心配されるようでは情けない。市民の理解を得られるようなガラス張りの財政運営をするべきである。・つがる総合病院の入院看護サービスの充実をするべき。患者の立場に立っていない。

回答内容-市政運営・行財政改革

11	<p>1. 将来の期待。若い者に働く場所を確保。現状では限られている。2. 働く場所の確保はいいが、賃金の所得の問題。青森県の所得、特に五所川原及び北五地方の将来、及び現在の所得では全国でも下から数えた方が早いのが現状で、一般的社会の形態は全国でも最低レベルである。市役所、県、国、所得のかくさについて話してあるが、格差については将来も現在も同じ形態でいくと思う。賃金が悪ければ、地域経済は最低で、都会から見ればかけはなれてた場所になりうる可能性が大である。特に西北五地域、上記の通り所得が非常に低いので、景気のよさは感じた事がない。公務員、官公庁の勤務している所得の格差はあまりにもかけ離れている現状である。公務員等の賃金の見直しをかけ、職場ではたらく人間も見直す必要がある。議員及び幹部職員は少なくするには問題があると言っている人間は関係者がほとんどである。一番大事な市町村の政策の問題は、国からの決定した法律を実施するだけ。どくじの政策はまったくなし。日本の地方の中でも、市、町、村どくじに行政を取り入れて発展している地域はいっぱいあります。特に五所川原は市長及議員等の利益性に注視しているのが現状である。特に公共事業には談ごう、必ず仕事の配分まで決まっているとの事で、はっきりして公共事業しか利益の追求がないのが現状で借金だらけである。職員の見直し、特に高齢の女性の勤務者の賃金の格差を見直しをかける必要がある。</p>
12	<p>立ちねぶたを観に来た知人が、その素晴らしさに感激し、何度も何度も語っていました。「良く、こんなおまつりができること！」と。しかし、その人は次の日の朝、まつりのルートの近くを散歩した時、「あれだけのねぶたが通るまちなのに、ゴミが電柱に黄色い網で括られているのですね。何だが興醒めしました」と、驚いてもしました。私の住む地域では住民が小さい小屋を建てて(町内会で)維持していますが、そう言われた後、車で市街地(の近く)を通り、確かに指摘される様な状態に気付きました。郊外は、余裕のある土地がある、まちなかにはないことはわかります。しかし、公共の土地や、理解のある民間の土地を活用して、もう少し“近代的な”ゴミ置き場にできないものでしょうか？市長さんのおうちの近くもいかがでしょうか、先ず！！たくさんの優秀な市役所職員の方々が、通勤や帰宅の際に家と役所の間で目にする事、感じる事、を直接、自分の持ち場とは違う分野のことで、どんなに小さなことでも意見を言えるようにして行けたら、五所川原が良いまちになるヒントになる気がします。私は「仕事ではない時でも、アンテナをしっかりと張って生活しろ！」といつも言ってる。先輩の請売りですが。市役所職員の方々が、それぞれの住む地域(町内会)の活動に積極的に参加して下さると嬉しい。市役所職員なんだから全部！ということではなく、たとえば二度に一度、三度に一度でも良いから、参加したら単純に楽しいし、ホントのところ、住民の素直な声だっけけるし、だからこれからの仕事のチャンス、ヒントをつかむことができるようになる。お願いします。勝手を書きました。時間も(ほんの少しだけ)使いました。1%でもどうかどうか、役立てて下さいますよう。</p>
13	<p>・教育に金を惜むな。・市浦地区に地域づくり団体の事務局を担う課がほしい。・市浦地区でも公民館活動費用等、五所川原市内と同様な活動資金を分配してほしい。又は、資金や支援が受けられる情報だけでも、受けられる地域に密着した課が必要である。・空き家対策、人口減少対策として、特に金木地区、市浦地区は、子育て支援の充実として、医療費無料化や、小・中学校の給食費無料化等、地域から外へ移住しない対策または移住してくる環境の方策等を、考案していければいいと思う。・基本、市の職員に採用されている方々は市に居住するべき、等々。</p>

回答内容-市政運営・行財政改革	
14	<p>子供が少なく、学校教育がなりたっていない。(部活、音楽、遠足、競争意識など)上の理由は、市内に職場がない、雇用がないので、市外へいく。子育てに不満があるから、1時間の通勤でさえ、ひっこしてしまふ。五所川原の中心ばかりの開発・対策・活性化などで、郊外が見はなされている。結果、郊外からコミュニティーがなくなってきて、空き家、学校、老人地域となり、これにより、なおさら行政は郊外に力をそそがない。負のスパイラルである。大人が市内から市外へはたらきに行き、子は市内から市外や五一中に通学し、それが数年後には一家でひっこしとなる。親がのこって子は都会へ就職。うち何割かは五所川原にもどるが、市内に職がない。税金のつかいかたの抜本的なみなおしが必要と思う。</p>

## ②市民参画・広報公聴・情報公開 (17件)

回答内容-市民参画・広報公聴・情報公開	
1	<p>夫婦共後期高齢に入り介護問題が切実になって、相談してほしい時はどこへ行けば良いのかよくわからず、広報等にくわしく説明してほしい。</p>
2	<p>パソコンやスマホを持たない高齢者も少なくありません。市の広報が情報源です。充実を希みます。又、最近は避難先がわからないという声も多く聞きます。再度、お知らせするなどの対応が必要かと思えます。生き生きセンターのお風呂を利用させてもらい感謝しております。これからも高齢者にやさしい行政でありますようお願いいたします。</p>
3	<p>高齢者にわかりやすい表示を。(投票箱の上につけた方がわかりやすい)</p>
4	<p>主に市の広報でいろいろな情報を得ていますが、受け身の状態です。「参加してみようかな」と思わせるようなPRが欲しい。例えば、回覧板だったり、ビラをはったり…。いろいろな企画に一人でも多くの方が参加出来るようなPRが欲しい。</p>
5	<p>市中心部で色々なイベントがあるようですが、市外部ではいつ、どの様な事がおこなわれているのか広報で知るだけなので、もうすこし宣伝広告を行って欲しい。公共施設の場所とか、知らない人が多いようです。隠れた所の公園、施設、地図などでののお知らせがほしい。広報に載せただけでは…</p>
6	<p>私は、インターネット等(携帯電話も含め)をしていません。ただ以前、ホームページを見る機会があり、意見を述べようとした事があります。でも私のパソコンでもなかったので、「名前等を入力」といっても出来ませんでした。何故だれでも出来る匿名にしないのでしょうか？批判がこわいのですか？でもそれも市民の意見ですよ。私は今回このようなアンケートをいただきましたが、的確に反映されるかどうか、疑問におもっています。“これさえしておけば”みたいな感じで終わってしまいそうで。市は財政的に苦しい事もよくわかっているつもりです。でもテレビや新聞で“五所川原市”を見つけても市民が頑張っていて、“市”は何もしてくれているとは言えていないのでは？この機会にしっかり意見を聞いて、協力してほしい事をしっかり市民にアピールして、始めは赤字覚悟でも先々を考えてこの市を良くしていきましょう！！若い人のためにも。</p>
7	<p>五所川原市活性化論文の募集提案。市を思う隠れた賢人は五所川原市にもおるはずですよ。こうした人達の思いや提案を論文として募集してみてはどうでしょうか。(あっと驚く考えが聞けるかも知れません。)</p>
8	<p>・大学生はELMIに来たがる人が多いので、ELMや駅からELMIに向かう道中に五所川原をPRできるもの(店とか)をつくったり、もよおしものをしたりすると良いと思います。・弘前のアップルパイマップのように、五所川原のおいしいラーメンマップや昔ながらのお店(おかし、おそうざいなど)マップも良いと思います。</p>
9	<p>市の広報について。広報紙について、現在の広報紙でなく、今回のアンケート用紙程度の紙質で良いと思います。まず身近で、財政負担軽減にとり組んでほしい。年間の単価が少しでも低減させて下さい。今後、ますます人口減となり、高齢化となっていくと思います。</p>

回答内容-市民参画・広報公聴・情報公開	
10	市職員のていねいな対応、ありがとうございます。今後も続けて下さい。市の広報、各ちらし、県や団体からのお知らせなど一括して配布されていますが、できれば一冊にして欲しい。配布する(各戸へ)人の負担が労力が大変と聞いています。(各戸分にとりまとめて一つにして配る為に作業が大変です…と)
11	市のSNSで何んのことでしょうか。
12	現在アパートに住んでいるのですが、アパートには市の広報などは配布していないのでしょうか？ゴミの分別をくわしく書いた冊子などは無いのでしょうか？分別表を見てもよくわからないものがあります。(ex: 歯ブラシ)前住んでいた所では、こまかい分別が冊子になっていて、とても便利でした。除雪をもっとていねいにやってほしい。一回暖気すると道路がボコボコになり走りにくい。
13	知人の集まりのとき話題になったことで、立佞武多の館、ドーム、斜陽館、津軽三味線会館の収支はどうなっているかということです。商店街連合会やNPO法人との関連もあると思いますが、各々の収支を広報「ごしょがわら」でお知らせ頂けたらと思います。
14	市民との話し合いの場を、多く設け、この街を今後、どうしていきたいのかという、ビジョンを提示してほしい、立佞武多や太宰ばかりでなく、基盤産業をもっと充実させ安心して子育てできる環境を整えることを努力してほしい。その上で街の顔づくりに力を入れ「五所川原ってこんな街！」「五所川原って楽しい街」というような街づくりをしてほしいと思います。
15	市民全員が…どの家庭でも、パソコン、スマホがあると思わないで下さい。何でもホームページを見て…とか言わないで下さい。わが家は、パソコンはありません。スマホも持っていません。何でも知りたいことがあっても、どこに聞いていいのかもわからない問題があります。どうしたらよいのでしょうか？
16	無関心と言え、そうなのかも知れませんが、現在どのような市の状況か、アンケートを見てもわからない事ばかりです。年寄りばかりでは、これからの事も答えられず、申し訳ありません。なるべく情報がわかりやすい形で年配層にも伝わるようになったらよいと思います。
17	市政に対して、放送は全々聞こえないし、回覧板もあまり来ないし、情報が、全々わからない状態である。この、行政放送がどうにかならないものかと、日々思っている！

### ③コミュニティ活動・地域交流（5件）

回答内容-コミュニティ活動・地域交流	
1	<p>・コミュニティの根幹である「町内会」活動が不活発、停滞しており、早急の実態調査し、活性化対策を構じてほしい。・JR五所川原駅～立佞武多の館の通りの開発終了だと思うが、見た目も統一感の無い景観で残念である。又、コンセプトが何なのか全く分からない。もっと税金を有効に使ってほしい。金が無いなら「知恵」を出せば良い。・市側と議会は車の両輪だと言われるが、これまでの慣例から抜けきらず、特に議会（議員）のレベルが問題である。</p>
2	<p>本市に住んで30年以上になりますが、津軽の風習に未だになじめません。昔から部外者を嫌い、親子の絆は顕著に現われておるような気がいたします。民生委、町内会長を拝命を受けてからは、特にその旨非常に色濃く感じられます。町内会は皆様の性格などを知る絶好の集会です。町内会活動を盛り上げるには、他町内（五所川原全て）はコミュニケーションを取り入れた活動はどのような方法でとられているのか知りたく意見を述べさせていただきました。将来の市政に役立ててもらおうよう、広報等でも紹介していただければ幸いです。</p>
3	<p>五所川原市の愛着がないわけではありませんが、ずっとここに住み続けたいと思えるほどの執着もありません。市外へ行った子供たちが帰って来た時に、「ほっ」と一息つけるようなふるさどであればそれで良いと思っています。そのためには、地域のつながりが必要だと思います。具体的な案はありませんが、安心して暮らせる場所ならそれで良いです。</p>
4	<p>(1)松島団地、冬期間標識についてお願い致します。各棟へ来客の際、棟の番号の出入口が雪のためわからなくなるという疑問の声がありました。そのために出入口所へ色別の標識番号札を記入し町番号がハッキリわかる様に立札をお願い致します。(2)町内会の会長始め、三役が今だに決まらず、広報以外何も役所関係の情報はわからないので、困ることも多々あります。コミュニケーションの出来る明るい町内を望みます。住居者は後期高齢になり、よい意見はさっぱり決定しません。何とかよい方向へ出来ませんか。一応参考迄…。</p>
5	<p>つがる総合病院についてですが大きい病院ですが高齢者にとってとてもつらい、何がつらいかと言うと長時間待つことにより苦通がともないます。これをぜひ改善してもらいたいです。又、お金を多く医者に出しても、いい医者を連れてきてはどうでしょうか提案します。もう1つは高齢者の為に各部落ごとに集まる場所が必要かとつねづね考えています。60才を過ぎた1人ぐらしの人達は話す場もなく死にたいと言っています。そういう人達のために、集まって話しをする場所それも部落の中心なところが良いのではないかと考えられます。</p>

④まちづくり・将来のまち（9件）

回答内容-まちづくり・将来のまち	
1	1. 人を大事にする。2. 子供達の声が響く町でいてほしい。3. 公園をもっと活用して、人の交わりが増す方法を確実に企画して実施してほしい。市民にも一任させる方法を。(例)使用者に必ずゴミ拾いをさせる、意識づける。
2	五所川原の市政の中での施策には満足している者ですが、人口減少の世の中で、将来の事を心配して居ます。私事ですが、息子夫婦にも子供がいません。息子たちにも話しています。時には里親制度の様な情報等があったら、市の広報にと期待しています。
3	現在の市政が、何年先を考えて町づくりに取り組んでいるのか、今一つ見えてきません。50年、100年先まで見据えて人口が縮小した未来にどのような町にしたいのか。近所を見ても、どんどん空き家が増えている状況で、市が中心となって効率化を図った町づくりを望みます。例えば、駅や市役所、総合HPを町の中心とするのであれば、その周囲の空き家を市が積極的に買い取りや解体を助成し、コロニーのような集団居住が可能な住居を作る等。そこから必要な農林水産業へのインフラを整備していく等。ITやAI等も積極的に取り入れて、徹底的な効率化を望みます。そして、この町に生まれたり住んだり育った人たちが、未来へ向けてワクワクして希望のもてるような町づくりを市としての考えを、市民へ示して欲しいと思います。そのような、市としての目標を市民全体で共有することができたのであれば、きっと五所川原市に住み続けたい人や、五所川原市に移住したい人が増えていくのだと思います。よろしく願いいたします。
4	新しい市役所に似合う五所川原市であって欲しい(きれいな街並に)。
5	人口減少右肩上り。不用な建物を少なく、街をコンパクトにする事が急務。そして街並み美化のため、木を植える事(観光客が五所川原から下は小屋ばかり建っていると言っている)。不用になった公営住宅跡土地を三年間で家を建てる条件でタダで若い人や、他村の人にあげたらいいと思う。特に金木町にはいっぱいある。不用になる支所を建てる金があったら(金木町にある公営住宅の屋根のペンキを塗ったら…笑)
6	1. 市の中心部の衰退が目立ち。1. 街づくりのイメージが悪い。街中心部の開発が乏しい感じがする。エルムだけが街ではない。商都としての活気が全く失われてしまっている。商都復活を切に願う者である。1. 道路整備が遅い。1. 中心部だけでも排雪溝の徹底が必要。できれば藤崎町のように。1. 市庁舎を拠点に新しい時代を先取りしたミニシターの再開発を強力に進めて欲しい。1. 低所得者にたいしても市独自の住みよい経済政策が欲しい。1. いつまでもゴミだらけではいけない。美しい街づくりが欲しい。1. 文化レベルが低い、教育や人材の育成をもっと充実させて欲しい。たとえば市行政にたずさわる人材は大学卒業者をもっとたくさん採用して欲しい。優れた人材が流出するのは街をさびしくしてしまうから。
7	◎ふるさと納税の津軽鉄道コースの金額は、どのようなかたちで津鉄に利用して頂けるのでしょうか？◎金木さくらまつりを、もっと昔のように盛り上げたいのですが、商工会だけではなく、市役所でも一緒に五所川原市のイベントとして、力をかけて頂けないのでしょうか？◎金木小・中学生が給食がおいしくない、量が少ないと学校の先生方も言っていますが、改善はしないのですか？◎20代、30代の子供を育てている世代に、空家を優先的に安く賃貸したり、もっと市民の目につくよう、情報を耳に入りやすくして、少子化、過疎化に注力すべきではないのでしょうか？◎農協だけではなく、若い農家又は、Uターンやターンで農家をしている担い手を支援したり、新しく商売を考えている世代に力を貸したり、気軽に相談できる市役所にシフトチェンジできないのでしょうか？◎市民を型にはめるのではなく、市民が自ら動きたくなる市役所になって頂きたいです。新しい庁舎になるのですから、良い機会だと思います。アンケートも良い方法ですが、直接、これからの担い手である20代、30代に聞いて歩く方法もムダではないはずですよ。

回答内容-まちづくり・将来のまち

8	<p>「2025年問題」が言われているように、超のつく少子高齢化社会に突き進んでいる。その状況下で様々な問題があると思うが、身の回りの近くにいる人達などを見て、特に考えることは、次のようなことである。1. 独居の人たちのこと(特に高齢者)・健康面の不安の解消。・生活の不安の解消。・人々とのつきあいの不安の解消。2. 子どもたちのこと。・今後に向けて必要な力の育成(コミュニケーション、語学、IT等)。・格差の解消(いろいろな点で)。3. 成人(特に30代～40代)・町内会など地域について意識を持って行事などに参加したりすること。4. 高齢者世代～成人世代～子どもたち。このつながりの希薄化が最も今後に向けて心配されることと思う。</p>
9	<p>五所川原市政は、「五所川原市人口ビジョン」に基づき、「五所川原市まち・ひと・しごと創生総合戦略」をもとに、五所川原市の将来像として「活力ある・明るい住みよい豊かなまちーみんな大好きごしょがわらー」という未来を示しているようです。ただ、「人口ビジョン」は、将来推計人口を「人口投影」による拡大投影したものであり、1960年代以降の自民党政権による人口政策の歴史を映したものにすぎないもので、国民の意識とは相いれない架空のデータにすぎないものです。そのことから、『創生』の意味を取り違えていないでしょうか。自民党政権が取り組む「地方創生」というのは、いままでの五所川原市の再興を図るというのではなく、現状を出発点として、拡大投影した将来人口に見合う「新しい街」を創造したうえで、市の財政の背丈にあった「人の集約」をはかった“快適居住環境”をつくるということであることは、石破茂地方創生大臣の当時の説明から明らかなことでした。五所川原市政は、「若者の定住促進政策」を掲げます。が、若者が減少し続けてきた要因を分析することなしに、作文を書いただけのようにみることができます。若者が、減少してきた日本の経済政策は、池田勇人首相の「寛容と忍耐」と「所得倍増」の掛け声ですすめられ、その時代を反映した「農業基本法(昭和36年制定、昭和59年に廃止)」の制定によって実施された農業政策で、「農作業の機械化による合理化」と合理化によって生れた「農村の余剰人口」を、大都市圏の輸出貿易の大工場への労働力として、農村の二男・三男や子どもたち「金の卵」と称して、東京圏内への集団就職に駆り立てたこと。それでも、生活に困った津軽の農家をはじめ、大型農業機械の賦課金返済のために「出稼ぎ」によって生活を支えるという社会的現象を生みだし、貧困に追い込まれた津軽の農民の生活改善の努力も、現在の農政の結果によって、生産費の担保もなく、生活できない農業にあきらめた農家が、農業から撤退する事態を招いた結果だと理解をします。ゆえに、津軽は、日本人の胃袋を満たす『大穀倉地帯』に誇りがもてる「米価」としての『生産費』とともに、『都会の労働者並み以上の所得』を担保する農業政策が行われ、都会並以上の所得を保障することや、将来の五所川原市を背負って立つ子どもたちを、幼児からせめて高等学校までは、徒歩、または自転車で通学できる身近な所に、保育所・小学校・中学校・高等学校を配置し、それぞれの地域が、子どもたちを育てる地域社会を実現する施策が五所川原市に求められ、その実現によって、はじめて、若者の定住も、少子化からの脱却が担保されるものです。さらには、都会並みの便利な公共交通機関もない津軽の車社会から、公共交通社会への転換をはかり、社会的つながりを強める施策なしには、都会との格差から解放が進むことはないものです。都会と津軽地方とのあらゆる格差社会をなくすための政策と施策が求められるものと考えます。これらが、津軽地方に求められている政治の責任ではないでしょうか。</p>

### ⑤少子化対策・定住促進（6件）

回答内容-少子化対策・定住促進	
1	五所川原市があまりにも中泊町、つがる市等より子育てにしても、免除されていることが少なすぎる。これは、県財政の問題かも知れないが、若い方が住みやすく、子育てしやすい状態にしていけないと、若い世代は五所川原市から離れていくのでは？結婚に関しても、イベントをもっともっと進めていかないと、誰も出会う機会もなく、年が増えるばかり。何かないですか？金木に在住しているが、イベント的な行事すらわからない。花火が「ドーン！」と上っても、「今日、何んだんだ？」と皆いつている。よろしくおねがいします。
2	五所川原市民が減少しているのはなぜ？
3	市全体に、活気が感じられない。
4	若い世代の人達が安心して生活出来る様に、もう少し子育てしやすい環境にしてほしいです。このままだったら他町村に移り住む人が増えてしまいます。
5	高齢者にとって町の中に市役所や大きな病院があるのはとても助かります。・若い人達に市内に住んでもらう為には、安い土地を用意して、そこに家を建ててもらおう事。・つがる市のように、固定資産税を安くして、若者達が住みよい環境を作ってあげる事。若者はお金がない。子供や生活費で精一ぱい。・年配者にも同じように、医療費を払ってもらおう事。(ある人はある)有る人から。
6	市民の減少や、結婚できる施策を実施してほしい。

### ⑥市町村合併・地域格差（5件）

回答内容-市町村合併・地域格差	
1	五所川原市が金木や市浦のことを考えているのか疑問です。人口減少やその他様々な問題があるが、金木、市浦に対して対策をしているのか。そういう気配が全く感じられない。
2	旧、五所川原市内にお金をつかいすぎの様に思います。市外も頭の中に入れて！なくする事が市政ではないと思います。
3	五所川原地域のみ、手を加えられみるみるすばらしい街並、景観に変わって来ていると思う。合併しない方が良かったのにと今でも思う。
4	※70代の年よりには少々むすがしすぎます。私は、金木に住んでいる者ですがもう少し金木町にも力を入れてほしいです。合併してからは1つも良所なく捨てられてます。このアンケートには関係ないと思うけど頭のかたすみにも入れてもらえれば、宜しく願います。これは私1人の意見ではありません金木町の議員達にもあきれてます。ヤル気のなさに…
5	年よりにはむずかしかったです。よくわかりません。金木町をもう少し力を入れ大事にしてほしい。

### ⑦市議会運営・市議会議員（4件）

回答内容-市議会運営・市議会議員	
1	住民を向いた議会であって欲しい。
2	合併してからサビれるばかりで、気に入らないことは排除、徹底的に差別する。一部の議員による財政の私物化、昔の悪代官と越後屋のような汚ない事ばかり、仕事がゼロしかできない人のコネによる採用、これでよくなるか。市浦は次の世代が残れない状態。残っても未来がない。名前は残っても、何十年後は十三以外は何人もいなくなる。次の世代が残れるような環境を作りたいけど、今の五所は絶対ムリ。このまま消えるのを見守るしかない。五所川原はもうどうでもいい。
3	選挙広報が届くのが遅い。期日前投票をせざるを得ない人には、少々大変な選挙期間だった。
4	・交通の便が悪すぎる(バス、電車共に)→市内の移動にも市外(青森市や弘前市あるいは県外)への移動にも使いにくい。便も少なく、時間も必要な時間帯に限って無い。・選挙活動を行うのは仕方ないことだが、テスト中や勉強・授業中に被るような時間帯に大音量で選挙カーから演説をしているのは学生が集中できない。小～高校生まで大変迷惑している。もう少し配慮できないのか。・高齢者の交通マナーが悪すぎる。保護するばかりでは勘違いを起こさせてしまっていることに気付いて頂きたい。

### ⑧税金・使用料・手数料（13件）

回答内容-税金・使用料・手数料	
1	・市民税がもっと安くなるよう活動してほしい。・子供の医療費がかかっているのが不満です。子育てににくい環境だと感じます。
2	五所川原市は他の隣接する市町村より税金が高いと思う。子供の医療費も小学校就学前まで助成してくれるが、他では中学校卒業までの所もある。税金が高く、子育てをしていく中で、住みやすい街とは言えない。これからは高齢者が増えていく中で、若い人達が住みやすい環境にしてほしい。
3	色々な税金を安くしてほしい。納税者より五所川原市公務員は、給料をもらわないでほしい。もっと五所川原市民の目線になって対応してほしい。例えば、今の公務員の通勤のための交通手段を自動車ではなく、バスや列車に強制的に切り替えてほしい。それにより、バス会社に支払う補助金をなくせるゆえに、路線バスも維持できる。バスで通えない者は、こなくていい。いくらでも変わりはあるのだから。最近年取った職員がいなくなり、若い人たちが入ってきて明るくなってきた。もっと愛想がわるい職員はヤメてほしい。若い職員よ、ガンバレ！！もうすこしで年より(お局様)はヤメてしまうのだから。新しい市役所いい感じですよ。経費のかからないように、維持して下さいよ。
4	子供の医療費など、税金など、この町で男性が働いて、女性も働いていても、カセげる金額が少ないため、小学校から医療費もかかり、税金も高いのが困ります。子供もいると職もなかなかむずかしいので、暮らしていくのが苦しくなります。つがる市など、平川市などのようにもう少し、お金がかからないようになれば、市民も増えてとてもよい町になるのではないのでしょうか。

回答内容-税金・使用料・手数料	
5	暮らし、生活困窮者、障がい者社会に対して弱い立場になってしまう人達を、行政は窓口と情報をわかりやすく知る事ができるように工夫してもらいたい。情報などたいてい口コミで知る事が多いことです。例えば、広報の内容をもっとわかりやすく、ページをまとめたのコーナーを作るとか。人権相談でも、役所の中で待ってる事も改善して下さい。(中には足を運べない人もいますからです。)税について、税と登記について。亡き親の名前での登記があり、今年登記をしましたが、少しだけ増築した所があり、親の名前のままでした。私への連絡なしに司法書士から税務課に連絡をして、固定資産税が少しですが、負担が決まりました。負担は増築が事実なので、仕方ありませんが、まず初めに私に司法書士から連絡をして、次に税務課に連絡をするのが道理でしょう。そう思いませんか？納得いきません。(急に司法書士からTELがあり、2、3日中に税務課から建物確認なんて、おどろきです。ふゆかいな気持ちですよ。こんなやり方はやめてほしい。税務課は改善して下さい。)
6	市税をもっと安くしてほしい。
7	給付金制度を増やして欲しい。
8	市役所、病院、消防、その他色々新設していますが、市民の税金が高すぎると思います。
9	給料に対して、税金が高いと思います。このままだと普通の生活すらできない人が増えてしまいます。このままだと五所川原から若い人がいなくなってしまうと思います。もう少し安心して住みやすい町を作ってください。
10	木造とか鶴田とか何かの税金??水道料?電気?何か安いと聞いた事があります。西北地区では1番高い…生活するうえで大変こまります。社会福祉の利用等が…。これから施設を利用の際の使用料の高さ、障がい年金の手続も弘前まででなく、五所川原内できるようにするとか…。下水道の雪すて等、各町内の希望をとってほしい等々…。政府と同じ税金のむだづかいしないように。
11	税金の使い道が分からない。もっとより良い街にするべく努力すべき。
12	税金ばかり高くて、住みづらい。
13	若者が住み続けたいと思えるような、まちにして欲しい。医療費や税金も考えてほしい。

### ⑨市職員 (12件)

回答内容-市職員	
1	五所川原市では、ミサイル(北朝鮮)の時、サイレンが鳴らなかった。なぜですか？情報弱者の方々にとっては、大事だと思います。弘前市ですらなっていたそうですよ。深浦町、つがる市でも、日頃より、町営放送を流しています。たちねぶたに力を入れるのは結構ですが、しっかりやって下さい。苦情、きていないのですか？道路整備も、極めて悪い。(とくに歩道)民俗資料館の荒廃ぶりもなげかわしい。税金を払っている者としては、もっとインフラ整備をしっかりしていただきたいです。過疎に悩む町村の職員は、とても必死ですよ。がんばっています。五所川原市職員の方々もがんばっていらっしゃるのですが、まず、基本町な部分からしっかりしていただきたいです。放送の件は、早急に、よろしくおねがいします。改善されない際は、他の機関に相談することも考えています。
2	他市町村と比べると、いまひとつ関わりがうすいと感じる行政職員が、個別に在宅生活の障害者、介護を必要とする人にもっと積極的に心をこめて関わってほしい。事業所はそれなりにあるが、保健師も含めて、個別訪問などで関わってほしい。障害をもつ家族への関わりをもう少し力を入れてほしい。他市町村は当事者だけでなく、そのつらさをかかえるご家族にも行政の職員(保健師、福祉職員)も、熱心です。当事者だけでなく、家族との関わりも保健師がもっと関わってほしい。(それなりに関わりが良い職員もいます)

回答内容-市職員	
3	市の広報に記載されている国家公務員と市職員の給料、ボーナスの比較を見た事がある。その差は変わらないと思う。できれば市職員の給料等(年間所得)と民間(市在住)の所得をできるならば掲載してもらいたい。民間の所得と、市職員の所得を掲載する事は市としても無理もあるかと思うが、できればの話である。国家公務員と市職員の所得差というのはあまり差はないと思う。できれば市職員と一般市民の所得を掲載してもらえればと思う。
4	縁故採用ではなく、人間的にも才能的にも優秀な職員をお願いします。
5	市の職員採用の見直しを考えて頂きたい。誰もが知っている暗黙の了解の採用(議員にお金を積んで)は今の時代あり得ないと思います。そういう事をしている五所川原市はいつまでたっても(この様なアンケートなどやっても)よくはならないと思います。
6	昔は市役所へ行くのが、とてもおっくうでしたが、今はどの課もとても親切でたいぎなくいけるようになりました。皆様大変でしょうが、がんばって下さい。
7	親切な職員に対応してもらおうことが稀なのでいつ、どの窓口でも親切な対応をしてくれるような市役所でいて欲しいです。
8	市政に従事する職員の皆様には本当にご苦労様です。初心忘るべからずの精神で職務に従事いただきたいと思います。
9	(1)市職員採用について。過去には市長独断による採用や有力議員による縁故採用がうわさされましたが、現在の平山市政になってからは、その様な事は無いようです。職員の採用は試験により公正公平に実施されていると思います。今後ともその様にして下さい。(2)市会議員の定数削減について。現在の議員の中には、質問を殆どしない、勉強不足、御用聞きが得意など、存在価値の無い議員が多すぎると思いますので、議員の数を半分位にして欲しいです。(3)市職員の適切な人員配置について。市町村合併時には職員数が多くて、暇な職員が多数見られたが、定年退職も進み大分減ったと思います。今後も適切な人員配置に努めて欲しいです。
10	・芦野公園に観光に来る方がいるが、動物園などももう少し整備してきれいにしてほしい。・つがる総合病院は、地域の病院なのに気軽に行くことができない。紹介状などがなくても、すぐに利用できるようにしてもらいたい。職員の態度も考えてほしい。・健康福祉課や税務課で、親切に色々教えて頂きました。どの課に行っても親切にもらえたらありがたいです。
11	・保育料が他に比べて高すぎる。パート代はほぼ保育料。子供を何人も産めない。・子供の医療費、中学校まで無料でない市はほぼないのに、五所川原は有料。子育てはしにくい市である。・市が借金あるのに、公務員の給料待遇が良すぎる。五所川原の一般企業と同じにとまでは言わないが、借金が無くなるまでもう少しカットしたり、本当に借金を無くす気があるのか。(一般企業は、経営難だとボーナス出ないのに)・皆に不満たくさん言われると思うが、頑張ってください。・空き家バンクをもっと広めてほしい。

回答内容-市職員

12

5年くらい前のことです。トヨタのディーラーで車のオイル漏れの修理をしたが、直ってないのに「失敗していない」と言い張る、というトラブルになり市役所にある消費生活相談室へ相談に行きました。担当者に事細く説明したら青森市にある青森県自動車整備振興会を紹介されました。自動車振興会に行き、対応した職員と、青いツナギを着た職員(氏名不明)に同じ様に事細く説明したのですが、自動車振興会の2人は全く筋の通らない屁理屈をこねて30分くらいずっと2人がかりでガンガン責め立てられ、こちらの言うことは、全部否定され、何1つ取り合ってもらえず、結局、泣き寝入りせざるを得ませんでした。市役所で最初に担当者に相談した時、相談を終え私が部屋を出る時「こういうケースは初めてなので…」と言っていたので、あまり専門の知識が無い人だと思ったので自動車振興会の出来事を持って再び相談には行きませんでした。なぜ、市役所では専門の知識が無い人が相談員をやっているのか？もし、アドバイスに自信が無いのであれば、上司、先輩、他の同僚に話を聞いてからアドバイスをすれば良かったのではないかな？なぜ、行政(自動車振興会)の人達は一般市民の相談(困り事)を必死に踏み倒そうとするのか。4、5年前、八戸の女子高生が海に入り自殺した時も、昨年、女子中学生が自殺した時も行政のいじめ認定委員の人達は両親が話してないことまで、でっち上げて「いじめは無かった」といじめを認めようとしな(両親の訴えを踏み倒そうとする)のか、2017年11月号(No. 259)の“広報ごしょがわら”では、女性に対する暴力についての相談機関が紹介されていますが(8カ所)、これらの機関の相談員すべての人が解決の為の知識を勉強し、身に付けているのか、自動車振興会の人達のように話をただ聞いただけ聞いて踏み倒して何もしないのではないかな、「お困りの方は相談して下さい」と言うくせに、相談に行っても「お役所仕事」で全く何もしないではないか。2月の猛吹雪の中、青森市までの往復の時間、長い事情説明の為の労力、ガソリン代(古い車なので燃費悪)が全部無駄でした。この様な場合(お役所仕事に出くわした時の被害)は、どこに相談に行ったらいいのかな、犯罪を犯す警察官がいるように「いいかげんで怠慢な公務員」も必ずいるという前提で、それに対応した相談窓口を作して下さい。さて、今回のアンケートを実施している公務員の人達は「お役所仕事」かどうか半信半疑ですが、一部のちゃんと仕事をしている公務員の人達の元に届くことを願っています。良い結果報告を今後の「広報ごしょがわら」で確認したいと思います。※市役所の消費生活相談室では私のトラブルの解決の為の知識は持っていない様に見えましたが、ちゃんと解決しようと一生懸命考えてくれた様に見えました。

⑩窓口対応 (9件)

回答内容-窓口対応	
1	共働き家庭の環境改善として、市の一般窓口を日曜日半日夜間だけでも職員交替で対応して欲しい。他村でやってない行政サービスにぜひ取組んで欲しい！
2	各種の申請、手続き等が平日だけでなく、土日でもできるようにしてほしい。
3	1. 災害時の避難勧告や避難指示の通告の徹底について。今のところ携帯電話やFMラジオ(GFM)でなければ把握できないようですが、これでは携帯電話や緊急放送受信用ラジオやテレビを持っていない場合には、どうするのかを考えて欲しい。例えば、市の広報車で呼びかけ、あるいは常日頃から携帯を持っている方が隣り近所の方にも知らせ合う体制づくりがあればと考えます。市全体としても統一した方法を考えて欲しいものです。2. 困りごと相談窓口の設置。これは何か困ったことがあって、市役所に伺っても、どこに相談すれば良いのか、どこが問題を解決してくれるか分からないことが多い。どんなことでも最後まで責任を持って問題の処理に当たってくれる窓口があれば願っている。
4	市役所内の案内係があった方が良い(老人の為)。
5	市の職員は、窓口で住民の対応をする時、もっと言葉づかいや態度を考えた方がいいと思います。(先日も、金木庁舎に行った時、嫌な思いをしました。)
6	気軽に一箇所でも何でも相談出来る部署
7	時間は、みじかなくてもいいから、土、日でもやってほしいです。ふつうの日に休みが、とれないときべんりだと思うのですが
8	つがる市のように土日祝も開庁している窓口を五所川原市にも作ってほしい(エルムにあれば便利だと思う)歩道の花壇の管理は誰がしているのでしょうか？エルム前など雑草が目立ち、観光で訪れた方はどう思うでしょうか。改善した方がいいと思う。
9	子どもに対する支援が他市町村に比べて整っていない。医療費の助成しかり、学童保育しかり。学童保育に関しては、6時までに迎えに行けないので、利用ができないし、6時前に迎えに行った時「もっと早く来てください」と言われた。働いている人は利用できない制度ではないのか？五所川原市民は皆6時に学校に迎える時間に仕事が終わるのか？今年のはじめてリフォームに対する助成があるのを知った。広報には載せていない情報なので知らなかった。市民が知らない情報を一部の人にしか知らせていないのではないのか？不信感が募った。住民票などの市民課の窓口サービスを土日でも欲しい。つがる市のように、エルムなどに窓口開設できないのか？

### ⑪市役所庁舎・公共施設（3件）

回答内容-市役所庁舎・公共施設	
1	市浦の福祉センターなどに介護用トイレなど水廻りなどがほしいです。農作物を作っても、動物に取られて作る気持ちが段々うすれてきた。さるのくじょをしてほしい。むずかしいと思いますけど。
2	現在建設中の市役所が豪華すぎる。デザインは良いかもしれないが、税金のムダ使いと思われるでも仕方無い。子供の医療費や治療費の無償化など、もっと子育て支援に力を入れて欲しい。
3	無駄に大きい市役所、市全体の人口が減少しているのに、何の意味があるのか？田舎特有の顕示欲の表れなのか…。無駄を省き、他の部分にもっと財政を使うべきだと思う。過度の期待はしてませんが、不透明な部分が多すぎると感じます。シンプル、クリーン、エコを期待します。

### ⑫アンケート調査（11件）

回答内容-アンケート調査	
1	アンケートを取るまでもなく、職員の方々も一般の方々も、同じ様に感じることはないでしょうか。ポストのある所迄結構遠いんだよ。でも少しでも市を良くしたいとの考えでやっていることだから、協力させて頂きました。
2	アンケートを答えてみて感じた事は、市政について何一つ理解しておらず、とりあえず答えることになり、このような感覚でしかない答えが統計として残ることに意味があるのか？という疑問です。
3	極端な質問がやや多い。回答をもう少し多様にして下さい。(例えば、○印だけでなく、記載する方法など)
4	アンケートについてですが…問3ですが難しく、回答を止めたくまりました。
5	1～43の質問はわからない事が多く、答えられません。
6	このアンケートに答えても、何も変わらないのであれば意味がありません。
7	内容が分かりづらいアンケートであった。
8	このアンケートは重要でないです。これも税金です。
9	問2、(14)SNSは専門用語のようですが、高齢者にはわかりにくく利用したこともない。TV等では、色々な問題を起しているようなのでこれについての問は普遍性はないので記載すべきではないと思う。
10	今回のアンケート回答については、問3の(1)～(43)に私自身正しい回答は出来ません。一人でアパート暮らしをしている者にとっては、市政(行政)の成り立ちや進行度を理解、熟知していません。いい加減な適当な○印の記入は控えたいと考えたからです。私が何かの手段で知る(学ぶ)必要があるのかもしませんが。
11	私の町内では雪を道路の両わきにキカイで飛ばす人がいてめいわくしています。私はいつも雪をなげてきれいにしてはいますが、除雪車はこんなにかたづけしている私の所に特にごっそりおいてきます。ヤネ雪を道路におとしてなげるもしない家の方にその雪をごっそりやってくれませんか。何十年もつらい思いをしています。このような事をやめさせて下さいませんか。雪をなげない人の出入りに雪をおいていたらなげないわけにはいかないのですから…まじめに雪なげをしている人は、バカをみてるのでしょうか。P3、P4の満足度「わからない」もあってもいいのでは、私はわからない所が多かったです。今は自分の車があります。いずれ世話にならなくなる時(もうすぐ)になります。これからよろしく願います。

## 分野7) その他

回答内容	
1	特に無いです。より良い町づくりの為に頑張ってください。
2	・稲のわら焼き対策について。禁止するだけではなく、何か農家さんにとって利点となる方向で減らしていけないものか。・窓口の対応が親切で、市役所の雰囲気はよくなっていると感じます。アンケートの意見が反映されているんだなと感謝しています。
3	農家のわら焼きがひどすぎる。自宅前の田んぼで何くわぬ顔で焼かれ、家の内外がけむたくて、外出もできない。窓もあけられない。車を走らせても先が見えないこともある。わら焼き禁止の条例は存在するみたいだが、罰則がないので、津軽の貧乏根性で焼かれている。注意しても、何も聞いてくれない。市議員に相談しても、農家の票が欲しいのかあいまいな対応である。この状況は、津軽地域だけと感じます。観光客が来たら、どう思うでしょうか？市ではパトロールらしきことはやってみたいですが、ただのお遊びですか？もっと強く指導するか、専用の苦情受付窓口を設ける。一番良いのは罰則を設けるべきだと思う。秋田県では条例があり、罰則もあります。市の条例を制定して罰則を設ける。あるいは、わら焼きを通報して取り締まる制度の導入を希望します。農家以外の人は皆が感じていることです。広報ごしよがわらに問題提起として必ず載せて下さい。
4	FM五所川原が聞きづらい。
5	今後もがんばってほしい。
6	私にとっては3ページからチョットわかりません。
7	わら焼きをいつまで放置しておくつもりですか？さすがに昼から堂々としているのは、減りましたが、その分、夜にしている方が多くなります。煙くてたまりません。この市は、夜ならば、わら焼きを認めているのでしょうか？この程度の常識的な事すら、未だ解決できもしない街に住み続けたいと思う人間が存在するのでしょうか？わら焼きだけではありません。ゴミのポイ捨て、不法投棄等、住民のモラルに関する問題があまりにも多い様に感じます。
8	夏～秋にかけての野焼き、田んぼのわら焼きを何とか規制してほしい！！(青森市の田んぼは、ほとんどわら焼きをしていません)。市営球場をそろそろ整備して欲しい。

## 參考資料



# 1 調査票

## 五所川原市に関するアンケート ご協力をお願い

市民の皆様方におかれましては、日頃から市政に対するご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

本市を取り巻く状況も日々変化していることから、現状の変化に即した施策展開が図られるように、これからの市政について市民の皆様のお考えをお伺いし、地域特性に沿った効果的かつ効率的な施策推進のための基礎資料として活用するために本調査を実施させていただくこととなりました。

今回の調査では、20歳以上の市民の皆様の中から無作為に3,000人を抽出させていただき、皆様が普段の暮らしの中で、どのようなことを感じ、また、今後の五所川原市にとってどのような点が重要と考えているかをお聞きするものです。

ご回答は全て匿名のデータとして統計処理し、プライバシーの保護に配慮することはもちろん、他の目的に使用することは一切ございませんので、率直なご意見を願います。また、今回のアンケート調査結果は、「広報ごしよがわら」などで公表いたします。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、大切なアンケートとなりますので、趣旨をご理解の上、是非ご協力をよろしくお願いいたします。

平成29年11月

五所川原市長 平山 誠敏

### <ご回答にあたってのお願い>

1. ご回答は直接この調査票にお書きいただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて  
**11月17日（金）までに** ポストにご投函ください。
2. ご回答は、ボールペンまたは濃い鉛筆などではっきりとお書きください。
3. このアンケートについてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〒037-8686 五所川原市字岩木町12番地  
五所川原市財政部企画課企画調整係  
TEL 0173-35-2111(代表) 内線 2151~2154  
FAX 0173-35-3617  
E-mail kikaku@city.goshogawara.lg.jp

問1 ご回答いただくご本人(宛名の方)について、(1)~(8)のそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) 性別

1. 男性	2. 女性
-------	-------

(2) 年齢

1. 20歳代	2. 30歳代	3. 40歳代
4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳代以上

(3) お住まいの地域

1. 五所川原地域	2. 金木地域	3. 市浦地域
-----------	---------	---------

(4) 五所川原市での居住歴

①生まれも育ちも五所川原市でしたか

1. 生まれも育ちも五所川原市	2. 他所から五所川原市へ転居してきた
3. 五所川原市生まれだが、いったん市外で暮らしてから、五所川原市へ戻ってきた	

②五所川原市で暮らしてどの程度になりますか

(いったん市外に出てから戻ってきた場合は通算の年数でお考えください。)

1. 5年未満	2. 5年以上10年未満	3. 10年以上20年未満
4. 20年以上30年未満	5. 30年以上	

(5) 家族構成

1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ	3. 親と子(2世代)
4. 親と子と孫(3世代)	5. その他[ ]	

(6) 職業

1. 経営者	2. 勤め人	3. 自営・自由業
4. 農業	5. 林業・漁業	6. パート・アルバイト
7. 専業主婦・主夫	8. 学生	9. 無職
10. その他[ ]		

(7) 通勤・通学先

1. 市内	2. 市外	3. なし
-------	-------	-------

(8) 自分のまちとしての五所川原市への愛着の有無

1. 愛着がある	2. 愛着は無い
----------	----------

問2 あなたの普段の生活について、(1)～(15)のそれぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

(1) ご近所同士のつながりを大切にしていますか

1. している	2. 少し大切にしている	3. 重視していない
---------	--------------	------------

(2) 日頃、健康増進のための取組(運動や食生活の改善など)をしていますか

1. している	2. 時々している	3. していない
---------	-----------	----------

(3) 防災対策(食料・飲料の備蓄、家具の転倒防止など)をしていますか

1. している	2. 少ししている	3. していない
---------	-----------	----------

(4) 困った時に気軽に相談できる人はいますか

1. いる	2. いない
-------	--------

(5) 地域のイベントや活動などに参加していますか

1. 参加している	2. 時々参加している	3. 参加していない
-----------	-------------	------------

(6) 高齢者や障がい者を援助するボランティア活動に参加していますか

1. 参加している	2. 時々参加している	3. 参加していない
-----------	-------------	------------

(7) 公共交通を日常的に利用していますか

1. 利用している	2. 時々利用している	3. 利用していない
-----------	-------------	------------

(8) 省エネルギーやリサイクルに取り組んでいますか

1. 取り組んでいる	2. 少し取り組んでいる	3. 取り組んでいない
------------	--------------	-------------

(9) 趣味や教養を身に付けることに取り組んでいますか

1. 取り組んでいる	2. 時々取り組んでいる	3. 取り組んでいない
------------	--------------	-------------

(10) 定期的にスポーツ活動をしていますか

1. している(週1回以上)	2. 時々している(月1回以上)	2. していない
----------------	------------------	----------

(11) 日ごろ市内で買い物をしていますか

1. している	2. 時々している	3. していない
---------	-----------	----------

(12) 市の広報を読んでいますか

1. 読んでいる	2. 時々読んでいる	3. 読んでいない
----------	------------	-----------

(13) 市のホームページを見えていますか

1. 見ている	2. 時々見ている	3. 見ていない
---------	-----------	----------

(14) 市のSNSを見えていますか

1. 見ている	2. 時々見ている	3. 見ていない
---------	-----------	----------

(15) 市のまちづくりの取組や財政状況に関心がありますか

1. 関心がある	2. 少し関心がある	3. 関心がない
----------	------------	----------

問3 あなたは、次の表に示した項目について、現状をどのように感じていますか。

また、今後、取り組むことがどのくらい重要だとお考えですか。

①現在の満足度、②今後の重要度についてご回答ください。

※重要度については、下記の(1)～(43)の項目の中で、今後より重点的に取り組んでほしいものを「重要である」として、すべての項目について評価してください。

	①満足度 (〇は1つ)					②重要度 (〇は1つ)				
	満足している	どちらかといえは満足している	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
①満足度、②重要度それぞれ1つに〇をつけてください (記入例) ⇒	5	4	③	2	1	5	④	3	2	1
<b>地域の強みを生かす産業・賑わいづくり</b>										
(1) 農林水産業の生産基盤が整備され、担い手が確保されていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 農林水産物のブランド化や6次産業化*1が推進され、農林水産業を通じた交流が図られていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(3) 地域の特色を活かした取組・イベント等の支援により、魅力ある商店街が形成されていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4) 地域資源を活用した新たな産業の育成など、地域経済の活性化が図られていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(5) 企業誘致の推進などにより、工業の振興が図られていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(6) 観光客の増加により、地域の観光産業が発展すること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(7) 職業能力を開発したり、働く場所を増やしたりすること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>地域で支え合う健やか・安心な暮らしづくり</b>										
(8) こころと体の健康づくりへの取組が行われ、健康への関心が高まること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(9) 病気になっても、診療体制が充実しており安心して病院に行けること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(10) 結婚を希望する男女への出会いの場創出など、結婚への支援があること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(11) 安心して子どもを産み、健やかに育てることができること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(12) 地域全体で支え合い、安心して地域で暮らしていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(13) 高齢者が生きがいを持ち、安心して生活できる環境が整っていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(14) 障がいを持つ方が将来的に自立した生活を送ることができるような福祉サービスや相談体制が整っていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(15) 生活困窮者の相談体制が整い、就労を支援し生活保護が適正に運営されること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(16) 介護・医療など社会保険制度が、適正に運営されること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	①満足度（〇は1つ）					②重要度（〇は1つ）				
	満足している	満足している どちらかといえば	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
<b>個性を伸ばし育む人財・文化づくり</b>										
(17) 小中学校において、安全な施設環境と充実した教育環境が整備されていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(18) 生涯にわたって興味のあることを学んだり、取り組める環境や機会があること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(19) 地域ぐるみで学校運営を支援する体制が整備されていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(20) 誰でも気軽にスポーツに親しめる環境や機会があること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(21) 市民によって地域の伝統が受け継がれるとともに、文化活動が盛んであること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>命と生活を守る安全・安心づくり</b>										
(22) 災害が起きても対応できる体制が整備されていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(23) 空き家対策が適切に進められていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(24) 消防・救急並びに交通安全・防犯に関する体制、環境が整っていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(25) 消費生活に関する苦情や被害などの相談体制が整備されていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(26) 虐待や暴力、いじめについて、相談体制が整っていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
<b>快適で質の高い環境・住まいづくり</b>										
(27) 道路がよく整備されていて、安全で快適に移動できること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(28) バスや鉄道などの公共交通手段が利用しやすいこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(29) 中心市街地を整備することによって市の顔である“まち”が活性化すること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(30) 公共施設（病院・福祉施設など）が誰でも使いやすくユニバーサルデザイン <sup>*2</sup> 化されていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(31) 道路の除雪が適切に行われ、安全に通行できること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(32) 市営住宅が整備されていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(33) 公園がよく整備されていて、誰でも利用しやすいこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(34) 下水・し尿処理やごみ収集などがきちんと行われ、衛生的な環境が整っていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(35) 省エネルギー対策や新エネルギー <sup>*3</sup> の導入による地球温暖化防止対策が積極的に進められていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

	①満足度（〇は1つ）					②重要度（〇は1つ）				
	満足している	満足している ところから いえる	ふつう	やや不満である	不満である	重要である	やや重要である	ふつう	あまり重要ではない	重要ではない
<b>共にすすめる持続可能なまちづくり</b>										
(36) 知りたい市役所の情報を手に入れやすいこと	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(37) 町内会などによるコミュニティ活動が積極的に行われていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(38) 市民団体等の主体的な活動を支援するなど、住民と行政との協働によってまちづくりが進められていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(39) 男女の性別に関係なく、お互いを尊重し合う社会であること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(40) 市民が満足できるような効率的な行政サービスが行われていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(41) 市の財政基盤が安定していること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(42) 市外からの移住や、定住促進など、住んでみたい・住み続けたいまちづくりが進められていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(43) 周辺市町村と力を合わせて、よりよい行政サービスが行われていること	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

- ※1 6次産業化： 第1次産業とこれに関連する第2次、第3次産業に係る事業(生産、加工、販売)の融合等により新たな付加価値を創出し、農林漁業および地域の活性化を目指す取組
- ※2 ユニバーサルデザイン： 年齢や障がいの有無などに関わらず、すべての人が快適に利用できるような製品や建造物、生活空間などを利用可能であるようにデザインすること
- ※3 新エネルギー： 太陽光発電や風力発電などの「再生可能エネルギー」のうち、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出量が少なく、エネルギー源の多様化に貢献するエネルギー

問4 五所川原市からの行政情報(暮らし、子育て、防災、税金、各種申請手続きなど)について質問します。(1)～(2)の各項目にお答えください。

(1) 五所川原市からの行政情報はどのように確認・入手されていますか

(あてはまるものすべてに○をつけてください。)

1. 市の広報	2. 市のホームページ
3. 市のSNS	4. 市の施設にあるポスターやチラシ
5. 市からの手紙・お知らせなど	6. 市の窓口や市の施設の職員
7. 保育園、幼稚園、学校など	8. 新聞
9. テレビ	10. ラジオ
11. 地域の掲示板や回覧板	12. 地域のお店など
13. 友人・知人から	14. その他 [ ]
15. あまり入手することがない*	

※「15. あまり入手することがない」に○をつけた場合は、他の選択肢に○をつけしないでください。

(2) 五所川原市からの行政情報について、あなたはどのような情報を充実してほしいですか

(あてはまるもの3つまでに○をつけてください。)

1. 防犯・防災や安全・安心に関する情報
2. 健康・医療(健康診断、予防接種など)に関する情報
3. 社会保障(保険、年金など)や社会福祉(高齢者施策、障がい者施策など)に関する情報
4. 子育てや教育に関する情報
5. 環境(ごみの収集、リサイクルなど)に関する情報
6. 住まいや住環境に関する情報
7. 文化、スポーツに関する情報
8. 雇用、就労に関する情報
9. 税金に関する情報
10. その他 [ ]

問5 あなたは、これからも五所川原市に住み続けたいと思いますか。

(あてはまるもの1つに○をつけてください。)

1. 住み続けたい	2. どちらかといえば住み続けたい
3. どちらともいえない	4. どちらかといえば住み続けたくない
5. 住み続けたくない	



平成 29 年度

市民意識調査報告書

～五所川原市に関するアンケート～

平成 30 年 1 月

発行・編集：	五所川原市 〒037-8686 青森県五所川原市字岩木町 12 番地 TEL 0173-35-2111(代表)
--------	---